無限の可能性、ここが最先端　— Outgrow your limits —

学生ハンドブック

履修案内・キャンパスライフ・諸規則

2019

奈良先端科学技術大学院大学
Nara Institute of Science and Technology

先端科学技術研究科
Graduate School
of Science and Technology

平成 31 年度カレンダー

Monthly Calendar

2019 4月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

5月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

6月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29/30

7月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

8月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

10月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

11月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

2020 1月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

2月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

2019年度　奈良先端科学技術大学院大学　学年暦

学期	月　　日（曜日）	事　　項
春学期	４月　１日（月）	春季休業
	４月　２日（火）	博士前期課程新入生オリエンテーション
	４月　３日（水）	研究室紹介（情報科学領域、バイオサイエンス領域）
	４月　４日（木）	研究室紹介（バイオサイエンス領域、物質創成科学領域）
	４月　５日（金）	入　学　式 （終了後、博士後期課程オリエンテーション） 研究室紹介（物質創成科学領域）
	４月　８日（月）	全学安全教育
	４月　９日（火）～　６月　４日（火）	第Ⅰクォーター授業期
	４月　９日（火）	研究倫理教育講習会
	６月　５日（水）～　９月３０日（月）	第Ⅱクォーター授業期
	５月２９日（水）～　５月３１日（金）	健康診断日
	６月２５日（火）	学位記授与式
	７月１０日（水）～　７月１３日（土）	博士前期課程第１回入学者選抜試験
	８月　８日（木）～　９月　１日（日）	夏季休業
	９月２５日（水）	学位記授与式
秋学期	１０月　１日（火）	創立記念日
	１０月　２日（水）	入学式
	１０月　３日（木）	全学安全教育 研究倫理教育講習会
	１０月　４日（金）～１２月　６日（金）	第Ⅲクォーター授業期
	１０月１５日（火）～１０月１７日（木）	博士前期課程第２回入学者選抜試験
	１２月　９日（月）～　３月　３日（火）	第Ⅳクォーター授業期
	１２月２０日（金）	学位記授与式
	１２月２７日（金）～　１月　５日（日）	冬季休業
	３月２４日（火）	学位記授与式
	３月２０日（金）～　３月３１日（火）	春季休業

※ 春学期の健康診断日は、原則、授業休止となります。
※ 博士前期課程入学者選抜試験（第１回、第２回）の期間は、原則、授業休止となります。

授業時間

１時限　　９：２０～１０：５０（９０分授業）
２時限　１１：００～１２：３０　　〃
３時限　１３：３０～１５：００　　〃
４時限　１５：１０～１６：４０　　〃
５時限　１６：５０～１８：２０　　〃
６時限　１８：３０～２０：００　　〃

目　　次

■第１章　奈良先端科学技術大学院大学の教育方針
１－１　目的、教育使命、人材養成目的、教育方針 …… 1
１－２　アドミッション・ポリシー …… 2
１－３　ディプロマ・ポリシー …… 3
１－４　カリキュラム・ポリシー …… 4
１－５　研究活動上の行動規範 …… 5
１－６　学生への経済的支援に関する方針 …… 7
■第２章　先端科学技術研究科の概要
２－１　先端科学技術研究科の概要 …… 9
２－２　７つの教育プログラム …… 10
２－３　博士前期課程の教育課程 …… 13
２－４　博士後期課程の教育課程 …… 15
■第３章　入学当初学生ガイド
３－１　研究室配属から教育プログラム選択まで（博士前期課程） …… 17
３－２　研究室配属から教育プログラム選択まで（博士後期課程） …… 20
■第４章　履修手続（履修規程を含む）
４－１　履修登録 …… 21
４－２　履修規程 …… 29
４－３　研究倫理教育講習会の受講について …… 38
４－４　修了要件 …… 38
４－５　５年一貫コースについて …… 40
４－６　ダブルディグリープログラム …… 41
■第５章　シラバス等
５－１　電子シラバスについて …… 43
５－２　教育カルテについて …… 44
５－３　成績評価について …… 46
５－４　グローバル人材を目指して …… 49
５－５　英語Ｅ－ラーニングシステム（ALC NetAcademy ２） …… 51
■第６章　授業科目及び担当教員一覧等
６－１　平成３１年度授業科目及び担当教員一覧 …… 53
６－２　授業番号に関する情報 …… 59
６－３　授業時間割 …… 59
■第７章　学位論文審査基準等（学位規程を含む）
７－１　学位論文審査基準 …… 61
７－２　学位規程 …… 63
７－３　学位授与までの日程 …… 68
■第８章　学修支援
８－１　保健管理センター …… 69
８－２　障害学生支援室 …… 69
８－３　キャリア支援室 …… 69
８－４　総合情報基盤センター …… 70
■第９章　キャンパスライフ
９－１　授業料の額及び納付方法 …… 71

９－２　学生証　…… 71
９－３　学生個人報告書　…… 72
９－４　諸手続・諸証明書　…… 72
９－５　通学証明書　…… 74
９－６　日本学生支援機構奨学金制度　…… 75
９－７　民間育英団体の奨学金　…… 75
９－８　授業料免除　…… 75
９－９　学生教育研究災害傷害保険　…… 75
９－10　学研災付帯賠償責任保険　…… 76
９－11　学生宿舎　…… 76
９－12　大学借り上げ住宅　…… 76
９－13　駐車場及び駐輪場の利用　…… 76
９－14　福利厚生施設　…… 77
９－15　学生なんでも相談、各種相談受付体制　…… 77
９－16　その他　…… 78
９－17　キャンパスマップ・建物平面図　…… 79
■第10章　学則・諸規則
・学則　…… 83
・学生表彰規程　……103
・優秀学生奨学制度規程　……105
・学生の懲戒等に関する規程　……107

第１章　奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

■第１章　奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

１－１．目的、教育使命、 人材養成目的、教育方針

○目的

奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

○教育使命

NAIST は、先端科学技術の発展に資する人材を養成するために、学部を置かない大学院大学として平成 3 年（1991 年）10 月に設置されました。NAIST の研究教育分野は、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」の 3 つの基盤的な学問領域です。

21 世紀における人類の豊かな生活と住みよい社会を実現し、持続していくためには、次代を担う人材を養成し、人類の存続に役立つ多様な研究成果を社会に提供することが不可欠です。そのためには、単に科学技術に精通するだけでなく、大局的な視点を合わせ持つ人材を育成する全人的な教育が必要です。

本学では、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」という先端科学技術の基盤的な学問領域に加え、それらの融合領域の研究教育、また倫理教育や知的財産教育などにも積極的に取り組んでいます。

○人材養成目的

体系的な授業カリキュラムと研究活動を通じて、博士前期課程では、社会・経済を支える高度な専門性を持ち、社会において指導的な立場に立てる人材を、博士後期課程では、科学技術に高い志を持って挑戦し、国際社会で指導的な役割を果たす研究者・技術者を養成します。

○教育方針

専門教育カリキュラムに加えて、人間として備えておくべき倫理観、広い視野、理論的な思考力、積極的な行動力、総合的な判断力、さらには豊かな言語表現能力を養う、教育カリキュラムを実施します。

また、新たな融合領域へ挑戦する人材を養成するための教育プログラム、高度な国際性を養成するための、海外の教育研究連携校との共同プログラムを含む、教育プログラムを実施します。

そして、自己評価や外部評価をフィードバックして、常に教育の質の向上を図るとともに、教育研究環境の充実と優秀な学生の経済的支援を進めます。

１－２．アドミッション・ポリシー

＜博士前期課程＞

〇求める学生像

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力を持った学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、先端科学技術分野に対する強い興味と意欲を持った人を求めます。特に、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力を持った人、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力を持った人を積極的に受け入れます。

〇入学者選抜の基本方針

上記資質を有する優秀な人材を国内外から選抜するため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜方法を実施します。

＜博士後期課程＞

〇求める学生像

国内外を問わず、高い基礎学力を持った学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、先端科学技術分野に対する強い興味と意欲を持った人を求めます。特に、これまでに修得してきた深く広い専門知識を、人類社会の諸問題の解決に役立たせることに強い関心を持ち、幅広い先端科学技術分野での活躍を志している人を積極的に受け入れます。

〇入学者選抜の基本方針

上記資質を有する優秀な人材を国内外から選抜するため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜方法を実施します。

１－３．ディプロマ・ポリシー

本学は、情報理工学、バイオサイエンス及び物質理工学の３つの先端科学技術分野に加えて、新たに社会的要請のあるそれらの融合分野にも積極的に挑戦を行い、かかる分野に関連する幅広い知識、高度な先端知識を有し、次代の先端科学技術分野の牽引に貢献する挑戦性、総合性、融合性及び国際性溢れる先導的な人材を育成する。この目的に則して編成された教育課程及び多角的な視点での教育研究指導体制（複数の教員による異なる視点からの研究指導）が前提となる質保証がされた学位授与プロセスを遂行する。

＜博士前期課程＞

「修士」の学位は、“先端科学技術科目群”を通じて先端科学技術分野（情報理工学、バイオサイエンス、物質理工学の分野及びその融合分野）の幅広い基礎概念を理解して問題解決に専門知識を応用できる能力を身につけ、“研究活動科目群”で特定分野での研究あるいは技術開発能力を身につけ、“一般科目群”で優れた国際コミュニケーション能力と高い倫理観を身につけ、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、修士論文審査と試験に合格した者に授与する。

＜博士後期課程＞

「博士」の学位は、“自立的な研究能力を養う科目群”を通じて先端科学技術分野（情報理工学、バイオサイエンス、物質理工学の分野及びその融合分野）の幅広い理論や体系を理解した上で高度の専門的知識・技術を有し、問題発見及び問題解決ができる能力を身につけ、“研究者の素養を身につける科目群”でグローバルコミュニケーション能力、高い倫理観、俯瞰的視野を持ち、先端科学技術分野においてリーダーシップを発揮できる能力を身につけ、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、国際的に通用する博士論文を提出して、その審査及び試験に合格した者に授与する。

１－４．カリキュラム・ポリシー

先端科学技術専攻では、情報、バイオ、物質とそれらの融合分野に関する専門知識とともに、次代の先端科学技術分野の発展とその産業活動・社会活動に貢献する人材に求められる挑戦性、総合性、融合性及び国際性を身につけさせるための体系的な教育課程を編成する。特に学問分野の融合性を重視することを踏まえ、博士前期課程においては学生のキャリアと将来の目標に応じて柔軟性と融合性の高いプログラムを設置し、博士後期課程においては学生の国際性や主体性・自立性を重視したプログラムを設置する。

＜博士前期課程＞

1. 先端科学技術を学ぶ上で共通に必要となる科学技術の潮流や俯瞰的なものの見方を学ぶ序論等の科目を設置する。
2. 専門分野だけに偏らない多様な分野からの入学者にも対応した、先端科学技術の基盤知識を教授し、総合性を育成する科目を設置する。
3. 先端科学技術に係る高度な専門知識を教授する科目を設置する。
4. 課題を俯瞰的に捉え、問題発見とその問題を協働して解決する能力と挑戦性の修得を目指したPBL形式で行う科目を設置する。
5. 社会で活躍する上で必要なプレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指した科目を設置する。
6. 産官など学外からの協力を得つつ、産業活動・社会活動における科学技術の課題やあるべき姿を考察する能力の修得を目指した科目を設置する。
7. 研究者・技術者として必要な英語力や留学生の日本語力の強化を図る科目を設置する。
8. 研究者・技術者に求められる倫理観や社会の趨勢を俯瞰する能力の強化を目指した科目を設置する。

＜博士後期課程＞

1. 情報、バイオ、物質とそれらの融合分野に関する先端専門知識を教授する科目を設置する。
2. 学際的な知識に基づく幅広い俯瞰力と総合性やキャリアパスを含めた社会とのかかわりを構想する能力の育成を目指した科目を設置する。
3. 研究プロジェクトを主体的に企画立案・遂行し課題を解決する能力と挑戦性の修得を目指した科目を設置する。
4. 国際的な活躍に必要となるプレゼンテーション・コミュニケーション能力の修得を目指した科目を設置する。

１－５．研究活動上の行動規範

奈良先端科学技術大学院大学における研究活動上の行動規範

平成２０年２月２１日

研究活動とは、先人達が行った研究の諸業績を踏まえた上で、調査、観察、実験等によって知り得た事実やデータを素材としつつ、自分自身の省察、発想、アイディア等に基づく新たな知見を創造し、知の体系を構築していく行為である。

その成果は、人類共通の知的資産を築くものであり、人類の幸福、経済及び社会の発展を支えている。

このような研究活動は、研究活動に対する研究者の誠実さが前提となっており、データや結果の捏造、改ざん、及び他者の研究成果の盗用に加え、同じ研究成果の重複発表、論文著作者が適正に公表されない不適切なオーサーシップ等の不正行為は、研究活動の本質に反するものであり、絶対に許されるものではなく、厳しい姿勢で臨まなければならない。

奈良先端科学技術大学院大学は、このような研究活動に関する基本的認識の下に、“本学で研究活動に携わるすべての者”（以下「研究者」という。）が研究を遂行する上で求められる行動規範を定める。

１．研究者の責任

研究者は、自らが生み出す専門知識や技術の質を担保する責任を有し、更に自らの専門知識、技術及び経験を活かして、社会の安全と安寧、そして環境の保全に対する責任を有する。

２．研究者の行動

科学の自律性が社会からの信頼と負託の上に成り立つことを自覚し、自らの研究姿勢を常に点検しつつ正しい信念に基づいて誠実に行動する。また、研究によって生み出される知の正確さや正当性を、科学的にかつ客観的に示す最善の努力をするとともに、科学者コミュニティ、特に自らの専門領域における研究者相互の評価に積極的に参加する。

３．自己の研鑽

自らの専門知識・能力・技芸の維持向上に努めるとともに、科学技術と社会・自然環境の関係を広い視野から理解できるようにたゆまず努力する。

４．説明と公開

自ら携わる研究の意義と役割を積極的に公開して説明し、その研究が人間、社会、環境に及ぼし得る影響並びに起こし得る変化を評価し、その結果を中立性・客観性をもって公表するとともに、社会との建設的な対話を築くように努める。

５．研究活動

自らの研究の立案・計画・申請・実施・報告等の過程において、この規範の趣旨に沿って誠実に行動する。研究・調査データの記録保存や厳正な取扱いを徹底し、捏造、改ざん、盗用等の不正行為を行わず、また加担もしない。

６．研究環境の整備

責任ある研究の実施と不正行為の防止を可能にする公正な環境の確立・維持も自らの重要な責務であることを自覚し、科学者コミュニティ及び自らの所属する組織の研究環境の質的向上に積極的に取組む。また、これを達成するために社会の理解と協力が得られるよう努める。

７．研究費の適正な使用

研究費の使用に当たっては、関係法令、学内諸規約等並びに各種外部資金による研究において定められた条件及び使用ルール等を遵守する。

８．研究対象、環境、安全等への配慮及び生命倫理の尊重

研究への協力者の人格・人権を尊重し、福利に配慮する。また、研究実施上、環境及び安全に対して有害となる可能性のあるもの（放射線、放射性同位元素、遺伝子組換え生物、核燃料物質、外来生物、毒劇物、環境汚染物資等）を取り扱う場合には、関係法令、学内諸規約及び学会等の指針等を遵守し、ヒトや動物を対象とした研究においては、生命倫理を最大限尊重する。

９．他者との関係

他者の成果を適切に評価すると同時に、自らの研究に対する批判には謙虚に耳を傾け、誠実な態度で意見を交える。また、他者の知的財産権に係るものに関しては、守秘義務を遵守する。中でも、論文や研究費の審査の過程で知り得たものについては、守秘義務の遵守に厳密に注意を払わなくてはならない。さらに、研究の過程で入手した他者の個人情報の保護に努め適正な取扱いを行う。

１０．差別・ハラスメントの排除

人種、性別、地位、思想・宗教等によって個人を差別せず、公平に対応して、個人の自由と人格を尊重する。また、立場や権限を利用して、その指示・指導等を受ける者に不利益を与えるような言動は取らない。

１１．利益相反

自らの研究、審査、評価、判断等において、個人と所属組織又は異なる組織間の利益の衝突に十分に注意を払い、公共性に配慮しつつ適切に対応する。さらに、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学利益相反ポリシー等を遵守する。

１－６．学生への経済的支援に関する方針

奈良先端科学技術大学院大学学生への経済的支援に関する方針

平成３０年１１月２１日
役　員　会　承　認

奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という）は、学部を置かない国立の大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的としている。

この目的を果たすために、高い志を持って科学技術に挑戦する人材や社会において指導的な立場で活躍しようとする意欲の高い人材を国内はもとより海外からも受け入れようとしている。このような人材を集める上で、本学が魅力のある学びの場として認識してもらうことが重要課題の一つである。本学が魅力のある学びの場として、経済的に心配なく学業・研究に打ち込める環境を形作るため、本学は意欲ある学生に対しできうる限りの経済支援を行うことを方針とする。

この方針に基づき、経済的支援を次のとおり実施する。

１．優秀学生奨学制度［博士後期課程学生対象］
・　博士後期課程１年次に在籍する学生のうち、学業成績が特に優秀であり、かつ人物が優れた者の当該年度の授業料を全額免除する。ただし、国費外国人留学生及び外国人留学生特別奨学制度に採用された者を除く。
・　支援対象者は、毎年度１５名以内とする。

２．社会人学生への奨学支援［博士後期課程学生対象］
・　博士後期課程に在籍する社会人学生のうち、学業成績が特に優秀であり、かつ人物が優れた者の授業料の全額を免除し、奨学金を給付する。ただし、雇用形態が契約、パート、アルバイト等の非正規雇用の者、企業派遣の社会人学生で授業料相当額を所属企業等が負担している者を除く。

３．外国人留学生特別奨学制度［博士後期課程外国人留学生対象］
・　留学生特別推薦選抜により合格し、博士後期課程に入学する私費外国人留学生（日本政府又は外国政府から奨学金を受領している外国人留学生以外の留学生）に次の支援を行う。
（１）本国から日本までの渡航費支給
（２）ＲＡとしての雇用
（３）入学料
（４）授業料
（５）その他、学長が必要と認める支援
・　新規の支援対象者は、予算状況を勘案して年度ごとに決定する。

・　支援期間は、博士後期課程に在籍する３年までとする。ただし、休学期間中は支援を行わない。

４．ベトナム教育訓練省国際教育開発奨学生（ＶＩＥＤ奨学生）制度［外国人留学生対象］

・　ベトナム教育訓練省国際教育開発局が実施する奨学生選考試験に合格し、本学に入学する私費外国人留学生に、次の支援を行う。
（１）検定料
（２）入学料
（３）授業料
・　新規の支援対象者は、毎年度３名以内とする。
・　支援期間は、博士前期課程学生は入学後２年間、博士後期課程学生は入学後３年間に限る。

５．国家建設高水平大学公派研究生項目（高水平）制度［博士後期課程外国人留学生対象］

・　中国国家留学基金管理委員会が実施する国家建設高水平大学公派研究生項目の学位取得博士研究生として、博士後期課程に入学する私費外国人留学生に次の支援を行う。
（１）検定料
（２）入学料
（３）授業料
・　新規の支援対象者は、毎年度３名以内とする。
・　支援期間は、博士後期課程の標準修業年限内とする。

６．経済的困窮者に対する授業料免除制度［博士前期課程及び博士後期課程学生対象］

・　免除の選考は博士前期課程・博士後期課程の免除枠ごとに行い、課程別の免除実施可能額の範囲内で、家計基準及び学業基準を満たす対象者全員を半額免除する。
・　博士前期課程において基準を満たす対象者全員を半額免除してもなお残額が生じる場合、博士後期課程の困窮度の高い者から順に全額免除する。

７．ＴＡ・ＲＡ優先採用制度［５年一貫コース所属学生及び博士後期課程学生対象］

・　ＴＡ・ＲＡによる支援等により、博士前期課程２年次から授業料半額相当分を給付し、加えて研究科の研究分野の特色を活かし、追加の支援を実施する。

８．学生宿舎への優先入居［５年一貫コース所属学生及び博士後期課程学生対象］

・　学生宿舎に入居を希望する博士後期課程進学予定学生（入学前に入居の希望を申し出た場合に限る）及び博士後期課程学生については、優先的に入居を認める。

９．日本学生支援機構貸与奨学金（第一種奨学金及び第二種奨学金）への優先推薦［５年一貫コース所属学生対象］

・　５年一貫コースに所属する学生が日本学生支援機構の奨学金の貸与を希望し、推薦基準に合致する場合は、優先的に貸与されるよう推薦を行う。

第 2 章　先端科学技術研究科の概要

■第２章　先端科学技術研究科の概要

２－１．先端科学技術研究科の概要

＜目的＞

既存の学問領域の延長線上にない革新的な研究、とりわけ従来の専門分野の壁を取り払った研究領域の融合化に取り組むことでイノベーション創出につなげるとともに、本学が開学以来醸成してきた最先端の情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学及びこれらの融合分野を含む広範な領域をカバーした体系的な教育カリキュラムを通じて、挑戦性と創造性に富んだ先導的な研究者及び高度な専門性を持った技術者を育成することを目的とします。

＜特色＞

- これまでの研究科間の垣根をなくすことで、関連する研究分野の教員が集結して最先端科学技術教育を行える柔軟な教育体制を構築します。
- 学生の興味、意欲にきめ細やかに対応するため、履修科目選択に自由度を持たせた教育を実現します。
- 高度な専門性を修得させるための、７つの「教育プログラム」を設定します。
- 他の分野を学ぶのに必要な基礎・専門知識を学べる仕組みを導入し、大学・高専専攻科で身に着けた専門性をベースとして、他の専門分野への挑戦を可能とします。
- 社会実装までを想定して社会ニーズに基づく問題の解決を行う PBL（Project Based Learning）形式の演習を、民間企業等での実習や民間企業の研究者・技術者による講習等を通して実施します。

＜人材育成目標＞

博士前期課程では、社会・経済を支える、情報科学、バイオサイエンス、あるいは、物質創成科学の高度な専門性と、それらの融合分野に取り組むための広範な素養を持ち、社会全体を見渡す俯瞰的な視点から物事を考え、社会において先端科学技術の活用やイノベーションを担う人材を育成します。

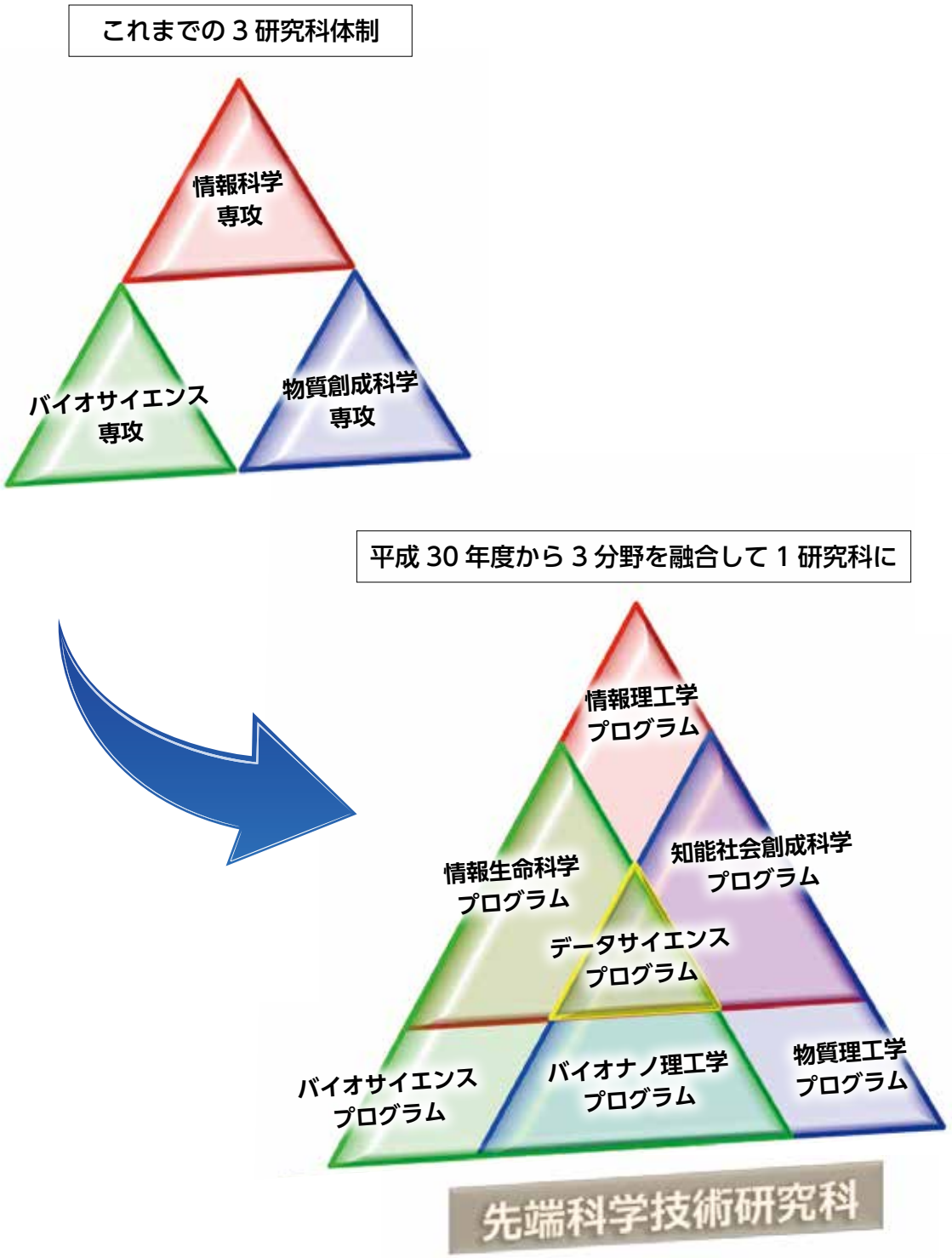
博士後期課程では、情報科学、バイオサイエンス、あるいは、物質創成科学及び関連する融合分野に係る高度な先端知識と幅広い視野に加え、国際性や主体性・自立性を備え、高い志を持って科学技術研究に挑戦し、産官学にわたり国際社会で指導的な役割を果たす研究者・高度専門技術者を育成します。

＜幅広い進路選択＞

専門とする分野から融合分野へ展開する広い学識と柔軟な思考を身につけることで、個々の学生にとっての進路の選択肢がこれまで以上に広がります。

２－２．７つの教育プログラム

先端科学技術研究科では、開学から培ってきた情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学の３分野が主体の「情報理工学」、「バイオサイエンス」、「物質理工学」に、それらの融合プログラムの「情報生命科学」、「知能社会創成科学」、「バイオナノ理工学」、「データサイエンス」が加わり、７つの教育プログラムが選択できます。これらを教育カリキュラムの基本的枠組みとすることで、学生自身の希望進路に沿いながら高度な専門性を身につけるための科目履修を可能にします。



○７つの教育プログラムの概要と人材育成目標

情報理工学プログラム	授与される学位　修士・博士（工学／理学）
情報科学を主体とするプログラムです。 コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システムに関する技術など、広い視野と高度な専門性を備え、様々な分野で情報科学技術の高度化やその多面的な活用により、高度情報化社会を支える人材を育成します。	

情報生命科学プログラム	授与される学位　修士・博士（工学／理学／バイオサイエンス）
情報科学とバイオサイエンスの融合プログラムです。 遺伝子やタンパク質、代謝などに関する膨大な生体情報や医用画像データなど、生命現象にかかわる大規模なデータの取得ができる人材及びその解釈ができる人材あるいはこれらの技術開発のできる人材を育成します。	

バイオサイエンスプログラム	授与される学位　修士・博士（バイオサイエンス）
バイオサイエンスを主体とするプログラムです。 動植物・微生物について、分子・細胞・個体レベルで、生命現象の基本原理から生物の多様性まで、最先端の幅広い知識と高度な専門性を備え、それを国内外の民間・公的機関において、環境・エネルギー・食糧・資源や健康・長寿等の諸問題解決に資することにより、人類の発展と地球環境の保全に貢献する人材を育成します。	

バイオナノ理工学プログラム	授与される学位　修士・博士（工学／理学／バイオサイエンス）
バイオサイエンスと物質創成科学の融合プログラムです。 生命活動の分子的基盤を理解し、医薬品や医用工学材料の開発、植物機能を増強する新規化合物の探索、生命機能を模した新規高分子の開発、植物由来の有効成分の開発、人工蛋白質材料の開発、再生医療を支える新規細胞工学の開拓など、人類の未来を支える新たな機能材料を開発する能力を育成し、物質科学の理解に基づくバイオサイエンス研究の新潮流の開拓に携わることのできる人材を育成します。	

物質理工学プログラム	授与される学位　修士・博士（工学／理学）
物質創成科学を主体とするプログラムです。 固体物性学、デバイス工学、分子化学、高分子材料、バイオナノ理工学などを横断する教育プログラムにより、物質科学に関する基盤知識と専門性を活かすための高度な知識を持ち、人類の豊かな生活の維持と社会の発展を支える次代の科学技術の担い手となる人材を育成します。	

知能社会創成科学プログラム	授与される学位　修士・博士（工学／理学）
物質創成科学と情報科学の融合プログラムです。 機能性物質の設計、新機能を実装したデバイスや現実世界をセンシング、分析するデバイスの設計、分析結果をさまざまに生かすシステム構築、機械やロボットの制御システムまでを統合的に捕らえる広い視野を持ちつつ、その中の特定分野の深い専門知識を身につけた IoT 時代の社会システムを支える人材を育成します。	

データサイエンスプログラム	授与される学位　修士・博士（工学／理学／バイオサイエンス）
情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の融合プログラムです。 情報科学、バイオサイエンス、物質科学に関わるデータ駆動型科学、AI 駆動型科学の最先端の幅広い知識と高度な専門性を備え、蓄積された膨大なデータの処理、可視化、分析を通じてその奥に隠れた「真理」や「価値」を引き出して、次代の科学・技術の進歩や社会の発展に貢献できる人材を育成します。	

※取得できる学位の名称は、履修科目や学位論文の内容によって決定します。

○所属する研究室で選択できる教育プログラムの一覧

＜情報科学領域＞

研究室名	PI（研究室主宰者）	情報理工学プログラム	情報生命科学プログラム（情報とバイオの融合）	知能社会創成科学プログラム（情報と物質の融合）	データサイエンスプログラム（3領域融合）
コンピューティング・アーキテクチャ	中島　康彦	○		○	
ディペンダブルシステム学	井上　美智子	○		○	
ユビキタスコンピューティングシステム	安本　慶一	○	○	○	
モバイルコンピューティング	伊藤　実	○		○	
ソフトウェア工学	松本　健一	○		○	
ソフトウェア設計学	飯田　元	○		○	
サイバーレジリエンス構成学	門林　雄基	○		○	○
情報セキュリティ工学	林　優一	○		○	
情報基盤システム学	藤川　和利	○		○	○
自然言語処理学	松本　裕治	○			○
知能コミュニケーション	中村　哲	○			○
ネットワークシステム学	岡田　実	○	○	○	
インタラクティブメディア設計学	加藤　博一	○		○	
光メディアインタフェース	向川　康博	○	○	○	
サイバネティクス・リアリティ工学	清川　清	○		○	
環境知能学	萩田　紀博	○		○	
ソーシャル・コンピューティング	荒牧　英治	○			○
ロボティクス	小笠原　司	○	○	○	
知能システム制御	杉本　謙二	○	○	○	○
大規模システム管理	笠原　正治	○		○	
数理情報学	池田　和司	○	○	○	○
生体医用画像	佐藤　嘉伸	○	○		○
計算システムズ生物学	金谷　重彦	○	○	○	○
ロボットラーニング	松原　崇充	○		○	○
ロボットビジョン	金出　武雄	○	○	○	

＜バイオサイエンス領域＞

研究室名	PI（研究室主宰者）	バイオサイエンスプログラム	情報生命科学プログラム（バイオと情報の融合）	バイオナノ理工学プログラム（バイオと物質の融合）	データサイエンスプログラム（3領域融合）
植物細胞機能	橋本　隆	○		○	
植物発生シグナル	中島　敬二	○	○		
植物代謝制御	出村　拓	○		○	○
植物成長制御	梅田　正明	○		○	
花発生分子遺伝学	伊藤　寿朗	○		○	○
植物生理学	遠藤　求	○	○		○
植物免疫学	西條　雄介	○	○		○
植物二次代謝	峠　隆之	○	○		○
植物共生学	吉田　聡子	○	○	○	
分子情報薬理学	伊東　広	○		○	
機能ゲノム医学	石田　靖雅	○			
腫瘍細胞生物学	加藤　順也	○		○	○
分子免疫制御	河合　太郎	○		○	
分子医学細胞生物学	末次　志郎	○		○	○
RNA分子医科学	岡村　勝友	○	○		○
幹細胞工学	栗崎　晃	○	○		
発生医科学	笹井　紀明	○	○	○	
器官発生工学	磯谷　綾子	○		○	
原核生物分子遺伝学	真木　壽治	○			
システム微生物学	森　浩禎	○	○		○
細胞シグナル	塩崎　一裕	○	○	○	
ストレス微生物科学	高木　博史	○		○	
環境微生物学	吉田　昭介	○		○	
構造生物学	箱嶋　敏雄	○	○	○	
構造生命科学	塚崎　智也	○		○	
遺伝子発現制御	別所　康全	○	○	○	○
神経システム生物学	稲垣　直之	○	○	○	
計算生物学	作村　諭一	○	○		○
疾患ゲノム医学	加藤　菊也	○	○		

＜物質創成科学領域＞

研究室名	PI（研究室主宰者）	物質理工学プログラム	知能社会創成科学プログラム（物質と情報の融合）	バイオナノ理工学プログラム（物質とバイオの融合）	データサイエンスプログラム（3領域融合）
量子物性科学	柳　久雄	○	○		
凝縮系物性学	太田　淳（兼任）	○			○
光機能素子科学	太田　淳	○	○	○	○
情報機能素子科学	浦岡　行治	○	○	○	○
反応制御科学	垣内　喜代三	○		○	
超分子集合体科学	廣田　俊	○		○	
光情報分子科学	河合　壯	○		○	○
有機光分子科学	山田　容子	○		○	
センシングデバイス	柳田　健之	○			
有機固体素子科学	中村　雅一	○	○		
生体プロセス工学	細川　陽一郎	○		○	○
分子複合系科学	上久保　裕生	○		○	○
バイオミメティック分子科学	Gwenaël RAPENNE	○		○	
ナノ構造磁気科学	細糸　信好	○			
データ駆動型化学	船津　公人				○
ナノ高分子材料	網代　広治	○		○	
マテリアルズ・インフォマティクス	畑中　美穂	○			○
メゾスコピック物質科学	藤井映志、足立秀明	○	○		
知能物質科学（学生配属なし）	和泉　真				
機能高分子科学	本田崇宏、榎本裕志	○		○	
環境適応物質学	余語克則、後藤和也	○	○		
感覚機能素子科学	北村圭司、叶井正樹	○	○	○	
先進機能材料	上利泰幸、藤原裕	○	○	○	

※上記は平成31年2月現在（平成31年4月予定を含む）の情報です。これ以降に新設される研究室で選択できる教育プログラムについては、大学ホームページ等から最新の情報を確認してください。

２－３．博士前期課程の教育課程

博士前期課程には、以下の科目群を配置する。

◇一般科目群

次世代の先端科学技術を担うために欠かすことのできない幅広い素養と社会性、国際性を育むため、倫理、哲学、コミュニケーション、知的財産権、ベンチャー起業論及び語学等の科目を配置する。英語については、レベル別にクラスを編成し、コミュニケーション、プレゼンテーション、ディスカッション、ライティングの講義により、国際的に通用するコミュニケーション能力の習得を目標とする。

◇先端科学技術科目群

以下の①～④の科目を開設し、専門の異なる学生が様々な分野の最新科学技術や社会ニーズを理解し議論することにより、他の先端科学技術分野を俯瞰できる広い視野や柔軟な発想、創造性を持つ人材を育成する。

① 序論科目

７つの教育プログラムがカバーする各々の研究分野について、世界の最先端科学がどのように進展・融合しつつあり、今後どのような新しい科学技術や研究領域が生まれると期待されるかなどを俯瞰的視点から学ぶことで、総合的な視野を身につける「序論科目」を配置する。

② 基盤科目

広範な分野からの入学者に対応し、大学で学んだ専門分野だけに偏らず異分野や融合分野に挑戦することを可能にし、各教育プログラムの履修に必要な基盤知識を修得するために「基盤科目」を配置する。「基盤科目」は、どの教育プログラムの学生も各自のこれまでの学習歴に応じて、不足部分を補うことを目的とする。

③ 専門科目

各プログラムの人材育成目標に沿った高度な専門知識を学ぶことを目的とする、プログラムの中核となる講義である。各学生が履修する「PBL 科目」の課題と出口を見据えたキャリアパスに通じる選択科目を配置する。また、先端的技術や方法論を用いた先端研究分野の調査研究などに関して、研究室の枠を超えて学生により提案された課題に取り組む演習や、企業が行う研究テーマを提示したインターンシップに参加して「ものつくり」の精神を学ぶ実習からなるプロジェクト実習を配置する。

④ PBL 科目

“先端科学技術科目群”の履修の集大成として、他分野や他研究室の学生と協働して先端科学技術の問題の発見と、それを解決する能力を育成するため PBL（Project Based Learning）形式で行う「PBL 科目」を必修科目として配置する。「PBL 科目」を通じて、自身の専門分野の裾野を広げるのみならず、専門の異なる研究者・技術者が協力して融合分野を開拓する際に必要となる異分野間コミュニケーション能力や挑戦性を育成する。

「基盤科目」及び「専門科目」のうち、教育プログラム毎に、その特徴的な専門知識を学ぶのに必要なコアとなる科目（コア科目）を、必修又は選択必修科目として指定する。（コア科目については、本書「第４章 履修手続き」の「４－４．修了要件」の頁を参照のこと。）

◇研究活動科目群

幅広い基礎概念を理解した上で、特定の科学的・技術的問題の解決に専門知識を応用する

能力を育成するため、各学生が取り組む個々の修士論文研究に直接関わる授業として以下の科目を配置する。

- ゼミナールⅠ、Ⅱ
  自他の修士論文研究の成果や論文調査結果の発表と討論を通じて自身の研究を深めるとともに、プレゼンテーションとディスカッションの能力を育成する。
- コロキアムA、B
  外部講師による日々進歩し続ける最先端科学技術分野に関する講演を聴講し討論することで、自身の研究の進展の刺激とする。
- 研究実験Ⅰ、Ⅱ
  先端科学研究の原理と方法論を学ぶとともに研究計画の立案能力を育成する。
- 研究論文
  博士前期課程の教育の集大成として、自身の研究実験で得られたデータの中から、新規性、有用性、実用性のある結論を抽出する能力、抽出された結論から新たな課題を展開する能力、研究の背景やプロセス及び結論を科学論文や報告書として論理的に記述する能力を育成する。

◇その他の教育

① 研究の実施に関わる教育等

研究を安全かつ法に従い遂行するために、研究倫理講習会、遺伝子組換え実験講習会、RI・X線安全講習会と実習、動物実験講習会、情報ネットワークガイダンス、情報セキュリティ講習・訓練、化学薬品取扱い講習の講習・実習を、入学直後あるいは研究室配属後に実施する。また、心身の健康管理を学ぶ、「メンタル・フィジカルヘルス講習会」を実施する。

② キャリア教育

社会からの要請を踏まえた自己キャリアビジョンを構築し実践する能力を強化するため、企業や公的研究機関等とも連携して、社会の多様な場での活躍を見据えたキャリア教育を実施する。社会における修士課程修了者の働き方を考える研修会、ジョブマッチングを考えるための就職セミナー、企業のトップ、イノベーションを担った技術者、本学修了生あるいはベンチャー企業の起業者の経験をキャリアパスに生かす講演会などを開催する。

［博士前期課程における教育課程の概念図］



２－４．博士後期課程の教育課程

博士後期課程には、以下の科目群を配置する。

◇研究者の素養を養う科目群

国際性、国際コミュニケーション能力を育成するため、以下の科目を配置する。

- 英語上級 A～E
  学内で行われる講義により科学技術研究に関する英語論文の作成法と海外の研究者との高度な国際コミュニケーションの方法を学ぶ。
- 海外英語研修Ⅰ～Ⅲ
  海外での英語研修を行う。
- 国際研修Ⅰ～Ⅲ
  国際的な会議や海外の研究室などで研究成果の発表と討論を行う。
- 研究留学Ⅰ～Ⅲ
  海外企業での研究インターンシップや海外の大学等への研究留学を行う。

挑戦性、プロジェクト企画力、課題発見力、知識や研究手法の融合能力、研究推進力を育成するため、以下の科目を配置する。

- 国際ワークショップ企画演習
  国際ワークショップの提案、開催、運営、管理を体験する。
- プロジェクトマネジメントⅠ～Ⅲ
  研究課題の提案・研究費マネジメント、研究プロジェクトの運営と推進方法、多様な知識と技法を融合しての問題解決法を学内外の場で学ぶ。

先端専門知識を学ぶため、以下の科目を配置する。

- 情報理工学特別講義、情報生命科学特別講義、バイオサイエンス特別講義、バイオナノ理工学特別講義、物質理工学特別講義、知能社会創成科学特別講義、データサイエンス特別講義
  博士前期課程における７つの教育プログラムに対応した分野の最新で質の高い研究を主に集中講義で学ぶ。

挑戦性、研究マネジメント能力、社会連携・俯瞰力、キャリアパス構想力を育成するため、以下の科目を配置する。

- イノベーションマネジメント A、B
  イノベーションを国際的に展開するために必要とされる知的財産に関する知識や科学技術倫理、異文化の理解力を学ぶ。
- キャリアマネジメント A、B
  アカデミアのみならずノンアカデミアを含む多様なキャリアパスに必要な能力を育成するために、教授法の指導や教育力の育成、トランスファラブルスキルの涵養、起業のための知識を学ぶ。

「研究留学」の履修を、すべての学生に推奨し、国際性、国際コミュニケーション能力を養う。また、学内外、国内外での教育研究の機会を広く持つことにより、多様な研究活動の場を通じて研鑽を積むことを目指す。

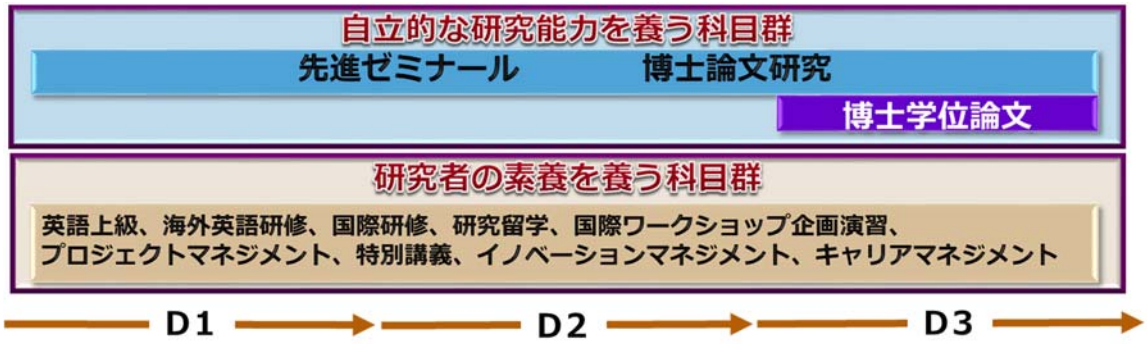
◇自立的な研究能力を養う科目群

- 先進ゼミナール
  研究課題進捗状況を報告し討論する演習であり、博士前期課程における７つの教育プログラム毎に行うことで、幅広い視野からの研究指導を行うとともに、ディスカッションやプレゼンテーションの能力を養う。
- 博士論文研究 I～VI
  博士論文執筆に必要な研究活動を通じ、自立して研究活動を行う能力と課題の設定力及び創造性を育成する。

◇その他の教育

研究の実施に関わる教育等は、博士前期課程と同様に実施する。

［博士後期課程における教育課程の概念図］



第３章　入学当初学生ガイド

■第３章　入学当初学生ガイド
３－１．研究室配属から教育プログラム選択まで【博士前期課程】

時期	2019年	行事等	内容
4月上旬～中旬	4月2日(火)	新入生オリエンテーション PC／デスク割当 研究室配属 教育プログラム キャリア支援 学生生活　など	NAISTでの活動を円滑にスタートすることが出来るように教育課程、研究活動、奨学支援や学生生活等の内容を把握します。
	4月3日(水)	TOEIC-IPテスト 新入生全員が対象	入学時の英語能力を理解し今後の英語学習に対し目標を持って取り組みます。なお、このテストの結果は物質創成科学領域の研究室配属にも考慮されるものです。
	4月5日(金)～4月18日(木)	履修登録 (序論科目、物質科学解析)	すべての序論科目（7科目：4/9(火)ー5/8(水)で開講）を登録し、受講することを推奨します。少なくとも修了要件に必要となる３科目（３単位）以上は登録してください。
	4月3日(水)～4月5日(金)	研究室紹介 研究室が所属する領域別に3日間実施	興味のある研究室が取り組んでいる内容などの説明を聞き、配属を希望する研究室を検討します。
	4月3日(水)～4月22日(月)	研究室訪問 研究室毎の説明会に参加したり、オフィスアワーを利用したり、或いは、研究室とメールでアポイントを取ることにより随時実施	研究室紹介で興味を持った研究室を直接訪ねて、研究室の更に詳しい内容や自身の研究目標など教授等の研究室責任者と直接話をする機会です。また、研究室の先輩方と情報交換できる機会でもあります。
	4月9日(火)～5月8日(火)	序論科目の受講	先端科学技術の世界的な潮流と方向性を広く理解したうえで、どの教育プログラムを選択するのか理解を深めるために7科目の「序論科目」を受講します（各1単位×７科目＝7単位）。このうち３単位取得していることが修了要件の一つとなります。
	4月10日(水) 15：10～16：40	基礎学力テスト バイオサイエンス区分の入試を経て入学した学生は必須	バイサイエンス区分の入試を経て入学した学生は、全員が受験しなければなりません。なお、このテストの結果はバイオサイエンス領域の研究室配属に考慮されます。
	4月12日(金) 15：30まで	研究室配属希望調査１回目	研究室紹介等を踏まえて、この時点で配属を希望する研究室を第３希望まで登録します。また、５年一貫コース（博士後期課程への進学）の希望の有無も併せて登録します。

時期	2019年	行事等	内容
4月中旬～下旬	4月12日(金) 15：30まで	領域移動（※）可否審査申請書提出 希望研究室の「事前面談証明書」必須	**（※）受験時の入試区分以外の領域に所属する研究室へ配属**を希望する場合は、希望研究室の教授又は准教授と事前に面談を受けて「事前面談証明書」とともに提出します。
	4月15日(月) 午後	研究室配属希望調査１回目の結果発表 WEBで公表	研究室ごとに第1希望者の人数から第3希望の人数まで公表されるので、研究室配属希望調査２回目の参考にします。
		領域移動可否審査日程の通知 メールで通知	領域移動可否審査申請の申請者に個別に通知されます。
	4月16日(火) 13:30まで	５年一貫コース（※）申請書提出	希望者のみ申請書を提出します。 （※）本書「第４章 履修手続き」の「４－５．５年一貫コースについて」の頁を参照のこと。
	4月16日(火) 15:10～（4限目以降）	領域移動可否審査	面接が行われます。
	4月17日(水) 午後	領域移動可否審査結果通知 メールで通知	申請者に個別に通知されます。
	4月18日(木) 15：30まで	研究室配属希望調査２回目	研究室訪問等を踏まえて、この時点で配属を希望する研究室を第３希望まで登録します。また、５年一貫コース（博士後期課程への進学）の希望の有無も併せて登録します。
	4月19日(金) 午後	研究室配属希望調査２回目の結果発表 WEBで公表	研究室ごとの希望数とともに、各研究室の定員が公表されるので、研究室配属最終希望調査の参考にします。
		５年一貫コース申請の結果通知 メールで通知	５年一貫コースの申請結果が申請者に個別に通知されます。
	4月23日(火) 15：30まで	研究室配属最終希望調査	研究室訪問や領域移動可否審査の結果を踏まえて、第５希望まで登録します。
	4月24日（水）以降	研究室配属内定結果の発表 WEBで公表 メールで通知	研究室配属の調整状況に合わせて配属内定次第、配属研究室が公表されます。
	4月24日(水) から随時	教育プログラムの選択	研究室に配属内定された学生から順次指導教員と相談して教育プログラムを決めていきます。

時期	2019年	行事等	内容
４月下旬～５月	4月22日(月)～5月15日(水) 5月29日(水)～6月11日(月)	履修登録 （基盤科目） （一般科目、専門科目、PBL科目）	選択した教育プログラムを踏まえ、履修登録を行います。

＊上記日程は予定です。進捗や調整状況により変更される場合があります。

［その他の講習会等］

＊4/8(月)　1・2限　情報ネットワークガイダンス、安全教育（全新入生）

＊4/8(月)　3・4限　第1回RI・X線習会（該当学生：RI・X線を使用した実験への従事可能性がある場合）

＊4/9(火)　5限　　研究倫理教育講習会（全新入生）

＊4/16(火)　4・5限　遺伝子組換え生物等実験に関する講習会（該当学生：遺伝子組換え生物等実験への従事可能性がある場合）

＊5/22(水)　4限　　英語授業のガイダンス（該当者のみ）

＊その他、奨学金申請や授業料免除申請等の手続きについては、新入生オリエンテーションで説明しますので、必ず出席してください。

３－２．研究室配属から教育プログラム選択まで【博士後期課程】

時期	2019年	行事等	内容
4月	4月3日(水)	TOEIC-IPテスト 新入生全員が対象	入学時の英語能力を理解し今後の英語学習に対し目標を持って取り組みます。
	4月5日(金)	新入生オリエンテーション	NAISTでの活動を円滑にスタートすることが出来るように教育課程、研究活動、奨学支援や学生生活等の内容を把握します。
	随時	教育プログラムの選択	研究室に配属された学生から指導教員と相談して教育プログラムを決めていきます。

＊上記日程は予定です。進捗や調整状況により変更される場合があります。

［その他の講習会等］

＊4/8(月)　1・2限　情報ネットワークガイダンス、安全教育（全新入生）

＊4/8(月)　3・4限　第1回RI・X線習会（該当学生：RI・X線を使用した実験への従事可能性がある場合）

＊4/9(火)　5限　　研究倫理教育講習会（全新入生）

＊4/16(火)　4・5限　遺伝子組換え生物等実験に関する講習会（該当学生：遺伝子組換え生物等実験への従事可能性がある場合）

＊5/22(水)　4限　　英語授業のガイダンス（該当者のみ）

＊その他、奨学金申請や授業料免除申請等の手続きについては、新入生オリエンテーションで説明しますので、必ず出席してください。

第４章　履修手続（履修規程を含む）

■第４章　履修手続

授業科目の履修については、指導教員とよく相談して各期に履修計画を立ててください。

履修登録の対象となる課程は、博士前期課程のみです。博士前期課程では、研究活動科目群以外の科目群に属する授業科目については、原則として履修登録の対象となります。ただし、集中講義、他の大学院等と連携して行う教育プログラム及び履修証明を行うプログラムの授業科目については、この限りではありません。

４－１．履修登録

履修登録は、履修登録システムにより、下表に記載の履修登録期間中のみ行うことができます。この期間中は、新規登録以外に登録変更や取消もできます。この期間中に履修登録をしていない授業科目は成績評価を受けることはできません。

［2019 年度履修登録期間］

カリキュラム学期（授業期間）	履修登録期間	対象科目
Ⅰ期（4/9～6/4）	4/ 5（金）～ 4/18（木）	序論科目（春）、物質科学解析
	4/22（月）～ 5/15（水）	基盤科目
Ⅱ期（6/5～9/30）	5/29（水）～ 6/18（火）	一般科目、専門科目、PBL 科目
	8/26（月）～ 9/ 6（金）	一般科目（9 月開講科目） 専門科目（9 月開講科目）
Ⅲ期（10/4～12/6）	9/27（金）～ 10/24（木）	一般科目、専門科目 序論科目（秋）、基盤科目（秋） PBL 科目（秋入学学生）
Ⅳ期（12/9～3/3）	12/2（月）～ 12/20（金）	一般科目、専門科目

［履修取消可能期間］

履修登録期間とは別に、授業科目（クラス）毎に履修取消可能期間を設けます。履修取消を希望する場合は、履修取消可能期間内であれば、履修登録を取り消すことができますが、履修登録期間を経過している場合は新規登録や登録変更はできません。

履修取消可能期間　：　２コマ目の開講日まで

※履修登録期間中に全授業回のうち、2/3 以上の回が終了する授業科目については、2/3 に達する日までが履修登録・変更・取消を認める期間となります。

授業時間が重複している授業科目の履修登録は、原則として認めません。また、他大学院の授業科目の履修等については、事前に別の手続きを課すことがあります。

履修登録期間前には電子メールで履修登録期間を通知します。履修登録に関する通知

メールの確認を怠ったために、不利益が生じることがないよう各自で十分注意してください。

＊履修登録システムについて

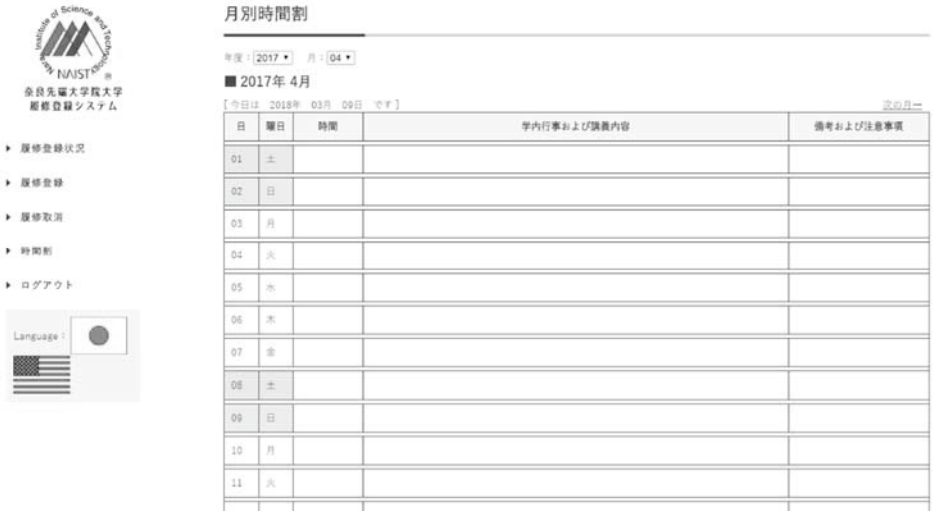
履修登録システムでの履修登録方法は、本学のホームページに掲載している「履修登録システムマニュアル」を参照してください。システムの使い方をよく理解し、履修登録等に不備がないようにしてください。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　教育支援システム　→　ログイン画面へ（履修登録システム）＞＞









〇履修登録に係る申立てについて

休学、病気欠席等のやむを得ない事由により履修登録の取消又は追加が必要となった場合には、遅滞なく「履修登録に係る申立書」（以下、「申立書」という。）を教育支援課学務係に提出してください。なお、申立書は、事由が生じた時点で提出し、遅くとも当該授業科目の成績が通知された日から１ヶ月以内に提出しなければなりません。

研究科教務委員会は申立ての内容及び理由に妥当性があるかを検討し、必要に応じて、当該学生の主指導教員又は申立て内容に係る授業責任教員に申立書の内容について確認します。申立ての回答結果については文書で申立てた学生及び当該学生の主指導教員に伝達します。

〇入学前の既修得単位の認定について

教授会において教育上有益と認めるときは、１０単位を超えない範囲で入学前の他の大学院での既修得単位を認定することができます。認定を願い出る者は次の書類を添えて教育支援課学務係まで願い出てください。

（１）入学前の既修得単位認定願出書（教育支援課にあります。）
（２）単位を修得した大学院の単位修得・成績証明書
（３）認定を希望する授業科目の講義内容が説明できる書類（講義概要等の写）

※願出手続き等の日時については，掲示等により連絡しますので注意してください。詳しくは教育支援課学務係までお問い合わせください。

〇他の大学院との間における授業交流について

本学は、以下の大学院、研究科と授業交流を実施しています（他の大学院等と連携して行う教育プログラムについては掲載省略）。

・大阪大学大学院工学研究科　・大阪大学大学院基礎工学研究科
・奈良女子大学大学院人間文化研究科

他の大学院の授業科目を履修することについて、履修希望者は次の事項を熟読の上、所

定の手続きをとってください。詳細については教育支援課学務係に照会してください。

（１）履修方法等について

① 履修希望学生は、所定の履修願及び理由書を提出してください。

② 履修総単位数は、博士前期課程において、１０単位以下とします。

③ 履修科目の範囲は、原則として講義のみとし、演習、実習、実験、研究等は含みません。

④ 授業科目によっては、相手先大学院研究科の授業収容人数その他の都合により、履修が許可されないことがあります。

（２）単位の認定について

当該授業科目を履修する前に、本研究科教授会で修了に必要な単位として認められた場合は、相手先大学院研究科で修得した単位は，本研究科所定の単位に認定します。

（３）履修願及び理由書取扱期間

詳しい日程は、各大学により取扱いが異なりますので、後日掲示等にて連絡します。

（４）履修願及び理由書提出手続

① 履修願及び理由書の用紙は、教育支援課学務係で交付します。

② 履修希望学生は、相手大学院研究科の講義内容及び開講時期等を参考に履修科目を選定し、指導教員の承認（承認印を必要とする）を得て、履修願及び理由書を教育支援課学務係に提出してください。

○他の大学院等における研究指導について

他の大学院や研究所等において研究指導を受けることが教育上有益であると認められた場合には、該当する他の大学院等と協議の上、他の大学院等において必要な研究指導を受けることができます。研究指導を受けられる期間は、博士前期課程、博士後期課程ともそれぞれ通算して１年以内ですが、博士後期課程については、期間の延長を認められることがあります。他の大学院等における研究指導を希望される場合は、事前に指導教員と相談の上、指導を受ける予定月の２ヶ月前までに教育支援課学務係に連絡してください。

○教育職員免許状について

[中学校・高等学校教諭専修免許状（理科）]

[高等学校教諭専修免許状（情報）]

すでに中学校教諭専修免許状（理科）、高等学校教諭一種免許状（理科）又は高等学校教諭一種免許状（情報）を有する者（免許状申請に必要な単位取得者を含む）は、本学の博士前期課程を修了する時に次に掲げる「教科及び教科の指導法に関する科目」を２４単位修得していれば当該校種の専修免許状（理科）又は専修免許状（情報）を取得することができます。

奈良県教育委員会への申請は、教育支援課学務係が一括して行います。１０月頃に申請予定者を照会後、手続き等の詳細については１月頃に電子メール等で通知します。

［中学校・高等学校教諭専修免許状（理科）］

区分	授　業　科　目　名
序論科目	バイオサイエンス序論　物質理工学序論
基盤科目	細胞生物学　分子生物学　細胞膜と物質輸送　細胞の情報伝達　微生物科学 植物科学　バイオメディカルサイエンス　細胞骨格と細胞周期　遺伝学と幹細胞 量子力学　物質物理学　物質化学　物理化学　現代固体物理学 現代半導体物性　有機反応化学　反応解析化学　生体材料化学
専門科目	応用生命科学・微生物科学　応用生命科学・植物科学 応用生命科学・バイオメディカル　バイオサイエンスの産業展開Ⅰ バイオサイエンスの産業展開Ⅱ　発生生物学特別講義 バイオサイエンスの先端技法　植物発生生理学　動物発生学　薬理・病態生化学 免疫学　ゲノム・がん生物学　生物間相互作用学 バイオサイエンスにおけるビッグデータ　電子原子物性特論　フォトニクス特論 光・情報素子工学特論　量子情報・エネルギー材料特論　生体分子科学特論 精密有機・高分子合成特論　分子フォトサイエンス特論　高分子化学特論 マテリアルインフォマティクス特論　物質科学技術特論　半導体材料 光電子工学　有機・高分子化学
PBL科目	バイオサイエンスＰＢＬⅠ　バイオサイエンスＰＢＬⅡ 物質理工学ＰＢＬⅠ　物質理工学ＰＢＬⅡ

以上の授業科目から、２４単位を修得すること

［高等学校教諭専修免許状（情報）］

区分	授　業　科　目　名
序論科目	情報理工学序論
基盤科目	形式言語理論　信号処理論　応用解析学　機械学習概論　光学 高性能計算基盤　ソフトウェア設計論

専門科目	分散コンピューティング論　アルゴリズム設計論　ユビキタスシステム モバイルコンピューティング論　仮想化システム基盤　ソフトウェア工学 インターネット工学　コンピュータ・ネットワーク　自然言語処理 バーチャルリアリティ　コンピュータビジョン　コンピュータグラフィックス 無線通信システム　信号検出理論　社会システム理論　モデルベース制御 人間ロボット情報学　数理モデル論　システムズバイオロジ　生体医用画像解析 生体医用メディア情報学　音情報処理　系列データモデリング　ロボティクス 現代情報セキュリティ論　情報理論　ハードウェアセキュリティ　符号理論 確率過程論　計算神経科学　最適化数学　データ解析

以上の授業科目から、２４単位を修得すること

〇交通機関運休及び気象警報発令の場合の授業の取扱いについて

・交通機関運休の場合

大規模な災害、事故等の発生により、通学路線のうち「近鉄電車（けいはんな線、奈良線、京都線）」あるいは「奈良交通バス（学研北生駒駅、学園前駅、高の原駅路線）」が運休した場合、授業は休講とします。

なお、運休が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

・気象警報発令の場合

奈良市・生駒市のいずれか又はこれらの市を含む地域に「暴風警報（又は暴風雪警報）」又は「特別警報」が発令された場合、授業は休講とします。

なお、同警報が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

運休及び警報解除時刻	授業の取扱い
午前７時以前に解除された場合	全日授業実施
午前１０時以前に解除された場合	午後授業実施
午前１０時を経過しても解除されない場合	全日授業休講

（注）運休（運行）及び発令（解除）の確認は、テレビ・インターネット等の報道によります。

「特別警報とは」
特別警報が発表された地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。居住地や通学経路において、特別警報が発令された場合は、周囲の状況や市町村から発表される避難指示・避難警告などの情報に留意し、ただちに命を守る行動をとってください。

交通機関の運休が事前に予定されるなど、通学に重大な支障が生じることが予測される場合、学内協議の上で授業の休講を決定する場合があります。

休講の場合は、授業責任教員により、該当学生に対して原則として補講が行われます。ただし、授業責任教員の判断で該当学生に対して当該授業に相当する学修を課すことをもって補講に替えることがあります。

〇感染症に罹患した場合の出席停止の取扱い

医師による診断の結果、感染症（インフルエンザ等）に罹患している場合、学校保健安全法第 19 条に規定する出席停止となります。出席停止に該当する学生は、所属研究室の長に必要情報（学籍番号、氏名、メールアドレス等）を連絡してください。

［参考：出席停止期間（一例、比較的症頻度が高いと思われるもののみ）］

対象疾病	出席停止の期間の基準（※）
インフルエンザ	発症した後５日を経過し、かつ、解熱した後２日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は５日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻しん	解熱した後３日を経過するまで
流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後５日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風しん	発しんが消失するまで

※上記の出席停止の期間は、学校保健安全法関係法令の定めによる基準であり、通学の再開にあたっては、個別に医師に相談してください。

出席停止の場合は、授業責任教員により、該当学生に対して原則として当該授業に相当する学修が課されます。

また、感染の拡大を防止するために本学が休業する場合は、授業責任教員により、該当学生に対して原則として補講が行われます。ただし、授業責任教員の判断で該当学生に対して当該授業に相当する学修を課すことをもって補講に替えることがあります。

〇公欠の対象範囲について

以下に該当する場合で授業を欠席するときは、授業責任教員の判断で公欠として取扱うことができるものとします。

１）２親等以内の親族の死亡に伴い必要と認められる行事のために通学できない場合

２）裁判員制度に基づき裁判所に出頭する場合その他証人、参考人等として裁判所その他官公署へ出頭するために通学できない場合

３）骨髄移植のために骨髄液等の提供を行うために必要と認められる検査等のために通学できない場合

公欠の取扱いを希望する学生は、授業責任教員に相談してください。

公欠として取扱うと判断された場合は、授業責任教員から当該授業に相当する学修が課されます。

〇公欠以外の理由での欠席の取扱いについて

公欠に該当しない理由で欠席を希望する学生は、欠席の理由を示したうえで授業責任教員に相談してください。

成績評価に当たって授業責任教員が何らかの考慮を行うと判断した場合は、授業責任教員により、該当学生に対して当該授業に相当する学修が課されます。

〇公欠及び成績考慮を行う欠席の制限について

授業科目ごとに、公欠及び成績考慮を行う欠席として取扱いできる回数は、当該授業科目の授業回数の３分の１を超えることができないものとします。

４－２．履修規程

奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科履修規程

平成３０年３月２６日
規程第　　１　　号

（趣旨）
第１条　この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成１６年学則第１号。以下「学則」という。）第３４条の規定に基づき、先端科学技術研究科における学生の履修に関し必要な事項を定める。

（指導教員）
第２条　授業科目の履修指導及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）を行うため、学生１人ごとに研究室等が異なる２人以上の指導教員を定める。
２　指導教員のうち、１人を主指導教員とする。
３　学修上又は研究指導上必要がある場合は、指導教員を変更することができる。

（研究指導）
第３条　研究指導の内容は、学生１人ごとに定めるものとする。

（授業科目の区分等）
第４条　博士前期課程における授業科目の区分及び修了のために必要となる修得単位数は、別表第１のとおりとする。
２　博士後期課程における授業科目の区分及び修了のために必要となる修得単位数は、別表第２のとおりとする。
３　博士前期課程及び博士後期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別に定める。

（履修手続き）
第５条　学生は、主指導教員の指導に基づき、履修する授業科目を選ばなければならない。
２　同じ時間に開講される複数の授業科目を同時に履修することは、原則として認めない。

（履修の認定）
第６条　授業科目履修の認定は、試験又は研究報告により行う。ただし、平常の学修活動の評価をもって試験に代えることがある。
２　試験又は研究報告の成績は、１００点を満点とする点数によって評価し、６０点以上を合格、６０点未満を不合格とする。この場合において、次の各号に掲げる区分に応じて、当該各号に定める評語をもって表すことができる。
（１）９０点以上　　秀
（２）８０点以上　　優
（３）７０点以上　　良
（４）６０点以上　　可
（５）６０点未満　　不可

３　前項の点数をもって評価し難い場合は、合格又は不合格をもってこれに代えることができる。
４　前２項により合格とされたものには、所定の単位を与える。
５　既に単位を修得した授業科目については、再履修することはできない。

（研究指導の認定）
第７条　研究指導の認定は、主指導教員が行い、研究科長に報告するものとする。

（学位論文の題目）
第８条　学生は、学位論文の題目について主指導教員の承認を得て、指定する期日までに申告しなければならない。

（学位論文の提出）
第９条　学生は、学位論文について主指導教員の承認を得て、指定する期日までに提出しなければならない。
２　学位論文は、課程修了に必要な単位を修得した者又は修得見込みの者で、かつ、指導教員による必要な研究指導が修了した者でなければ提出することができない。

（授業料未納により除籍された者の単位の不認定）
第１０条　学則第５３条の２第４号の規定により除籍された者については、授業料未納期間に係る単位は認定しない。

（成績の指標）
第１１条　第６条第２項に規定する成績に基づき、一定期間又は累積期間に係る客観的な成績指標を算出し、評価することができる。

（雑則）
第１２条　この規程に定めるもののほか、学生の履修に関し必要な事項は、別に定める。

附　則
（施行期日）
１　この規程は、平成３０年４月１日から施行する。
（廃止）
２　奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科履修規程（平成１６年規程第２０号）、奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科履修規程（平成１６年規程第２１号）及び奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科履修規程（平成１６年規程第２２号）（以下「旧規程」という。）は、廃止する。
（経過措置）
３　平成２９年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）の履修については、旧規程は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

別表第１（第４条２項関係）

授業科目の区分		必要修得単位数
大区分	小区分	
一般科目群	―	４
先端科学技術科目群	序論科目	３
	基盤科目	１２
	専門科目	
	ＰＢＬ科目	２
研究活動科目群	―	９
合　　計		３０

別表第２（第４条２項関係）

授業科目の区分	必要修得単位数
研究者の素養を養う科目群	３
自立的な研究能力を養う科目群	７
合　　計	１０

奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科履修細則

平成３０年３月２７日
細則第　　１　　号

（趣旨）

第１条　この細則は、奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科履修規程（平成３０年規程第１号。以下「履修規程」という。）第４条第３項の規定に基づき、授業科目、単位数及び履修方法に関し必要な事項を定める。

（授業科目等）

第２条　博士前期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第１のとおりとする。

２　博士後期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第２のとおりとする。

附　則

この細則は、平成３０年４月１日から施行する。

附　則

この細則は、平成３０年６月１４日から施行し、平成３０年４月１日から適用する。

附　則

（施行期日）

１　この細則は、平成３１年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　平成３１年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の別表第１及び別表第２の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの細則の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

別表第１（第２条第１項関係）

先端科学技術研究科教育課程表

（１）授業科目名等　　（博士前期課程）

大区分	小区分	授業科目名	授業番号	単位数	修了要件単位数	履修区分 教育プログラム 情報理工学	情報生命科学	バイオサイエンス	バイオナノ理工学	物質理工学	知能社会創成科学	データサイエンス	備考
一般科目群	－	技術と倫理	1001	1	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		科学哲学	1002	1		○	○	○	○	○	○	○	
		科学コミュニケーション	1003	1		○	○	○	○	○	○	○	
		知的財産権	1004	1		○	○	○	○	○	○	○	
		知的財産権演習	1019	1		○	○	○	○	○	○	○	
		グローバルアントレプレナーⅠ	1005	1		○	○	○	○	○	○	○	
		グローバルアントレプレナーⅡ	1006	1		○	○	○	○	○	○	○	
		グローバルアントレプレナーⅢ	1007	1		○	○	○	○	○	○	○	
		グローバルアントレプレナーⅣ	1008	1		○	○	○	○	○	○	○	
		グローバルアントレプレナーⅤ	1009	1		○	○	○	○	○	○	○	
		プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	1010	1		□	□	□	□	□	□	□	選択必修６科目から２科目を選択
		プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	1011	1		□	□	□	□	□	□	□	
		アカデミックディスカッション	1012	1		□	□	□	□	□	□	□	
		リサーチプレゼンテーション	1013	1		□	□	□	□	□	□	□	
		リサーチライティング	1014	1		□	□	□	□	□	□	□	
		アドバンスドリサーチライティング	1015	1		□	□	□	□	□	□	□	
		日本文化	1016	2		○	○	○	○	○	○	○	留学生優先科目
		日本語Ⅰ	1017	2		△	△	△	△	△	△	△	留学生対象科目
		日本語Ⅱ	1018	2		△	△	△	△	△	△	△	同上
		日本語Ⅲ	1020	2		△	△	△	△	△	△	△	同上
		日本語Ⅳ	1021	2		△	△	△	△	△	△	△	同上
		日本語Ⅴ	1022	2		△	△	△	△	△	△	△	同上
		アカデミックボランティアⅠ	1023	1		○	○	△	△	△	○	○	
		アカデミックボランティアⅡ	1024	1		○	○	△	△	△	○	○	
先端科学技術科目群	序論科目	情報理工学序論	2001	1	3	○	○	○	○	○	○	○	
		情報生命科学序論	2002	1		○	○	○	○	○	○	○	
		バイオサイエンス序論	2003	1		○	○	○	○	○	○	○	
		バイオナノ理工学序論	2004	1		○	○	○	○	○	○	○	
		物質理工学序論	2005	1		○	○	○	○	○	○	○	
		知能社会創成科学序論	2006	1		○	○	○	○	○	○	○	
		データサイエンス序論	2007	1		○	○	○	○	○	○	○	
	基盤科目及び専門科目から12	形式言語理論	3001	1		□C	△	△	△	△	○	○	
		プログラミング演習	3002	1		□C	○	△	△	△	○	○	
		信号処理論	3003	1		○	○	△	△	△	○	○	
		応用解析学	3004	1		○	○	△	△	△	○	○	
		データ工学基礎	3005	1		○	△	△	△	△	○	□C	
		機械学習概論	3006	1		○	△	△	△	△	○	□C	
		光学	3007	1		○	○	△	△	△	□C	○	
		高性能計算基盤	3008	1		□C	△	△	△	△	□C	○	
		ソフトウェア設計論	3009	1		□C	△	△	△	△	○	○	
		人工知能	3010	1		□C	△	△	△	△	○	○	
		細胞生物学	3011	1		△	○	○	○	△	△	○	
		分子生物学	3012	1		△	○	○	○	△	△	○	
		細胞膜と物質輸送	3013	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		細胞の情報伝達	3014	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		微生物科学	3015	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		植物科学	3016	1		△	○	□C うち、１科目	○	△	△	○	
		バイオメディカルサイエンス	3017	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		細胞骨格と細胞周期	3018	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		遺伝学と幹細胞	3019	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		遺伝子クローニングとDNA解析	3020	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		物質科学解析	3021	1		△	△	△	○	○	○	○	
		量子力学	3022	1		△	△	△	○	○	□C	○	
		物質物理学	3023	1		△	△	△	○	○	○	○	
		物質化学	3024	1		△	△	△	○	○	□C	○	
		物理化学	3025	1		△	△	△	○	○	○	○	
		現代固体物理学	3026	1		△	△	△	○	□C 組合せ科目	○	○	
		現代半導体物性	3027	1		△	△	△	○	□C 組合せ科目	○	○	
		有機反応化学	3028	1		△	△	△	○	□C 組合せ科目	○	○	
		反応解析化学	3029	1		△	△	△	□C	□C 組合せ科目	○	○	
		生体材料化学	3030	1		△	△	△	□C	□C	○	○	
	専門科目	分散コンピューティング論	4001	1		○	△	△	△	△	○	○	
		アルゴリズム設計論	4002	1		○	△	△	△	△	○	○	
		ユビキタスシステム	4003	1		○	○	△	△	△	□C	○	
		モバイルコンピューティング論	4004	1		○	△	△	△	△	○	○	
		仮想化システム基盤	4005	1		○	△	△	△	△	○	○	
		ソフトウェア工学	4006	1		○	△	△	△	△	○	○	
		インターネット工学	4007	1		○	△	△	△	△	○	○	
		コンピュータ・ネットワーク	4008	1		○	△	△	△	△	□C	○	
		環境知能	4009	1		○	△	△	△	△	○	○	
		自然言語処理	4010	1		○	○	△	△	△	○	○	
		バーチャルリアリティ	4011	1		○	△	△	△	△	□C	○	
		コンピュータビジョン	4012	1		○	△	△	△	△	○	○	
		コンピュータグラフィックス	4013	1		○	△	△	△	△	○	○	
		メディア情報処理	4014	1		○	△	△	△	△	○	○	
		無線通信システム	4015	1		○	○	△	△	△	□C	○	

大区分	小区分	授業科目名	授業番号	単位数	修了要件単位数	履修区分							備考
						教育プログラム							
						情報理工学	情報生命科学	バイオサイエンス	バイオナノ理工学	物質理工学	知能社会創成科学	データサイエンス	
先端科学技術科目群	専門科目	信号検出理論	4016	1	基盤科目及び専門科目から12	○	○	△	△	△	○	○	
		ヒューマンコンピュータインタラクション	4017	1		○	△	△	△	△	□C	○	
		パターン認識	4018	1		○	○	△	△	△	○	□C	
		社会システム理論	4019	1		○	△	△	△	△	○	○	
		機械学習と知能制御	4020	1		○	○	△	△	△	□C	○	
		モデルベース制御	4021	1		○	○	△	△	△	○	○	
		人間ロボット情報学	4022	1		○	○	△	△	△	○	○	
		数理モデル論	4023	1		○	○	△	△	△	□C	□C	
		システムズバイオロジ	4024	1		○	□C	○	△	△	○	□C	
		データマイニング	4025	1		○	○	○	○	○	○	□C	
		生体医用画像解析	4026	1		○	□C	△	△	△	○	□C	
		生体医用メディア情報学	4027	1		○	□C	△	△	△	○	○	
		データサイエンス論Ⅰ	4084	1		○	○	○	○	○	○	□C	
		データサイエンス論Ⅱ	4085	1		○	○	○	○	○	○	◎C	
		情報科学特別講義A	4029	1		○	○	△	△	△	○	○	
		情報科学特別講義B	4030	1		○	○	△	△	△	○	○	
		情報科学特別講義C	4031	1		○	○	△	△	△	○	○	
		情報科学特別講義D	4032	1		○	○	△	△	△	○	○	
		音情報処理	4033	1		○	△	△	△	△	○	○	
		系列データモデリング	4034	1		○	△	△	△	△	○	□C	
		ロボティクス	4035	1		○	○	△	△	△	□C	○	
		現代情報セキュリティ論	4036	1		○	○	△	△	△	○	○	
		情報理論	4037	1		○	○	△	△	△	○	○	
		ハードウェアセキュリティ	4038	1		○	△	△	△	△	□C	○	
		符号理論	4039	1		○	○	△	△	△	○	○	
		確率過程論	4040	1		○	△	△	△	△	○	○	
		計算神経科学	4041	1		○	○	△	△	△	○	○	
		情報セキュリティ運用リテラシーⅠ	4042	1		○	○	△	△	△	○	○	
		情報セキュリティ運用リテラシーⅡ	4043	1		○	○	△	△	△	○	○	
		情報セキュリティ演習A	4044	1		○	○	△	△	△	○	○	
		情報セキュリティ演習B	4045	1		○	○	△	△	△	○	○	
		情報セキュリティ演習C	4046	1		○	○	△	△	△	○	○	
		最適化数学	4047	1		○	○	△	△	△	○	○	
		データ解析	4048	1		○	○	△	△	△	○	○	
		システム要求工学	4086	1		○	△	△	△	△	△	△	
		システム開発プロセス	4087	1		○	△	△	△	△	△	△	
		応用生命科学・微生物科学	4049	1		△	□C	○	□C	△	△	○	
		応用生命科学・植物科学	4050	1		△	□C うち、1科目	○	□C うち、1科目	△	△	○	
		応用生命科学・バイオメディカル	4051	1		△	□C	○	□C	△	△	○	
		アプライドライフサイエンス	4088	1		△	□C	○	□C	△	△	○	
		バイオサイエンスの産業展開Ⅰ	4052	1		△	□C	○	□C	△	△	○	
		バイオサイエンスの産業展開Ⅱ	4053	1		△	○	○	○	△	△	○	
		発生生物学特別講義	4054	1		△	○	○	○	△	△	○	
		バイオサイエンスの先端技法	4055	1		△	○	□C	○	△	△	□C	
		植物発生生理学	4056	1		△	○	○	○	△	△	○	
		動物発生学	4057	1		△	○	○	○	△	△	○	
		薬理・病態生化学	4058	1		△	○	○	○	△	△	○	
		免疫学	4059	1		△	○	○	○	△	△	○	
		ゲノム・がん生物学	4060	1		△	○	○	○	△	△	○	
		生物間相互作用学	4061	1		△	○	○	○	△	△	○	
		国際バイオ特論A	4062	1		△	○	○	○	△	△	○	
		国際バイオ特論B	4063	1		△	○	○	○	△	△	○	
		バイオサイエンスにおけるビッグデータ	4064	1		○	○	○	○	○	○	□C	
		バイオサイエンスにおける先進トピックス	4065	1		△	○	○	○	△	△	○	
		科学的発見の思考法	4089	1		△	○	○	○	△	△	○	
		半導体材料	4080	1		△	△	△	○	□C	□C	○	
		光電子工学	4081	1		△	△	△	○	□C	○	○	
		有機・高分子化学	4082	1		△	△	△	○	□C	○	○	
		電子原子物性特論	4066	1		△	△	△	○	○	○	○	
		フォトニクス特論	4067	1		△	△	△	○	○	○	○	
		光・情報素子工学特論	4068	1		△	△	△	○	○	○	□C	
		量子情報・エネルギー材料特論	4069	1		△	△	△	○	○	○	○	
		生体分子科学特論	4070	1		△	△	△	□C	○	△	○	
		精密有機・高分子合成特論	4071	1		△	△	△	○	○	△	○	
		分子フォトサイエンス特論	4072	1		△	△	△	○	○	△	○	
		高分子化学特論	4073	1		△	△	△	○	○	△	○	
		マテリアルインフォマティクス特論	4074	1		○	○	○	○	○	□C	□C	
		物質科学技術特論	4075	1		△	△	△	○	○	○	○	
		物質科学特論A	4076	1		△	△	△	○	○	○	○	
		物質科学特論B	4077	1		△	△	△	○	○	○	○	
		物質科学特論C	4078	1		△	△	△	○	○	○	○	
		物質科学特論D	4079	1		△	△	△	○	○	○	○	
		プロジェクト実習	4083	1		○	○	○	○	○	○	○	

大区分	小区分	授業科目名	授業番号	単位数	修了要件単位数	履修区分 教育プログラム 情報理工学	情報生命科学	バイオサイエンス	バイオナノ理工学	物質理工学	知能社会創成科学	データサイエンス	備考
先端科学技術科目群	PBL科目	情報理工学ＰＢＬⅠ	5001	1	2	◎							選択した教育プログラムにかかるPBL科目のみ履修可能
		情報理工学ＰＢＬⅡ	5002	1		◎							
		情報生命科学ＰＢＬⅠ	5003	1			◎						
		情報生命科学ＰＢＬⅡ	5004	1			◎						
		バイオサイエンスＰＢＬⅠ	5005	1				◎					
		バイオサイエンスＰＢＬⅡ	5006	1				◎					
		バイオナノ理工学ＰＢＬⅠ	5007	1					◎				
		バイオナノ理工学ＰＢＬⅡ	5008	1					◎				
		物質理工学ＰＢＬⅠ	5009	1						◎			
		物質理工学ＰＢＬⅡ	5010	1						◎			
		知能社会創成科学ＰＢＬⅠ	5011	1							◎		
		知能社会創成科学ＰＢＬⅡ	5012	1							◎		
		データサイエンスＰＢＬⅠ	5013	1								◎	
		データサイエンスＰＢＬⅡ	5014	1								◎	
研究活動科目群	－	ゼミナールⅠ	6001	1	9	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		ゼミナールⅡ	6002	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		コロキアムA	6003	1		◎	□	□	□	□	□	□	
		コロキアムB	6004	1		◎	□	□	□	□	□	□	
		研究実験Ⅰ	6005	2			□	□	□	□	□	□	
		研究実験Ⅱ	6006	2			□	□	□	□	□	□	
		研究論文	6007	5		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
修了要件単位数					30								

履修区分欄の◎は必修科目を、□は選択必修科目を、○は選択科目を、△は自由科目（修了に必要な単位としては不算入）を示す。また、Cはプログラム毎のコア科目を示す。

（２）履修方法

ア　授業科目のうち、一般科目群から４単位以上、序論科目から３単位以上、基盤科目及び専門科目から１２単位以上、PBL科目から２単位以上及び研究活動科目群から９単位以上の計３０単位以上履修すること。

イ　基盤科目のうち、出身学部・学科のカリキュラムから既習と判断できる科目は、当該学生が修了に必要な単位としては算入しない場合がある。

ウ　上記アの基盤科目及び専門科目から１２単位以上のなかには、下記の教育プログラム毎の履修方法によるコア科目の履修単位が含まれる必要があるため留意すること。

・　情報理工学プログラムでは、コア科目である「形式言語理論」、「プログラミング演習」、「高性能計算基盤」、「ソフトウェア設計論」及び「人工知能」から２科目以上を履修すること。

・　情報生命科学プログラムでは、コア科目である「システムズバイオロジ」、「生体医用画像解析」、「生体医用メディア情報学」、「『応用生命科学・微生物科学、応用生命科学・植物科学、応用生命科学・バイオメディカル、アプライドライフサイエンス』のうちいずれか１科目」及び「バイオサイエンスの産業展開Ⅰ」から３科目以上を履修すること。

・　バイオサイエンスプログラムでは、コア科目である「細胞膜と物質輸送」、「細胞の情報伝達」、「『微生物科学、植物科学、バイオメディカルサイエンス』のうちいずれか１科目」、「細胞骨格と細胞周期」、「遺伝学と幹細胞」、「遺伝子クローニングとDNA解析」及び「バイオサイエンスの先端技法」から４科目以上を履修すること。

・　バイオナノ理工学プログラムでは、コア科目である「反応解析化学」、「生体材料化学」、「『応用生命科学・微生物科学、応用生命科学・植物科学、応用生命科学・バイオメディカル、アプライドライフサイエンス』のうちいずれか１科目」、「バイオサイエンスの産業展開Ⅰ」及び「生体分子科学特論」から３科目以上を履修すること。

・　物質理工学プログラムでは、コア科目である「『現代固体物理学、現代半導体物性』の組合せ」又は「『有機反応化学、反応解析化学』の組合せ」のうち、いずれかの組合せを選択履修すること。
加えて、同じくコア科目である「生体材料化学」、「半導体材料」、「光電子工学」及び「有機・高分子化学」から２科目以上を履修すること。

・　知能社会創成科学プログラムでは、下記（ⅰ）及び（ⅱ）のコア科目から３科目以上を履修すること。ただし、原則として、履修する科目は下記（ⅰ）及び（ⅱ）から、それぞれ少なくとも１科目以上を履修すること。

（ⅰ）「光学」、「高性能計算基盤」、「ユビキタスシステム」、「コンピュータ・ネットワーク」、「バーチャルリアリティ」、「無線通信システム」、「ヒューマンコンピュータインタラクション」、「機械学習と知能制御」、「数理モデル論」、「ロボティクス」、「ハードウェアセキュリティ」

（ⅱ）「量子力学」、「物質化学」、「半導体材料」、「マテリアルインフォマティクス特論」

・　データサイエンスプログラムでは、下記（ⅰ）～（ⅴ）の履修方法によりコア科目を履修すること。

（ⅰ）コア科目である「データ工学基礎」、「機械学習概論」、「パターン認識」、「数理モデル論」、「システムズバイオロジ」、「データマイニング」、「生体医用画像解析」、「データサイエンス論Ⅰ」、「データサイエンス論Ⅱ」、「系列データモデリング」、「バイオサイエンスの先端技法」、「バイオサイエンスにおけるビッグデータ」、「光・情報素子工学特論」及び「マテリアルインフォマティクス特論」から４科目以上を履修すること。

（ⅱ）（ⅰ）の科目のうちから「データサイエンス論Ⅱ」を必ず履修すること。

（ⅲ）（ⅰ）の科目のうちから「バイオサイエンスにおけるビッグデータ」又は「マテリアルインフォマティクス特論」のどちらかの科目を履修すること。

（ⅳ）（ⅰ）の科目のうちから、情報科学の教育課程を未修の学生は「データサイエンス論Ⅰ」を履修すること。

（ⅴ）（ⅰ）の科目のうちから、情報科学の教育課程を既修の学生は「データサイエンス論Ⅰ」以外の科目を履修すること。

（３）授業番号の見方

授業番号は、授業科目の区分等に基づく4桁の数字で構成される。
以下を参照の上、授業科目の履修を決める際の目安にすること。

1桁目：1XXX = 一般科目群（博士前期課程）
2XXX = 序論科目（博士前期課程）
3XXX = 基盤科目（博士前期課程）
4XXX = 専門科目（博士前期課程）
5XXX = PBL科目（博士前期課程）
6XXX = 研究活動科目群（博士前期課程）
7XXX = 研究者の素養を養う科目群（博士後期課程）
8XXX = 自立的な研究能力を養う科目群（博士後期課程）

2～4桁目：1桁目の区分毎の授業科目の識別番号を示す。
XXX = 001～999の番号

別表第２（第２条第２項関係）

先端科学技術研究科教育課程表

（１）授業科目名等　　（博士後期課程）

科目区分	授業科目名	授業番号	単位数	修了要件単位数	履修区分	備考
研究者の素養を養う科目群	英語上級A	7001	1	3	○	学内英語講義 博士前期課程で「アカデミックディスカッション」の単位を修得した者については「英語上級A」を、「リサーチプレゼンテーション」の単位を修得した者については「英語上級B」を、「リサーチライティング」の単位を修得した者については「英語上級C」を、「アドバンスドリサーチライティング」の単位を修得した者については「英語上級D」を新たに履修できない。
	英語上級B	7002	1		○	
	英語上級C	7003	1		○	
	英語上級D	7004	1		○	
	英語上級E	7029	1		○	
	海外英語研修Ⅰ	7005	2		○	海外での英語研修 （概ね3週間以上）
	海外英語研修Ⅱ	7006	2		○	
	海外英語研修Ⅲ	7007	2		○	
	国際研修Ⅰ	7008	1		○	国際会議での発表
	国際研修Ⅱ	7009	1		○	
	国際研修Ⅲ	7010	1		○	
	研究留学Ⅰ	7011	2		○	「研究留学Ⅰ」については、積極的な履修に努めること。 ・外国の研究所等でのインターンシップ（概ね3週間以上） ・外国の大学等での研修（概ね3週間以上） ・研究留学
	研究留学Ⅱ	7012	2		○	
	研究留学Ⅲ	7013	2		○	
	国際ワークショップ企画演習	7014	1		○	国際ワークショップの提案等
	プロジェクトマネジメントⅠ	7015	1		○	研究プロジェクトの運営等
	プロジェクトマネジメントⅡ	7016	1		○	
	プロジェクトマネジメントⅢ	7017	1		○	
	情報理工学特別講義	7018	1		○	特別講義 （博士前期課程における７つの教育プログラムに対応した特別講義）
	情報生命科学特別講義	7019	1		○	
	バイオサイエンス特別講義	7020	1		○	
	バイオナノ理工学特別講義	7021	1		○	
	物質理工学特別講義	7022	1		○	
	知能社会創成科学特別講義	7023	1		○	
	データサイエンス特別講義	7024	1		○	
	イノベーションマネジメントA	7025	1		○	「イノベーションマネジメントA」については、積極的な履修に努めること。 博士前期課程で「知的財産権演習」の単位を修得した者については「イノベーションマネジメントA」を新たに履修できない。
	イノベーションマネジメントB	7026	1		○	
	キャリアマネジメントA	7027	1		△	
	キャリアマネジメントB	7028	1		△	
自立的な研究能力を養う科目群	先進ゼミナール	8001	1	7	◎	研究進捗ヒアリング （中間発表会）
	博士論文研究Ⅰ	8002	3		○	（第1半期）
	博士論文研究Ⅱ	8003	3		○	（第2半期）
	博士論文研究Ⅲ	8004	3		○	（第3半期）
	博士論文研究Ⅳ	8005	3		○	（第4半期）
	博士論文研究Ⅴ	8006	3		○	（第5半期）
	博士論文研究Ⅵ	8007	3		○	（第6半期）
修了要件単位数				10		

履修区分欄の◎は必修科目を、□は選択必修科目を、○は選択科目を、△は自由科目（修了の要件となる単位としては不算入）を示す。

※　ダブル・ディグリー・プログラムにおける本学の授業科目名等についても上記のとおりとする。

（２）履修方法

授業科目のうち、科目区分の「研究者の素養を養う科目群」から３単位以上及び「自立的な研究能力を養う科目群」から７単位以上（修得単位として「先進ゼミナール」１単位を含むこと。）の計１０単位以上を履修すること。

（３）授業番号の見方

授業番号は、授業科目の水準・難易度等に基づく4桁の数字で構成される。
以下を参照の上、授業科目の履修を決める際の目安にすること。

1桁目：1XXX = 一般科目群（博士前期課程）
2XXX = 序論科目（博士前期課程）
3XXX = 基盤科目（博士前期課程）
4XXX = 専門科目（博士前期課程）
5XXX = PBL科目群（博士前期課程）
6XXX = 研究活動科目群（博士前期課程）
7XXX = 研究者の素養を養う科目群（博士後期課程）
8XXX = 自立的な研究能力を養う科目群（博士後期課程）

2～4桁目：1桁目の区分毎の授業科目の識別番号を示す。
XXX = 001～999の番号

４－３．研究倫理教育講習会の受講について

本学では、入学時に研究者として必要とされる最低限の研究倫理習得のため、新入生を対象とした本講習会を実施しています。（日英同時開講）

2019 年度研究倫理教育講習会の実施日程は、以下のとおりです。

春学期入学者　２０１９年　４月　９日（火）５時限目（16:50～18:20）
秋学期入学者　２０１９年１０月　３日（木）５時限目（16:50～18:20）

新入生は、この講習会を受講しなかった場合、以後の修学上、不利益が発生することがありますので、必ず受講してください。

４－４．修了要件

以下に示す要件を満たしていることが修了に必要となります。修了要件を満たしているか否かの確認は、指導教員と相談の上、各自責任を持って行ってください。

＜博士前期課程＞

博士前期課程に２年以上在学し、「一般科目群」から４単位以上、「先端科学技術科目群」の序論科目から３単位以上、基盤科目及び教育プログラム毎に指定する専門科目から合わせて１２単位以上（※）、教育プログラム毎に開設するＰＢＬ科目から２単位以上、「研究活動科目群」から９単位以上、合計３０単位以上を修得し（「研究倫理教育講習会」を受講し、合格することを含む）、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

（※）の履修においては、以下のとおり、教育プログラム毎に、その特徴的な専門知識を学ぶのに必要なコアとなる科目を、必修又は選択必修科目として指定する。

なお、個々の学生が選択した教育プログラム以外の他の教育プログラムにおいて指定する専門科目についても、自由科目として履修できる。

［教育プログラム毎のコア科目］

【情報理工学プログラム】 「形式言語理論」、「プログラミング演習」、「高性能計算基盤」、「ソフトウェア設計論」及び「人工知能」から２科目以上を履修すること。
【情報生命科学プログラム】 「システムズバイオロジ」、「生体医用画像解析」、「生体医用メディア情報学」、「『応用生命科学・微生物科学、応用生命科学・植物科学、応用生命科学・バイオメディカル、アプライドライフサイエンス』のうちいずれか１科目」及び「バイオサイエンスの産業展開Ⅰ」から３科目以上を履修すること。

【バイオサイエンスプログラム】

「細胞膜と物質輸送」、「細胞の情報伝達」、「『微生物科学、植物科学、バイオメディカルサイエンス』のうちいずれか１科目」、「細胞骨格と細胞周期」、「遺伝学と幹細胞」、「遺伝子クローニングと DNA 解析」及び「バイオサイエンスの先端技法」から４科目以上を履修すること。

【バイオナノ理工学プログラム】

「反応解析化学」、「生体材料化学」、「『応用生命科学・微生物科学、応用生命科学・植物科学、応用生命科学・バイオメディカル、アプライドライフサイエンス』のうちいずれか１科目」、「バイオサイエンスの産業展開Ⅰ」及び「生体分子科学特論」から３科目以上を履修すること。

【物質理工学プログラム】

「『現代固体物理学、現代半導体物性』の組合せ」又は「『有機反応化学、反応解析化学』の組合せ」のうち、いずれかの組合せを選択履修すること。加えて、同じく「生体材料化学」、「半導体材料」、「光電子工学」及び「有機・高分子化学」から２科目以上を履修すること。

【知能社会創成科学プログラム】

下記（ⅰ）及び（ⅱ）のコア科目から３科目以上を履修すること。ただし、原則として、履修する科目は下記（ⅰ）及び（ⅱ）から、それぞれ少なくとも１科目以上を履修すること。

（ⅰ）　「光学」、「高性能計算基盤」、「ユビキタスシステム」、「コンピュータ・ネットワーク」、「バーチャルリアリティ」、「無線通信システム」、　「ヒューマンコンピュータインタラクション」、「機械学習と知能制御」、　「数理モデル論」、「ロボティクス」、「ハードウェアセキュリティ」

（ⅱ）「量子力学」、「物質化学」、「半導体材料」、「マテリアルインフォマティクス特論」

【データサイエンスプログラム】

下記（ⅰ）～（ⅴ）の履修方法によりコア科目を履修すること。

（ⅰ）「データ工学基礎」、「機械学習概論」、「パターン認識」、「数理モデル論」、「システムズバイオロジ」、「データマイニング」、「生体医用画像解析」、「データサイエンス論Ⅰ」、「データサイエンス論Ⅱ」、「系列データモデリング」、「バイオサイエンスの先端技法」、「バイオサイエンスにおけるビッグデータ」、「光・情報素子工学特論」及び「マテリアルインフォマティクス特論」から４科目以上を履修すること。

（ⅱ）（ⅰ）の科目のうちから「データサイエンス論Ⅱ」を必ず履修すること。

（ⅲ）（ⅰ）の科目のうちから「バイオサイエンスにおけるビッグデータ」又は「マテリアルインフォマティクス特論」のどちらかの科目を履修すること。

（ⅳ）（ⅰ）の科目のうちから、情報科学の教育課程を未修の学生は「データサイエンス論Ⅰ」を履修すること。

（ⅴ）（ⅰ）の科目のうちから、情報科学の教育課程を既修の学生は「データサイエンス論Ⅰ」以外の科目を履修すること。

＜博士後期課程＞

博士後期課程に３年以上在学し、“研究者の素養を養う科目群”から３単位以上、“自立的な研究能力を養う科目群”から７単位以上、合計１０単位以上を修得し（「研究倫理教育講習会」を受講し、合格することを含む）、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

４－５．５年一貫コースについて

【概要】

博士前期・後期課程の標準修業年限（５年）内で一貫した博士研究指導（５年一貫コース）を行うことで、専門領域に関する深い学識、豊かな創造力及び国際的視野を有する人材の育成を行います。なお５年一貫コース学生には、研究指導体制の拡充や経済支援などを優先的に行い、博士課程の在籍学生として研究に専念できる指導体制を整えます。

【５年一貫コースの選択承認時期と支援内容】

５年一貫コース学生への支援内容は、選択承認時期により、下表の通り異なります。

5年一貫コースの選択承認時期	支援内容		
	研究室配属	副指導増員	経済支援
入学後研究室配属前まで	★	★	★
研究室決定後(5 月以後)		★	★

研究室配属：志望する研究室へ優先的に配属（内定）します。

副指導増員：副指導教員は２人以上とします。

経済支援：博士前期課程２年次から、TA/RA 給与による経済的支援を受けられます。

【５年一貫コースの選択方法と承認の基準】

５年一貫コース希望学生は、配属希望研究室の教員と面談して承認※を得て、５年一貫コース選択表明書（様式）を教育支援課学務係に提出してください。その後、学内担当者が学力評価を行った上で、承認します。なお、学力評価基準は、下表の通り承認時期によって異なります。

※：教員との面談の結果、希望する研究室の教員から承認を得られないことがあります。
情報科学領域に所属する研究室では、選択承認は入学後（12 月以降）に行います。

5年一貫コースの選択承認時期	5年一貫コース担当責任者による承認基準
入学後、研究室決定前まで	入学者のうち上位 50%以上の成績を目安とする
配属研究室の決定後	指導教員が認めた学生

【５年一貫コース学生の正式決定について】

５年一貫コースの正式決定は、博士前期課程１年次の 11 月～2 月に主副指導教員（候補）による学力・意欲等の確認を経た上で行います。また、５年一貫コース学生を正式に

決定する博士前期課程１年次の　２月以降でも、博士後期課程への進学を希望する前期課程学生は、主指導教員の承認を得て申し出ることができます。その際は、その都度、学力・意欲等の確認を経て５年一貫コースに編入します。

５年一貫コースの詳細については、本学ホームページを参照してください。申請手続きについて不明な点があれば教育支援課学務係へ問い合わせてください。

＜＜大学ホームページ　→　教育・学生支援　→　学務関係　→　５年一貫コース＞＞

４－６．ダブルディグリープログラム

多くの産業や社会活動においてグローバル化が急速に進みつつあり、国や地域の壁を越えて全人類的な重要課題に対して人材や技術シーズを結集する国際共同研究を先導する研究リーダーが求められています。このような「国際共同研究能力」や「国際協働能力」の強化を重視した体系的な人材育成を目的として、ダブルディグリープログラムを実施します。

ダブルディグリープログラムは、連携先の大学に同時に学籍を置き、両大学の教員から研究指導を受け、それぞれの大学から学位の認定を受ける制度です。現在、博士後期課程において、以下に掲載する大学とプログラムを実施しています。いずれの連携先大学においても、学位の認定を受けるためには、最低１年間それぞれの大学に滞在し学習することが必要です。派遣・受入学生数は、いずれも若干名です。入学時期は、原則として、2019年度秋学期、2020年度春学期とします。

本ダブルディグリープログラムの募集要項については、本学の英語ホームページの下記サイトを参照してください。

http://www.naist.jp/en/international_students/prospective_students/admission_information/double_degree.html

○ウルム大学（ドイツ）

以前から、情報科学分野での共同研究を実施しており、2014年11月に学術交流協定締結、2018年４月からダブルディグリープログラムを開始しました。

○マラヤ大学（マレーシア）

2008 年から本学バイオサイエンス研究科（当時）はマラヤ大学生物工学農学研究センター（Centre for Research in Biotechnology for Agriculture (CEBAR)）との教育研究交流を開始し、学生・教員の相互派遣や合同シンポジウムの開催などを通じて、互いの研究領域・得意分野の理解と教育理念・教育方法の相互啓発を深めています。また、2009年３月に本学とマラヤ大学との学術交流協定が締結されてからは、毎年、マラヤ大学卒業生を留学生特別推薦選抜制度により受け入れています。

このような両校の国際交流の成果を発展させるために、本学と CEBAR との協同で国際的に活躍する博士人材を育成することを目的としたダブルディグリープログラムの設置が双方から提案され、このプログラムに関する覚書が2014年に締結され、これまでにマラヤ大学から１名の学生を受け入れています。

○ポールサバチエ大学（フランス）

2007 年に学術交流協定を締結して以来、短期研修留学プログラムを通じて、これまでに多数の研究者及び留学生の交流を行ってきました。2014 年 10 月、ポールサバチエ大学のフランス国立科学研究センター（CEMES）と提携し、本学の海外研究拠点整備プロジェクトの第 1 号となる国際共同研究室を設置しました。本ダブルディグリープログラムでは、これまでにポールサバチエ大学から 2 名の学生を受け入れています。

○国立交通大学（台湾）

2010 年 5 月の学術交流協定締結以降、共同研究やシンポジウムを毎年実施して活発に交流を行っており、2015 年 11 月、ダブルディグリープログラム協定の調印に至りました。

第５章　シラバス等

■第５章　シラバス等

５－１．電子シラバスについて

シラバスは、電子シラバスシステムから確認できます。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　教育支援システム　→　シラバス＞＞

奈良先端大学院大学
シラバスシステム

- 授業連絡情報
- 講義科目一覧
- 時間割
- 教室使用状況（PC専用）

Language :

2018年度　講義科目一覧

年度	2018	課程	前期課程
キーワード			

検索

授業科目名	授業番号	開講時期	単位数	履修登録・変更期間	修了単位プログラム							クラス分け	備考
					IS	CB	BS	BN	MS	CP	DS		
一般科目群													
一般科目													
技術と倫理	1001	II	1	－	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
科学哲学	1002	II	1	－	○	○	○	○	○	○	○	×	
科学コミュニケーション	1003	II	1	－	○	○	○	○	○	○	○	×	
知的財産権	1004	II	1	－	○	○	○	○	○	○	○	○	
グローバルアントレプレナーI	1005	集中講義	1	－	○	○	○	○	○	○	○	×	
グローバルアントレプレナーII	1006	集中講義	1	－	○	○	○	○	○	○	○	×	

奈良先端大学院大学
シラバスシステム

Language :

科学哲学 (1002)

■講義科目基本情報

科目区分	一般科目	教職科目	－
単位数	1	選択・必修・自由	選択
授業形態	講義/必修	主な使用言語	日本語
開講時期	II	講義室	－
履修登録期間	－	履修取消期限	2018/09/18

■教育プログラム別の履修区分

プログラム名	IS	CB	BS	BN	MS	CP	DS
履修区分	○	○	○	○	○	○	○
コア科目	－	－	－	－	－	－	－

■講義科目概要

担当教員筆頭者名	－
担当教員	－
教育目的／授業目標	科学技術の性質・方法・変化、さらにはそれを取り巻く社会的問題について考察し、科学技術についてのより深い理解とより広い視野を涵養する。
指導方針	

５－２．教育カルテについて

教育カルテは、教育カルテシステムから確認できます。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　教育支援システム　→
教育カルテシステム（ログイン画面へ）＞＞

＊教育カルテシステムについて

教育カルテシステムは、博士前期課程では２年次に、博士後期課程では毎年度行う学位論文中間報告での主副指導教員等による評価（マイルストーン）と助言及び学位論文最終審査の評価（キャップストーン）をネットワーク上で行うシステムです。教員による研究指導を支援するとともに、学生は自らの研究課題、研究計画等を積極的に教員に提示でき、助言を得ることができます。

教育カルテシステムの利用方法は、上記のホームページに掲載している「教育カルテシステムマニュアル」を参照してください。システムの使い方をよく理解するとともに、随時、最新の情報を確認してください。






学籍番号 10002
学生氏名 学生００２
学年 D3
学籍状況 在学
入学年度 平成30年度（春）
専攻 先端科学技術
コース テストコース
所属研究室 神経機能科学
研究室責任者 塩坂　貞夫　教授
教育プログラム バイオサイエンスプログラム
教員情報
主指導教員 教員００１　（教授）
アドバイザー 教員００２　（教授）
教員００３　（准教授）
主査 教員００１　（教授）
論文審査委員 教員００２　（教授）
教員００３　（准教
カルテ名
平成30年度 博士論文研究計画・進捗状況報告書　－作成中－
カルテ詳細 更新日 締切日 ステータス 閲覧 編集 PDF
平成30年度 博士論文研究計画・進捗状況報告書 2018/02/27 00:00 2018/12/31 作成中 編集
平成30年度 研究実験・課題研究中間報告書　－完了－
平成29年度 研究実験・課題研究中間報告書　－完了－
平成28年度 研究実験・課題研究中間報告書　－完了－
カルテ詳細 更新日 締切日 ステータス 閲覧 編集 PDF
平成28年度 研究実験・課題研究中間報告書 2016/09/27 00:00 2016/10/30 完了 閲覧 PDF
平成28年度 中間報告評価・助言カード（教員００１） 2016/09/27 11:02 2016/10/30 完了 閲覧 PDF
平成28年度 中間報告評価・助言カード（教員００２） 2016/09/27 11:02 2016/10/30 完了 閲覧 PDF
平成28年度 中間報告評価・助言カード（教員００３） 2016/09/27 11:02 2016/10/30 完了 閲覧 PDF
平成28年度 中間報告アドバイザー研究指導報告書 2016/09/27 11:02 2016/10/30 完了 閲覧 PDF
GPA履歴
該当するデータがありません。
TOEIC点数履歴
該当するデータがありません。
帳票出力
予備審査結果報告書
論文審査願


教育カルテシステム
マニュアル
学生：学生００２
閉じる
平成28年度 中間報告評価・助言カード
主指導教員 教員００１　（教授）
アドバイザー 教員００３　（准教授）
学籍番号 10002
学生氏名 学生００２
提出日 平成 30年 3月 9日
評価
評価項目
A（卓越：advanced）
B（目標到達：accomplished）
C（発展途上:developing）
D（初期:beginning）
課題設定
研究課題を設定し、その課題が達成された場合の意義も含めて、その研究の背景と目的を明瞭に整理・分析した上で説明している。
研究課題を設定し、その課題が達成された場合の意義も含めて、その研究の背景と目的を説明している。
研究課題を設定しているが、その研究の背景や目的の説明が明瞭でない。
研究課題を検討している。
設定した研究課題に関わる基本知識や関
設定した研究課題に関わる基本知識や関
設定した研究課題に関わる基本知識を理
設定した研究課題に関わる基本知識につ


教育カルテシステム
マニュアル
学生：学生００２
閉じる
学生情報
学籍番号 10002
学生氏名 学生００２
学年 D3
学籍状況 在学
入学年度 平成30年度（春）
専攻 先端科学技術
コース テストコース
所属研究室 神経機能科学
研究室責任者 塩坂　貞夫　教授
教育プログラム バイオサイエンスプログラム
教員情報
主指導教員 教員００１　（教授）
アドバイザー 教員００２　（教授）
教員００３　（准教授）
主査 教員００１　（教
平成30年度 博士論文の要旨
論文題目
題目和訳
ソース
ソース

５－３．成績評価について

○成績評価終了科目の通知について

成績評価を終了したときには、授業責任教員から当該授業終了後３週間以内に報告される成績をもとに、ホームページや掲示板等によりお知らせします。

履修登録した科目の成績の確認については、附属図書館１階に設置している証明書自動発行機により成績表（交付用）を出力し、学生自らが確認する方法をとっています。

○成績評価の異議申立てについて

通知された成績評価に異議がある場合は、成績が通知された日から１ヶ月以内に「成績評価に対する異議申立書」を教育支援課学務係に提出してください。

（※）成績評価の異議申立てが可能な範囲は、学生が次の各号に該当すると判断する場合のみとします。

（１）誤記入等、明らかに採点の誤りであると思われるもの

（２）シラバス等により周知している成績評価の方法から、明らかに評価方法等について疑義があると思われるもの

申立てに対する回答は、研究科教務委員会で検討の後、教育支援課学務係を通じて口頭又は文書で伝達します。

なお、異議申立書の様式や異議申立てのフローなどについては、本学のホームページに掲載しています。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　学務関係　→　成績評価終了科目＞＞

○グレード・ポイント・アベレージ（ＧＰＡ）制度

対外的に学内における各学生の相対位置を公正に示すことで成績評価の透明性を高めるとともに、今後の教育の国際化促進を図るため、平成３０年度入学者からＧＰＡ制度を導入しました。学修の状況及び成果を示す指標としてのＧＰＡを算出することにより、自身の履修状況をより客観的に把握して履修計画の作成に活用されることを期待します。

＜制度概要＞

ＧＰＡ制度とは、欧米の大学で一般的な成績評価方法で、学生一人ひとりの履修科目の成績評価をグレード・ポイント（ＧＰ）に置きかえた平均を数値により表すものです。

＜算出基準＞

以下のとおり、ＧＰは５段階（Ｓ、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ）評価とします。

評語	ＧＰ	評価基準	100 点満点での目安
秀（Ｓ）	4	到達目標を達成し、極めて優秀な成績を修めている	90 点以上
優（Ａ）	3	到達目標を達成し、優秀な成績を修めている	80 点以上 90 点未満
良（Ｂ）	2	到達目標を達成し、良好な成績を修めている	70 点以上 80 点未満
可（Ｃ）	1	到達目標を達成している	60 点以上 70 点未満
不可（Ｄ）	0	到達目標を達成していない	60 点未満

（参考）

評語	ＧＰ	評価基準	100 点満点での目安
認（N）	対象外	本学での授業科目の履修により修得したものとみなす	非該当
合格（P）	対象外	定められた学修水準に達している	非該当
不合格(F)	対象外	定められた学修水準に達していない	非該当

＜対象学生＞

平成３０年度入学の博士前期課程１年次学生から年次進行とします。

＜対象科目＞

博士前期課程の以下の授業科目区分のうち、修了要件に算入できる授業科目を対象とします。ただし、科目の特性で５段階評価されない授業科目はＧＰＡの計算から除くものとします。

◇ 一般科目
◇ 基盤科目
◇ 専門科目

＜ＧＰＡの種類と算出方法＞

当該年度におけるＧＰＡ（年度ＧＰＡ）及び在学全期間におけるＧＰＡ（累積ＧＰＡ）があります。

年度ＧＰＡ及び累積ＧＰＡを算出する計算式は以下のとおりです。（ＧＰＡの算出は、小数点以下第３位の値を四捨五入します。）

□ 年度ＧＰＡ算出の計算式

年度ＧＰＡ ＝（当該年度の履修登録科目の単位数×当該科目のＧＰ）の総和/
当該年度における総履修登録単位数

□ 累積ＧＰＡ算出の計算式

累積ＧＰＡ ＝（在学全期間の履修登録科目の単位数×当該科目のＧＰ）の総和/
在学全期間における総履修登録単位数

＜再履修の取り扱い＞

不合格科目を再履修し、合格の評価を得た場合及び再履修の結果再び不合格の評価であった場合の、それぞれ再履修前の不合格評価及び履修登録単位数については、ＧＰＡには算入しません（再履修前のデータは除外します）。

＜成績証明書上の取り扱い＞

年度ＧＰＡ及び累積ＧＰＡをそれぞれ成績証明書に記載します。

○成績評価の割合に関する基本方針

（１）秀（S）・優（A）・良（B）・可（C）の区分については、成績分布の著しい偏在に留意し、特に秀（S）・優（A）については、合わせて 30%を目安とします。

（２）履修者が 20 人以下の科目の場合、あるいは合格・不合格で成績評価する科目の場合については、本基本方針の適用対象外です。

５－４．グローバル人材を目指して

本学は平成２６年９月に文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択されました。本プログラムを通して、カリフォルニア大学デービス校等１０２の海外学術交流協定校を中心とした世界の学術機関との連携の元、海外留学を推進しています。さらに、海外インターンシップや国際ワークショップへの参加についても推奨しています。

また、博士前期課程では英語論文を読解し、英語で行われる講義・ セミナーを理解できる力を身に付けさせ、博士後期課程では英語で研究発表や質疑応答、交渉やトラブルに対処できる英語力を修得させることを目標としており、TOEIC テストも実施しています。

現在、３４カ国からの２６４名の留学生が本学で学んでおり、多様な出身国、文化を背景にした留学生と日本人学生が協同で学べる環境にもあり、多くの国際感覚、実践的なコミュニケーション能力及び専門知識・研究技術を併せ持つグローバル人材の養成を目指しています。

○留学奨学金について

本学の学生の多くは、以下の留学奨学金を活用し海外留学しています。個人で応募できる奨学金もありますが大学のプログラムとして実施しているものが多いため、留学にあたっては、事前に指導教員または国際課にご相談ください。

１．日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度
　http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship.html
２．トビタテ！留学 JAPAN
　http://www.tobitate.mext.go.jp/
３．その他日本学生支援機構（JASSO）が収集・提供している奨学金情報
　http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/

○海外渡航前の学内手続きについて

外国の大学院又は研究所等の教育研究機関で授業科目の履修や、研究指導を受ける場合は、事前に教授会で審議する必要がありますので、「留学願」に添えて「特別聴講派遣学生履修願」又は「特別研究派遣学生申請書」を渡航の２ヶ月前までに国際課に提出してください。「留学願」が不要の海外渡航であっても、渡航先での災害・事件・事故等があった場合の学生の安否確認等を行う目的で、「海外渡航届」の提出を義務づけていますので、忘れないように提出してください。詳細は、下記学内ホームページ「留学及び海外渡航の手続きについて」をご参照ください。
https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/kaigairyugaku/index.html

○ビザ（査証）について

海外渡航する場合は、できるだけ早く渡航先の国の情報を集めて、ビザ取得申請を行う必要があります。

短期渡航であっても渡航目的によりビザ免除に該当しない場合があります。また、国によってビザの取得方法が異なります。主要国を例にあげると、米国では、大学に留学する

場合はF-1 ビザ(学生ビザ) が必要で、申請書類の作成、補足書類の準備、パスポート取得、面接等、留学出発２ヶ月程度前から準備を開始する必要があり、フランスでは、オンライン申請が可能で交換留学であれば面接も免除されるなど、国によって事情が異なりますので、留学先や国内にある渡航国の大使館・領事館に確認するなど早めに情報を収集して動く必要があります。

事前にビザ取得申請をしない場合、国によっては入国できないなどの不利益を受ける可能性がありますので、わからないことがあれば、事前に国際課に相談してください。

〇海外渡航前の安全確認について

海外渡航をする場合には、外務省のホームページ（海外渡航安全情報）などを参照して渡航先の情勢等を事前に調査し、安全を確認してから渡航するよう心がけてください。また、外務省では、海外に３ヶ月以上滞在を予定している邦人には「在留届」提出の徹底を、３か月未満の滞在を予定している邦人には外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録を呼びかけています。海外へ渡航する際は、本学での手続きとは別に、外務省へ提出又は登録をしてください。詳しくは外務省ホームページをご覧ください。

また、渡航者の安全管理に資するため、海外渡航に係る注意事項を下記の学内ホームページに掲載しましたので、海外への渡航に際して、下記ホームページ「海外渡航に係る注意事項について」を活用し、十分な安全管理を行うことを心がけてください。

https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/kaigairyugaku/caution/caution.html

〇海外旅行保険について

本学では、学生の国内・海外出張中のケガなどに備え、旅行依頼を伴う海外渡航については大学として海外旅行保険に加入しています。補償内容等の詳細については、以下のホームページを確認し、補償対象の事由と免責事由を把握するようにしてください。

https://ad-info.naist.jp/k-soumu/member/shougaihoken/

なお、休学中に留学する場合は、大学が費用負担する旅行保険の適用外であるため、必ずご自身で海外旅行保険に加入するようにしてください。

海外で入院・手術が必要となった場合、医療費が非常に高額になる場合や、家族が留学先を複数回訪問する必要が生じて渡航費用が高額になる場合もあります。また、医療施設・医療水準が日本に比べて著しく低い国では、国外への緊急移送が必要となり、高額な費用が必要となります。こうした事態に備えるため、保険には必ず加入するようにしてください。

また、保険の補償内容等については、家族にも内容を確認してもらうようにしてください。

５－５．英語Ｅーラーニングシステム（ALC NetAcademy ２）

１．ALC NetAcademy ２　とは

ALC NetAcademy ２はLAN 環境で使用するネットワーク型の英語学習システムです。英語力の向上、TOEICテスト対策、理工系の論文読解等、自学自習に役立ててください。

学習者は各自の英語レベル、興味ある教材、リスニング・リーディングなど強化したい分野を選んで学習が可能です。

２．利用対象者

本学の学生・教職員であれば「在学生の方へ(学内専用)」のページから利用することができます。学内はもちろん、自宅などの学外からも24時間利用することができます。利用登録等は必要ありません。

３．アクセス

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　ALC NetAcademy＞＞

ログインするには、アカウント（MANDARA-DOMAIN¥曼陀羅アカウント名）とパスワード（曼陀羅パスワード）が必要です。

４．コース

スーパースタンダードコース、スタンダードコース、初中級コース　プラス、技術英語＜基礎＞コース、技術英語パワーアップコースの５つのコースを利用できます。

５．動作環境

ALC NetAcademy ２は以下の環境で動作確認ができています。

OS	Windows Vista SP2 / 7 SP1 / 8 , 8.1 ※
WWWブラウザ	InternetExplorer 8 / 9 / 10 / 11
そのほか	FLashPlayer 12.0

※対象OS以外でもFlashPlayerが動作すれば利用できるようです。 ただし、表示がおかしい等の不具合が発生する可能性があります。

※MacOS X 10.3/10.4 では『[初中級コース]の[TOEIC(R) テスト演習]で学習できない』という症状が確認されています。

第６章　授業科目及び担当教員一覧等

■第６章　授業科目及び担当教員一覧等

６－１．平成３１年度授業科目及び担当教員一覧

平成 31 年度先端科学技術研究科　博士前期課程　授業科目及び授業責任教員一覧

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	所属（正）	所属（副）	担当教員	授業開講期間		総授業時間数	英語開講（主たる言語）	備考
										開始日	終了日			
一般科目	技術と倫理	L	1001	A	1	別所　康全	バ	—	別所康全、秋山昌広、(渡辺政隆)	5/9	5/17	15		
	技術と倫理	L	1001	B	1	(上田修史)	情	—	(上田修史)	6/11	8/6	15		
	技術と倫理	L	1001	C	1	(伊藤博)	情	—	(伊藤博)	6/11	8/6	15		
	技術と倫理	L	1001	D	1	(植村健治)	情	—	(植村健治)	6/11	8/6	15		
	技術と倫理	L	1001	E	1	(三井均)	物	—	(三井均)	6/11	8/6	15		
	技術と倫理	L	1001	F	1	(高橋謙二)	物	—	(高橋謙二)	6/11	8/6	15		
	技術と倫理	L	1001	G	1	(三井均)	物	—	(三井均)	10/8	12/3	15		
	技術と倫理	L	1001	H	1	(上田修史)	情	—	(上田修史)	10/8	12/3	15	英語	
	科学哲学	L	1002	—	1	(中尾央)	情	—	(中尾央)	7/2	7/30	15		
	科学コミュニケーション	L	1003	—	1	別所　康全	バ	—	別所康全	11/14	12/5	15		社会対話技術研究所との連携
	知的財産権	L	1004	A	1	久保　浩三	研(情)	—	久保浩三	9/2	9/30	15		
	知的財産権	L	1004	B	1	久保　浩三	研(情)	—	久保浩三	10/7	12/6	15	英語	
	知的財産権演習	P	1019	—	1	久保　浩三	研(情)	—	久保浩三	12/9	1/6	15	英語	
	グローバルアントレプレナーⅠ	L	1005	—	1	(光井将一)	情	—	(光井将一)	集中講義	集中講義	15		学外実施
	グローバルアントレプレナーⅡ	L	1006	—	1	(光井将一)	情	—	(光井将一)	集中講義	集中講義	15		学外実施
	グローバルアントレプレナーⅢ	L	1007	—	1	(光井将一)	情	—	(光井将一)	集中講義	集中講義	15		
	グローバルアントレプレナーⅣ	L	1008	—	1	(光井将一)	情	—	(光井将一)	集中講義	集中講義	15		
	グローバルアントレプレナーⅤ	L	1009	—	1	飯田　元	情	—	飯田元、(宮下敬宏)、(中川賀史)	集中講義	集中講義	15		
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	A	1	(David Sell)	教(情)	—	(David Sell)	6/10	8/5	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	B	1	Michael BARKER	教(情)	—	Michael BARKER	6/5	7/31	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	C	1	Michael BARKER	教(情)	—	Michael BARKER	6/7	8/2	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	D	1	Paul McAleese	教(バ)	—	Paul McAleese	6/10	8/5	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	E	1	Paul McAleese	教(バ)	—	Paul McAleese	6/5	7/31	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	F	1	Paul McAleese	教(バ)	—	Paul McAleese	6/7	8/2	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	G	1	McDowell Leigh	教(物)	—	McDowell Leigh	6/10	8/5	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	H	1	McDowell Leigh	教(物)	—	McDowell Leigh	6/5	7/31	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅠ	L	1010	I	1	McDowell Leigh	教(物)	—	McDowell Leigh	6/7	8/2	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	A	1	(David Sell)	教(情)	—	(David Sell)	10/7	12/6	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	B	1	Michael BARKER	教(情)	—	Michael BARKER	10/9	12/4	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	C	1	Michael BARKER	教(情)	—	Michael BARKER	10/4	11/29	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	D	1	Paul McAleese	教(バ)	—	Paul McAleese	10/7	12/6	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	E	1	Paul McAleese	教(バ)	—	Paul McAleese	10/9	12/4	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	F	1	Paul McAleese	教(バ)	—	Paul McAleese	10/4	11/29	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	G	1	McDowell Leigh	教(物)	—	McDowell Leigh	10/7	12/6	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	H	1	McDowell Leigh	教(物)	—	McDowell Leigh	10/9	12/4	15	英語	
	プロフェッショナルコミュニケーションⅡ	L	1011	I	1	McDowell Leigh	教(物)	—	McDowell Leigh	10/4	11/29	15	英語	
	アカデミックディスカッション	L	1012	A	1	Michael BARKER	教(情)	—	Michael BARKER	12/11	2/5	15	英語	
	アカデミックディスカッション	L	1012	B	1	McDowell Leigh	教(物)	—	McDowell Leigh	12/11	2/5	15	英語	
	リサーチプレゼンテーション	L	1013	A	1	Michael BARKER	教(情)	—	Michael BARKER	10/8	12/3	15	英語	
	リサーチプレゼンテーション	L	1013	B	1	(David Sell)	教(情)	—	(David Sell)	11/8	12/6	15	英語	
	リサーチプレゼンテーション	L	1013	C	1	Paul McAleese	教(バ)	—	Paul McAleese	10/8	12/3	15	英語	
	リサーチプレゼンテーション	L	1013	D	1	Paul McAleese	教(バ)	—	Paul McAleese	12/12	2/13	15	英語	
	リサーチライティング	L	1014	A	1	McDowell Leigh	教(物)	—	McDowell Leigh	9/2	9/30	15	英語	
	リサーチライティング	L	1014	B	1	(中山裕木子)	教(物)	—	(中山裕木子)	9/5	9/26	15	英語	
	リサーチライティング	L	1014	C	1	Michael BARKER	教(情)	—	Michael BARKER	10/10	12/5	15	英語	
	アドバンスドリサーチライティング	L	1015	A	1	McDowell Leigh	教(物)	—	McDowell Leigh	10/10	12/5	15	英語	
	アドバンスドリサーチライティング	L	1015	B	1	(中山裕木子)	教(物)	—	(中山裕木子)	11/13	12/4	15	英語	
	日本文化	L	1016	—	2	(Adrash Bala Sharma)	教(情)	—	(Adrash Bala Sharma)	11/14	2/27	30	英語	留学生優先 フィールドワーク有
	日本語Ⅰ	L	1017	—	2	(山下香緒里)	教(バ)	—	(山下香緒里)	4/23	8/6	30		留学生対象
	日本語Ⅱ	L	1018	—	2	(山下香緒里)	教(バ)	—	(山下香緒里)	11/12	2/25	30		留学生対象

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	所属（正）	所属（副）	担当教員	授業開講期間		総授業時間数	英語開講（主たる言語）	備考
										開始日	終了日			
	日本語Ⅲ	L	1020	—	2	（橋本昌子）	教（バ）	—	（橋本昌子）	4/23	7/30	30		留学生対象
	日本語Ⅳ	L	1021	—	2	（橋本昌子）	教（バ）	—	（橋本昌子）	11/12	3/3	30		留学生対象
	日本語Ⅴ	L	1022	—	2	（水野真里子）	教（バ）	—	（水野真里子）	4/23	7/2	30		留学生対象
	アカデミックボランティアⅠ	P	1023	—	1	プログラム長（情報理工学）	情	—	テーマ毎に異なる	テーマ毎に異なる		—	—	
	アカデミックボランティアⅡ	P	1024	—	1	プログラム長（情報理工学）	情	—	テーマ毎に異なる	テーマ毎に異なる		—	—	
序論科目	情報理工学序論	L	2001	A	1	プログラム長（正）	情	—	中島康彦、安本慶一、荒川豊、井上美智子、大下 福仁、松本裕治、進藤裕之	4/9	5/7	15		※序論科目の責任教員はプログラム長（正）とする。
	情報理工学序論	L	2001	B	1	プログラム長（正）	情	—	中島康彦、安本慶一、荒川豊、井上美智子、大下 福仁、松本裕治、進藤裕之	10/7	11/11	15	英語	
	情報生命科学序論	L	2002	A	1	プログラム長（正）	バ	情	安本慶一、岡田実、向川康博、小笠原司、杉本謙二、池田和司、佐藤嘉伸、金谷重彦、中島敬二、遠藤求、西條雄介、吉田聡子、岡村勝友、笹井紀明、森浩禎、塩﨑一裕、稲垣直之、作村諭一、別所康全、吉田昭介、宮島俊介、箱嶋敏雄、峠隆之、栗崎晃、加藤菊也	4/10	5/8	15		
	情報生命科学序論	L	2002	B	1	プログラム長（正）	バ	情	安本慶一、岡田実、向川康博、小笠原司、杉本謙二、池田和司、佐藤嘉伸、金谷重彦、中島敬二、遠藤求、西條雄介、吉田聡子、岡村勝友、笹井紀明、森浩禎、塩﨑一裕、稲垣直之、作村諭一、別所康全、吉田昭介、宮島俊介、箱嶋敏雄、峠隆之、栗崎晃、加藤菊也	10/4	11/5	15	英語	
	バイオサイエンス序論	L	2003	A	1	プログラム長（正）	バ	—	真木壽治、石田靖雅、伊東広	4/9	5/7	15		
	バイオサイエンス序論	L	2003	B	1	プログラム長（正）	バ	—	真木壽治、石田靖雅、伊東広	10/7	11/11	15	英語	
	バイオナノ理工学序論	L	2004	A	1	プログラム長（正）	物	バ	橋本隆、出村拓、梅田正明、伊藤寿朗、伊東広、加藤順也、河合太郎、末次志郎、笹井紀明、磯谷綾子、塩﨑一裕、高木博史、箱嶋敏雄、塚崎智也、稲垣直之、上久保裕生、廣田俊、安藤剛、網代広治、吉田聡子、吉田昭介、松井貴輝、本田崇宏	4/9	5/7	15		
	バイオナノ理工学序論	L	2004	B	1	プログラム長（正）	物	バ	橋本隆、出村拓、梅田正明、伊藤寿朗、伊東広、加藤順也、河合太郎、末次志郎、笹井紀明、磯谷綾子、塩﨑一裕、高木博史、箱嶋敏雄、塚崎智也、稲垣直之、上久保裕生、廣田俊、安藤剛、網代広治、吉田聡子、吉田昭介、松井貴輝、本田崇宏	10/7	11/11	15	英語	
	物質理工学序論	L	2005	A	1	プログラム長（正）	物	—	香月浩之、河合壯、細川陽一郎、柳田健之、山田容子、Gwénaël Rapenne、細糸信好、森本積、服部賢	4/10	5/8	15		
	物質理工学序論	L	2005	B	1	プログラム長（正）	物	—	河合壯、細川陽一郎、柳田健之、山田容子、Gwénaël Rapenne、細糸信好、森本積、服部賢	10/4	11/5	15	英語	
	知能社会創成科学序論	L	2006	A	1	プログラム長（正）	情	物	浦岡行治、太田淳、柳久雄、中村雅一、安本慶一、林優一、岡田実、杉本謙二	4/9	5/7	15		
	知能社会創成科学序論	L	2006	B	1	プログラム長（正）	情	物	杉本謙二、浦岡行治、太田淳、安本慶一、林優一、岡田実、柳久雄、中村雅一	10/7	11/11	15	英語	
	データサイエンス序論	L	2007	A	1	プログラム長（正）	デ（情）	物	中村哲、森浩禎、船津公人、浦岡行治、金谷重彦、荒牧英治、小野直亮、作村諭一、国田勝行	4/10	5/8	15		
	データサイエンス序論	L	2007	B	1	プログラム長（正）	デ（情）	バ物	中村哲、森浩禎、浦岡行治、船津公人、金谷重彦、荒牧英治、小野直亮、作村諭一、国田勝行、畑中美穂、宮尾知幸	10/4	11/5	15	英語	
基盤科目	形式言語理論	L	3001	—	1	伊藤　実	情	—	伊藤実	5/10	6/4	15		
	プログラミング演習	P	3002	—	1	松本　健一	情	—	松本健一、石尾隆、伊原彰紀、畑秀明、Raula Gaikovina Kula	5/9	6/3	30		
	信号処理論	L	3003	—	1	加藤　博一	情	—	加藤博一、（武富貴史）、藤本雄一郎	5/9	6/3	15		
	応用解析学	L	3004	—	1	佐藤　嘉伸	情	—	佐藤嘉伸	5/9	6/3	15		
	データ工学基礎	L	3005	—	1	（鈴木　優）	情	—	（鈴木優）	（電子シラバスで確認）		15		
	機械学習概論	L	3006	—	1	池田　和司	情	—	池田和司、中村哲、須藤克仁	5/10	6/4	15	英語	
	光学	L	3007	—	1	加藤　博一	情	—	加藤博一、藤本雄一郎	5/10	6/4	15		
	高性能計算基盤	L	3008	—	1	中島　康彦	情	—	中島康彦、中田尚	5/10	6/4	15	英語	
	ソフトウェア設計論	L	3009	—	1	飯田　元	情	—	飯田元、崔恩瀞	5/10	6/4	15		
	人工知能	L	3010	—	1	新保　仁	情	—	新保仁	5/9	6/3	15	英語	
	細胞生物学	L	3011	A	1	別所　康全	バ	—	別所康全、庄司翼、吉田昭介	5/9	5/17	15		
	細胞生物学	L	3011	B	1	別所　康全	バ	—	出村拓、高木博史、別所康全、遠藤求、庄司翼	5/9	5/17	15		
	細胞生物学	L	3011	C	1	別所　康全	バ	—	別所康全、出村拓、高木博史、庄司翼、吉田昭介、遠藤求	10/7	10/24	15	英語	留学生優先
	分子生物学	L	3012	A	1	秋山　昌広	バ	—	秋山昌広、加藤晃	5/10	5/20	15		
	分子生物学	L	3012	B	1	秋山　昌広	バ	—	伊藤寿朗、栗崎晃	5/10	5/20	15		
	分子生物学	L	3012	C	1	秋山　昌広	バ	—	秋山昌広、伊藤寿朗、加藤晃、栗崎晃	10/4	10/18	15	英語	留学生優先
	細胞膜と物質輸送	L	3013	A	1	塚崎　智也	バ	—	塚崎智也、木俣行雄	5/21	6/3	15		
	細胞膜と物質輸送	L	3013	B	1	駒井　章治	バ	—	駒井章治、末次志郎	5/21	6/3	15		
	細胞膜と物質輸送	L	3013	C	1	塚崎　智也	バ	—	塚崎智也、駒井章治、末次志郎、木俣行雄	10/28	11/11	15	英語	留学生優先
	細胞の情報伝達	L	3014	A	1	塩﨑　一裕	バ	—	塩﨑一裕、西條雄介	5/22	6/4	15		
	細胞の情報伝達	L	3014	B	1	塩﨑　一裕	バ	—	吉田聡子、松井貴輝	5/22	6/4	15		
	細胞の情報伝達	L	3014	C	1	塩﨑　一裕	バ	—	塩﨑一裕、西條雄介、吉田聡子、松井貴輝	10/25	11/5	15	英語	留学生優先
	微生物科学	L	3015	—	1	森　浩禎	バ	—	森浩禎、真木壽治、秋山昌広、塩﨑一裕、高木博史、塚崎智也、木俣行雄、（守屋央朗）	5/10	6/4	15		
	植物科学	L	3016	—	1	伊藤　寿朗	バ	—	伊藤寿朗、橋本隆、庄司翼、中島敬二、出村拓、梅田正明、西條雄介、吉田聡子、峠隆之	5/10	6/4	15		
	バイオメディカルサイエンス	L	3017	—	1	末次　志郎	バ	—	末次志郎、河合太郎、笹井紀明、駒井章治、別所康全、磯谷綾子、松井貴輝、箱嶋敏雄、岡村勝友	5/10	6/4	15		
	細胞骨格と細胞周期	L	3018	A	1	稲垣　直之	バ	—	加藤順也、稲垣直之	6/10	8/5	15		
	細胞骨格と細胞周期	L	3018	B	1	稲垣　直之	バ	—	橋本隆、梅田正明	6/10	8/5	15		
	細胞骨格と細胞周期	L	3018	C	1	稲垣　直之	バ	—	橋本隆、梅田正明	11/14	11/25	15	英語	留学生優先

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	所属（正）	所属（副）	担当教員	授業開講期間		総授業時間数	英語開講（主たる言語）	備考
										開始日	終了日			
専門科目	遺伝学と幹細胞	L	3019	A	1	中島　敬二	バ	—	中島敬二、笹井紀明	6/10	8/5	15		
	遺伝学と幹細胞	L	3019	B	1	中島　敬二	バ	—	石田靖雅、磯谷綾子	6/10	8/5	15		
	遺伝学と幹細胞	L	3019	C	1	中島　敬二	バ	—	石田靖雅、磯谷綾子	11/8	11/19	15	英語	留学生優先
	遺伝子クローニングとDNA解析	L	3020	—	1	別所　康全	バ	—	別所康全、秋山昌広、木俣行雄	10/9	12/4	15	英語	留学生対象
	物質科学解析	P	3021	A	1	武田さくら	物	—	武田さくら、笹川清隆、上沼睦典、山崎洋一、長尾聡、小島広孝、安國良平、山下淳	4/22	5/8	15		
	物質科学解析	P	3021	B	1	武田さくら	物	—	武田さくら、笹川清隆、上沼睦典、山崎洋一、長尾聡、藤井茉美、安國良平、山下淳	10/9	10/23	15	英語	留学生優先
	量子力学	L	3022	A	1	中村　雅一	物	—	中村雅一、服部賢	5/9	5/20	15		
	量子力学	L	3022	B	1	中村　雅一	物	—	中村雅一、服部賢	10/7	10/24	15	英語	留学生優先
	物質物理学	L	3023	A	1	細川　陽一郎	物	—	細川陽一郎、服部賢、細糸信好	5/21	6/3	15		
	物質物理学	L	3023	B	1	細川　陽一郎	物	—	細川陽一郎、服部賢、細糸信好	10/28	11/11	15	英語	留学生優先
	物質化学	L	3024	A	1	河合　壯	物	—	河合壯、柳久雄、上久保裕生	5/9	5/14	15		
	物質化学	L	3024	B	1	河合　壯	物	—	河合壯、柳久雄、上久保裕生	10/4	10/18	15	英語	留学生優先
	物理化学	L	3025	A	1	柳　久雄	物	—	柳久雄、荒谷直樹、辨天宏明	5/15	5/20	15		
	物理化学	L	3025	B	1	柳　久雄	物	—	柳久雄、荒谷直樹、辨天宏明	10/25	11/5	15	英語	留学生優先
	現代固体物理学	L	3026	A	1	柳田　健之	物	—	柳田健之、河口範明	5/21	5/24	15		
	現代固体物理学	L	3026	B	1	柳田　健之	物	—	柳田健之、河口範明	11/14	11/25	15	英語	留学生優先
	現代半導体物性	L	3027	A	1	太田淳	物	—	太田淳、香月浩之、細糸信好	5/27	6/4	15		
	現代半導体物性	L	3027	B	1	太田淳	物	—	太田淳、香月浩之、細糸信好	11/22	12/3	15	英語	留学生優先
	有機反応化学	L	3028	A	1	荒谷直樹	物	—	荒谷直樹、中嶋琢也、森本積	5/21	6/5	15		
	有機反応化学	L	3028	B	1	荒谷直樹	物	—	荒谷直樹、中嶋琢也、森本積	11/14	11/25	15	英語	留学生優先
	反応解析化学	L	3029	A	1	廣田　俊	物	—	廣田俊、山田容子、松尾貴史	5/22	6/11	15		
	反応解析化学	L	3029	B	1	廣田　俊	物	—	廣田俊、山田容子、松尾貴史	11/8	11/19	15	英語	留学生優先
	生体材料化学	L	3030	A	1	上久保　裕生	物	—	上久保裕生、松尾貴史、安藤剛、藤間祥子	6/10	8/6	15		
	生体材料化学	L	3030	B	1	上久保　裕生	物	—	上久保裕生、松尾貴史、安藤剛、藤間祥子	12/9	1/9	15	英語	留学生優先
	分散コンピューティング論	L	4001	—	1	井上　美智子	情	—	井上美智子、大下 福仁	6/11	8/6	15	英語	
	アルゴリズム設計論	L	4002	—	1	井上　美智子	情	—	井上美智子、大下 福仁	6/11	8/6	15		
	ユビキタスシステム	L	4003	—	1	安本　慶一	情	—	安本慶一、荒川豊	10/10	12/5	15		
	モバイルコンピューティング論	L	4004	—	1	柴田 直樹	情	—	柴田 直樹	6/11	8/6	15	英語	
	仮想化システム基盤	L	4005	—	1	市川　昊平	情	—	市川昊平	12/13	2/12	15	英語	
	ソフトウェア工学	L	4006	—	1	松本　健一	情	—	松本健一、石尾隆、(伊原彰紀)、畑秀明、Raula Gaikovina Kula	6/10	8/5	15		
	インターネット工学	L	4007	—	1	門林　雄基	情	—	門林雄基、妙中雄三、Doudou Fall	6/5	7/31	15	英語	
	コンピュータ・ネットワーク	L	4008	—	1	藤川　和利	情	—	藤川和利、(猪俣敦夫)、新井 イスマイル、垣内正年	10/7	12/6	15		
	環境知能	L	4009	—	1	神原　誠之	情	—	神原誠之、(萩田紀博)	10/4	11/29	15	英語	
	自然言語処理	L	4010	—	1	松本　裕治	情	—	松本裕治、(柏岡秀紀)、進藤裕之	6/6	8/1	15		
	バーチャルリアリティ	L	4011	—	1	清川　清	情	—	清川清	6/10	8/5	15	英語	隔年日本語／英語開講（H31英語開講）
	コンピュータビジョン	L	4012	—	1	向川　康博	情	—	向川康博、田中賢一郎	6/6	8/1	15		
	コンピュータグラフィックス	L	4013	—	1	舩冨　卓哉	情	—	舩冨卓哉、久保尋之	10/7	12/6	15	英語	
	メディア情報処理	L	4014	—	1	酒田　信親	情	—	酒田信親	6/5	7/31	15		
	無線通信システム	L	4015	—	1	岡田　実	情	—	岡田実、東野武史、侯亜飛、Duong Quang Thang、Chen Na	10/8	12/3	15		
	信号検出理論	L	4016	—	1	岡田　実	情	—	岡田実、東野武史、侯亜飛、Duong Quang Thang、Chen Na	10/4	11/29	15	英語	
	ヒューマンコンピュータインタラクション	L	4017	—	1	加藤博一	情	—	加藤博一、Alexander Plopski、藤本雄一郎	10/9	12/4	15	英語	
	パターン認識	L	4018	—	1	舩冨　卓哉	情	—	舩冨卓哉、神原誠之	6/5	7/31	15		
	社会システム理論	L	4019	—	1	笹部　昌弘	情	—	笹部昌弘	6/6	8/1	15		
	機械学習と知能制御	L	4020	—	1	杉本　謙二	情	—	杉本謙二、小蔵正輝、小林泰介	6/6	8/1	15	英語	
	モデルベース制御	L	4021	—	1	杉本　謙二	情	—	杉本謙二	10/8	12/3	15		
	人間ロボット情報学	L	4022	—	1	小笠原　司	情	—	小笠原司、高松淳、(松本吉央)、(多田充徳)、(村井昭彦)	10/9	12/4	15	英語	
	数理モデル論	L	4023	—	1	池田　和司	情	—	池田和司、(佐々木博昭)	12/10	2/4	15		
	システムズバイオロジ	L	4024	—	1	金谷　重彦	情	—	金谷重彦、MD.Altaf-Ul-Amin	10/8	12/3	15	英語	
	データマイニング	L	4025	—	1	MD.Altaf-Ul-Amin	情	—	MD.Altaf-Ul-Amin	6/10	8/5	15	英語	
	生体医用画像解析	L	4026	—	1	佐藤　嘉伸	情	—	佐藤嘉伸	6/5	7/31	15	英語	
	生体医用メディア情報学	L	4027	—	1	大竹　義人	情	—	大竹義人	6/6	8/1	15		
	データサイエンス論Ⅰ	L	4084	—	1	中村哲	デ(情)	—	中村哲、Altaf-Ul-Amin、宮尾知幸、鈴木優、吉野幸一郎、田中宏季	6/7	6/28	15	英語	
	データサイエンス論Ⅱ	L	4085	—	1	中村哲	デ(情)		中村哲、須藤克仁、船津公人、宮尾知幸、小野直亮、武藤愛、国田勝行、畑中美穂	7/5	8/2	15	英語	
	情報科学特別講義A	L	4029	—	1		情	—	（AとBは隔年開講）	—	—	15	英語	隔年開講（H31不開講）
	情報科学特別講義B	L	4030	—	1	プログラム長（情報理工学）	情	—	新谷道広、田中宏季、藤本大介、Soufi Mazen、久保尋之、陳娜、畑秀明、Garcia Gustavo、樫原茂、Tran Thi Hong	1/14	1/20	15	英語	隔年開講
	情報科学特別講義C	L	4031	—	1		情	—	（CとDは隔年開講）	—	—	15	英語	隔年開講（H31不開講）
	情報科学特別講義D	L	4032	—	1	プログラム長（情報理工学）	情	—	新谷道広、田中宏季、藤本大介、Soufi Mazen、久保尋之、陳娜、畑秀明、Garcia Gustavo、樫原茂、Tran Thi Hong	1/14	1/20	15	英語	隔年開講
	音情報処理	L	4033	—	1	中村　哲	情	—	中村哲、Sakriani Sakti、吉野幸一郎、(高道慎之介)	10/4	11/29	15		
	系列データモデリング	L	4034	—	1	須藤　克仁	情	—	須藤克仁、Sakriani Sakti、吉野幸一郎	10/7	12/6	15	英語	
	ロボティクス	L	4035	—	1	小笠原　司	情	—	小笠原司、高松淳	10/7	12/6	15		
	現代情報セキュリティ論	L	4036	—	1	門林　雄基	情	—	門林雄基、(村井純)、妙中雄三	9/26	12/5	15	英語	
	情報理論	L	4037	—	1	槇　勇一	情	—	(槇勇一)	6/7	7/19	15		
	ハードウェアセキュリティ	L	4038	—	1	林　優一	情	—	林優一、藤本大介	10/10	12/5	15		
	符号理論	L	4039	—	1	岡田　実	情	—	岡田実、門林雄基	10/9	12/4	15	英語	
	確率過程論	L	4040	—	1	笠原　正治	情	—	笠原正治	10/10	12/5	15		
	計算神経科学	L	4041	—	1	吉本　潤一郎	情	—	吉本潤一郎、作村諭一	10/8	12/3	15		
	情報セキュリティ運用リテラシーⅠ	L	4042	—	1	藤川　和利	情	—	(砂原秀樹)、藤川和利、門林雄基、(猪俣敦夫)、林優一	4/26	7/12	15		(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティ運用リテラシーⅡ	L	4043	—	1	藤川　和利	情	—	(砂原秀樹)、藤川和利、門林雄基、(猪俣敦夫)、林優一	10/18	1/17	15		(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティ演習A	P	4044	—	1	藤川　和利	情	—	藤川和利、門林雄基、林優一	(電子シラバスで確認)		15		
	情報セキュリティ演習B	P	4045	—	1	藤川　和利	情	—	藤川和利、門林雄基、林優一、(本間尚文)	(電子シラバスで確認)		15		

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	所属（正）	所属（副）	担当教員	授業開講期間		総授業時間数	英語開講（主たる言語）	備考
										開始日	終了日			
	情報セキュリティ演習C	P	4046	—	1	藤川　和利	情	—	藤川和利、門林雄基、林優一	（電子シラバスで確認）		15		
	最適化数学	L	4047	—	1	杉本　謙二	情	—	杉本謙二	6/10	8/5	15		
	データ解析	L	4048	—	1	金谷　重彦	情	—	金谷重彦	6/10	8/5	15		
	システム要求工学	L	4086	—	1	飯田　元	情	—	（田中康）、（高井利憲）、飯田元	集中講義	集中講義	15		
	システム開発プロセス	L	4087	—	1	飯田　元	情	—	（田中康）、（高井利憲）、飯田元	集中講義	集中講義	15		
	応用生命科学・微生物科学	L	4049	—	1	吉田　昭介	バ	—	森浩禎、真木壽治、秋山昌広、塩崎一裕、髙木博史、塚崎智也、木俣行雄、吉田昭介、（乾将行）	10/7	12/6	15		
	応用生命科学・植物科学	L	4050	—	1	西條　雄介	バ	—	伊藤寿朗、中島敬二、出村拓、加藤晃、梅田正明、西條雄介、吉田聡子、峠隆之	10/7	12/6	15		
	応用生命科学・バイオメディカル	L	4051	—	1	末次　志郎	バ	—	末次志郎、伊東広、石田靖雅、加藤順也、河合太郎、栗崎晃、稲垣直之、磯谷綾子	10/7	12/6	15		
	アプライドライフサイエンス	L	4088	—	1	岡村　勝友	バ	—	末次志郎、笹井紀明、岡村勝友、峠隆之、加藤晃、梅田正明	6/6	8/1	15	英語	
	バイオサイエンスの産業展開Ⅰ	L	4052	A	1	加藤　晃	バ	—	加藤晃、髙木博史、庄司翼、石田靖雅	10/8	12/3	15		
	バイオサイエンスの産業展開Ⅰ	L	4052	B	1	髙木　博史	バ	—	髙木博史、（新城雅子）	（電子シラバスで確認）		15	英語	
	バイオサイエンスの産業展開Ⅱ	L	4053	—	1	髙木　博史	バ	—	髙木博史、（山口京二）、（佐藤孝明）、（野中源）、（藤田朋宏）、（北川雄司）、（新城雅子）、（芦刈俊彦）、（村上敬）	9/3	9/27	15		
	発生生物学特別講義	L	4054	—	1	別所　康全	バ	—	別所康全	（電子シラバスで確認）		15		理研CDBとの連携
	バイオサイエンスの先端技法	L	4055	A	1	別所　康全	バ	—	別所康全、森浩禎、岡村勝友、石田靖雅、秋山昌広、峠隆之、栗崎晃、久保稔、稲田のりこ、三好悟一（東京女子医大）	6/11	8/6	15		
	バイオサイエンスの先端技法	L	4055	B	1	別所　康全	バ	—	別所康全、森浩禎、岡村勝友、石田靖雅、秋山昌広、峠隆之、栗崎晃、久保稔、稲田のりこ、三好悟一（東京女子医大）	11/28	12/6	15	英語	
	植物発生生理学	L	4056	—	1	吉田　聡子	バ	—	伊藤寿朗、橋本隆、中島敬二、出村拓、梅田正明、西條雄介、吉田聡子、峠隆之	6/5	8/7	15		
	動物発生学	L	4057	—	1	笹井　紀明	バ	—	笹井紀明、松井貴輝、稲垣直之、磯谷綾子、駒井章治、栗崎晃	6/11	8/6	15		
	薬理・病態生化学	L	4058	—	1	伊東　広	バ	—	伊東広、箱嶋敏雄、別所康全、塩崎一裕、木俣行雄、塚崎智也	10/7	12/6	15		
	免疫学	L	4059	—	1	河合　太郎	バ	—	河合太郎、石田靖雅、西條雄介、（新藏礼子）	10/8	12/3	15		
	ゲノム・がん生物学	L	4060	—	1	加藤　順也	バ	—	加藤順也、森浩禎、末次志郎、真木壽治、秋山昌広、加藤菊也	10/9	12/4	15		
	生物間相互作用学	L	4061	—	1	吉田　聡子	バ	—	吉田聡子、（新藏礼子）、西條雄介、大野博司（横浜理研）	6/6	8/7	15		
	国際バイオ特論A	L	4062	—	1	塩崎　一裕	バ	—	真木智子、（外部講師）	12/9	12/10	15	英語	
	国際バイオ特論B	L	4063	—	1	塩崎　一裕	バ	—	真木智子、（外部講師）	12/16	12/17	15	英語	
	バイオサイエンスにおけるビッグデータ	L	4064	—	1	森　浩禎	バ	—	森浩禎	6/5	8/7	15	英語	
	バイオサイエンスにおける先進トピックス	L	4065	—	1	髙木　博史	バ	—	髙木博史、助教等が分担して行う	1/14	1/21	15	英語	
	科学的発見の思考法	L	4089	—	1	塩崎　一裕	バ	—	真木智子	10/9	12/4	15	英語	
	半導体材料	L	4080	A	1	浦岡　行治	物	—	浦岡行治、石河泰明、三宅雅人	6/10	8/5	15		
	半導体材料	L	4080	B	1	浦岡　行治	物	—	浦岡行治、石河泰明	12/9	1/9	15	英語	留学生優先
	光電子工学	L	4081	A	1	太田　淳	物	—	太田淳、（徳田崇）、細川陽一郎、Yaxiaer	6/11	8/6	15		
	光電子工学	L	4081	B	1	太田　淳	物	—	太田淳、（徳田崇）、細川陽一郎、Yaxiaer	12/10	1/17	15	英語	留学生優先
	有機・高分子化学	L	4082	A	1	山田　容子	物	—	山田容子、網代広治、安原主馬	6/11	8/6	15		
	有機・高分子化学	L	4082	B	1	網代広治	物	—	Gwénaël Rapenne、網代広治	12/10	1/17	15	英語	留学生優先
	電子原子物性特論	L	4066	A	1	服部　賢	物	—	服部賢、細糸信好、武田さくら	6/5	7/31	15		日本語開講
	電子原子物性特論	L	4066	B	1	服部　賢	物	—	服部賢、細糸信好、武田さくら	—	—	15	英語	隔年英語開講（H31不開講）
	フォトニクス特論	L	4067	A	1	太田　淳	物	—	太田淳、柳田健之、（徳田崇）、河口範明	6/5	7/31	15		日本語開講
	フォトニクス特論	L	4067	B	1	太田　淳	物	—	太田淳、柳田健之、（徳田崇）、河口範明	—	—	15	英語	隔年英語開講（H31不開講）
	光・情報素子工学特論	L	4068	A	1	細川　陽一郎	物	—	細川陽一郎、Yaxiaer、浦岡行治、石河泰明	6/6	8/1	15		日本語開講
	光・情報素子工学特論	L	4068	B	1	細川　陽一郎	物	—	細川陽一郎、Yaxiaer、浦岡行治、石河泰明	12/9	1/9	15	英語	隔年英語開講（H31開講）
	量子情報・エネルギー材料特論	L	4069	—	1	柳　久雄	物	—	柳久雄、中村雅一、香月浩之、辨天宏明	6/6	8/1	15	英語	隔年日本語／英語開講（H31英語開講）
	生体分子科学特論	L	4070	A	1	廣田　俊	物	—	上久保裕生、廣田俊、松尾貴史、藤間祥子	6/5	7/31	15		日本語開講
	生体分子科学特論	L	4070	B	1	廣田　俊	物	—	上久保裕生、廣田俊、松尾貴史、藤間祥子	12/10	1/17	15	英語	隔年英語開講（H31開講）
	精密有機・高分子合成特論	L	4071	A	1	森本　積	物	—	森本積、網代広治、谷本裕樹	6/5	7/31	15		日本語開講
	精密有機・高分子合成特論	L	4071	B	1	森本　積	物	—	森本積、網代広治、谷本裕樹	—	—	15	英語	隔年英語開講（H31不開講）
	分子フォトサイエンス特論	L	4072	A	1	山田　容子	物	—	山田容子、河合壯、中嶋琢也、荒谷直樹	6/6	8/1	15		日本語開講
	分子フォトサイエンス特論	L	4072	B	1	山田　容子	物	—	山田容子、河合壯、中嶋琢也、荒谷直樹	—	—	15	英語	隔年英語開講（H31不開講）
	高分子化学特論	L	4073	A	1	安原　主馬	物	—	安原主馬、安藤剛	6/6	8/1	15		日本語開講
	高分子化学特論	L	4073	B	1	安原　主馬	物	—	Gwénaël Rapenne、安原主馬、安藤剛	—	—	15	英語	隔年英語開講（H31不開講）
	マテリアルインフォマティクス特論	L	4074	A	1	畑中　美穂	物	—	畑中美穂、河合壯、宮尾知幸	6/11	8/6	15		日本語開講
	マテリアルインフォマティクス特論	L	4074	B	1	畑中　美穂	物	—	畑中美穂、河合壯、宮尾知幸	12/11	1/17	15	英語	隔年英語開講（H31開講）
	物質科学技術特論	L	4075	—	1	プログラム長（物質理工学）	物	—	連携研究室教員（上利 泰幸、足立 秀明、北村 圭司、本田 崇宏、余語 克則）	10/7	11/25	24		
	物質科学特論A	L	4076	—	1	プログラム長（物質理工学）	物	—	（木下豊彦）、（安江常夫）	11/6	12/26	15	英語	隔年日本語／英語開講（H31英語開講）
	物質科学特論B	L	4077	—	1	プログラム長（物質理工学）	物	—	（小野新平）、（越水正典）	1/15	1/21	15	英語	隔年日本語／英語開講（H31英語開講）
	物質科学特論C	L	4078	—	1	プログラム長（物質理工学）	物	—	（松原誠二郎）、（藤ヶ谷剛彦）、（佐伯昭紀）、（堀憲次）、（北河康隆）	10/18	（電子シラバスで確認）	15		
	物質科学特論D	L	4079	—	1	プログラム長（物質理工学）	物	—	（瀧上隆智）、（原田敦史）	12/2	12/13	15		
	プロジェクト実習	P	4083	—	1	—	—	—	テーマ毎に異なる	テーマ毎に異なる		—	日本語／英語	

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	所属（正）	所属（副）	担当教員	授業開講期間		総授業時間数	英語開講（主たる言語）	備考
										開始日	終了日			
PBL科目	情報理工学PBL Ⅰ	P	5001	—	1	プログラム長（正）	情	—	中島康彦、井上美智子、安本慶一、伊藤実、松本健一、飯田元、門林雄基、林優一、藤川和利、松本裕治、中村哲、岡田実、清川清、加藤博一、向川康博、（萩田紀博）、荒牧英治、小笠原司、杉本謙二、笠原正治、池田和司、佐藤嘉伸、金谷重彦、（金出武雄）、久保孝富	テーマ毎に異なる		—	日本語／英語	※PBL科目の責任教員はプログラム長（正）とする。
	情報理工学PBL Ⅱ	P	5002	—	1	プログラム長（正）	情	—	中島康彦、井上美智子、安本慶一、伊藤実、松本健一、飯田元、門林雄基、林優一、藤川和利、松本裕治、中村哲、岡田実、清川清、加藤博一、向川康博、（萩田紀博）、荒牧英治、小笠原司、杉本謙二、笠原正治、池田和司、佐藤嘉伸、金谷重彦、（金出武雄）、久保孝富	テーマ毎に異なる		—	日本語／英語	
	情報生命科学PBL Ⅰ	P	5003	—	1	プログラム長（正）	情	バ	別所康全、金谷重彦、小野直亮、MD.Altaf-Ul-Amin	（電子シラバスで確認）		—	日本語／英語	
	情報生命科学PBL Ⅱ	P	5004	—	1	プログラム長（正）	情	バ	別所康全、金谷重彦、小野直亮、MD.Altaf-Ul-Amin	（電子シラバスで確認）		—	日本語／英語	
	バイオサイエンスPBL Ⅰ	P	5005	—	1	プログラム長（正）	バ	—	別所康全、他	（電子シラバスで確認）		—	日本語／英語	
	バイオサイエンスPBL Ⅱ	P	5006	A	1	プログラム長（正）	バ	—	別所康全、（加藤和人）、（伏木信次）、（新名惇彦）、（横田明穂）、秋山昌広	（電子シラバスで確認）		—		
	バイオサイエンスPBL Ⅱ	P	5006	B	1	プログラム長（正）	バ	—	別所康全、（加藤和人）、（伏木信次）、（新名惇彦）、（横田明穂）、秋山昌広	（電子シラバスで確認）		—	英語	
	バイオナノ理工学PBL Ⅰ	P	5007	—	1	プログラム長（正）	バ	物	梅田正明、伊東広、稲垣直之、木俣行雄、高塚大知、小林哲夫、島山道則	12/9	12/18	—	日本語／英語	
	バイオナノ理工学PBL Ⅱ	P	5008	—	1	プログラム長（正）	物	バ	廣田俊、上久保裕生、松尾貴史、安藤剛、安原主馬、藤間祥子、長尾聡、山中優、山崎洋一、林有吾	（電子シラバスで確認）		—	日本語／英語	
	物質理工学PBL Ⅰ	P	5009	—	1	プログラム長（正）	物	—	中村雅一、河口範明、服部賢、細糸信好、Yaxiaer、香月浩之、辨天宏明、安國良平、武田さくら、重城貴信、山田壮平、山下淨、Jung Min-Cherl	（電子シラバスで確認）		—	日本語／英語	
	物質理工学PBL Ⅱ	P	5010	—	1	プログラム長（正）	物	—	山田容子、中村雅一、荒谷直樹、中嶋琢也、森本積、野々口斐之、小島広孝、西野智雄、谷本裕樹、林宏暢、山田美穂子、尾本賢一郎、松尾恭平	（電子シラバスで確認）		—	日本語／英語	
	知能社会創成科学PBL Ⅰ	P	5011	—	1	プログラム長（正）	情	物	中島康彦、井上美智子、安本慶一、伊藤実、松本健一、飯田元、門林雄基、林優一、藤川和利、岡田実、清川清、加藤博一、向川康博、小笠原司、杉本謙二、笠原正治	テーマ毎に異なる		—	日本語／英語	
	知能社会創成科学PBL Ⅱ	P	5012	—	1	プログラム長（正）	物	情	浦岡行治、太田淳、石河泰明、笹川清隆、春田牧人、上沼睦典、藤井茉美、Bermundo Juan Paolo Soria、水野斎	（電子シラバスで確認）		—	日本語／英語	
	データサイエンスPBL Ⅰ	P	5013	—	1	プログラム長（正）	デ（バ）	情物	中村哲、森浩禎、須藤克仁、小野直亮、武藤愛、畑中美穂、宮尾知幸	（電子シラバスで確認）		15	日本語／英語	
	データサイエンスPBL Ⅱ	P	5014	—	1	プログラム長（正）	デ（バ）	情物	中村哲、須藤克仁、森浩禎、武藤愛、小野直亮、畑中美穂、宮尾知幸	（電子シラバスで確認）		15	日本語／英語	
研究活動科目	ゼミナールⅠ	—	6001	—	1	主指導教員	—	—	主指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	
	ゼミナールⅡ	—	6002	—	1	主指導教員	—	—	主指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	
	コロキアム A	—	6003	—	1	主指導教員	—	—	主指導教員	テーマ毎に異なる		—	日本語／英語	
	コロキアム B	—	6004	—	1	主指導教員	—	—	主指導教員	テーマ毎に異なる		—	日本語／英語	
	研究実験Ⅰ	—	6005	—	2	主指導教員	—	—	主指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	
	研究実験Ⅱ	—	6006	—	2	主指導教員	—	—	主指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	
	研究論文	—	6007	—	5	主指導教員	—	—	指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	

・講義形態のLは講義科目、Pは演習科目を示す。
・責任教員・担当教員の（　　）は、非常勤講師を示す。集中講義日程の詳細は電子シラバスに掲載。

授業開講期間に具体の日付が入っていない授業科目の日程は、詳細が決まり次第、随時、電子シラバスに掲載しますので、確認してください。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　教育支援システム　→　シラバス＞＞

平成 31 年度先端科学技術研究科　博士後期課程　授業科目及び授業責任教員一覧

区分	授業科目名	授業形態	授業番号	クラスコード	単位数	責任教員	所属（正）	所属（副）	担当教員	授業開講期間		総授業時間数	英語開講（主たる言語）	備考
										開始日	終了日			
研究者の素養を養う科目	英語上級Ａ	L	7001	A	1	Michael Barker	教（情）	—	Michael Barker	12/11	2/5	15	英語	
	英語上級Ａ	L	7001	B	1	McDowell Leigh	教（物）	—	McDowell Leigh	12/11	2/5	15	英語	
	英語上級Ｂ	L	7002	A	1	Michael Barker	教（情）	—	Michael Barker	10/8	12/3	15	英語	
	英語上級Ｂ	L	7002	B	1	（David Sell）	教（情）	—	（David Sell）	11/8	12/6	15	英語	
	英語上級Ｂ	L	7002	C	1	Paul McAleese	教（バ）	—	Paul McAleese	10/8	12/3	15	英語	
	英語上級Ｂ	L	7002	D	1	Paul McAleese	教（バ）	—	Paul McAleese	12/12	2/13	15	英語	
	英語上級Ｃ	L	7003	A	1	McDowell Leigh	教（物）	—	McDowell Leigh	9/2	9/30	15	英語	
	英語上級Ｃ	L	7003	B	1	（中山裕木子）	教（物）	—	（中山裕木子）	9/6	9/27	15	英語	
	英語上級Ｃ	L	7003	C	1	Michael Barker	教（情）	—	Michael Barker	10/10	12/5	15	英語	
	英語上級Ｄ	L	7004	A	1	McDowell Leigh	教（物）	—	McDowell Leigh	10/10	12/5	15	英語	
	英語上級Ｄ	L	7004	B	1	（中山裕木子）	教（物）	—	（中山裕木子）	11/13	12/4	15	英語	
	英語上級Ｅ	L	7029	—	1	Michael Barker	教（情）	—	Michael Barker	6/6	8/1	15	英語	
	海外英語研修Ⅰ	P	7005	—	2	教務委員長／主指導教員	—	—	授業担当教員（研究科企画）／指導教員	テーマ毎に異なる		30	英語	
	海外英語研修Ⅱ	P	7006	—	2	教務委員長／主指導教員	—	—	授業担当教員（研究科企画）／指導教員	テーマ毎に異なる		30	英語	
	海外英語研修Ⅲ	P	7007	—	2	教務委員長／主指導教員	—	—	授業担当教員（研究科企画）／指導教員	テーマ毎に異なる		30	英語	
	国際研修Ⅰ	P	7008	—	1	教務委員長／主指導教員	—	—	授業担当教員（研究科企画）／指導教員	テーマ毎に異なる		15	英語	
	国際研修Ⅱ	P	7009	—	1	教務委員長／主指導教員	—	—	授業担当教員（研究科企画）／指導教員	テーマ毎に異なる		15	英語	
	国際研修Ⅲ	P	7010	—	1	教務委員長／主指導教員	—	—	授業担当教員（研究科企画）／指導教員	テーマ毎に異なる		15	英語	
	研究留学Ⅰ	P	7011	—	2	教務委員長／主指導教員	—	—	授業担当教員（研究科企画）／指導教員	テーマ毎に異なる		30	英語	
	研究留学Ⅱ	P	7012	—	2	教務委員長／主指導教員	—	—	授業担当教員（研究科企画）／指導教員	テーマ毎に異なる		30	英語	
	研究留学Ⅲ	P	7013	—	2	教務委員長／主指導教員	—	—	授業担当教員（研究科企画）／指導教員	テーマ毎に異なる		30	英語	
	国際ワークショップ企画演習	P	7014	—	1	教務委員長／主指導教員	—	—	授業担当教員（研究科企画）／指導教員	テーマ毎に異なる		15	英語	
	プロジェクトマネジメントⅠ	P	7015	—	1	教務委員長／主指導教員	—	—	主指導教員	テーマ毎に異なる		15	英語	
	プロジェクトマネジメントⅡ	P	7016	—	1	教務委員長／主指導教員	—	—	主指導教員	テーマ毎に異なる		15	英語	
	プロジェクトマネジメントⅢ	P	7017	—	1	教務委員長／主指導教員	—	—	主指導教員	テーマ毎に異なる		15	英語	
	情報理工学特別講義	L	7018	—	1	プログラム長（正）	情	—	新谷道広、田中宏季、藤本大介、Soufi Mazen、久保尋之、陳娜、畑秀明、Garcia Gustavo、樫原茂、Tran Thi Hong	（電子シラバスで確認）		15	英語	※特別講義の責任教員はプログラム長（正）とする。
	情報生命科学特別講義	L	7019	—	1	プログラム長（正）	情	バ	—	（電子シラバスで確認）		15	英語	
	バイオサイエンス特別講義	L	7020	—	1	高木　博史	バ	—	高木博史、助教等が分担して行う	1/14	1/21	15	英語	
	バイオナノ理工学特別講義	L	7021	—	1	プログラム長（正）	バ	物	廣田俊、上久保裕生、安藤剛、網代広治、橋本隆、出村拓、梅田正明、伊藤寿朗	（電子シラバスで確認）		15	英語	
	物質理工学特別講義	L	7022	—	1	プログラム長（正）	物	—	中村雅一	（電子シラバスで確認）		15	日本語／英語	
	知能社会創成科学特別講義	L	7023	—	1	プログラム長（正）	物	情	浦岡行治、太田淳、新谷道広、田中宏季、藤本大介、Soufi Mazen、久保尋之、陳娜、畑秀明、Garcia Gustavo、樫原茂、Tran Thi Hong	（電子シラバスで確認）		15	英語	
	データサイエンス特別講義	L	7024	—	1	プログラム長（正）	デ（バ）	情物	中村哲、船津公人、森浩禎、浦岡行治、小野直亮、鈴木優、国田勝行、安国良平	（電子シラバスで確認）		15	英語	
	イノベーションマネジメントＡ	L	7025	—	1	久保　浩三	研（情）	—	久保浩三	12/9	1/6	15	英語	
	イノベーションマネジメントＢ	L	7026	—	1	（David Sell）	情	—	（David Sell）	12/9		2/10	15	英語
	キャリアマネジメントＡ	L	7027	—	1	教務委員長／主指導教員	—	—	教務委員／指導教員	テーマ毎に異なる		15	英語	
	キャリアマネジメントＢ	L	7028	—	1	教務委員長／主指導教員	—	—	教務委員／指導教員	（電子シラバスで確認）		15	英語	
自律的な研究能力を養う科目	先進ゼミナール	P	8001	—	1	主指導教員	—	—	指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	
	博士論文研究Ⅰ	P	8002	—	3	主指導教員	—	—	指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	
	博士論文研究Ⅱ	P	8003	—	3	主指導教員	—	—	指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	
	博士論文研究Ⅲ	P	8004	—	3	主指導教員	—	—	指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	
	博士論文研究Ⅳ	P	8005	—	3	主指導教員	—	—	指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	
	博士論文研究Ⅴ	P	8006	—	3	主指導教員	—	—	指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	
	博士論文研究Ⅵ	P	8007	—	3	主指導教員	—	—	指導教員	研究室毎に異なる		—	日本語／英語	

・講義形態のＬは講義科目、Ｐは演習科目を示す。
・責任教員・担当教員の（　　）は、非常勤講師を示す。集中講義日程の詳細は電子シラバスに掲載。

授業開講期間に具体の日付が入っていない授業科目の日程は、詳細が決まり次第、随時、電子シラバスに掲載しますので、確認してください。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　教育支援システム　→　シラバス ＞＞

６－２．授業番号に関する情報（ナンバリング）

授業番号は、授業科目の水準に基づく４桁の数字で構成されます。

［ナンバリングの見方］

１桁目：授業科目の水準を示す。

1XXX = 一般科目（博士前期課程）

2XXX = 序論科目（博士前期課程）

3XXX = 基盤科目（博士前期課程）

4XXX = 専門科目（博士前期課程）

5XXX = PBL 科目（博士前期課程）

6XXX = 研究活動科目（博士前期課程）

7XXX = 研究者の素養を養う科目（博士後期課程）

8XXX = 自律的な研究能力を養う科目（博士後期課程）

2～4 桁目：1 桁目の区分毎の授業科目の識別番号を示す。

X**XXX** = 001～999 の番号

また、授業科目によってはクラス分けされるものがありますので、授業科目及び担当教員一覧の授業番号の列の右側にクラスコードの列を設け表示しています。

６－３．授業時間割

授業時間割は、電子シラバスシステムから確認できます。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　教育支援システム　→　シラバス ＞＞

第７章　学位論文審査基準等（学位規程を含む）

■第７章　学位論文審査基準等（学位規程を含む）

７－１．学位論文審査基準

＜博士前期課程＞

（修士論文の審査基準）

修士論文は、新規性や有効性を重視した上で、専攻分野にかかる学術論文として以下の項目に基づき審査を行います。

具体的には、各審査委員が修士論文の内容に関わる項目についての評価を行い、その評価が設定された基準を満たした場合に、合格とします。

１.研究の背景や目的が十分に説明されている。
２.研究の進め方や研究方法についての吟味が十分になされている。
３.実験データや理論計算の結果、調査結果についての整理と解析が十分になされている。
４.得られた結果に基づく結論や新しい仮説への展開が論理的に十分に示されている。
５.論文が学術的な記述法で適切に記述されている。
６.研究倫理の問題に適切に対応している。

＜博士後期課程＞

（博士論文の審査基準）

博士論文は、新規性や有効性を有する専攻分野にかかる学術論文として以下の項目に基づき審査を行います。

なお、その主要な部分は、博士論文提出者自身が査読のある学術論文、査読のある国際会議、或いは、著書などで公表しているか、もしくは、公表予定であることを審査における前提条件とします。

具体的には、各審査委員が博士論文の内容に関わる項目についての評価を行い、その評価が設定された基準を満たした場合に、合格とします。

１.研究の背景や目的が十分に説明されている。
２.研究の進め方や研究方法についての吟味が十分になされている。
３.実験データや理論計算の結果、調査結果についての整理と解析が十分になされている。
４.得られた結果に基づく結論や新しい仮説への展開が論理的に十分に示されている。
５.論文が学術的な記述法で適切に記述されている。
６.研究倫理の問題に適切に対応している。

○学位取得を見据えたマイル／キャップストーン

本学では、円滑な学位授与を促進するため、学位取得を博士前期課程・博士後期課程それぞれのキャップストーンとし、それを見据えたマイルストーンを設定しています。この制度は、平成３０年度受入れ学生から適用します。以下に、例として、４月入学で標準修業年限修了の場合のマイル／キャップストーンの設定時期のガイドラインを示します。

＜博士前期課程＞

- マイルストーン　：２年次　１１月までに１回（中間報告）
- キャップストーン：２年次　　２月（修士論文審査）

＜博士後期課程＞

- マイルストーン　：１年次　１１月までに１回（中間報告）
- マイルストーン　：２年次　１１月までに１回（中間報告）
- マイルストーン　：３年次　１１月までに１回（中間報告）
- キャップストーン：３年次　　２月（博士論文審査）

※マイルストーンでの評価は、博士前期課程2年次以降、毎年次1回は行うものとする。

マイル／キャップストーンの指標となるルーブリック表は、教育カルテシステムから確認できます。

自身で研究を進める過程において、このルーブリックを定期的に活用することで、より質の高い研究に到達するために必要なことを確認し、論文を自ら改善するのに役立ててください。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　教育支援システム　→　教育カルテシステム（ログイン画面へ）＞＞

７－２．学位規程

奈良先端科学技術大学院大学学位規程

平成１６年４月１日
規程第　１９　号

（趣旨）
第１条　この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成１６年学則第１号。以下「学則」という。）第４４条第３項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）において授与する学位に関し必要な事項を定める。

（学位の種類及び専攻分野の名称）
第２条　本学において授与する学位は、修士及び博士とする。
２　学位には、専攻分野の名称として、理学、工学又はバイオサイエンスを付記するものとする。

（学位授与の要件）
第３条　修士の学位は、本学の博士前期課程を修了した者に授与する。
２　博士の学位は、本学の博士後期課程を修了した者に授与する。
３　前項に定めるもののほか、博士の学位は、博士論文の審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認（以下「学力の確認」という。）された者に授与することができる。

（学位論文の提出等）
第４条　本学研究科の博士前期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に修士論文を添えて、研究科長に提出し、試験を受けるものとする。
２　特定の課題についての研究の成果を、前項の修士論文に代えることができる。
３　本学研究科の博士後期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に博士論文、論文目録、論文の内容の要旨及び履歴書を添えて、研究科長に提出し、試験を受けるものとする。
４　前条第３項の規定により、博士の学位の授与を受けようとする者は、学位申請書に博士論文、論文目録、論文内容の要旨、履歴書及び学位論文審査手数料を添え、学位に付記する専攻分野を指定して学長に提出するものとする。
５　学位論文審査手数料は、５７，０００円とする。
６　学長は、第４項の学位申請書を受理したときは、研究科長に回付するものとする。
７　提出した学位論文等及び納付した学位論文審査手数料は、返還しない。

（学位論文）
第５条　学位論文は、１編とし、修士論文は１通、博士論文は３通を提出するものとする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。
２　研究科長は、学位論文の審査のため必要があるときは、学位論文の訳文、模型、標本その他必要な資料の提出を求めることができる。

（試験及び学力の確認）

第６条　試験は、学位論文に関連のある専門分野について、筆記又は口述により行うものとする。
２　第３条第３項に規定する学力の確認は、博士論文に関連のある科目及び外国語について、筆記又は口述により行うものとする。

（審査委員会）
第７条　教授会は、論文の審査、試験及び学力の確認を行うため、審査委員会を設ける。
２　前項の審査委員会は、研究科及び学内共同教育研究施設の教員のうちから３人以上で構成する。この場合において、少なくとも教授２人又は教授１人及び教授会において認められた准教授１人を構成員としなければならない。
３　審査委員会に主査を置く。
４　教授会において審査のため必要があると認めたときは、他の大学院若しくは研究所等の教員等を審査委員に加えることができる。
５　第４条第４項の規定により提出のあった者の論文の審査及び学力の確認は、博士論文が提出された日から１年以内に終了しなければならない。ただし、特別の事由があるときは、教授会の議を経て、その期間を延長することができる。

（審査結果の報告）
第８条　修士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び試験が終了したときは、直ちに、学位を授与できるか否かの意見を教授会に文書で報告しなければならない。
２　博士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び試験又は学力の確認が終了したときは、直ちに、学位を授与できるか否かの意見を教授会に文書で報告しなければならない。この場合において、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に掲げる書類を提出するものとする。
（１）第４条第３項の規定による者の場合　論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び試験の結果の要旨
（２）第４条第４項の規定による者の場合　論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び学力の確認の結果の要旨

（学位授与の審議）
第９条　教授会は、前条の報告に基づいて、学位の授与について審議する。

（審議結果の報告）
第１０条　研究科長は、教授会の審議結果を文書で学長に報告しなければならない。

（学位の授与）
第１１条　学長は、前条の報告に基づいて学位を授与できると決定した者に学位記を授与する。
２　学位記の様式は、様式第１号、様式第２号及び様式第３号までのとおりとする。
３　学長は、学位を授与できないと決定した者には、その旨通知する。

（博士論文の要旨等の公表等）
第１２条　学長は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から３月以内に文部科学大臣に報告するとともに、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の

要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

（博士論文の公表）
第１３条　博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から１年以内に当該博士論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。
２　前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を得て、当該博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、当該博士論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
３　博士の学位を授与された者が行う前２項の規定による公表は、本学を通じて、インターネットの利用により行うものとする。

（学位名称の使用）
第１４条　本学の学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、本学の名称を付記するものとする。

（学位授与の取消）
第１５条　学長は、学位を授与された者が、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、教授会の議を経て、学位授与を取り消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

（雑則）
第１６条　この規程に定めるもののほか、学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

附　則
この規程は、平成１６年４月１日から施行する。
附　則
（施行期日）
１　この規程は、平成２５年６月１日から施行する。
（経過措置）
２　この規程による改正後の学位規程（以下「新学位規程」という。）第１２条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。
３　新学位規程第１３条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与された者について適用し、同日前に博士の学位を授与された者については、なお従前の例による。
附　則
この規程は、平成２７年４月１日から施行する。
（施行期日）
１　この規程は、平成３０年４月１日から施行する。
（経過措置）
２　平成２９年度以前に入学した学生については、第７条第２項の規定を除き、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

様式第１号（第１１条関係）（博士前期課程を修了した場合）

修第　　号

学　位　記

氏　名

年　月　日生

本学大学院先端科学技術研究科先端科学技術専攻の博士前期課程（○○プログラム）を修了したので修士（◯◯）の学位を授与する

平成　年　月　日

奈良先端科学技術大学院大学長

学長名
大学の印　　学長の印

（注１）用紙の大きさは、A4 版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE　AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Master of（専攻分野の名称）
upon

（ 氏　　名）
(Surname)　(Givenname)

(Date of Birth)

for having successfully completed the Master `s Course (Program of ○○) in the Graduate　School of Science and Technology

Date of Issue: (発行日)

Official Seal of the Institute President`s Seal

（学長署名）
（学長名）
President,
Master's No.：（番号）Nara Institute of Science and Technology

（注１）用紙の大きさは、A4 版とする。

様式第２号（第１１条関係）（博士後期課程を修了した場合）

博第　　号

学　位　記

氏　名

年　月　日生

本学大学院先端科学技術研究科先端科学技術専攻の博士後期課程を修了したので博士（◯◯）の学位を授与する

論文題目　○○○○○○○○○○○○○○
　　○○○○○○○○○○○○○○

平成　年　月　日

奈良先端科学技術大学院大学長

学長名
大学の印　　学長の印

（注１）用紙の大きさは、A4 版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE　AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Doctor of（専攻分野の名称）
upon

（ 氏　　名）
(Surname)　(Givenname)

(Date of Birth)

for having successfully completed the Doctoral Course in the Graduate School of Science and Technology

Thesis Title：（論文題目）

Date of Issue:(発行日)

Official Seal of the Institute President`s Seal

（学長署名）
（学長名）
President,
Doctorate No.：（番号）Nara Institute of Science and Technology

（注１）用紙の大きさは、A4 版とする。

様式第３号（第１１条関係）（第３条第３項の規定により授与する場合）

博第　　号

学　位　記

氏　名

年　月　日生

本学に学位論文を提出し所定の審査に合格したので博士(○○)の学位を授与する

論文題目　○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○

平成　年　月　日

奈良先端科学技術大学院大学長

学長名
大学の印　学長の印

（注１）用紙の大きさは、A4 版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE　AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Doctor of（専攻分野の名称）
upon

（ 氏　　名）
(Surname)　(Givenname)

(Date of Birth)

for having submitted a Doctoral Dissertation
and having passed the Prescribed Evaluations

Thesis Title：(論文題目)

Date of Issue:(発行日)

Official Seal of the Institute President`s Seal

（学長署名）
（学長名）
President,
Doctorate No.：（番号）Nara Institute of Science and Technology

（注１）用紙の大きさは、A4 版とする。

７－３．学位授与までの日程

学位授与は、３ヶ月毎（３月、６月、９月、12 月）に行われます。以下に、学位授与までのおよその日程を、４月入学で３月修了する場合（標準修業年限修了（２年））の例を示します。

＜博士前期課程＞

12 月下旬	学位論文審査願、論文内容の要旨の提出 →期日までに研究科長（所属研究室の棟の1階事務室）に提出する。審査願には、専攻分野の名称希望（理学、工学、バイオサイエンス）を記入する。
１月中旬	教授会（論文題目、論文審査委員の承認）
２月中旬 ～ ２月下旬	修士論文発表会（論文審査と試験） →修士論文審査委員は、キャップストーンを確認し、学位論文審査基準に沿って審査する。審査結果は教授会に報告する。
２月下旬 or ３月上旬	教授会（審査報告・審議・議決：修了認定） →修了要件（修得単位、論文審査合格、試験合格）を満たすことを確認し、修了認定を行う。

＜博士後期課程＞

12 月上旬	博士論文審査願、論文目録、論文内容の要旨、履歴書の提出 →期日までに研究科長（所属研究室の棟の1階事務室）に提出する。審査願には、専攻分野の名称希望（理学、工学、バイオサイエンス）を記入する。
12 月中旬 ～ １月中旬	教授会（論文題目、論文審査委員の承認）
12 月中旬 ～ ２月中旬	公聴会（予備審査） →博士論文審査委員は、キャップストーンを確認し、学位論文審査基準に沿って審査する。必要であれば博士論文（最終稿）の指導を行う。参加者から評価に関する意見があった際は、審査委員はそれらを審査に取り入れる。合格すれば、学位論文審査に進める。公聴会の際に提出した博士論文に修正を加えて博士論文（最終稿）を仕上げる。
予備審査 合格次第	学位論文審査 →博士論文審査委員は、学位論文審査基準に沿って博士論文（最終稿）の審査を行う。必要に応じて当該学生が参加する。審査結果は教授会に報告する。
２月下旬 or ３月上旬	教授会（審査報告・審議・議決：修了認定） →修了要件（修得単位、論文審査合格、試験合格）を満たすことを確認し、修了認定を行う。

第 8 章　学修支援

■第８章　学修支援

８－１．保健管理センター（キャンパスマップ③）

学生・教職員の心身の健康を保持するため、Check 機能として健康診断を、Cure 機能としては日常診療を行い、Care 機能として生活指導・健康教育を充実させ、これらを相乗させ健康増進（health promotion）を目指すよう、大学会館の２階に保健管理センターがあります。センターには、診察室・懇話室／健康相談室・休養室が機能的に配置され、内科医師・看護師各１名が常勤しています。

所　　長　寶學 英隆（連絡先（所長室）　内線：5105）
看 護 師　西山 絹代（連絡先（診察室受付）　内線：5108）
利用時間　月曜日～金曜日　9:00～13:30、14:30～17:00（年末年始、祝日除く）

健康診断の日程など必要な事項は、電子メールで連絡します。なお、HCC NEWS（保健管理センターだより）を大学ホームページに掲載しています。

＜＜本学ホームページ　→　各研究科・学内施設　→　保健管理センター＞＞

８－２．障害学生支援室

本学では、障害のある学生が自立的な学生生活を送る上でのサポートを行うため、障害学生支援室を設置しています。本室には、障害やカウンセリングに関する専門知識を有するスタッフがおり、スタッフが関連部局や教職員等と連携しながら、障害のある学生の修学支援と学生相談（心理・生活相談）を行います。

８－３．キャリア支援室

本学では、学生のキャリア形成をサポートするために、キャリア支援室を設置しています。事務局棟１階（教育支援課隣り）に位置し、就職関連図書（SPI 対策本や会社四季報など）、インターンシップや就職に関するチラシを取り揃え、キャリア支援室担当者が皆さんのキャリア形成に関する様々なサポートを行っています。

１．開室時間　9:30～17:30（12:00～13:00 を除く）（大学が定める休日は閉室）

２．キャリア相談

キャリアビジョンや就職活動を進めていく上での悩み・不安などについて相談を受け付けています。相談には、キャリア支援室担当者のほか、就職支援機関のキャリア・アドバイザーが対応します。相談は予約制で、予約方法の詳細はキャリア支援室ホームページに掲載しています。なお、相談内容の秘密は厳守されます。

［予約用 URL］http://www.supersaas.jp/schedule/naist-career/

３．就職ガイダンス等

学生のキャリアアップや就職活動を支援するために、キャリアアップセミナー、就職ガイダンス、業界・企業研究会、公務員対策講座、各種テスト対策、エントリーシート対策講座などを実施しています。日程等の詳細は、後日、キャリア支援室ホームページやメールによりお知らせします。

４．就職関連図書の貸出

就職活動やキャリアビジョン策定に役立つ図書の貸出を行っています。図書貸出のルールはキャリア支援室ホームページに掲載しています。

５．連絡先

内線:5921/5922/6239　E-mail:career@ad.naist.jp　URL:http://www.naist.jp/career/

８－４．総合情報基盤センター（キャンパスマップ⑦）

総合情報基盤センター（ITC：Information iniTiative Center）は、本学の情報基盤、及び情報ネットワークシステム（曼陀羅システム）の整備・運用・管理、情報セキュリティ管理、情報メディアを活用した教育研究の支援等を行なっています。

曼陀羅システムとは

総合情報基盤センターでは、大学の情報基盤・情報ネットワークシステムのことを、**曼陀羅システム**と呼んでいます。“曼陀羅”とは密教における無限小の求心が逆に無限大の拡散に繋がる心理を意味しています。本学ではこれを基本理念として、利用者のニーズに基づいたシステム展開と、先進的な環境構築のために戦略的なアーキテクチャ構成を行っています。また“曼陀羅”が表す「過不足の無い充実した状態」の達成を目指し、曼陀羅システムの構築を進めています。

○曼陀羅システムを利用するには

主要サービス利用については、下記 URL をご覧ください。

■ メール
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/Mail/mailenv.html

■ 無線 LAN
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/wireless/

■ キャンパスライセンスソフトウェア
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/campuslicense/

■ プリンタ（複合機）
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/manual/printer/printer.html

■ 小規模計算サーバ
http://trac.naist.jp/trac/h29grid/

その他のサービス・問合せ窓口に関する情報は下記 URL の上部タブから参照できます。
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/index.ja.html

また、下記の各種規定及び基本ルール等を必ず守った上で利用してください。

■ 情報ネットワーク利用に関する倫理規定
http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/12020.pdf

■ 全学情報環境システム運用方針
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_ja.pdf

■ パスワードについて
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/password/good-passwd.html

■ PC のセキュリティ対策について
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/
使用する PC においてはセキュリティ対策を必ず実施してください。

■ P2P ソフトウェア利用に関して
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/p2p-request.html
P2P ソフトウェアは学内および学生宿舎での利用を禁止しています。

第９章　キャンパスライフ

■第９章　キャンパスライフ

９－１．授業料の額及び納付方法

○授業料の額及び口座振替による引落日

区分	授業料の額(※1)	引落日(※2)
博士前期課程 博士後期課程	535,800 円 (半期 267,900 円)	春学期(4 月～9 月)分：2019 年 5 月 27 日(月) 秋学期(10 月～3 月)分：2019 年 11 月 27 日(水)

※1：在学中に授業料改訂が行われた場合には、新授業料が適用されます。
(5 月及び 11 月に、電子メールにより授業料金額を通知しますので、ご確認願います。)
※2：5 月及び 11 月の授業料の引落日は 27 日ですが、27 日が金融機関休業日の場合、翌営業日の引き落しとなります。(引き落し日の前営業日の 15 時に残高照会が行われます)

○納付方法

本学で定める春学期分及び秋学期分の引落日に、それぞれ半期分を口座振替（代行納付）により引落しします。(春学期分と併せて秋学期分も納入を希望される方は、4 月 26 日(金)までに申し出てください。なお、免除申請者は申請の結果がわかるまで猶予されます。）口座振替の手続き等の詳細については会計課資金係（内線 5038）へ問い合わせてください。授業料の納付を２期分怠ると除籍となりますので、ご留意ください。

９－２．学生証

本学の学生証はカードになっています。このカードは、学生の身分を証明すると同時に、各建物への時間外（午後 7 時以降翌朝午前 7 時 30 分までの間、土日祝）の入室や証明書自動発行機の操作、図書館の本を貸し出しするための電子キーとしての働きもしますので、学内では常時着用してください。カードには、各学生の学籍番号、入学年月日等が入力されていますので、各建物への入室許可条件を自動判別することになります。

○カード所持にあたっての注意事項

① 学内では学生証入れ等を使用し、常時着用すること。
② 他人に貸与又は譲渡しないこと。
③ 紛失した場合あるいは磁気不良等でカードが使用できない場合は、直ちに教育支援課学務係へ届け出ること。
当該建物に入る際、カードリーダーを通しても作動しない場合は、インターホンで所属と氏名を告げてロックを解除してもらうこと。（事務局棟 1 階：防災センターで対応)
④ 有効期間が満了したとき及び退学等により学生の身分を失ったときは、直ちに教育支援課学務係へ返却すること。
⑤ 学生証の取扱いについては以下の事項に注意すること。
・高磁場・磁気（NMR 等）に近づけない
・高温な場所（夏場の車内等）に放置しない
・折り曲げない

９－３．学生個人報告書

入学手続き時に提出していただいた「学生個人報告書」の情報は、緊急時における連絡用として使用しますので、以下の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに教育支援課学務係へ届け出てください。

記載事項	・入学後の住所、電話番号、携帯電話番号 ・勤務先の情報（有職者のみ） ・緊急時の連絡先欄の連絡先氏名、続柄、住所、電話番号

９－４．諸手続・諸証明書

○諸手続

手続きには、大学があらかじめ掲示等で通知をし、一定の期間内に行うものと、必要となった都度自発的に行うものがあります。手続きを怠ったり時期を失したりした場合には、本人の不利益となるばかりでなく、多方面に支障をきたすことがあるので、十分注意してください。

提出書類	内　容	問合せ・提出窓口
休学願	3ヶ月以上修学できない場合 （個人留学を含む。病気の場合は診断書添付） ※2 週間前までに提出	教育支援課学務係
復学願	休学期間の途中で復学する場合 （病気の場合は診断書添付）	
復学届	休学期間満了時に復学する場合 （病気を理由に休学し、指導教員の指示があった場合は診断書添付）	
退学願	退学する場合 ※2 週間前までに提出	
改姓（名）届	姓名が変更した場合 ※住民票等、姓名の変更を確認できるものを添えて提出すること	
学生証再交付願	学生証を紛失したとき、汚損により使用不能となったとき	
海外渡航届	海外に渡航するとき	教育支援課教育企画係
留学願	海外に留学するとき ※2ヶ月前までに提出	国際課国際連携係
進路・就職（内定）届	修了等により本学の学籍がなくなる時	キャリア支援室
教育支援課関係の各種の願・届出書等の所定用紙は、教育支援課窓口及び大学ホームページから入手できます。 ＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　学務関係　→　教育カルテシステム＞＞		

○休学･退学の手続きに関する注意事項

（１）休学

・病気その他やむを得ない事由により、引き続き３ヶ月以上修学できない場合に申請することができます。 病気を理由に休学する場合は診断書を添付してください。
・休学期間は１年以内です。ただし、特別の理由がある場合は１年を限度として延長を申請できます。休学期間の延長を申請する場合には、再度、休学(延長)願を提出してください。
・休学期間は標準修業年限及び在学年限に算入しません。
・復学後の修了の見込み等もお知らせください。
・一部の証明書（修了見込証明書、健康診断証明書、学割証）について発行することはできません。
・図書館の利用はできません。
・休学期間中の授業料は徴収しません。
・休学期間の途中で復学する場合には「復学願」をご提出ください。
（病気を理由に休学していた場合は診断書を添付してください。）
・休学期間満了時に復学する場合には「復学届」をご提出ください。
（病気を理由に休学していた場合で、指導教員の指示があったときは診断書を添付してください。 ※指導教員の指示がなければ不要です。）
・休学のため健康診断を受けていない方は保健管理センターに相談してください。

（２）退学

・博士後期課程に３年以上在籍し、指導教員から研究指導を認定された上で退学される場合は、学籍（履歴）上は「研究指導認定退学」となります。
・すでに納付した授業料は返還しません。
・学生証は返却してください。
・学生宿舎に入居している方は、退去手続きが必要です。
・奨学金を受けている方は、変更手続きをしてください。
・授業料免除申請中の方は、学生支援係に連絡してください。

（３）共通

・授業料の納付が許可の条件となります。
・原則 学期単位で申請してください。
休学：開始日は原則４月または10月から。終了日は９月末または３月末。
退学：許可希望日は原則９月末または３月末。
・学籍異動希望日の２週間前が締切となります。願出の提出が遅れた場合は許可日が翌月となります。
・願出書の理由欄には具体的にご記入ください。「一身上の都合」では申請できません。業務多忙の場合には勤務先名称も併せてご記入ください。
・学生宿舎等の退去、奨学金受給停止手続きなども必要です。詳細は教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。
・休学により健康診断を未受診の場合は、原則、健康診断の受診が必要ですので、復学後、速やかに保健管理センターに相談してください。
・学籍記録については各自で把握してください。不明な点がありましたら教育支援課学務係へ問い合わせてください。

○証明書自動発行機で交付する証明書等

在学証明書、修了見込証明書、成績証明書、修了証明書、健康診断証明書及び学生旅客運賃割引証（学割証）については、学生証があれば証明書自動発行機により、即日交付します。なお、交付条件のあるものについては、以下の表を参照してください。

証明書の名称	交付条件等	証明書自動発行機 取扱時間及び設置場所
在学証明書 英文在学証明書	研究生等の非正規生を除く	取扱時間： 月曜日から金曜日 （祝日及び年末年始は除く） 7:30～19:00 まで ※早朝夜間に機器故障が発生する可能性がありますので、証明書類の発行は余裕をもって行ってください。 設置場所： 附属図書館玄関ロビー
修了見込証明書 英文修了見込証明書	博士前期課程については半年間在学後、博士後期課程については D2 から交付可能	
（博士前期課程在籍時の） 修了証明書 英文修了証明書 成績証明書 英文成績証明書	本学学内進学者のみ対象	
成績証明書／ 英文成績証明書	研究科長名で交付される証明書で、修得した科目のみ記載され、不合格科目は記載されません。	
成績表／英文成績表	自身の成績を確認するものです。修得した科目及び不合格科目について記載しています。	
健康診断証明書	一般定期健康診断時の全項目を検査している者に限る。なお、秋学期入学者は翌年に実施される同健康診断を受検後に発行	
学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）	・年間割当数 1 人当たり 10 枚 ・有効期間 3 か月 （研究生等の非正規生、休学者を除く）	

○窓口で交付する証明書

「学生宿舎入居証明書」、「学研災学研陪保険加入証明書」については、所定の証明書交付申請書を使用し、教育支援課学生支援係に申し込んでください。交付に日時を要する場合があります。あらかじめ余裕をもって申し込んでください。

９－５．通学証明書

○通学定期券について

自宅から本学間の通学定期券を購入する場合は、入学（進学）時に配布しています通学定期乗車券発行控に学籍番号、氏名及び住所を記入の上、定期券売り場で定期券購入申込書、学生証及び通学定期乗車券発行控を提示してください。（記入欄がなくなりましたら教育支援課学生支援係に申し出てください。）

なお、本学が指定している近鉄の最寄り駅は、京都線は「高の原」駅、奈良線は「学園前」駅、けいはんな線は「学研北生駒」駅です。

〇実習用通学定期券について

外部研究機関等における実習のため、実習用通学定期券を購入する場合は、通学証明書を発行しますので、実習開始の１ヶ月前までに教育支援課学生支援係に申し出てください。（鉄道会社等の承認が必要なため、発行に日数を要します。）

※研究生等の非正規生や休学中の学生は通学定期券を購入することはできません。

９－６．日本学生支援機構奨学金制度

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には、本人の出願に基づいて選考の上、奨学金が貸与されます。

日本学生支援機構奨学金制度には、無利子の第一種奨学金制度と有利子の第二種奨学金制度があります。第一種奨学金の貸与を受け、在学中に特に優れた業績をあげた者として支援機構が認定した方には、貸与期間終了時に、奨学金の全部または一部の返還が免除される制度があります。

区分	貸与月額		貸与期間
	第一種奨学金	第二種奨学金	
博士前期課程	月額50,000円、88,000円の選択可能	申請者が次の貸与月額から選択（5・8・10・13・15万円）	当該課程の標準（最短）修業年限以内
博士後期課程	月額80,000円、122,000円の選択可能		

申請手続き等詳細については、教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。

９－７．民間育英団体の奨学金

民間の育英奨学団体から奨学生の募集があった場合は、その都度通知します。

９－８．授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる方及び入学前１年以内に、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたこと等により、授業料の納付が著しく困難であると認められる方に対し、選考の上、授業料の全額又は一部を免除する制度があります。申請手続き等詳細については、教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。

９－９．学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課中、学校行事中、課外活動中、キャンパス内の休憩中及び通学中や学外実習等の移動中に被った不慮の災害事故に対する救済措置として全国の国・公・私立大学等の学生を対象とした傷害保険です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。詳細については、「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」を参照してください。

区分	保険料	保険期間（※）
博士前期課程	1,750 円	2 年間
博士後期課程	2,600 円	3 年間

※4 月入学者は所定修了年次 3 月 31 日まで、10 月入学者は所定修了年次 9 月 30 日まで

９－10. 学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠責）

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課中、学校行事、課外活動及びその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険制度です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。詳細については、「学研災付帯賠償責任保険加入者のしおり」を参照してください。

区分	保険料	保険期間（※）
博士前期課程	680 円	2 年間
博士後期課程	1,020 円	3 年間
対人賠償・対物賠償／1 事故 1 億円限度		

※4 月入学者は所定修了年次 3 月 31 日まで、10 月入学者は所定修了年次 9 月 30 日まで

９－11. 学生宿舎（キャンパスマップ⑭）

本学キャンパス内には次のとおり学生宿舎が設置されています。

［学生宿舎の概要］

区分	単　身　用	夫　婦　用	家　族　用
建物構造	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建
居室数	559 室	50 室	10 室
居室面積	13 ㎡	36.98～41.45 ㎡	51.56 ㎡
設備等	机, ベッド, ミニキッチン, トイレ等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機、エアコン等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機、エアコン等
共用設備	浴室, ランドリー室, ラウンジ等	――――	――――
寄宿料	月額 5,900 円	月額 11,900 円	月額 14,200 円
共益費	月額 4,100 円	月額 600～1,100 円	月額 1,100 円
光熱水料	入居者負担	入居者負担	入居者負担

９－12. 大学借り上げ住宅

（独）都市再生機構の賃貸住宅（ＵＲ住宅）を大学が借り上げ、希望者に提供しています。対象団地は中登美第三団地、富雄団地、平城第一団地の 3 団地です。

詳細は教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。

９－13. 駐車場及び駐輪場の利用

○自動車で通学する場合

大学構内に自動車を駐停車することはできません。大学北側の高山地区公共駐車場に駐車してください。駐車場は有料で、現金（1 日 300 円）を用意し又は予め定期券（駐車券）を購入して駐車してください。

なお、定期券（駐車券）は、初回のみ高山地区公共駐車場北側の大学支援財団（高山サイエンスプラザ内）で購入してください。2 回目以降は、大学会館 1 階コンビニエンスストアで購入することができます。

・定期券料金(学生)：1 ヶ月 1,500 円、3 ヶ月 4,000 円、6 ヶ月 7,500 円

○自転車及びバイクで通学する場合

大学構内に自転車及びバイクを駐車することはできません。大学北側の高山地区公共駐車場内にある駐輪場に駐輪してください。駐輪料金は無料です。

なお、駐輪場を利用する場合は、教育支援課学生支援係で登録手続きを行ってください。登録のない自転車やバイクは、放置自転車として撤去されます。

９－14. 福利厚生施設

○大学会館（キャンパスマップ③）

学生及び教職員の厚生施設である大学会館に、食堂、喫茶室、コンビニエンスストア、保健管理センターを設けています。

○研究者交流施設「ゲストハウスせんたん」（キャンパスマップ⑥）

本学学生・教職員も利用できます。詳しくは本学ホームページをご覧ください。
http://www.naist.jp/facilities/institution/person.html
［宿泊施設］予約・問合せ先：人事課福利厚生係
［集会施設］予約・問合せ先：人事課福利厚生係
［フィットネス室］申込みは必要ありません

○各種運動施設

本学学生・教職員が利用できます。申込み方法等は次のとおりです。

区　分	利用時間	申込み方法
グラウンド	午前８時から日没まで	毎月 20 日（土、日、祝日の場合は翌平日）に翌月分を抽選。 ・場所：学際融合領域研究棟２号館１階ロビー ・時間：午前９時
バレー・バスケットコート	午前８時から午後 10 時まで	
テニスコート	平日：午前８時から日没まで 土日祝：午前７時から日没まで	
テニスコート（照明付き）	平日：午前８時から午後９時まで 土日祝：午前７時から午後９時まで	

テニス、ソフトボール等スポーツ用具類、バーベキューセットの貸出しも行っています。利用についての詳細は、教育支援課学生支援係へ問い合わせてください。

９－15. 学生なんでも相談、各種相談受付体制

○学生なんでも相談窓口

みなさんが、大学院生活を送るうえで、さまざまな問題や悩みに直面することがあると思います。本学では、そういった学生を支援するため、各研究科、保健管理センター、教育支援課に相談員を配置し、「学生なんでも相談」窓口を設けています。相談員が、問題解決へのアドバイスのほか、相談内容によってはさらに適切な相談窓口を紹介しています。悩み事が生じた場合は、一人で抱え込まず「学生なんでも相談」窓口を訪ねてください。相談内容の秘密は厳守します。なお、相談員等の詳細は、本学ホームページを参照してください。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　なんでも相談＞＞

〇ハラスメントに関する相談

ハラスメントとは、相手の意に反する言動や行為により、相手の人格を傷つけ、人権を侵害する行為をいいます。ハラスメントには、主に次の５つが挙げられます。

セクシャル・ハラスメント　　アカデミック・ハラスメント　　パワー・ハラスメント 妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント　　モラル・ハラスメント

本学では、このようなハラスメントに関する苦情の申出や相談に対応するために、ハラスメント相談員を置いています。苦情や相談がある場合は、相談員に遠慮なく電話やメール等で連絡してください。相談員等の詳細は、本学ホームページを参照してください。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　ハラスメント関係＞＞

〇授業内容に関する相談

本学では、授業に対する理解をより深めることを目的として、オフィスアワーの時間帯を設定しています。オフィスアワーでは、学生が授業担当教員の研究室を訪問し、授業についての質問又は相談をすることができます。各授業担当教員のオフィスアワーの時間帯及び連絡方法については、各授業科目のシラバスを参照してください。シラバスは、電子シラバスシステムから確認できます。

＜＜大学ホームページ　→　在学生の方へ（学内専用）　→　学務関係　→
電子シラバスシステム＞＞

〇研究指導に関する相談

教育・研究上の悩み等については、指導教員（本学では、複数教員指導制を採用しています）が相談に応じます。

９－16. その他

〇教育支援課窓口業務取扱時間

8：30～17：30（12:00～13:00 を除く）（土、日、祝日、創立記念日、夏期一斉休業の期間及び 12 月 29 日～1 月 3 日の期間を除く）

上記時間外でも緊急の場合は、事務室入口から申し出てください。

〇大学からの通知事項

本学学生への通知事項は、電子メールもしくは掲示により行いますが、個人あての通知事項は、主に電子メールで行います。諸手続の通知の確認を怠ったために、不利益が生じることがないよう各自で充分注意してください。

〇学生向け HP の開設【https://ad-info.naist.jp/member/】

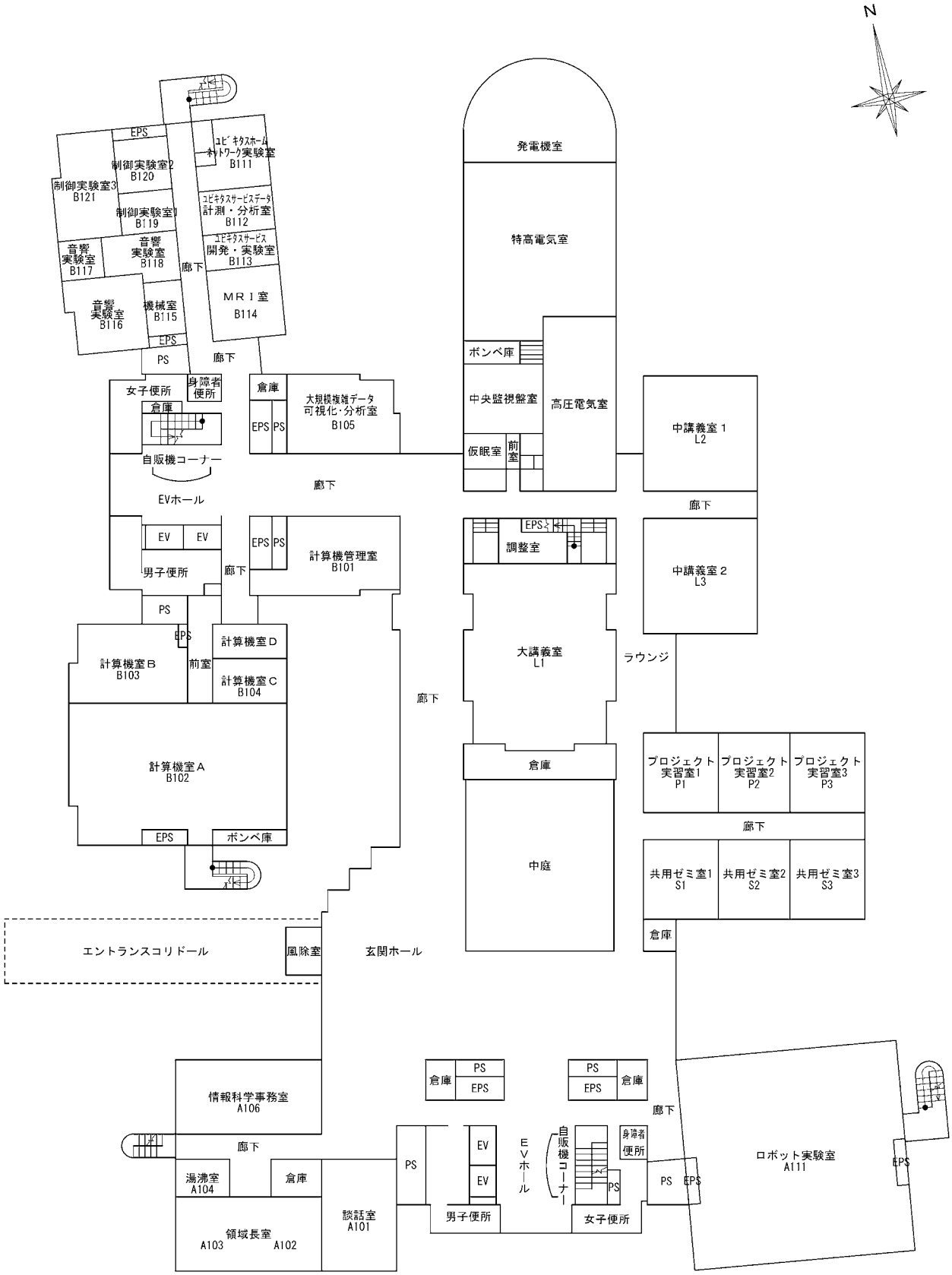
本学ホームページ内に「在学生の方へ（学内専用）」を開設しています。お知らせ（新着情報）や、学務関係(履修・成績評価終了通知・時間割変更)、オンライン型英語学習システム(ALC NetAcademy)、就職関連情報など様々なコンテンツを用意しています。

９－17. キャンパスマップ・建物平面図

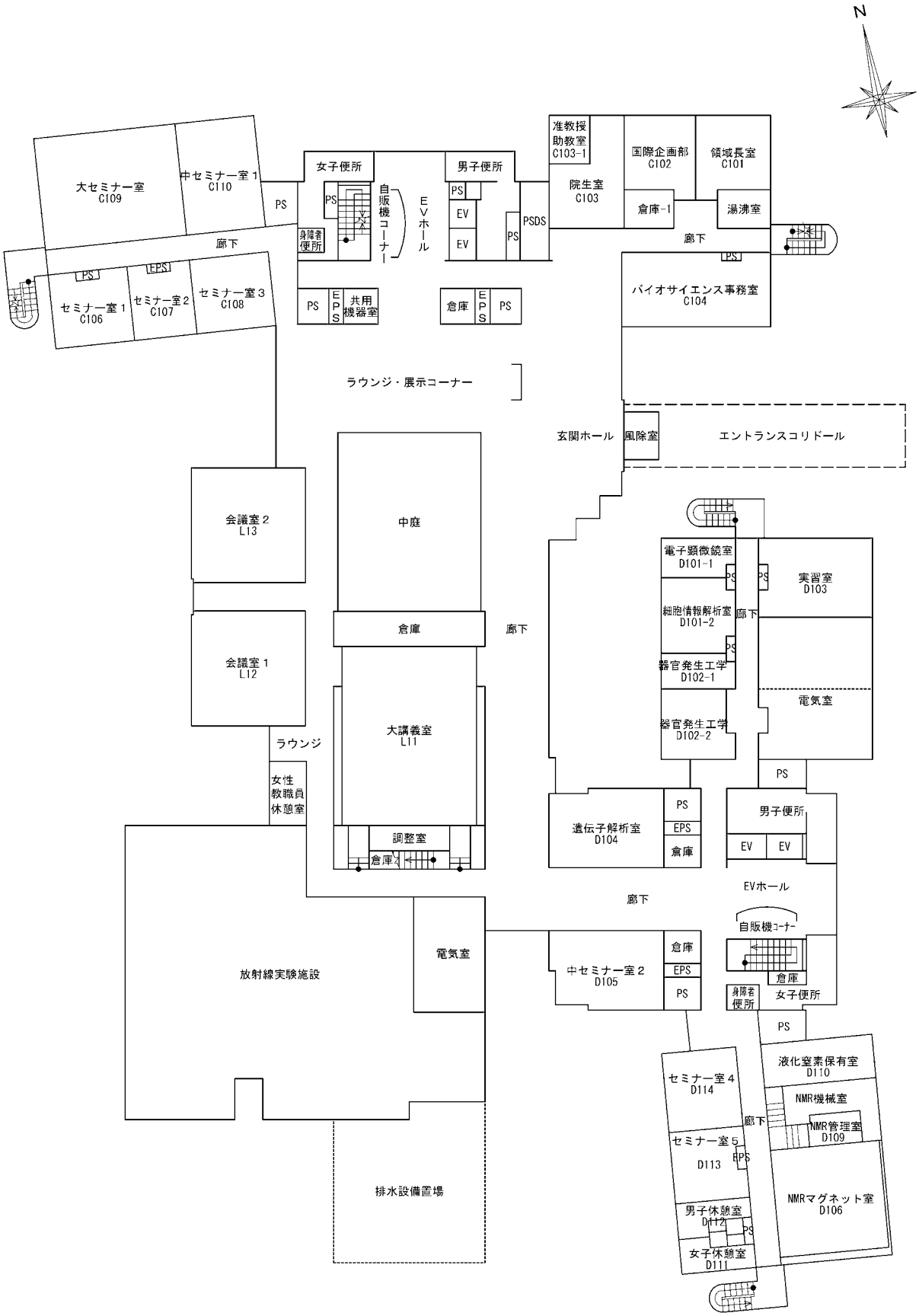


①事務局
②附属図書館（電子図書館）
③大学会館・保健管理センター
④学際融合領域研究棟２号館
⑤ミレニアムホール
⑥ゲストハウスせんたん
⑦情報科学棟・
　データ駆動型サイエンス創造センター
　総合情報基盤センター
⑧バイオサイエンス棟・
　遺伝子教育研究センター
⑨動物飼育実験施設
⑩植物温室
⑪物質創成科学棟・
　物質科学教育研究センター
⑫バイオナノプロセス実験施設
⑬学際融合領域研究棟１号館
⑭学生宿舎・職員宿舎
⑮グリーンラボ
⑯正門
⑰事務局別館

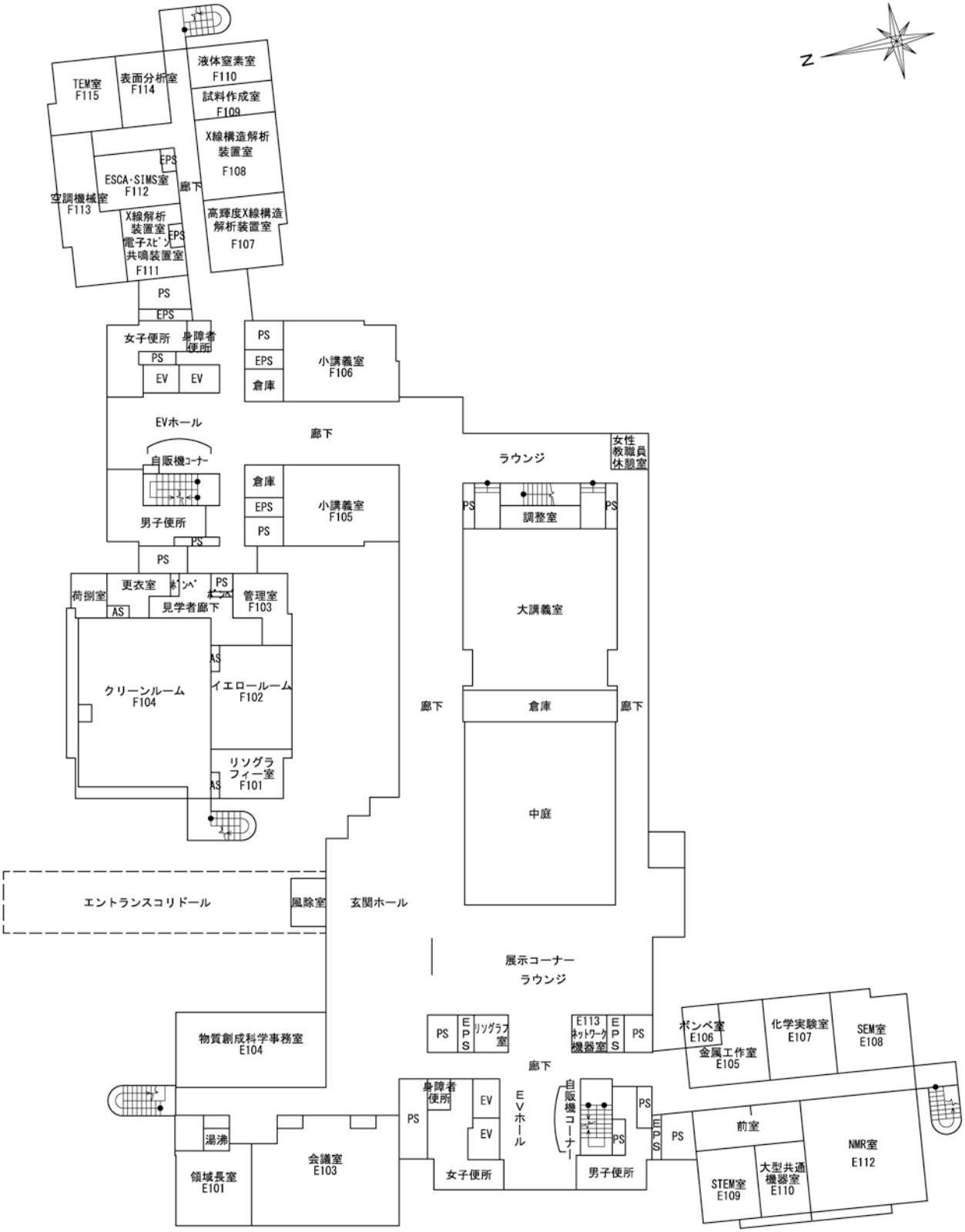
・情報科学棟１階平面図


N
EPS
制御実験室2 B120
制御実験室3 B121
制御実験室1 B119
ユビキタスホーム ネットワーク実験室 B111
ユビキタスサービスデータ 計測・分析室 B112
ユビキタスサービス 開発・実験室 B113
音響 実験室 B117
音響 実験室 B118
音響 実験室 B116
機械室 B115
MR１室 B114
廊下
PS
女子便所
身障者 便所
倉庫
自販機コーナー
EVホール
EV
男子便所
計算機管理室 B101
大規模複雑データ 可視化・分析室 B105
発電機室
特高電気室
ボンベ庫
中央監視盤室
高圧電気室
仮眠室
前室
中講義室１ L2
中講義室２ L3
調整室
大講義室 L1
ラウンジ
プロジェクト 実習室1 P1
プロジェクト 実習室2 P2
プロジェクト 実習室3 P3
共用ゼミ室1 S1
共用ゼミ室2 S2
共用ゼミ室3 S3
計算機室B B103
計算機室D
計算機室C B104
計算機室A B102
中庭
エントランスコリドール
風除室
玄関ホール
情報科学事務室 A106
湯沸室 A104
領域長室 A103 A102
談話室 A101
ロボット実験室 A111

・バイオサイエンス棟１階平面図



・物質創成科学棟１階平面図



第 10 章　学則・諸規程

平成 31 月 4 月からの学則・諸規程について

・本書に掲載しております学則・諸規程は、平成 31 年 2 月時点のものです。

・最新の情報は、本学ホームページ（http://reiki.naist.jp/kiyaku/）を参照ください。

奈良先端科学技術大学院大学学則

平成１６年４月１日
学則第　　１　　号

目次

第１章　総則（第１条－第３条）
第２章　教育研究組織等（第４条－第１１条）
第３章　学長、副学長及び研究科長等（第１２条－第１９条）
第４章　教授会（第２０条）
第５章　入学定員及び収容定員（第２１条）
第６章　学年、学期及び休業日（第２２条－第２４条）
第７章　入学（第２５条－第３０条）
第８章　標準修業年限及び在学年限（第３１条・第３２条）
第９章　教育方法等（第３３条－第４０条）
第１０章　修了の要件及び学位等（第４１条－第４６条）
第１１章　休学、留学、再入学、転入学、転学、退学及び除籍（第４７条－第５３条の２）
第１２章　検定料、入学料及び授業料等（第５４条－第６５条）
第１３章　特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生（第６６条－第６９条の２）
第１４章　賞罰（第７０条）
第１５章　学生宿舎（第７１条）
第１６章　公開講座（第７２条）
第１７章　特別の課程（第７３条）
附則

第１章　総則

（目的）

第１条　奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）は、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩及び社会の発展に寄与することを目的とする。

（自己評価等）

第２条　本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価（以下「自己評価等」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

２　本学は、自己評価等の結果について、学外者による検証を行う。

３　自己評価等の実施に関し必要な事項は、別に定める。

（情報の積極的な提供）

第３条　本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他の広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第２章　教育研究組織等

（大学院）

第４条　本学に、大学院を置く。

（研究科、専攻）

第５条　大学院に、次に掲げる研究科及び専攻を置く。

研　　究　　科	専　　攻
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻

（研究科の目的）

第６条　研究科は、先端科学技術の基盤となる情報科学、バイオサイエンス及び物質創成科学の研究領域並びにこれらの融合領域において世界レベルの先進的な研究を推進し、更なる深化と融合、そして新たな研究領域の開拓を進めるとともに、その成果に基づく体系的な教育を通じて、世界と未来の問題解決や先端科学技術の新たな展開を担う「挑戦性、総合性、融合性、国際性」を持った人材を育成することを目的とする。

（教員組織）

第７条　研究科に、教員組織を置く。

２　教員組織に関し必要な事項は、別に定める。

（課程及び課程の目的）

第８条　研究科の課程は、博士課程とする。

２　博士課程は、これを前期の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。

３　博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。

４　博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

（教育プログラム）

第８条の２　博士前期課程及び博士後期課程に、それぞれ次に掲げる教育プログラムを置く。

（１）情報理工学プログラム

（２）情報生命科学プログラム

（３）バイオサイエンスプログラム

（４）バイオナノ理工学プログラム

（５）物質理工学プログラム

（６）知能社会創成科学プログラム

（７）データサイエンスプログラム

２　教育プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

（総合情報基盤センター）

第９条　本学に、総合情報基盤センターを置く。
２　総合情報基盤センターに、附属図書館を置く。
３　総合情報基盤センターに関し必要な事項は、別に定める。

（学内共同教育研究施設）
第１０条　本学に、次に掲げる学内共同教育研究施設を置く。
（１）遺伝子教育研究センター
（２）物質科学教育研究センター
（３）データ駆動型サイエンス創造センター
２　学内共同教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

（保健管理センター）
第１１条　本学に、保健管理センターを置く。
２　保健管理センターに関し必要な事項は、別に定める。

第３章　学長、副学長及び研究科長等

（構成員）
第１２条　本学の構成員は、次のとおりとする。
学長
副学長
研究科長
領域長
副領域長
総合情報基盤センター長
学内共同教育研究施設の長
遺伝子教育研究センター長
物質科学教育研究センター長
データ駆動型サイエンス創造センター長
保健管理センター所長
教員
一般職員
その他必要な職員
２　教員は、教授、准教授、講師、助教及び助手とする。
３　一般職員は、事務職員、技術職員、看護職員及び教務職員とする。

（学長）
第１３条　学長は、本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

（副学長）
第１４条　副学長は、学長を補佐し、又は学長の命を受けて校務をつかさどる。

（研究科長）
第１５条　研究科長は、研究科の運営をつかさどる。

（領域長）
第１６条　領域長は、研究科長を補佐するとともに、領域の運営をつかさどる。

（副領域長）
第１６条の２　副領域長は、領域長を補佐する。

（総合情報基盤センター長）
第１７条　総合情報基盤センター長は、総合情報基盤センターの業務をつかさどる。

（学内共同教育研究施設の長）
第１８条　各学内共同教育研究施設の長は、当該学内共同教育研究施設の業務をつかさどる。

（保健管理センター所長）
第１９条　保健管理センター所長は、保健管理センターの業務をつかさどる。

第４章　教授会

（教授会）
第２０条　研究科に、教授会を置く。
２　教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
（１）学生の入学及び課程の修了
（２）学位の授与
（３）教育課程の編成
（４）学生の表彰及び懲戒
３　教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び研究科長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
（１）学生の他大学等における履修及び既修得単位等に関する事項
（２）特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生の受入れ等に関する事項
（３）研究科が締結する協定に関する事項
（４）研究室の設置及び改廃に関する事項
（５）法令等に定める評価に係る研究科での自己点検及び評価に関する事項
（６）前各号に掲げるもののほか、教育及び研究に関する事項
４　教授会は、研究科の教育又は研究に携わる専任の教授及び准教授で組織する。ただし、研究科長は、必要に応じて、その他教育又は研究に携わる教員を教授会の構成員とすることができる。
５　前項にかかわらず、外国出張中の者、休職中の者その他の者を構成員から除くことができる。
６　教授会に議長を置き、研究科長をもって充てる。
７　議長は、教授会を主宰する。
８　議長に事故があるときは、領域長のうちから研究科長があらかじめ指名した者が議長の職務を代理する。

９　教授会は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
１０　教授会の議事は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
１１　研究科長が必要と認めたときは、構成員以外の者を教授会に出席させることができる。

（代議員会）
第２０条の２　教授会は、その定めるところにより、教授会に属する教員のうちの一部の者をもって構成される代議員会を置くことができる。
２　教授会は、その定めるところにより、代議員会の議決をもって、教授会の議決とすることができる。

第５章　入学定員及び収容定員

（入学定員及び収容定員）
第２１条　入学定員及び収容定員は、別表のとおりとする。

第６章　学年、学期及び休業日

（学年）
第２２条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。
２　前項の規定にかかわらず、秋学期に入学した者の学年は、１０月１日に始まり、翌年９月３０日に終わる。

（学期）
第２３条　前条の学年を、次の学期に分ける。
（１）春学期　４月１日から９月３０日まで
（２）秋学期　１０月１日から翌年３月３１日まで

（休業日）
第２４条　休業日は、次のとおりとする。
（１）日曜日及び土曜日
（２）国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に定める休日
（３）創立記念日（１０月１日）
（４）春季、夏季及び冬季の休業日
２　前項第４号の休業日については、別に定める。
３　学長は、必要があると認めるときは、臨時の休業日を定めることができる。
４　第１項の規定にかかわらず、研究科長が教育上の必要があると認めるときは、休業日に授業を行うことができる。

第７章　入学

（入学資格）
第２５条　博士前期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

（１）学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第８３条第１項に定める大学を卒業した者
（２）学校教育法第１０４条第４項の規定により学士の学位を授与された者
（３）外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者
（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者
（５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
（６）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
（７）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
（８）学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５５条第１項第６号に定める文部科学大臣の指定した者
（９）次のいずれかに該当し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学において認めた者
ア　大学に３年以上在学した者
イ　外国において、学校教育における１５年の課程を修了した者
ウ　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１５年の課程を修了した者
エ　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１５年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
（１０）学校教育法第１０２条第２項の規定により大学院に入学したことがある者であって、本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
（１１）本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２２歳に達したもの
２　博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
（１）修士の学位又は専門職学位（学校教育法第１０４条第１項の規定に基づき学位規則（昭和２８年文部省令第９号）第５条の２に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者
（２）外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
（３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
（４）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修

了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
（５）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和５１年法律第７２号）第１条第２項に規定する１９７２年１２月１１日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
（６）外国の学校、第４号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和４９年文部省令第２８号）第１６条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
（７）学校教育法施行規則第１５６条第６号に定める文部科学大臣の指定した者
（８）本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、２４歳に達したもの
３　第１項第１０号及び前項第８号に定める入学資格審査の実施方法等については、別に定める。

（入学の時期）
第２６条　入学の時期は、学期の始めとする。

（入学の出願）
第２７条　本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の書類等を添えて、学長に願い出なければならない。

（入学者の選抜）
第２８条　本学に入学を志願する者については、別に定めるところにより選抜を行う。

（入学手続き及び入学許可）
第２９条　前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受け、入学しようとする者は、所定の書類等を提出しなければならない。
２　学長は、前項の手続きを完了した者に入学を許可する。

（博士後期課程への進学）
第３０条　本学の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学を志願する者については、教授会において選考の上、学長が進学を許可する。

第８章　標準修業年限及び在学年限

（標準修業年限）
第３１条　博士前期課程の標準修業年限は２年、博士後期課程の標準修業年限は３年とする。

（長期にわたる教育課程の履修）
第３１条の２　学生が、職業を有している等の事情により、前条に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修（以下「長期履修」という。）し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、学長が長期履修を許可することがある。
２　長期履修に関し必要な事項は、別に定める。

（在学年限）
第３２条　博士前期課程の学生は４年、博士後期課程の学生は６年を超えて在学することができない。

第９章　教育方法等

（教育方法）
第３３条　研究科における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行う。

（授業科目及びその単位数並びに履修方法等）
第３４条　前条の授業科目及びその単位数並びに履修方法等は、別に定める。

（単位の計算方法）
第３５条　各授業科目の単位数は、１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。
（１）講義及び演習については、１５時間から３０時間までの範囲の授業をもって１単位とする。
（２）実験及び実習については、３０時間から４５時間までの範囲の授業をもって１単位とする。
（３）一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち２以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前２号に規定する基準を考慮した時間の授業をもって１単位とする。
２　前項の規定にかかわらず、研究論文及び課題研究の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

（成績評価基準等の明示等）
第３５条の２　研究科は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに１年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。
２　研究科は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）
第３５条の３　本学は、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。
２　教育内容等の改善のための組織的な研修等に関し必要な事項は、別に定める。

（単位の授与）
第３６条　授業科目を履修し、その試験又は研究報告に合格した者には、所定の単位を与える。

第３７条　削除

（他の大学院における授業科目の履修等）
第３８条　学生が他の大学院の授業科目を履修することについて、教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院と協議の上、当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることがある。
２　前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、本学において修得したものとみなす。ただし、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、１０単位を超えないものとする。
３　第１項の規定により授業科目を履修した期間は、在学期間に算入する。
４　前３項の規定は、外国の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合、外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合及び国際連合大学の教育課程における授業科目を履修する場合について準用する。
５　他の大学院における授業科目の履修等に関し必要な事項は、別に定める。

（休学期間中に外国の大学院において修得した授業科目の単位の認定）
第３８条の２　学生が休学期間中に外国の大学院において修得した授業科目の単位について、教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、本学において修得したものとみなすことができる。
２　前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、前条第２項及び第４項により修得したものとみなす単位数と合わせて１０単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位の認定）
第３９条　学生が本学に入学する前に大学院において修得した授業科目の単位（大学院設置基準第１５条において準用する大学設置基準（昭和３１年文部省令第２８号）第３１条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。）について、教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、本学において修得したもの以外については、１０単位を超えないものとする。
３　入学前の既修得単位の認定に関し必要な事項は、別に定める。

（他の大学院等における研究指導等）
第４０条　学生が他の大学院又は研究所等において研究指導を受けることについて、教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院又は研究所等と協議の上、当該他の大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることがある。ただし、博士前期課程の学生が当該研究指導を受ける期間は、１年を超えないものとする。
２　前項の規定により他の大学院又は研究所等において受けた研究指導は、本学の研究科において受けた研究指導とみなすことができる。
３　第１項の規定により研究指導を受けた期間は、在学期間に算入する。
４　他の大学院等における研究指導等に関し必要な事項は、別に定める。

第１０章　修了の要件及び学位等

（博士前期課程の修了の要件）

第４１条　博士前期課程の修了の要件は、博士前期課程に標準修業年限以上在学し、研究科の定めるところにより、所要の授業科目について３０単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士前期課程に１年以上在学すれば足りるものとする。

２　前項の場合において、当該研究科長が適当と認めるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

（博士後期課程の修了の要件）

第４２条　博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に標準修業年限以上在学し、研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、１年以上在学すれば足りるものとする。

２　前条第１項ただし書の規定による在学期間をもって博士前期課程を修了した者及び他の大学院の修士課程又は博士前期課程を１年以上２年未満で修了した者の博士後期課程の修了の要件は、前項ただし書中「１年」とあるのは「３年から博士前期課程又は修士課程における在学期間を減じた期間」と読み替えて、同項の規定を適用する。

３　前２項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第１５６条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士後期課程に入学した場合の博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に３年以上在学し、研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士後期課程に１年以上在学すれば足りるものとする。

（修了の認定）

第４３条　修了の認定は、教授会の議を経て、学長が行う。

（学位）

第４４条　研究科の課程を修了した者には、修了した課程に応じて修士又は博士の学位を授与する。

２　前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学に博士論文を提出して、その審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも授与することができる。

３　学位に関し必要な事項は、別に定める。

（修了の時期）

第４５条　修了の時期は、学期の終りとする。

２　前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めた場合は、学期の途中において修了させることができる。

（教育職員の免許状授与の所要資格の取得）

第４６条　教育職員の免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和２４年法律第１４７号）及び教育職員免許法施行規則（昭和２９年文部省令第２６号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

２　本学において、授与資格を取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科等は、次の表に掲げるとおりとする。

研究科	専　攻	免許状の種類	免許教科
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	理科 情報

第１１章　休学、留学、再入学、転入学、転学、退学及び除籍

（休学）

第４７条　病気その他のやむを得ない事由又は学長が認める事由により、引き続き３月以上修学できない者は、学長の許可を得て、休学することができる。

２　病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

３　休学期間中に休学の事由が消滅したときは、学長の許可を得て、復学することができる。

４　休学期間は、１年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、１年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

５　休学期間は、博士前期課程及び博士後期課程ごとに、それぞれ通算して２年を超えることができない。

６　前２項の規定にかかわらず、学長が特に認める休学の事由については、休学期間を別に定めることができる。

７　休学期間は、第３１条に規定する標準修業年限及び第３２条に規定する在学年限に算入しない。

（留学）

第４８条　外国の大学院又は研究所等に留学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

２　留学期間中における授業科目の履修等の取扱いについては、第３８条及び第４０条の規定を準用する。

（再入学）

第４９条　本学を退学した者又は除籍された者で、再入学を志願する者がある場合は、研究科の教育研究に支障がないときに限り、教授会において選考の上、学長が再入学を許可することがある。

２　前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、教授会の議を経て、研究科長が行う。

（転入学）

第５０条　他の大学院に在学する者又は外国の大学院に在学する者で、本学に転入学を志願する者がある場合は、本学の教育研究に支障がないときに限り、教授会において選考の上、学長が転入学を許可することがある。

２　前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、教授会の議を経て、研究科長が行う。
３　前２項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学する者（学校教育法第１０２条第１項に規定する者に限る。）及び国際連合大学の課程に在学する者の場合について準用する。

（転学）
第５１条　他の大学院又は外国の大学院に転学を志願する者は、学長の許可を受けなければならない。
２　前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。

第５２条　削除

（退学）
第５３条　退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

（除籍）
第５３条の２　学長は、次の各号のいずれかに該当する者があるときは、これを除籍する。
（１）第３２条に規定する在学年限を超えた者
（２）第４７条第５項に規定する休学期間又は同条第６項に基づき別に定める休学期間を超えてなお修学できない者
（３）入学料の免除を許可されなかった者及び一部の免除を許可された者並びに徴収を猶予された者又は免除の許可を取り消された者で、その納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったもの
（４）授業料の納付を怠り、督促を受けてなお納付しなかった者
（５）行方不明の届出があった者
（６）死亡した者

第１２章　検定料、入学料及び授業料等

（検定料、入学料及び授業料の額）
第５４条　検定料、入学料及び授業料の額は、次の表のとおりとする。

検定料	入学料	授業料（年額）
３０，０００円	２８２，０００円	５３５，８００円

２　学生のうち、第３１条の２の規定により長期履修を認められたもの（以下「長期履修学生」という。）から徴収する授業料の年額は、在学を認められた期間（以下「長期在学期間」という。）に限り、前項の規定にかかわらず、同項に規定する授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期在学期間の年数で除した額（その額に１０円未満の端数があるときは、これを切り上げるものとする。）とする。ただし、入学以後に長期履修学生となる者（別に定めるところにより、長期在学期間を延長することが認められた者を含む。）から徴収する授業料の年額は、前項に規定する授業料の年額に標準修業年限に相当する年数

を乗じて得た額から長期履修開始前に在学した期間（長期在学期間を延長することが認められた者にあっては、当該者が在学した期間（学年の中途にあっては、当該学年の終了までの期間とする。）。以下この項において同じ。）に係る授業料の総額を控除した額を長期在学期間の年数から長期履修開始前に在学した期間の年数を控除した年数で除した額（その額に１０円未満の端数があるときは、これを切り上げるものとする。）とする。

（検定料の納付）

第５５条　入学、再入学及び転入学を志願する者は、入学願書提出と同時に、検定料を納付しなければならない。

２　前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生制度実施要項（昭和２９年３月３１日文部大臣裁定。以下「実施要項」という。）第４条の推薦による入学志望者その他学長が必要と認める者は、検定料の納付を要しない。

（入学料の納付）

第５６条　入学、再入学及び転入学しようとする者は、所定の期日までに、入学料を納付しなければならない。

２　前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生（実施要項第２条に定めるものをいう。以下同じ。）その他学長が必要と認める者は、入学料の納付を要しない。

（授業料の納付）

第５７条　授業料は、春学期（４月から９月まで）及び秋学期（１０月から翌年３月まで）の２期に分けて、年額の２分の１ずつ納付しなければならない。

２　納付の時期は、第６３条の規定により授業料の徴収猶予を許可された場合を除き、５月及び１１月とする。

３　前２項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、春学期の授業料を徴収する時に、当該年度の秋学期に係る授業料を併せて徴収するものとする。

４　入学年度の春学期又は春学期及び秋学期に係る授業料については、第１項及び第２項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可する時に徴収するものとする。

５　第１項の規定にかかわらず、国費外国人留学生その他学長が必要と認める者は、授業料の納付を要しない。

６　別に定めるところにより、長期在学期間を短縮する場合は、短縮後の期間に応じて第５４条第２項の規定により算出した授業料の年額に当該者が在学した期間（学年の中途にあっては、当該学年の終了までの期間とする。以下この条において同じ。）の年数を乗じて得た額から当該者が在学した期間に係る授業料の総額を控除した額を、長期在学期間の短縮を認めるときに徴収するものとする。

７　別に定めるところにより、長期履修を辞退することを認められる場合には、第５４項第１項に規定する授業料の年額に当該者が在学した期間の年数を乗じて得た額から当該者が在学した期間に係る授業料の総額を控除した額を、長期履修の辞退を認めるときに徴収するものとする。

（復学等の場合における授業料の額及び徴収方法）

第５８条　春学期又は秋学期の中途において復学、転入学又は再入学（以下「復学等」という。）をした者から春学期又は秋学期において徴収する授業料の額は、授業料の年額の１２分の１

に相当する額（以下「月額」という。）に復学等当月から次の徴収の時期前までの月数を乗じて得た額とし、復学等当月に徴収するものとする。

（学年の中途で修了する場合における授業料の額）
第５９条　特別の事情により、学年の中途で修了する者から徴収する授業料の額は、月額に在学する月数を乗じて得た額とする。

（休学する場合における授業料の額）
第６０条　休学期間の授業料は、徴収しない。
２　徴収しない授業料の額は、月額に休学当月の翌月（休学開始日が月の初日の場合は、休学当月）から復学当月の前月までの月数を乗じて得た額とする。

（退学等の場合における授業料の額）
第６１条　春学期又は秋学期の中途において退学し、転学し、除籍され、又は退学を命ぜられた者の授業料は、当該期分を徴収する。
２　停学を命ぜられた者の停学期間中の授業料は、これを徴収する。
３　第１項の規定にかかわらず、死亡又は行方不明のために除籍された者から徴収すべき授業料の額は、月額に在学した月数を乗じて得た額とする。

（入学料及び授業料の免除等）
第６２条　入学料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
（１）経済的理由によって、入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
（２）学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
（３）その他学長が必要と認める者

第６３条　授業料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
（１）経済的理由によって、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
（２）学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
（３）その他学長が必要と認める者

第６４条　入学料及び授業料の免除及び徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

（納付済みの検定料、入学料及び授業料）
第６５条　納付済みの検定料、入学料及び授業料は返還しない。
２　前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる場合には、当該各号に定める授業料を返還する。
（１）第５７条第３項の規定により春学期及び秋学期に係る授業料を併せて納付した者が、当該年度の９月３０日までに退学し、転学し、除籍され、又は退学を命ぜられた場合　　秋学期に係る授業料相当額
（２）第５７条第４項の規定により入学を許可する時に授業料を納付した者が、入学する月の

前月の末日までに入学を辞退した場合　　当該授業料相当額
（３）第５７条に基づき授業料を納付した者が、特別の事情により、学年の中途で修了する場合　　当該者が支払った授業料から、月額に在学する月数を乗じた額を減じて得た授業料相当額
（４）授業料を納付している者が休学する場合　　第６０条第２項に該当する授業料相当額
（５）死亡又は行方不明のために除籍された場合　　当該者が支払った授業料から、月額に在学した月数を乗じた額を減じて得た授業料相当額

第１３章　特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び特別学修生

（特別聴講学生）
第６６条　教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別聴講学生として入学を許可し、研究科の授業科目を履修させることができる。
２　前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。
３　特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

（特別研究学生）
第６７条　教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別研究学生として入学を許可し、研究科の研究指導を受けさせることができる。
２　特別研究学生に関し必要な事項は、別に定める。

（科目等履修生）
第６８条　本学の学生以外の者で研究科の授業科目中１科目又は複数科目を選択し履修しようとする者がある場合は、教授会の議を経て、研究科長が教育研究に支障がないと認めるときに限り、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。
２　科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

（研究生）
第６９条　研究科において特定事項について研究しようとする者がある場合は、教授会の議を経て、研究科長が教育研究に支障がないと認めるときに限り、研究生として入学を許可することがある。
２　研究生に関し必要な事項は、別に定める。

（特別学修生）
第６９条の２　教授会の議を経て、研究科長が教育上有益であると認めるときは、他の大学（外国の大学を含む。）又は高等専門学校との協議に基づき、当該他の大学の学部若しくはこれに相当する組織又は高等専門学校の専攻科に在学中の者を特別学修生として入学を許可し、学修指導を受けさせることができる。
２　特別学修生に関し必要な事項は、別に定める。

第１４章　賞罰

（賞罰）

第７０条　学長は、表彰に価する行為を行った者があるときは、教授会の議を経て、表彰することができる。

２　学長は、本学の規約に違反し又は本学の教育研究活動を著しく阻害する行為を行った者があるときは、教授会の議を経て、懲戒することができる。

３　前項に規定する懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

４　停学期間は、第３２条に規定する在学年限に算入し、第３１条に規定する標準修業年限に算入しない。ただし、停学期間が３月を超えないときは、当該停学期間を標準修業年限に算入する。

第１５章　学生宿舎

（学生宿舎）

第７１条　本学に、学生宿舎を置く。

２　学生宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

第１６章　公開講座

（公開講座）

第７２条　本学に、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座を開設することができる。

２　公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第１７章　特別の課程

（特別の課程）

第７３条　本学は、本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成し、これを修了した者に対し、修了の事実を証する証明書を交付することができる。

２　前項の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この学則は、平成１６年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　平成１６年３月３１日現在において本学に在学している者（以下この項で「在学者」という。）及び平成１６年４月１日以後において在学者の属する年次に再入学及び転入学する者については、旧奈良先端科学技術大学院大学学則は、この学則の施行後も、なおその効力を有する。

附　則

この学則は、平成１７年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成１７年４月２１日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成１７年４月１日から適用する。

附　則

この学則は、平成１７年１１月１７日から施行する。

附　則

この学則は、平成１９年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２０年１月２４日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成１９年１２月２６日から適用する。

附　則

この学則は、平成２１年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２２年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２２年１２月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２２年１２月１日から施行する。

附　則

（施行期日）

１　この学則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　情報科学研究科の情報処理学専攻、情報システム学専攻及び情報生命科学専攻並びにバイオサイエンス研究科の細胞生物学専攻及び分子生物学専攻は、改正後の第５条の規定にかかわらず、平成２３年３月３１日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

（平成２３年度及び平成２４年度の収容定員）

３　第２１条の規定にかかわらず、平成２３年度及び平成２４年度の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	研究科	専攻	入学定員		収容定員
			博士前期課程	博士後期課程	
平成２３年度	情報科学研究科	情報科学専攻	１３５人	４０人	１７５人
		情報処理学専攻			９６人
		情報システム学専攻			７７人
		情報生命科学専攻			５９人
		計	１３５人	４０人	４０７人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	１２５人	３７人	１６２人
		細胞生物学専攻			８１人
		分子生物学専攻			１０１人
		計	１２５人	３７人	３４４人

平成２４年度	情報科学研究科	情報科学専攻 情報処理学専攻 情報システム学専攻 情報生命科学専攻 計	１３５人 １３５人	４０人 ４０人	３５０人 １８人 １４人 １１人 ３９３人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻 細胞生物学専攻 分子生物学専攻 計	１２５人 １２５人	３７人 ３７人	３２４人 １５人 １９人 ３５８人

（研究科において所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類に関する経過措置）

４　附則第２項の専攻において取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科は、改正後の第４６条第２項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則

この学則は、平成２３年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２４年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２４年６月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２５年２月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２５年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２６年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２６年１２月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２７年１１月２６日から施行する。

附　則

この学則は、平成２８年５月１７日から施行する。

附　則

この学則は、平成２８年１２月１日から施行する。

附　則

この学則は、平成２９年４月１日から施行する。

附　則

（施行期日）

１　この学則は、平成３０年４月１日から施行する。

（研究科及び専攻に関する経過措置）

２　改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則第５条の規定にかかわらず、情報科学研究科及び情報科学専攻、バイオサイエンス研究科及びバイオサイエンス専攻並びに物質創成科学研究科及び物質創成科学専攻は、平成３０年３月３１日に当該研究科及び専攻に在学する者（以下「在学生」という。）が当該研究科及び専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

（平成３０年度及び平成３１年度の収容定員）

３　第２１条の規定にかかわらず、平成３０年度及び平成３１年度の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	研究科	専攻	入学定員		収容定員
			博士前期課程	博士後期課程	
平成３０年度	先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	３５０人	１０７人	４５７人
	情報科学研究科	情報科学専攻			２１５人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻			１９９人
	物質創成科学研究科	物質創成科学専攻			１５０人
平成３１年度	先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	３５０人	１０７人	９１４人
	情報科学研究科	情報科学専攻			４０人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻			３７人
	物質創成科学研究科	物質創成科学専攻			３０人

（在学生に関する経過措置）

４　第２項の規定により存続する研究科における在学生の教育に係る事項については、改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則

（施行期日）

１　この学則は、平成３１年４月１日から施行する。

（研究科において授与資格を取得できる教育職員の免許状の種類に関する経過措置）

２　平成３１年３月３１日現在において先端科学技術研究科に在学している者（以下この項において「在学者」という。）並びに平成３１年４月１日以後において在学者の属する年次に再入学する者及び転入学する者については、授与資格を取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科は、改正後の第４６条第２項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表（第２１条関係）

研究科	専攻	入学定員		収容定員
		博士前期課程	博士後期課程	
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	３５０人	１０７人	１，０２１人

奈良先端科学技術大学院大学学生表彰規程

平成１６年１２月７日
規程第　　８９　　号

（趣旨）
第１条　この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則第７０条の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生（学生団体を含む。）の表彰に関し必要な事項を定める。

（表彰の基準）
第２条　表彰は、次の各号のいずれかに該当する者に行うことができる。
（１）学業において、研鑽に励み、他の学生の模範となった者
（２）学術研究活動において、特に優れた成果を挙げた者
（３）社会活動において、特に顕著な業績を挙げた者
（４）課外活動その他の活動において、特に顕著な業績を挙げた者
（５）その他表彰に値する行為等があったと認められる者
２　前項に規定する者には、表彰の時点において、死亡等の者を含むものとする。

（表彰候補者の推薦）
第３条　役員又は研究科長は、前条に該当すると認められる者がある場合は、推薦書（別紙様式第１号）を、学長に提出するものとする。

（表彰者の決定）
第４条　学長は、前条の推薦に基づき、表彰者を決定する。

（表彰の方法）
第５条　学長は、前条の表彰者を決定したときは、表彰状（別紙様式第２号）を授与する。
２　学長は、前項の表彰状に添えて、記念品等を贈呈することができる。

（表彰の時期）
第６条　表彰の時期は、学位記授与式又は当該表彰の内容を勘案し、学長が決定する。

（事務）
第７条　学生の表彰に関する事務は、企画・教育部教育支援課が行う。

（雑則）
第８条　この規程に定めるもののほか、学生の表彰に関し必要な事項は、別に定める。

附 則
この規程は、平成１６年１２月７日から施行する。
附 則
この規程は、平成１８年１１月１５日から施行し、平成１８年４月１日から適用する。

附 則

この規程は、平成１９年７月２６日から施行し、平成１９年４月１日から適用する。

附 則

この規程は、平成２３年４月１日から施行する。

附 則

この規程は、平成２７年４月１日から施行する。

附 則

この規程は、平成３０年４月１日から施行する。

奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度規程

平成２２年９月２１日
規程第　　４　　号

（目　的）
第１条　この規程は、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生のうち、特に優秀な学生を奨励・支援することにより、優れた人材の養成に資することを目的とする奨学制度に関し、必要な事項を定める。

（名　称）
第２条　奨学制度の名称は、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度とする。

（奨学対象者）
第３条　奨学制度の対象者（以下「奨学対象者」という。）は、奨学対象者を決定する年度（以下「当該年度」という。）に本学の博士後期課程１年次に在籍する学生で、学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れた者とする。ただし、国費外国人留学生及び奈良先端科学技術大学院大学留学生特別支援制度に採用された者を除くものとする。

（奨学対象枠）
第４条　奨学制度の対象枠は、毎年度１５名以内とする。

（奨学の方法）
第５条　奨学支援の方法は、当該年度の授業料の全額免除の方法とする。

（奨学対象者の決定時期）
第６条　奨学対象者を決定する時期は、４月とする。

（奨学対象候補者推薦枠の通知）
第７条　学長は、奨学対象者の候補者（以下「奨学対象候補者」という。）の推薦枠を決定し、あらかじめ、研究科長に通知する。

（奨学対象候補者の決定）
第８条　研究科長は、奨学対象候補者を選考するための基準（以下「選考基準」という。）を定め、推薦枠とともに学内に公表し、奨学対象候補者を公募する。
２　研究科長は、前項の選考基準に基づき、応募者のうちから奨学対象候補者を決定し、選考基準と推薦順位を添えて、学長に推薦する。

（奨学対象者の選考）
第９条　学長は、研究科長の推薦に基づき奨学対象者の選考を行うため、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。
２　委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
（１）学長
（２）学長が指名する理事

（３）学長が指名する副学長
（４）研究科長
（５）企画・教育部長
３　委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。
４　委員長は、委員会を主宰する。
５　委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が委員長の職務を代理する。
６　委員長が必要と認めたときは、第２項に規定する委員以外を出席させることができる。

（奨学対象者の決定）
第１０条　学長は、委員会の選考に基づき、奨学対象者を決定する。
２ 学長は、研究科長に選考結果を通知するとともに、学内に選考結果を公表する。

（表彰及び報告会）
第１１条　学長は、奨学対象者を表彰し、奨学対象者による報告会を開催する。

（事　務）
第１２条　奨学制度に関する事務は、企画・教育部教育支援課が行う。

（雑　則）
第１３条　この規程に定めるもののほか、奨学制度に関し必要な事項は、別に定める。

附　則
（施行期日）
１　この規程は、平成２２年１０月１日から施行する。
（経過措置）
２　平成２２年度に限り、奨学支援の方法は、第５条の規定に関わらず、当該年度の授業料の半額免除の方法とし、奨学対象者を決定する時期は、第６条の規定に関わらず、１０月とする。

附　則
この規程は、平成２７年４月１日から施行する。

附　則
この規程は、平成３０年４月１日から施行する。

奈良先端科学技術大学院大学学生の懲戒等に関する規程

平成２１年１２月１５日
規程第　　５　　号

（趣旨）
第１条　奈良先端科学技術大院大学（以下「本学」という。）における学生への懲戒及び教育的措置（以下「懲戒等」という。）については、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成１６年学則第１号）第７０条第２項から第４項までに定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

（適用範囲）
第２条　この規程は、本学の博士前期課程及び博士後期課程の学生、科目等履修生及び研究生（以下単に「学生」という。）に適用する。

（懲戒等の対象となりうる非違行為）
第３条　懲戒等の対象となりうる非違行為は、次のとおりとする。
（１）刑罰法令に触れる行為
（２）本学の規約により遵守すべき事項に違反する行為
（３）本学の教育研究活動を阻害する行為
（４）本学の名誉若しくは信用を著しく傷つける行為
（５）前各号に準ずる不適切な行為

（懲戒の内容）
第４条　懲戒の内容は、次の各号に掲げる懲戒の種類に応じ、当該各号に定めるところによる。
（１）退学　退学させ、再入学は認めない。
（２）停学　６月以内の有期又は無期とし、この間の登学は認めない。
（３）訓告　文書により注意を与え、将来を戒める。

（懲戒等の量定）
第５条　懲戒等の要否及び種類の決定に当たっては、次に掲げる事項を総合的に考慮の上決定するものとする。
（１）非違行為の動機、態様及び結果
（２）故意又は過失の程度
（３）被害を受けた者の精神的苦痛を含めた被害の程度
（４）他の学生及び社会に与える影響
（５）過去の非違行為の有無
（６）日頃の学習態度及び非違行為後の対応
２　懲戒の種類の決定は、懲戒処分標準例（別表）による。ただし、個別の事案の内容によっては、懲戒処分標準例によらない場合もあるものとする。
３　懲戒処分標準例に掲げられていない非違行為は、懲戒処分標準例を参考として懲戒の種類を決定することができる。

（事案の報告）

第６条　学生は、第３条に規定する非違行為を行った場合（当該非違行為に該当するか否かの判断が困難な場合を含む。）は、当該非違行為について遅滞なく指導教員を通じて研究科長に報告しなければならない。
２　前項に規定する報告を受けた研究科長は、速やかに事実関係を把握し、原状回復等の必要な措置をとるとともに、遅滞なく学長に報告するものとする。
３　前２項の規定にかかわらず、研究科長は、学生の第３条に規定する非違行為に関する情報を知り得たときは、速やかに事実関係を把握し、原状回復等の必要な措置をとるとともに、遅滞なく学長に報告するものとする。

（調査及び審議発令）
第７条　学長は、前条の報告を受け、懲戒の対象となりうる非違行為があったと認められる場合には、事実関係の調査並びに懲戒の要否及び種類の審議（以下「調査及び審議」という。）を、教育担当理事に命ずるものとする。

（自宅謹慎）
第８条　学長は、次条に定める学生懲戒委員会の調査及び審議の対象となる学生（以下「調査対象学生」という。）の行為が懲戒の対象となる非違行為に該当することが明白であり、かつ、退学又は停学の処分を行うことが確実である場合は、第１７条の規定による決定前に自宅謹慎を命ずることができる。
２　前項により、自宅謹慎を命じられた学生の登学は、認めないものとする。
３　自宅謹慎の期間は、停学期間に算入するものとする。

（学生懲戒委員会）
第９条　教育担当理事は、調査及び審議を行うため、学生懲戒委員会（以下「委員会」という。）を設置するものとする。

（委員会の組織）
第１０条　委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
（１）教育担当理事
（２）事務局長
（３）研究科長
（４）教育プログラムを担当する教員のうちから教育担当理事が指名する者
（５）企画・教育部長
（６）その他教育担当理事が必要と認めた者
２　委員会に委員長を置き、教育担当理事をもって充てる。
３　委員長は、委員会を主宰する。
４　委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が委員長の職務を代理する。
５　委員会は、委員の３分の２以上の出席がなければ議事を開くことができない。

（委員以外の出席）
第１１条　委員会は、必要と認めた者に出席を求め、意見を聴取することができる。

（弁明）

第１２条　委員会は、事実関係の調査を行うに当たり、調査対象学生に対して、調査する旨を告知し、口頭又は文書による弁明の機会を設けるものとする。ただし、当該学生が、正当な理由なく、委員会での口頭による弁明又は弁明書の提出に応じない場合は、弁明の機会を放棄したものとみなす。
２　前項の弁明は、委員会が調査する旨を告知した日から１４日以内に行うものとする。

（調査及び審議結果の報告）
第１３条　教育担当理事は、委員会での調査及び審議の結果を学長に報告する。

（所属長への通知）
第１４条　学長は、教育担当理事から報告された調査及び審議の結果を研究科長に通知するものとする。

（他の規約との関係）
第１５条　第６条から第１３条までの事実関係の調査に関する規定にかかわらず、本学の他の規約に非違行為の事実関係の調査等について定めのある場合は、当該非違行為の事実関係の調査等については、当該定めによるものとする。

（教授会での審議）
第１６条　研究科長は、委員会での調査及び審議の結果について、教授会において審議するものとする。
２　研究科長は、教授会での審議結果を学長に報告するものとする。

（懲戒の決定）
第１７条　学長は、研究科長からの前条の報告を踏まえ、懲戒の要否及び種類を決定する。
２　学長は、前項の決定に当たり、必要と認める場合には、再度調査及び審議を命ずるものとする。
３　第９条から前条までの規定は、前項の命令について準用する。

（懲戒の通知）
第１８条　学長は、前条の規定により懲戒処分を行うことを決定した場合は、調査対象学生、教育担当理事及び研究科長に懲戒の種類及び処分理由を通知するものとする。
２　調査対象学生への通知は、懲戒処分告知書（別紙様式第１号）を当該学生に交付することにより行う。ただし、交付不可能な場合には、他の適切な方法により通知するものとする。

（懲戒の発効）
第１９条　懲戒の発効は、懲戒処分告知書の交付日とする。ただし、やむを得ない場合には、この限りでない。

（再審査）
第２０条　懲戒処分を受けた学生は、事実誤認、新事実の発見その他正当な理由がある場合は、懲戒処分告知書の交付日から１４日以内（以下「再審査請求期間」という。）に、その証拠となる資料を添えて、再審査請求書（別紙様式第２号）により学長に再審査を請求することができる。

２　学長は、再審査の必要があると認める場合には、再度調査及び審議を教育担当理事に命ずるものとする。
３　第９条から前条までの規定は、前項の命令について準用する。この場合において、「調査及び審議」とあるのは「再度調査及び審議」と、「調査対象学生」とあるのは「再調査対象学生」と、「懲戒処分告知書（別紙様式第１号）」とあるのは「書面」と読み替えるものとする。

（懲戒処分の公示）
第２１条　学長は、懲戒処分を行ったときは、教育研究評議会に報告するとともに、懲戒の種類及び処分理由を別紙様式第３号により学内に対して公示する。ただし、当該学生の氏名及び学籍番号は明記しないものとする。
２　前項の公示の期間は、次の各号に掲げる場合に応じて、当該各号に定める期間とする。
（１）前条第２項の再審査を行わない場合　再審査請求期間後に公示した日から２週間
（２）前条第２項の再審査を行う場合　再審査による懲戒の結果を通知した日から２週間

（停学中の学生の指導）
第２２条　研究科長等は、停学中の学生に対して必要に応じて面談等の教育的指導を行うこととする。

（無期停学の解除）
第２３条　研究科長は、無期停学の学生について、その発効日から起算して６月を経過した後、停学の解除が妥当であると認めた場合には、教授会において審議し、その結果を学長及び教育担当理事に報告するものとする。
２　教育担当理事は、停学解除の妥当性について、学長に意見を述べるものとする。この場合において、教育担当理事は委員会に諮るものとする。
３　学長は、研究科長からの報告及び教育担当理事からの意見を踏まえ、停学を解除することができる。
４　第１８条第２項及び第１９条の規定は、前項の解除について準用する。この場合において、「調査対象学生」とあるのは「無期停学中の学生」と、「懲戒処分告知書（別紙様式第１号）」とあるのは「停学解除通知書（別紙様式第４号）」と、「懲戒」とあるのは「無期停学の解除」と読み替えるものとする。

（学籍異動）
第２４条　第１７条の規定による懲戒の決定（第２０条の規定による再審査に基づく懲戒の決定を含む。）前に、調査対象学生から、退学又は休学の願い出があった場合は、これを認めない。
２　停学中の学生から休学の願い出があった場合は、これを認めない。
３　休学中の学生に対して停学の処分を行う場合は、当該学生の休学の許可を取り消すものとする。

（教育的措置）
第２５条　学長は、第６条の報告を受け、懲戒に相当しない非違行為があったと認められる場合、又は第１７条の規定により懲戒処分を行わないことを決定した場合（第２０条の規定による再審査の結果、懲戒処分を行わないことを決定した場合を含む。）で、必要と認めると

きは、研究科長に教育的措置を講じるよう命ずるものとする。
２　研究科長は、前項の命令があった場合には、当該非違行為を行った学生に対し、教育的措置として、文書又は口頭による注意を行うものとする。
３　前項に規定する教育的措置の内容は、次の各号に掲げる教育的措置の種類に応じ、当該各号に定めるところによる。
（１）厳重注意　文書により、非違行為を厳重に注意する。
（２）口頭注意　口頭により、非違行為を注意する。

（懲戒の記録）
第２６条　学生に対し、第１７条の規定により懲戒処分を行うことを決定した場合（第２０条の規定による再審査の結果、懲戒処分を行わないことを決定した場合を除く。）は、学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第２４条に定める指導要録に懲戒処分の内容を記録するものとする。ただし、指導要録に記録された懲戒処分の内容は、本学が発行する証明書等に記載しない。

（事務）
第２７条　学生の懲戒等に関する事務は、企画・教育部教育支援課が行う。

附 則
この規程は、平成２１年１２月１５日から施行する。
附 則
この規程は、平成２５年１２月１日から施行する。
附 則
この規程は、平成２７年４月１日から施行する。
附 則
この規程は、平成３０年４月１日から施行する。
附 則
（施行期日）
１　この規程は、平成３０年１２月１日から施行する。
（経過措置）
２　この規程の施行日の前日までに行われた懲戒の対象となりうる非違行為に対する懲戒等の適用については、改正後の奈良先端科学技術大学院大学学生の懲戒等に関する規程の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表（第５条関係）

懲戒処分標準例

区分	非違行為の種類	懲戒の標準
犯罪行為等	殺人、強盗、強姦、放火等の凶悪な犯罪行為又は犯罪未遂行為	退学
	傷害行為	退学又は停学
	薬物犯罪行為	退学又は停学
	窃盗、万引き、詐欺、他人を傷害するに至らない暴力行為等の犯罪行為	退学、停学又は訓告
	痴漢行為（覗き見、盗撮行為その他の迷惑行為を含む。）	退学、停学又は訓告
	ストーカー行為	退学、停学又は訓告
	コンピュータ又はネットワークの不正使用で悪質な場合	退学又は停学
	コンピュータ又はネットワークの不正使用	停学又は訓告
交通事故	死亡又は高度な後遺症を残す人身事故を伴う交通事故を起こした場合で、その原因行為が無免許運転、飲酒運転、暴走運転等の悪質な場合	退学
	人身事故を伴う交通事故を起こした場合で、その原因行為が無免許運転、飲酒運転、暴走運転等の悪質な場合	退学又は停学
	無免許運転、飲酒運転、暴走運転等の悪質な交通法規違反	停学又は訓告
	死亡又は高度な後遺症を残す人身事故を伴う交通事故を起こした場合で、その原因行為が前方不注意等の過失の場合	停学
	人身事故を伴う交通事故を起こした場合で、その原因行為が前方不注意等の過失の場合	停学又は訓告
研究活動不正行為	発表された研究成果の中に示されたデータや調査結果等の捏造、改ざん及び盗用を行った場合	退学、停学又は訓告
試験不正行為	本学が実施する試験等における不正行為で身代わり受験等の悪質な場合	退学又は停学
	本学が実施する試験等におけるカンニング等の不正行為	停学
	本学が実施する試験等において、監督者の注意又は指示に従わなかった場合	訓告
学内での非違行為	本学の教育研究又は管理運営を著しく妨げる暴力的行為	退学、停学又は訓告
	本学が管理する建造物への不法侵入又はその不正使用若しくは占拠	退学、停学又は訓告
	本学が管理する建造物又は器物の破壊、汚損、不法改築等	停学又は訓告
	本学構成員に対する暴力行為、威嚇、拘禁、拘束等	退学、停学又は訓告
	セクシュアル・ハラスメント及びアカデミック・ハラスメントに当たる行為	退学、停学又は訓告

Index

□ 1 Educational policies of the Nara Institute of Science and Technology

1 − 1 Objectives, Educational mission, Objectives for individual development, Educational policy …… 1

1 − 2 Admission Policy …… 2

1 − 3 Diploma Policy …… 3

1 − 4 Curriculum Policy …… 4

1 − 5 Code of Conduct for Research Activities at NAIST …… 5

1 − 6 Financial Support Policies for Nara Institute of Science and Technology Students …… 7

□ 2 Concept of the Graduate School of Science and Technology

2 − 1 Concept of the Graduate School of Science and Technology …… 11

2 − 2 Seven Education Programs …… 12

2 − 3 Curriculum for Master's Courses …… 15

2 − 4 Curriculum for Doctoral Courses …… 17

□ 3 Introduction for Incoming Students

3 − 1 Selecting Labs and Education Programs [Master's Courses] …… 19

3 − 2 Selecting Labs and Education Programs [Doctoral Courses] …… 22

□ 4 Registration Procedures

4 − 1 Subject Registration …… 23

4 − 2 Registration Regulations …… 28

4 − 3 Research Ethics Training Session …… 37

4 − 4 Completion Requirements …… 37

4 − 5 5-year Integrated Course …… 39

4 − 6 Double Degree Program …… 40

□ 5 Syllabus, etc.

5 − 1 Online Syllabus …… 41

5 − 2 System for Electronic Education Record …… 41

5 − 3 Evaluation of academic performance …… 41

5 − 4 Toward Cultivating Globally-Aware Human Resources …… 43

5 − 5 English E-Learning System (ALC NetAcademy 2) …… 45

□ 6 List of subjects and faculty members in charge, etc.

6 − 1 List of subjects and faculty members in charge in academic year 2019 …… 47

6 − 2 Numbering Information …… 54

6 − 3 2019 Timetable …… 54

□ 7 Degree examination criteria, etc.

7 − 1 Degree examination criteria …… 55

7 − 2 Degree Regulations …… 57

7 − 3 Schedule until degree conferral …… 63

□ 8 Study Support

8 − 1 Health Care Center …… 65

8 − 2 Office for Students with Disabilities …… 65

8 − 3 Career Services Office …… 65

8 − 4 Information iniTiative Center (ITC) …… 66

□ 9 Campus Life
9 − 1 Tuition and payment …… 67
9 − 2 Student ID Card …… 67
9 − 3 Student Personal Report …… 68
9 − 4 Procedures and issuance of certificates …… 68
9 − 5 Commuter certificate …… 71
9 − 6 Scholarships of private organizations …… 72
9 − 7 Tuition fee exemption …… 72
9 − 8 Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS) …… 72
9 − 9 Liability Insurance coupled with PAS …… 72
9 − 10 Student dormitories …… 73
9 − 11 Dwellings rented by NAIST for students …… 73
9 − 12 Parking a car and bicycle …… 73
9 − 13 Student welfare facilities …… 74
9 − 14 Student Consultation, Our various counseling service systems …… 74
9 − 15 Other matters …… 75
9 − 16 Campus Map …… 76
□ 10 Regulations of Nara Institute of Science and Technology, etc
・Regulations of Nara Institute of Science and Technology …… 77
・Regulations for Student Commendation …… 99
・Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program …… 101
・Student Discipline Regulations …… 103

1 Educational policies of the Nara Institute of Science and Technology

1 Educational policies of the Nara Institute of Science and Technology

1－1. Objectives, Educational mission, Objectives for individual development, Educational policy

○Objectives

As a graduate institution without undergraduate courses, NAIST promotes cutting edge research and offers a sophisticated outcome-based education for each student so as to contribute to the advancement of science and technology and of society as a whole.

○Educational mission

NAIST was founded in October 1991 as a graduate institution which educates individuals who will contribute to the development of advanced science and technology. Research and education at NAIST covers the three core areas: information science, biological science and materials science.

In order to realize a suitable standard of living for people throughout the world in the 21st century, and indeed to secure our very survival, the coming generation of leading researchers must possess the highest scientific and technical competence, along with a clear grounding in professional ethics. At NAIST, we aim to cultivate such researchers and educators.

Therefore, in addition to the areas of information science, biological science and materials science, we actively encourage interdisciplinary research and provide educational training in the principles of ethics and intellectual property.

○Objectives for student development

Education and research in NAIST master's course cultivate sophisticated expertise and personal initiative to support society and the economy. The doctoral courses are designed to nurture students to become researchers and engineers with the drive to seek new frontiers in science and technology and to take on leading roles internationally.

○Educational policy

In addition to a specialized education, the wide-ranging curriculum cultivates ethical thinking, vision, theoretical thinking, comprehensive judgment and sharpened writing skills.

Educational programs to produce human resources who will pursue new interdisciplinary research fields are executed and those to produce human resources with a thorough, globally-focused understanding, which include collaborative programs with our overseas education and research partners, are offered.

Internal and external evaluations are implemented to continuously improve the quality of education, while enrichment of the education and research environments and the financial support for talented students are being promoted.

１－２．Admission Policy

＜Master's course＞

○Prospective students

We are looking for students, researchers or engineers who have fundamental academic skills, a clear vision, a resolve toward the future, and a strong interest in and motivation for advanced science and technology, regardless of their background or undergraduate major. Especially, we actively accept applicants who have the ability to reason logically and accurately express their thoughts, and those who are very inquisitive and have the ability to tackle challenges.

○Basic admissions policy

In order to select outstanding persons with the above qualifications both domestically and abroad, we stress assessment of applicants' character and capability. There are various routes for admission, including examinations centered upon interviews as well as examinations based on recommendations.

＜Doctoral course＞

○Prospective students

We are looking for students, researchers or engineers who have fundamental academic skills, a clear vision, a resolve toward the future and a strong interest and motivation for advanced science and technology regardless of their background. Especially, we actively accept applicants who have a strong interest in making the best use of their wide breadth of expertise to solve various problems facing society, and are aiming to be active in various fields of advanced science and technology.

○Basic admissions policy

In order to select outstanding persons with the above qualifications both domestically and abroad, we stress assessment of applicants' character and capability. There are various routes for admission, including examinations centered upon interviews as well as examinations based on recommendations.

1－3．Diploma Policy

In addition to the three cutting-edge science and technology fields – information science and engineering, biological science, and materials science and engineering – NAIST actively promotes the exploration of related interdisciplinary fields in response to increasing societal demands in order to foster scholars with both a deep understanding of their own specialization and thorough knowledge of the related fields that will contribute to leading the next generation of advanced science and technology with holistic perspectives, a spirit of challenge, multi-disciplinary understanding and a global outlook. NAIST operates an accredited degree-granting process based on an educational program to achieve these objectives and a multifaceted educational research advising body structure (multiple faculty members with different viewpoints advise and guide students).

＜Master’s course＞

Master’s degrees shall be given to students who understand the basic concepts of advanced science and technology (information science and engineering, biological science, materials science and engineering, and their interdisciplinary fields) achieved through “advanced science and technology subjects” and are able to apply their expertise to problem solving, who have the skills to perform research in a specific field or technology development obtained through “research-based subjects,” and who have acquired excellent international communication skills and high ethical standards through “general subjects.” They will also have been enrolled in the course for the stipulated period, acquired the necessary credits, and passed the master's thesis review and examination.

＜Doctoral course＞

Doctor’s degrees shall be given to students who have advanced expertise and skills based on an understanding of a wide range of theories and systems of advanced science and technology (information science and engineering, biological science, materials science and engineering, and their interdisciplinary fields), who have the ability to discover and solve problems developed through “subjects fostering independent researchers,” and who have global communication skills, high ethical standards and a holistic perspective, and the ability to exercise leadership in advanced science and technology fields. They will also have been enrolled in the course for the stipulated period, acquired the necessary credits, have submitted an internationally valid doctoral thesis, and passed its review and examination.

１－４．Curriculum Policy

The Department of Science and Technology has a highly organized educational program that focuses on the acquisition of specialized knowledge in information, biological and materials sciences, and their interdisciplinary fields of research, while also equipping students with the spirit of challenge, well-roundedness, interdisciplinary understanding and a global perspective necessary for human resources who will contribute to the development of the next generation of science and technology, and the activities and developments in both industry and society. With a strong emphasis on the interdisciplinary developments of existing research fields, programs with a high degree of flexibility and an interdisciplinary focus to accommodate students' career and future objectives have been established in the master's course, and programs focusing on the development of internationally adept students who are independent and self-reliant have been established in the doctoral course.

＜Master's course＞

For the master's degree, we will implement programs with high flexibility and interdisciplinarity depending on students' career and future objectives, with a focus on interdisciplinarity.

1. Implementation of introductory subjects to introduce general science and technology trends necessary for studying advanced science and technology and holistically grasping them.
2. Introduction of subjects to provide basic knowledge of advanced science and technology and to develop comprehensive understanding, which also appeal to students from diverse fields who want to study in areas outside of their specialized fields
3. Introduction of subjects to provide highly specialized knowledge of advanced science and technology
4. Introduction of PBL subjects to develop the ability to grasp issues comprehensively, to discover and solve problems in cooperation with others, and to overcome challenges
5. Introduction of subjects to improve presentation and communication skills that are necessary to be active professionally in society.
6. Establishment of subjects to foster the ability to study and understand the ideal relationships of science and technology within industrial and societal activities, with the cooperation of industry and the government
7. Introduction of subjects to improve English communication skills for Japanese students and Japanese communication skills for international students for researchers and engineers
8. Introduction of subjects to enhance ethical thinking and foster a broader perspective of trends in society that are required for researchers and engineer

＜Doctoral course＞

The doctoral course provides programs focusing on the development of an international-focus understanding, independence, and self-reliance for its students.

1. Introduction of subjects on state-of-the-art expertise in information science, biological science, materials science and the fusion of these research fields.
2. Introduction of subjects to foster the ability to envisage their relationships with society including broad perspectives based on interdisciplinary knowledge, comprehensive understanding and career paths.
3. Introduction of subjects to develop ability to plan and execute research projects independently, to solve problems and pursue boundaries of science and technology.
4. Introduction of subjects focused on the acquisition of presentation and communication skills necessary for successful international activity.

１－５．Code of Conduct for Research Activities at NAIST

February 21, 2008

Code of Conduct for Research Activities at NAIST

“Research activities” refers to actions that generate new findings and construction of systems of knowledge based on reflections, thinking, and ideas while continually using facts and data obtained by means of surveys, observations, experiments and other activities as raw material, building on the results of studies carried out by previous researchers.

The fruits of such activities form the building blocks for the common intellectual assets of humanity, underpinning human happiness as well as economic and social development.

Such research activities have as their premise the integrity of researchers toward their research activities. Dishonest behavior, including the fabrication or falsification of data or results, plagiarism of the results of others’ work, multiple publication of the same results, and inappropriate authorship whereby the authors of a paper are not attributed correctly, is contrary to the basic character of research activities. Such actions are unacceptable under any circumstances, and will be dealt with severely.

Given this fundamental awareness of research activities, NAIST has set out the following Code of Conduct outlining the behavior expected of all those involved in research activities at the institute (hereafter “researchers”) during the performance of research.

1. Responsibilities of Researchers

Researchers shall be responsible for ensuring the quality of the specialized knowledge and techniques they themselves generate, and shall also be responsible for using their specialized knowledge, techniques, and experience for the safety and well-being of society, and for environmental preservation.

2. Actions of Researchers

Researchers shall act with integrity on the basis of earnest beliefs, constantly reviewing their positions toward and approaches to research in the awareness that the autonomy of science is built on the trust and mandates of society. They shall both make the utmost efforts to demonstrate the accuracy and appropriateness of the knowledge generated by their research in a scientific and objective manner, and participate actively in the mutual evaluation of researchers within the scientific community, particularly in their own fields of specialization.

3. Self-Improvement

Researchers shall endeavor to maintain and improve their own specialized knowledge, abilities, and skills, and shall also strive unremittingly to understand the relationships of science and technology with society and the natural environment from a broad perspective.

4. Explanation and Disclosure

Researchers shall proactively disclose and explain the significance and roles of the research in which they are involved, assessing the potential effect of this research on humanity, society, and the environment as well as any changes it may cause, and shall publish the results in a neutral and objective manner, while striving to achieve and maintain a constructive dialogue with society.

5. Research Activities

Researchers shall act with integrity and in accordance with the spirit of this Code of Conduct during the process of making proposals, planning, submitting applications, carrying out research, reporting, and conducting other activities connected with their own research. They shall be scrupulous with respect to the recording and storage of research and survey data and its strictly impartial treatment, without engaging in dishonest behavior such as fabrication, falsification, or plagiarism, nor shall they be complicit in such behavior.

6. Improvement of Research Environments

Researchers shall be aware that the establishment and maintenance of a fair and open research environment that enables the execution of responsible research and the prevention of dishonest behavior is also an important obligation, and shall be actively engaged in improving the quality of research environments of both the scientific community and the organization to which they belong. They shall also strive to obtain the understanding and cooperation of society in order to achieve this.

7. Appropriate Use of Research Funds

When using research funds, researchers shall comply with all applicable legislation, institute regulations and other rules, in addition to conditions, rules for use, and other stipulations established for all types of externally funded research.

8. Concern for Research Subjects, the Environment, Safety, and Related Issues, and Respect for Bioethics

Researchers shall respect the persons and human rights of those who cooperate in their research, and shall take their well-being into account. When dealing with materials that could have an adverse effect on the environment or safety during the execution of research (radiation, radioactive isotopes, genetically modified organisms, nuclear fuel material, non-native species, poisonous materials, environmental pollutants, etc.), they shall comply with all applicable legislation, institute regulations, guidelines and other stipulations issued by academic societies and other bodies concerned, and shall have the greatest possible respect for bioethics in research involving human or animal subjects.

9. Interpersonal Relationships

Researchers shall both evaluate others' results appropriately and listen humbly to criticism of their own research, exchanging opinions with an attitude of sincerity. They shall comply with the obligation of confidentiality concerning the intellectual property rights of others. In particular, they must pay strict attention to compliance with the obligation of confidentiality concerning information obtained during the review process for papers or research funding. They shall also endeavor to protect

individuals' privacy through the appropriate handling of personal information obtained during the research process.

10. Elimination of Discrimination and Harassment

Researchers shall not discriminate against any individual on the basis of his or her race, gender, rank, ideology, religion, or for any other reason, but shall treat each person fairly while respecting the freedom and character of the individual. They shall not use their status or authority to impede or disadvantage any person under their instruction, guidance, or similar circumstances in either word or deed.

11. Conflicts of Interest

Researchers shall pay careful attention to any conflict of interest that may arise between an individual and his or her own institution or another organization in the course of their research, review, evaluation, judgment, or other undertaking, and shall deal with it appropriately while giving due consideration to its public nature. Researchers shall also comply with the NAIST Conflict of Interest Policy and related policies.

１－６．Financial Support Policies for Nara Institute of Science and Technology Students

Financial Support Policies for Nara Institute of Science and Technology Students

Nov. 21, 2018
Board of Directors Approved

Nara Institute of Science and Technology (Hereinafter referred to as "NAIST") is a national graduate school institution without undergraduate programs that promotes cutting-edge research and educates students through advanced curriculum in order to contribute to developments in science and technology, and the advancement of society.

To achieve the above goals, NAIST actively admits highly motivated students both domestically and abroad that will rise to the challenge of advanced science and technology research and will pursue leading roles in society. For this, assisting prospective students in understanding the appeal and benefits of studying at NAIST is a very important issue. NAIST has established the policy of offering financial support as permitted to motivated students in order to further promote an environment conductive of academic pursuits and research without worrying about financial burdens, as part of the appeal of NAIST as an educational choice.

The following programs, etc. are to be implemented as financial support based on the above policy.

1. NAIST Excellent Student Scholarship Program (for doctoral course students)
Those 1st year doctoral students whose academic performance in the master's course is recognized

as outstanding and as having distinguished character may have the year's tuition exempted in full. However, this program is not applicable to MEXT Scholarship recipients or NAIST International Scholar Program participants. Up to 15 students are eligible for this program every year

2. Financial support for students from the workforce (for doctoral course students)

Those doctoral students whose academic performance is recognized as outstanding and as having distinguished character may have their tuition exempted in full, and also receive a scholarship. Those employed part-time or by contract (those not employed in a fulltime permanent position) and those whose tuition is being paid for by the company for which they are or were employed are not eligible for this support.

3. NAIST International Scholar Program (for doctoral course international students)

The following support is given to those students who passed the Screening of International Students by Special Recommendation and are privately financed international students. (International students other than those sponsored by or receiving scholarships from the Japanese or any other government)

(1) Payment of transportation costs from their country to Japan
(2) Employment as a Research Assistant
(3) Entrance fee exemption
(4) Tuition fee redemption
(5) Other support as deemed necessary by the NAIST President

・The number of students to be supported is decided each year considering budget allocation.
・The period of support for this program is the 3 years residing in the doctoral course. However, no support is offered during leaves of absence.

4. Ministry of Education and Training Vietnam International Education Development Scholarship (VIED Scholar) Program (for Vietnamese students)

The following support is provided for those privately-financed international students that enter NAIST upon passing the screening held by Vietnam International Education Development of Ministry of Education and Training, Vietnam.

(1) NAIST examination fee exemption
(2) Entrance fee exemption
(3) Tuition fee exemption

・Up to 3 additional students may be eligible for this support each year.
・The period of support is limited to 2 years for the master's course and 3 years for the doctoral course.

5. Chinese Government Scholarship Program at NAIST (for Chinese (PRC) doctoral students)

The following support is provided for those privately-financed international students that enter the NAIST doctoral course as Chinese Government Scholarship Program Doctoral Research Students under the China Scholarship Council

(1) NAIST examination fee exemption
(2) Entrance fee exemption
(3) Tuition fee exemption

・Up to 3 additional students may be eligible for this support each year.
・The period of support is limited to the standard period of study for the doctoral course.

6. Tuition Exemption Program for students facing financial difficulties (For master's and doctoral

students)

The exemption screening is held for each exemption group of the master's and doctoral courses, and all those deemed eligible by financial and academic standards have half their tuition exempted, within bounds of the total amount determined for each of the programs.

In cases when there is still funding available after all the eligible master's students have received exemption of half of their tuition, doctoral students found to be in great financial need may receive full exemption of their tuition in order of that need.

7. Priority TA/RA Assistantship Program (for 5-Year Integrated Course and doctoral course students)

Financial support equivalent to half of tuition fees is provided from the second year of the master's course through TA/RA assistantship support, and additional support may be made available according to the characteristics of student research areas.

8. Prioritized dormitory housing (for 5-Year Integrated Course and doctoral course students)

Students who plan to continue their studies in the doctoral program at NAIST (only when this is expressed at the time of master's course enrollment)and doctoral students are given priority to reside in the dormitories if they desire to do so.

9. Priority recommendation for Jasso student loans (Type I & II student loans) [for 5-Year Integrated Course students]

Prioritized recommendation is given to 5-Year Integrated Course students who wish to receive JASSO student loans and fulfill the necessary requirements for them.

2 Concept of the Graduate School of Science and Technology

2 Concept of the Graduate School of Science and Technology

2－1. Concept of the Graduate School of Science and Technology

＜Objectives＞

NAIST will create innovation by undertaking revolutionary research that moves ahead of current trends, especially by creating interdisciplinary research areas by removing the boundaries of traditional research fields. At the same time, NAIST aims to train leading researchers with an aspirational spirit and creativity and engineers with highly advanced expertise through a systematic curriculum, which we have cultivated since our foundation, that covers wide-ranging fields from the most advanced information sciences, biological sciences, and material sciences to interdisciplinary fields that include all of the above.

＜New Graduate School Features＞

- Removal of barriers between fields for a dynamic educational structure where diverse faculty will perform education together at the forefronts of science and technology
- An educational format facilitating diverse coursework to respond thoroughly to students' needs and interests
- Seven 'Education Programs' established to disseminate highly specialized knowledge and training
- An educational system for basic and advanced knowledge to prepare students for diverse pursuits, and to allow them to reach beyond their expertise
- Practical training at private businesses or workshops taught by researchers and engineers from private businesses will be offered to implement project-based learning seminars which include real-world applications based on societal needs.

＜Objectives for each individual student＞

Master's Courses cultivate sophisticated expertise in information sciences, biological sciences, or material sciences in order to support society and the economy, wide-ranging qualities to engage in interdisciplinary fields that cover them, a comprehensive perspective to see the entirety of society, and a willingness to be at the forefront of science and technology in society and create innovation.

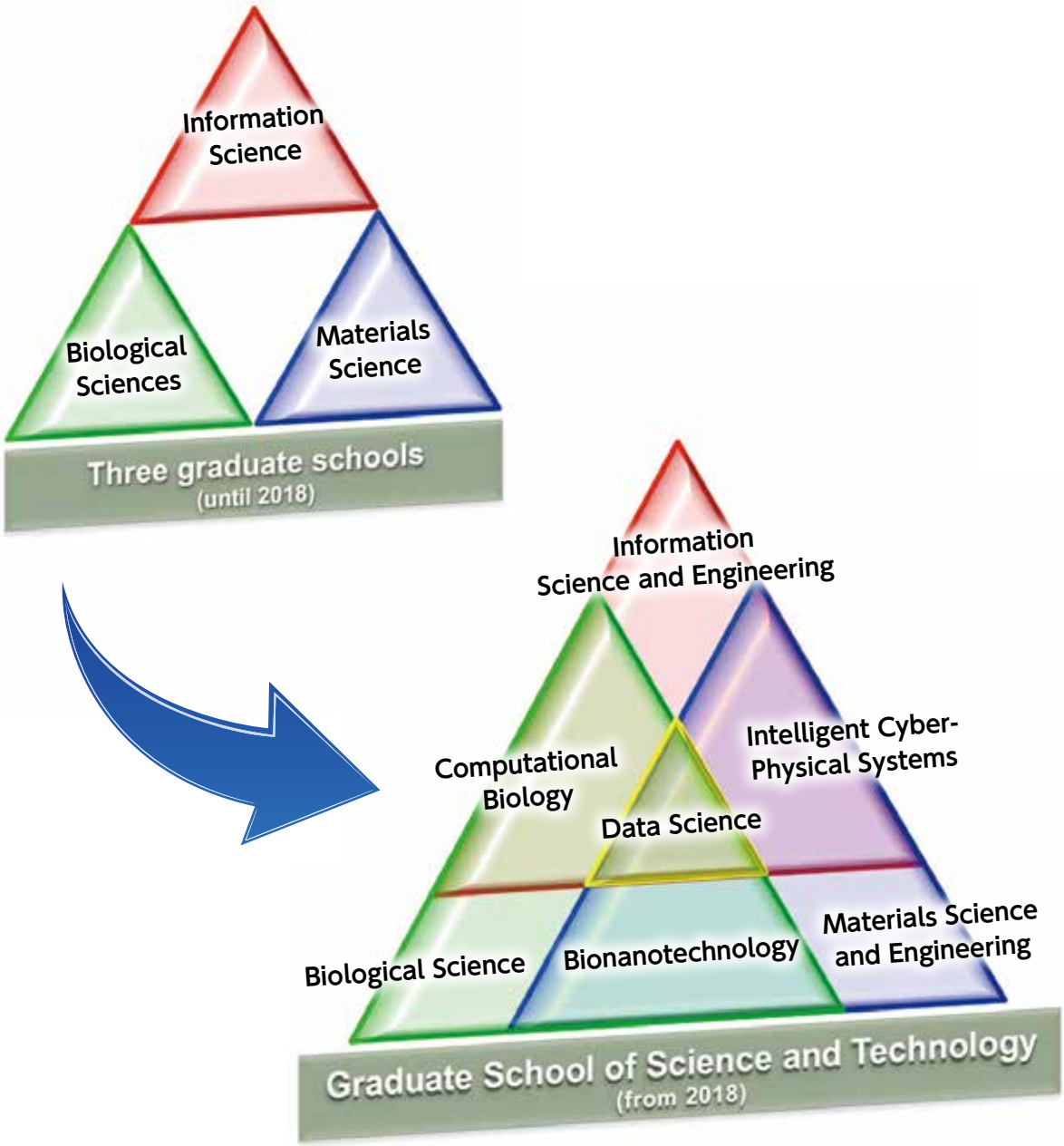
In addition to developing highly advanced knowledge and broad perspectives in information sciences, biological sciences, or material sciences and related interdisciplinary fields, the Doctoral Courses are designed to nurture in researchers and advanced specialized engineers the aspiration to take on challenges in science and technology research with an international mindset, initiative, and independence, and to play a leading role in international society covering industry, government, and academia.

＜Diverse career options＞

Students will obtain a wide range of knowledge, both within their specialized fields and through interdisciplinary development and critical thinking, that will open a wide array of career opportunities.

２－２．Seven Education Programs

The Graduate School of Science and Technology offers seven Education Programs to choose from. Programs based on information sciences, biological sciences, and material sciences, which have been cultivated since the school's foundation, include Information Science and Engineering, Biological Science, and Materials Science and Engineering. Interdisciplinary programs that combine these disciplines include Computational Biology, Intelligent Cyber-Physical Systems, Bionanotechnology, and Data Science. The curriculum framework allows students to take courses to obtain advanced specialties while pursuing their career paths.



○Seven Education Programs facilitating research in leading-edge science and technology

Information Science and Engineering	Degrees granted Master's / Doctorate (engineering, science)
A focused program fostering students to support our dynamic advanced information society, implementing further achievements in diverse fields. This program cultivates specialized knowledge and skills in computer hardware/information network technology, computer/human interaction and media technology, and computer systems to utilize robotics.	

Computational Biology	Degrees granted Master's / Doctorate (engineering, science, bioscience)
An interdisciplinary program fostering students able to collect and analyze the huge amounts of data related to the phenomena of life, such as medical imaging data and the enormous amounts of bio-information concerning genes, proteins, and metabolism, while producing researchers who will undertake the development of these technologies.	

Biological Science	Degrees granted Master's / Doctorate (bioscience)
A focused program fostering students to lead societal development and environmental protection in areas such as energy, food supply, resources, and life/health quality. This program enhances knowledge and expertise from the basic principles of the phenomena of life to biodiversity at the molecular, cellular and individual levels of plants, animals and microorganisms.	

Bionanotechnology	Degrees granted Master's / Doctorate (engineering, science, bioscience)
An interdisciplinary program fostering students to pursue new trends in bioscience based on materials science, and lead novel functional material creation, including development of pharmaceuticals, medical engineering materials, new polymers imitating biological functions, plant-based active components, and artificial protein materials, investigations of novel chemical compounds to augment plant functions, and exploration of cellular engineering to support regenerative medicine.	

Materials Science and Engineering	Degrees granted Master's / Doctorate (engineering, science)
A focused program fostering students with foundational knowledge of materials science and advanced knowledge to fully utilize their expertise in a program spanning solid state physics, device engineering, molecular chemistry, polymeric materials and bionano-engineering, and undertake next generation science and technology to maintain affluent living and support societal development.	

Intelligent Cyber-Physical Systems	Degrees granted Master's / Doctorate (engineering, science)
An interdisciplinary program fostering students able to holistically grasp areas including functional material design, novel and real-world sensing devices, analytical device design, system structuring to fully utilize analysis results, and machine and robot control systems, and who have specialized knowledge and experience to support social systems of this IoT era.	

Data Science	Degrees granted Master's / Doctorate (engineering, science, bioscience)
An interdisciplinary program fostering students with a wide range of expertise in data- and AI-driven sciences in information, biological, and materials sciences, to find hidden ‘value’ and ‘truth’ through data processing, visualization, and analysis of huge amounts of data to contribute to science, technology, and societal development.	

※Degree type will be decided based on subjects taken and thesis contents.

○List of Educational Programs that can be selected for each laboratory

＜Information Science＞

Laboratory	PI (Principal Investigator)	Program of Information Science and Engineering	Program of Computational Biology	Program of Intelligent Cyber-Physical Systems	Program of Data Science
Computing Architecture	Yasuhiko Nakashima	○		○	
Dependable System	Michiko Inoue	○		○	
Ubiquitous Computing Systems	Keiichi Yasumoto	○	○	○	
Mobile Computing	Minoru Ito	○		○	
Software Engineering	Kenichi Matsumoto	○		○	
Software Design and Analysis	Hajimu Iida	○		○	
Cyber Resilience	Youki Kadobayashi	○		○	○
Information Security Engineering	Yuichi Hayashi	○		○	
Internet Architecture and Systems	Kazutoshi Fujikawa	○		○	○
Computational Linguistics	Yuji Matsumoto	○			○
Augmented Human Communication	Satoshi Nakamura	○			○
Network Systems	Minoru Okada	○	○	○	
Interactive Media Design	Hirokazu Kato	○		○	
Optical Media Interface	Yasuhiro Mukaigawa	○	○	○	
Cybernetics and Reality Engineering	Kiyoshi Kiyokawa	○		○	
Ambient Intelligence	Norihiro Hagita	○		○	
Social Computing	Eiji Aramaki	○			○
Robotics	Tsukasa Ogasawara	○	○	○	
Intelligent System Control	Kenji Sugimoto	○	○	○	○
Large-Scale Systems Management	Shoji Kasahara	○		○	
Mathematical Informatics	Kazushi Ikeda	○	○	○	○
Imaging-based Computational Biomedicine	Yoshinobu Sato	○	○		○
Computational Systems Biology	Shigehiko Kanaya	○	○	○	○
Robot Learning	Takamitsu Matsubara	○		○	○
Robotics Vision	Takeo Kanade	○	○	○	

＜Biological Sciences＞

Laboratory	PI (Principal Investigator)	Program of Biological Science	Program of Computational Biology	Program of Bionanotechnology	Program of Data Science
Plant Cell Function	Takashi Hashimoto	○		○	
Plant Developmental Signaling	Keiji Nakajima	○	○		
Plant Metabolic Regulation	Taku Demura	○		○	○
Plant Growth Regulation	Masaaki Umeda	○		○	
Plant Stem Cell Regulation and Floral Patterning	Toshiro Ito	○		○	○
Plant Physiology	Motomu Endo	○	○		○
Plant Immunity	Yusuke Saijo	○	○		○
Plant Secondary Metabolism	Takayuki Tohge	○	○		○
Plant Symbiosis	Satoko Yoshida	○	○	○	
Molecular Signal Transduction	Hiroshi Itoh	○		○	
Functional Genomics and Medicine	Yasumasa Ishida	○			
Tumor Cell Biology	Jun-ya Kato	○		○	○
Molecular Immunobiology	Taro Kawai	○		○	
Molecular Medicine and Cell Biology	Shiro Suetsugu	○		○	○
RNA Molecular Medicine	Katsutomo Okamura	○	○		○
Stem Cell Technologies	Akira Kurisaki	○	○		
Developmental Biomedical Science	Noriaki Sasai	○	○	○	
Organ Developmental Engineering	Ayako Isotani	○		○	
Microbial Molecular Genetics	Hisaji Maki	○			
Systems Microbiology	Hirotada Mori	○	○		○
Cell Signaling	Kaz Shiozaki	○	○	○	
Applied Stress Microbiology	Hiroshi Takagi	○		○	
Environmental Microbiology	Shosuke Yoshida	○		○	
Structural Biology	Toshio Hakoshima	○	○	○	
Membrane Molecular Biology	Tomoya Tsukazaki	○		○	
Gene Regulation Research	Yasumasa Bessho	○	○	○	○
Systems Neurobiology and Medicine	Naoyuki Inagaki	○	○	○	
Computational Biology	Yuichi Sakumura	○	○		○
Medical Genomics	Kikuya Kato	○	○		

＜Materials Science＞

Laboratory	PI (Principal Investigator)	Program of Materials Science and Engineering	Program of Intelligent Cyber-Physical Systems	Program of Bionanotechnology	Program of Data Science
Quantum Materials Science	Hisao Yanagi	○	○		
Surface and Materials Science	Jun Ohta	○			○
Photonic Device Science	Jun Ohta	○	○	○	○
Information Device Science	Yukiharu Uraoka	○	○	○	○
Synthetic Organic Chemistry	Kiyomi Kakiuchi	○		○	
Supramolecular Science	Shun Hirota	○		○	
Photonic Molecular Science	Tsuyoshi Kawai	○		○	○
Photofunctional Organic Chemistry	Hiroko Yamada	○		○	
Sensing Devices	Takayuki Yanagida	○			
Organic Electronics	Masakazu Nakamura	○	○		
Bio-Process Engineering	Yoichiroh Hosokawa	○		○	○
Complex Molecular Systems	Hironari Kamikubo	○		○	○
Biomimetic and Technomimetic Materials Science	Gwenael RAPENNE	○		○	
Nanostructure Magnetism	Nobuyoshi Hosoito	○			
Data Driven Chemistry	Kimito Funatsu				○
Nanomaterials and Polymer Chemistry	Hiroharu Ajiro	○		○	
Materials Informatics	Miho Hatanaka	○			○
Mesoscopic Materials Science	Eiji Fujii、Hideaki Adachi	○	○		
Intelligent Materials Science(no new assignment)	Makoto Izumi				
Functional Polymer Science	Takahiro Honda、Hiroshi Enomoto	○		○	
Ecomaterial Science	Katsunori Yogo、Kazuya Goto	○	○		
Sensory Materials and Devices	Keishi Kitamura、Masaki Kanai	○	○	○	
Advanced Functional Materials	Yasuyuki Agari、Yutaka Fujiwara	○	○	○	

※The above information is as of February 2019 (including undecided April 2019). For educational programs that can be selected in the newly established laboratory, please check the latest information from the NAIST website etc.

２－３．Curriculum for Master's Courses

Master's Courses offer the following categories of subjects:

◇General Subjects

This category includes courses on ethics, philosophy, communication, intellectual property rights, venture entrepreneurship, and languages in order to cultivate a wide range of qualities and social and international skills that are essential for the next generation of science and technology leaders. English classes will be organized into different levels and help students gain the communication skills necessary to be successful in international society through lectures on communication, presentation, discussion, and writing.

◇Science and Technology Subjects

Subjects are offered in four subcategories to help students from different academic backgrounds to understand and discuss the latest science and technology and social needs in various fields. These subjects are designed to cultivate individuals with broad perspectives, flexible inspiration, and creativity to have a comprehensive view of other science and technology fields.

① Introduction Subjects

Students develop a cohesive view by learning about each research field under the seven Education Programs from a comprehensive perspective, including how the most world-wide scientific advancements have developed and merged with each other and what types of new science and technology and research fields will be created in the future.

② Basic Subjects

These Basic Subjects cater to students from a wide range of fields, allow them to tackle different fields or interdisciplinary fields in addition to their specialized fields, and help them to obtain the foundational knowledge required to take individual Education Programs. Basic Subjects are designed to supplement each student's ability from any education program according to their academic history.

③ Specialized Subjects

This is a core lecture in the program in which students gain advanced specialized knowledge along with the human resource development goal of each program. These selective subjects present challenges for the Project Based Learning subjects for each student and provide opportunities within their career paths at the end of the program. Students will engage in exercises to work on the themes presented by students from other labs and to perform research in advanced fields with advanced technologies and methodology. They will also engage in Project Practice to learn the spirit of "mono-tsukuri" manufacturing through participating in internships offered by companies with specific themes.

④ PBL Subjects

As the culmination of "Science and Technology Subjects," students explore issues in science and technology in collaboration with students from other fields or labs and develop the ability to resolve them in a PBL (Project Based Learning) format. PBL subjects are required subjects and they will not only provide students with broader perspectives in their fields of specialization but also nurture their interdisciplinary communication capability and the aspirational spirit that will be critical when researchers and engineers from different specializations pioneer interdisciplinary fields together.

Among the "Basic Subjects" and "Specialized Subjects," Core Subjects are designated either as required or a selection is required for each of the Education Programs as they are necessary to obtain specialized knowledge that are key to each course. (See "4-4 Completion Requirements" in "Chapter 4. Registration Procedure" in this document for details on the Core Subjects.

◇Research-based Subjects

The following subjects are offered as they are directly related to students' master's theses in order to develop their ability to apply their specialized knowledge to address specific issues in science and technology based on the wide-ranging foundational concepts they have learned.

- Seminar I, II

  During the seminar, students collaborate to examine their research work through presentations and discussions on the achievements in their master's theses research or survey for their academic paper. The seminar also builds students' aptitude for presentations and discussions.

- Colloquium A, B

  Visiting instructors examine the most advanced science and technology fields that continue to evolve and students discuss the topic to reinforce the development of their research work.

- Research Experiments I, II

  This subject is designed to teach the principles and methodology of science and technology while fostering the ability for developing research plans.

- Research Thesis

  As the culmination of the Master's Course, this subject develops aptitude for extracting new, effective, and practical conclusions from the data obtained from research experiments, developing new challenges based on the conclusions extracted, and logically stating research backgrounds, processes, and conclusions for scientific papers and reports.

◇Other Education

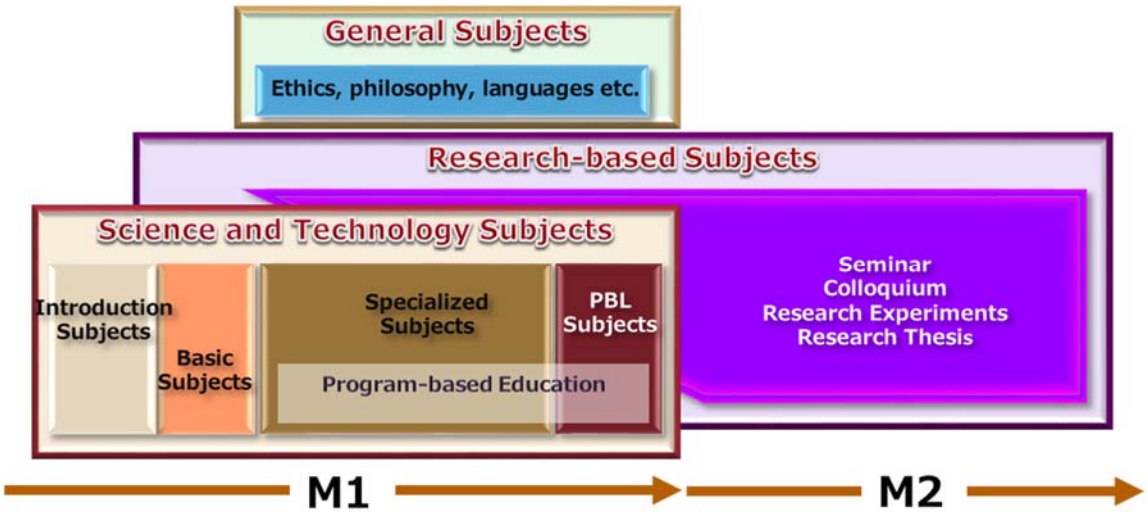
① Education related to performing research

In order to pursue research work safely and legally, lectures and lab work are offered right after students are admitted or allocated to labs. The courses include a Research Ethics Workshop, a Genetic Modification Experiment Workshop, an RI/X-Ray Safety Workshop and Practical Training, an Animal Experiment Workshop, Information Network Guidance, Information Security Workshop/Training, and a Chemical Handling Workshop and Practical Training. A Mental/Physical Health Workshop is also available for learning mental and physical health management.

② Career Education

Career Education reinforces students' abilities for developing and actualizing their career vision in response to social needs. It is provided in cooperation with private businesses and public research institutions to prepare students for their future achievements in various fields in society. This includes a training workshop for discussing Master's degree holders' careers in society, a job seminar for discussing job matching, and lectures for learning from the experiences of company leaders, innovative engineers, graduates of NAIST, or venture entrepreneurs for better career paths.

［Outline of Curriculum for Master's Courses］



２－４．Curriculum for Doctoral Courses

The Doctoral Courses offer the following groups of subjects:

◇Courses for Research Skills

The following subjects are offered to develop students' international mindsets and international communication skills

- Advanced English A-E

  Advanced international communication is taught in NAIST lectures to teach how to write science and technology papers in English and the methodology of advanced international communication with researchers overseas.

- Overseas English Training I-III

  Students learn English overseas.

- International Training I-III

  Presentations and discussions on research results are held at international conferences or overseas labs.

- Study Abroad I-III

  Students go abroad to participate in research internships at companies overseas or engage in research at universities overseas.

The following subjects are offered to develop students' aspirational spirit and ability for planning projects, discovering issues, combining knowledge and research methodologies, and driving research forward:

- Seminar for International Workshop Planning

  Students experience all aspects of international workshops, including proposals, organization, operation, and management.

- Project Management I-III

  Students learn on and off campus how to present research topics and research fund management, how to operate and promote research projects, and how to solve problems by combining various knowledge and techniques.

Special Lectures are offered to gain advanced specialized knowledge on the following subjects:

- Information Science and Engineering, Computational Biology, Biological Science, Bionanotechnology, Materials Science and Engineering, Intelligent Cyber-Physical Systems, and Data Science

  Students learn in intensive lectures about the latest high-quality research in the fields that correspond to the seven Education Programs in the Master's Courses.

The following subjects are offered to develop students' aspirational spirit and capability for managing research, improving social coordination and comprehensive perspective, and building career paths.

- Innovation Management A, B

  Students obtain knowledge on intellectual property necessary for developing innovation internationally, science and technology ethics, and cross-cultural understanding.

- Career Management A, B

  Students receive instructions on teaching methods, developing their educational ability, fostering transferrable skills, and obtaining knowledge for starting businesses in order to develop the capability that is necessary for diverse career paths including academia and non-academia.

All students are encouraged to take "Study Abroad" so they can cultivate an international mindset and international communication skills. By providing opportunities for education and research on and off campus and outside Japan, students will be trained in various research environments.

◇Courses for Independent Research Abilities

- Research Status Hearing

  Students report on and discuss the progress of their research on specific assignments. This seminar is held for each of the seven Education Programs to give students instructions from broader perspectives and develop their capability for discussion and presentation.

- Doctoral Research I-VI

  Students develop their capability for performing research activities independently, setting topics, and being creative through their research work as these skills are necessary for doctoral dissertations.

◇Other Education

Education related to performing research is provided as in the Master's Courses.

[Outline of Curriculum for Doctoral Courses]



3 Introduction for Incoming Students

3 Introduction for Incoming Students

3－1. Selecting Labs and Education Programs [Master's Courses]

2019

April 2 (Tue): Orientation for Incoming Students

Please make sure you understand the curriculum, research activities, scholarship programs, and campus living in order to begin your life at NAIST smoothly.

April 3 (Wed): TOEIC-IP Test

All incoming students should take this test. Please take this opportunity to evaluate your English ability at the time of admission and to establish clear goals for your English studies. Your test results will be taken into account for assignment to labs in the materials science fields.

April 5 (Fri) to April 18 (Thu): Registration (Introduction Subjects, Mathematical Analyses for Materials Science)

Students are encouraged to register for and take all of the Introduction Subjects (seven subjects held from April 9 (Thu) to May 8 (Wed)). Students must register for at least three subjects (three credits) which are required in order to complete the master's course.

April 3 (Wed) to April 5 (Fri): Lab introductions

Labs from each field will be introduced over the course of three days. Please listen carefully to the work of each lab that you are interested in and think about which lab to choose.

April 3 (Wed) to April 22 (Mon): Lab visits

Students can visit labs by participating in their briefings, attending their office hours, or making appointments with them by email. This is an opportunity to directly visit the labs you find interesting during the introduction in order to ask professors and other lab supervisors for more detailed information about the lab or to discuss students' research goals, as well as to exchange information with senior students at the lab.

April 9 (Tue) to May 8 (Tue): Attend the Introduction Subjects

Please take the seven Introduction Subjects (1 credit each x 7 subjects = 7 credits) to attain a deeper understanding of the world trends and the directions of science and technology to determine which the Education Programs you wish to choose. At least three credits from these subjects are required in order to complete the master's course.

April 10 (Wed) 15:10-16:40: Basic Academic Achievement Test

Students who took the entrance examination for the biological sciences classification need to take this test. The results will be taken into account for lab assignments in the Biological Science field.

April 12 (Fri) Submission by 15:30: First Laboratory Assignment Request Survey
Please register 3 labs that you wish to be assigned to at this time based on lab introductions. Please also state whether you wish to participate in the 5-year Integrated Course (continue to the doctoral course) at this time.

April 12 (Fri) Submission by 15:30: Change of Field Screening Application.
If you wish to be assigned to a lab in a field other than the one you selected at the time of the entrance exam, please attach the "Proof of Advance Interview" that was issued to you after having an interview with the professor or associate professor of the lab you wish to join.

April 15 (Mon) Afternoon: First Laboratory Assignment Request Survey results
The number of students who selected labs as their first, second, and third choices will be announced for each lab on the web. Please use this information to complete your preferences for the second Laboratory Assignment Request Survey.

April 15 (Mon) Afternoon: Change of Field Screening dates
Applicants for the Change of Field Screening will be notified individually by email.

April 16 (Tue) Submission by 13:30: 5-year Integrated Course Application
Students who wish to participate in the 5-year Integrated Course must submit the application. (See "4-5 5-year Integrated Course" in "Chapter 4. Registration Procedure" of this handbook for details.)

April 16 (Tue) 15:10- (4th period and later): Change of Field Screening

April 17 (Wed) Afternoon: Change of Field Screening results
Applicants will be notified individually by email.

April 18 (Thu) Submission by 15:30: Second Laboratory Assignment Request Survey
Please register 3 labs that you wish to be assigned to at this time based on lab visits. Please also state whether you wish to participate in the 5-year Integrated Course (continue to the doctoral course) at this time.

April 19 (Fri) Afternoon: Second Laboratory Assignment Request Survey results
The total number of students applying to each lab and each lab's capacity will be announced on the web. Please use this information to complete your preferences for the final Laboratory Assignment Request Survey.

April 19 (Fri) Afternoon: 5-year Integrated Course Application results

Applicants will be notified individually by email.

April 23 (Tue) Submission by 15:30: Final Laboratory Assignment Request Survey
Please register 5 labs that you wish to be assigned to, based on lab visits and the Change of Field Screening results.

April 24 (Wed) or later: Laboratory Assignment results
Lab assignments will be posted on the web as soon as they are decided. Students will receive the results by email as well.

April 24 (Wed) until completed: Education Program selection
Students should consult with their instructors as their lab assignments are finalized and decide their Education Program.

April 22 (Mon) to May 15 (Wed): Registration (Basic Subjects)
Please register for Basic Subjects based on your Education Program.

May 29 (Wed) to June 11 (Mon): Registration (General Subjects, Specialized Subjects, PBL Subjects)
Please register for General, Specialized and PBL Subjects based on your Education Program.

*The above schedule may change depending on overall progress and departmental coordination.

[Other workshops, etc.]
April 8 (Mon)
– 1st and 2nd periods: Information Network Guidance, Safety Education (for all incoming students)
– 3rd and 4th periods: First RI/X-Ray Workshop (for all those who may engage in experiments using RI/X-ray)
April 9 (Tue)
– 5th period: Research Ethics Training Session (for all incoming students)
April 16 (Tue)
– 4th and 5th periods: Genetic Modification Experiment Workshop (for all those who may engage in genetic modification experiments)
May 22 (Wed)
– 4th period: English Language Subject Guidance (for all those who may take English language subjects)

*Other procedures for applying for scholarship programs or tuition fee exemption will be explained at the orientation sessions for incoming students so please make sure to attend them.

３－２．Selecting Labs and Education Programs [Doctoral Courses]

2019

April 3 (Wed): TOEIC-IP Test

All incoming students should take this test. Please take this opportunity to evaluate your English ability at the time of admission and to establish clear goals for your English studies.

April 5 (Fri): Orientation for Incoming Students

Please make sure you understand the curriculum, research activities, scholarship programs, and campus living in order to begin your life at NAIST smoothly.

Until completed: Education Program selection

S Students should consult with their instructors as their lab assignments are finalized and decide their Education Program.

*The above schedule may change depending on overall progress and departmental coordination.

[Other workshops, etc.]

April 8 (Mon)

– 1st and 2nd periods: Information Network Guidance, Safety Education (for all incoming students)

– 3rd and 4th periods: First RI/X-Ray Workshop (for all those who may engage in experiments using RI/X-ray)

April 9 (Tue)

– 5th period: Research Ethics Training Session (for all incoming students)

April 16 (Tue)

– 4th and 5th periods: Genetic Modification Experiment Workshop (for all those who may engage in genetic modification experiments)

May 22 (Wed)

– 4th period: English Language Subject Guidance (for all those who may take English language subjects)

*Other procedures for applying for scholarship programs or tuition fee exemption will be explained at the orientation sessions for incoming students so please make sure to attend them.

4 Registration Procedures

4 Registration Procedures

Students should thoroughly consult with their supervisor(s) about subject registration to develop plans for taking for subjects each quarter.

Subject registration is only required for the master's course. In principle, subject registration is necessary for those subjects belonging to the areas outside of their research activity subjects. master's course must include subjects outside the group of subjects related to the student's main research activities. However, intensive lectures, collaborative education programs with other graduate schools, etc., and subjects for certificate programs are not subject to this restriction.

4－1. Subject Registration

Subject registration can only be performed during the designated periods below using the online subject registration system. During this period, it is also possible to perform registration changes and cancellations in addition to registration for new subjects.

［2019 Subject Registration Periods］

Quarters (Academic Terms)	Period	Subjects
1st Quarter (April 9 to June 4)	April 5 (Fri) to 18 (Thu)	Introduction Subjects (Spring), Mathematical Analyses for Materials Science
	April 22 (Mon) to May 15 (Wed)	Basic Subjects
2nd Quarter (June 5 to September 30)	May 29 (Wed) to June 18 (Tue)	General Subjects, Specialized Subjects, PBL Subjects
	August 26 (Mon) to September 6 (Fri)	General Subjects, Specialized Subjects (Both starting in September)
3rd Quarter (October 4 to December 6)	September 27 (Fri) to October 24 (Thu)	General Subjects, Specialized Subjects, Introduction Subjects (Fall), Basic Subjects (Fall), PBL Subjects (For Fall incoming students)
4th Quarter (December 9 to March 3)	December 2 (Mon) to December 20 (Fri)	General Subjects, Specialized Subjects

In addition to the subject registration period, there is a registration withdrawal period established for each subject (class). If you wish to withdraw from a subject, you can do so during this period. However, please note that if it is past the subject registration period, registration and/or registration changes are not possible. .

Subject withdrawal period: Until the end of the day of the second class
＊For those subjects where two thirds or more of the lectures will be held within the registration period, registration, registration changes and withdrawals will be possible until end of the day where two thirds of the lectures are completed.

In principle, taking two subjects offered at the same time and period simultaneously is not permitted. In addition, registering for a subject at another institution may require separate registration procedures to be completed in advance.

E-mails announcing subject registration periods are sent before each period begins. Please check incoming e-mails carefully to assure you do not overlook important information sent by NAIST and do not suffer any disadvantages.

＊Subject Registration System

Check the subject registration system manual on the NAIST homepage. Familiarize yourself with how to use the system and make sure to register correctly.

＜＜NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs → Subject Registration System＞＞

○Guidelines concerning Petition for Subject Registration

If the student is required to cancel or add subject registration due to unavoidable reasons such as leaves of absence, absence due to illness, etc., the student shall submit a "Petition for Subject Registration" without delay to the Academic Affairs Section, Educational Affairs Division. Please submit it as soon as deemed necessary and at least within 1 month of receiving the academic results of the subject.

The Educational Affairs Committee shall consider whether the contents and reasons of the Petition are reasonable, and if necessary, confirm the contents of the Petition with the student's main supervisor or instructor in charge of the subject. The Committee's response shall be sent to the Academic Affairs Section, Educational Affairs Division to then be reported in written form to the student and his/her supervisor.

○About credits earned prior to admission to NAIST

The NAIST Faculty Council can, if deemed educationally beneficial to do so, approve up to 10 credits for those graduate school credits earned outside of NAIST. Students who apply for this procedure are required to apply to the Educational Affairs Section, Educational Affairs Division with the following documents.

(1) Application form (available at the Educational Affairs Division.)
(2) Certificate of credits earned, or certificate of academic record, issued by the institution where the credits were earned
(3) Documents showing in detail the lecture contents of the subjects to be considered for accreditation by NAIST (a copy of the syllabus, etc.)

* The schedule for these procedures, etc. will be posted on the bulletin boards or by other means. Please check the information carefully. For more information, please contact the Educational Affairs Section, Educational Affairs Division.

○Credit transfer program with graduate schools of other universities

A credit transfer program is in place between this graduate school and the following graduate schools of other universities:

• Graduate School of Engineering, Osaka University
• Graduate School of Engineering Science, Osaka University

• Graduate School of Humanities and Sciences (Department of Information and Computer Sciences), Nara Women's University

Students who want to use the credit transfer program should read the instructions below carefully and follow the prescribed procedures. For more information, please contact the Educational Affairs Section, Educational Affairs Division.

(1) Registration method, etc.

(i) Students who want to use the credit transfer program are required to submit the prescribed registration application form and a statement of their reasons for applying.

(ii) For the master's course, the maximum number of credits registered shall be ten.

(iii) In principle, the scope of registration for subjects shall be lectures only, and shall not cover seminars, practical work, experiments, research, etc.

(iv) Students may be refused permission to take specific subjects due to reasons including lecture room capacity at the graduate school.

(2) Credit transfer

Credits earned at an institution outside of NAIST are counted as credits towards the NAIST completion requirements, provided that the NAIST Faculty Council recognizes them as such before the student take such subjects.

(3) The period for accepting the registration application form and the statement of reasons

The period for accepting these documents depends on the institution. Students will be notified via the bulletin board, etc. at a later date.

(4) Procedures for submitting a registration application form and a statement of reasons

(i) Registration application forms and the statement of reason forms are available at the Educational Affairs Section, Educational Affairs Division.

(ii) Students who want to use the credit transfer program are required to select subjects they wish to take by referring to the lecture contents, class schedule, etc. of the institution; obtain approval from their supervising instructor(s) (a seal of approval is required); and submit the registration application form and a statement of reasons to the Educational Affairs Section, Educational Affairs Division.

○Research guidance offered at institutions outside of NAIST

Students can receive necessary research guidance at non-NAIST graduate schools and research institutions, etc. (hereinafter referred to as "non-NAIST graduate schools, etc.") based on consultation with relevant non-NAIST graduate schools, etc. when it is deemed educationally beneficial to do so. The duration for which such research guidance is available is up to one year in total for the master's course and doctoral course, respectively. Permission may be given to extend the duration for the doctoral course. Students who want to receive research guidance at non-NAIST graduate schools, etc. are required to consult with their research instructors in advance, and inform the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division at least two months before the month in which such students will start to receive guidance.

○Handling of classes when public transport services are suspended, etc.

・Handling of classes when public transport services are suspended

Classes will be cancelled when the services of the Kintetsu lines (Keihanna, Nara, and Kyoto) and/or Nara Kotsu Bus lines (routes serving Gakken Kita-Ikoma Sta., Gakuenmae Sta., and Takanohara Sta.) (which are used by students to commute to the NAIST campus) are suspended due to a major disaster, accident, etc. The table below shows the handling of classes when public

transport services are restored.

・Handling of classes when a weather warning is issued

Classes will be cancelled when an Emergency Warning and a storm (or snowstorm) warning is announced in Ikoma City, Nara City and the area including those cities. The table below shows the handling of classes when the warning is cancelled.

Status at 7:00 a.m./10:00 a.m.	Handling of classes
Public transport services are restored/the warning is cancelled at or before 7:00 a.m.	Classes are held for the whole day
Public transport services are restored/the warning is cancelled at or before 10:00 a.m.	Classes are held in the afternoon
Public transport services remain suspended/the warning remains in effect after 10:00 a.m.	Classes are cancelled for the whole day

Note: Information on the TV, Internet, etc. is used to check if public transport services are suspended/restored or a warning is issued/cancelled.

What is an Emergency Warning?
The issuance of an Emergency Warning for an area indicates a level of exceptional risk of a magnitude observed only once every few decades. Residents should pay attention to their surroundings and relevant information such as municipal evacuation advisories and orders, and should take all steps necessary to protect life.

If serious difficulty in travelling to NAIST is anticipated due to scheduled transportation cancellation, etc, NAIST may decide to cancel classes.

In case of a class cancellation, a supplementary lecture is generally given to students by the lecturer in charge. However, at the lecturer's discretion, an appropriate study assignment may be given to replace the lecture.

○Mandatory Exclusion from Class Attendance due to Infectious Diseases

Students suffering from a contagious illness (such as influenza) diagnosed by a medical doctor must observe the mandatory exclusion from class attendance as outlined by Article 19 of the School Health and Safety Act. If diagnosed with an infectious disease, mandatory class exclusion is immediately in effect and students are required to inform the head of their laboratory of the necessary information (name, student ID number, e-mail address, etc.).

[For reference：Period of class exclusion（Only common disease examples）]

Name of diseases	Period of suspended ※
Influenza	5 days from the start of symptoms and 2 days from the decline of the fever
Whooping cough	Until the whooping cough has stopped or after finishing a 5 day antibacterial agent treatment
Measles	3 days from the decline of fever
Mumps	Until complete recover and 5 days after swelling of the Parotid gland、Glandula submandibularis and/or Glandula sublimgualis.has subsided
Rubella	Until the rash has completely disappeared

※These periods are standards established by the School Health and Safety Act. You should consult doctors on a case-by-case basis.

In case of a mandatory exclusion from class attendance, the lecturer in charge will generally provide a study assignment equivalent to the content of the missed classes.

In addition, if the University closes to prevent the spread of a contagious illness, the lecturer in charge will generally provide supplementary lectures. However these may be replaced by an appropriate study assignment at the lecturer's discretion.

○Excused absence

If you cannot attend a class due to one of the following reasons, the lecturer in charge for the class may treat this absence as an excused absence at his/her discretion.

1) Attending an event due the death of a family member closer than or of a second-degree relationship.
2) Appearing at a court or other public office due to jury duty, as an eyewitness or a reference witness, etc.
3) Attending a bone marrow examination necessary for a bone marrow transplant.

For students who wish to have their absence treated as an excused absence, they must consult with the lecturer in charge.

When an excused absence is granted, the lecturer will provide a study assignment.

○Treatment of other absences

If students cannot attend a class due to a reason which does not constitute an excused absence, they shall consult with the lecturer in charge to explain the reason for the absence.

If the lecturer decides to take special considerations for an absence that may affect grading, the lecturer may give the student an appropriate study assignment that is equivalent to the missed lectures.

○Absence limitations for excused absence and special considerations

The number of class absences that may be treated as excused absences or for special considerations shall not be more than one third of the number of classes for the specific subject.

４－２．Registration Regulations

Registration Regulations for the Graduate School of Science and Technology at the Nara Institute of Science and Technology

March 26, 2018
Regulation No. 1

Article 1 (Purpose)
These regulations stipulate matters necessary for registration by students of the Graduate School of Science and Technology in accordance with Article 34 of the Regulations of Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Research instructors)
1. Two or more research instructors of different courses, etc. shall be designated for each student to provide guidance on choosing subjects and preparing a degree thesis, etc. (hereinafter referred to as “research guidance”).
2. One of such research instructors shall be designated as the main research instructor.
3. Research instructors may be changed if needed in the course of studying or research guidance.

Article 3 (Research guidance)
The details of research guidance shall be defined for respective students.

Article 4 (Subject categories)
1. Subject categories and the number of credits required for completion for the master’s course shall be as shown in Appendix chart 1.
2. Subject categories and the number of credits required for completion for the doctoral course shall be as shown in Appendix chart 2.
3. The subjects, number of credits, and registration methods for the master’s course and doctoral course shall be stipulated separately.

Article 5 (Registration procedures)
1. Students must, under guidance offered by the main research instructor, choose the subjects they will take.
2. In principle, taking multiple subjects held at the same time is not permitted.

Article 6 (Awarding of credits)
1. Credits shall be awarded by means of an examination or a research report. Credits may be awarded based on an evaluation of day-to-day study activities, instead of such examination.
2. Academic performance based on an examination or a research report shall be evaluated by points (full score: 100 points); 60 points or more is deemed as a “pass”, and less than 60 points is deemed as a “fail”. For evaluation purposes, academic performance may be represented with the evaluation grade prescribed in accordance with the categories below.

(1) 90 points or more	Excellent
(2) 80 points or more	Very good
(3) 70 points or more	Good
(4) 60 Points or more	Fair
(5) less than 60 points	Fail

3. In the event that it is difficult to evaluate academic performance based on points as described in the preceding paragraph, “pass” or “fail” may be used instead of such points.
4. Prescribed credits shall be awarded to students whose academic performance is “pass” in accordance with the two preceding paragraphs.
5. Subjects whose credits have been earned cannot be taken again.

Article 7 (Approval of research guidance)
Research guidance shall be approved by the main research instructor and reported to the dean of the graduate school.

Article 8 (Theme of the degree thesis)
Students shall be required to report the theme of their degree thesis by the specified date, with the approval of the main research instructor.

Article 9 (Submission of the degree thesis)
1. Students are required to submit a degree thesis by the specified date, with the approval of the main research instructor.
2. A degree thesis can be submitted by students who (i) have earned or who are expected to earn credits necessary for completion of the course and (ii) have completed the necessary research guidance offered by research instructors.

Article 10 (Disqualification of credits for students who have been expelled due to unpaid tuition)
Credits accrued during the period of unpaid tuition will be disqualified when the student has been expelled from school, pursuant to Article 53-2 (4) of Regulation.

Article 11 (Index indicating the academic performance)
An objective index indicating the academic performance related a certain period or cumulative period can be calculated and evaluated, based on the evaluation performed pursuant to Article 6-2.

Article 12 (Miscellaneous provision)
Other matters relating to registration by students shall be stipulated separately.

Supplementary provisions
(Effective date)
1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2018.
(Abolition)
2. The Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology, The Registration Regulations for the Graduate School of Biological Sciences at the Nara Institute of Science and Technology and The Registration Regulations for the Graduate School of Materials Science at the Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as “the former Registration Regulations”) are abolished.
(Transitional measures)
3. For students who were admitted in the 2017 academic year or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”) to take subjects, the previous Registration Regulations shall remain in effect even after these Regulations come into effect. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Appendix chart 1 (supplement to Article 4, Paragraph 1)

Subject and Category		Number of credits required for completion
Subject type	Category	
General Subjects	—	4
Science and Technology Subjects	Introduction Subjects	3
	Basic Subjects	12
	Specialized Subjects	
	PBL Subjects	2
Research-based Subjects	—	9
Total		30

Appendix chart 2 (supplement to Article 4, Paragraph 2)

Subject and Category	Number of credits required for completion
Subjects for research skills	3
Subjects for independent research abilities	7
Total	10

Registration Policies for the Graduate School of Science and Technology at the Nara Institute of Science and Technology

March 27, 2018
Policy No. 1

Article 1 (Purpose)
These Policies stipulate matters necessary for the subjects, number of credits, and registration methods in accordance with Article 34 of the Registration Regulations for the Graduate School of Science and Technology at the Nara Institute of Science and Technology (2018 Regulations No. 1) (“Registration Regulations”).

Article 2 (Subjects)
1. The subjects, number of credits, and registration methods for the Master’s Course shall be as shown in Appendix chart 1.
2. The subjects, number of credits, and registration methods for the Doctoral Course shall be as shown in Appendix chart 2.

Supplementary provision
These Policies shall come into effect on April 1, 2018.
Supplementary provision
These Policies shall come into effect on June 14, 2018, and be applicable from April 1, 2018.
Supplementary provisions
(Effective date)
1. These Policies shall come into effect on April 1, 2019.
(Transitional measures)
2. For students who were admitted in academic year 2018 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Policies for the Graduate School of Science and Technology at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Appendix chart 1 (supplement to Article 2, Paragraph 1)

Curriculum chart of the Graduate School of Science and Technology (Master's Course)

(1) Subject name, etc.

Subject type	Category	Subject name	Subject Number	Number of credits	Number of credits required for completion	Registration Category / Education Programs: Information Science and Engineering	Computational Biology	Biological Science	Bionanotechnology	Materials Science and Engineering	Intelligent Cyber-Physical Systems	Data Science	Remarks
General Subjects	–	Techonology and Professional Ethics	1001	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		Philosophy of Science	1002	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Science Communication	1003	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Intellectual Property Right	1004	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Exercise for Intellectual Property Rights	1019	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Global Entrepreneur Ⅰ	1005	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Global Entrepreneur Ⅱ	1006	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Global Entrepreneur Ⅲ	1007	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Global Entrepreneur Ⅳ	1008	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Global Entrepreneur Ⅴ	1009	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Professional Communication Ⅰ	1010	1		□	□	□	□	□	□	□	two of the six subjects as elective subjects
		Professional Communication Ⅱ	1011	1		□	□	□	□	□	□	□	
		Academic Discussion	1012	1		□	□	□	□	□	□	□	
		Research Presentation	1013	1		□	□	□	□	□	□	□	
		Research Writing	1014	1	4	□	□	□	□	□	□	□	
		Advanced Research Writing	1015	1		□	□	□	□	□	□	□	
		Japanese Culture	1016	2		○	○	○	○	○	○	○	International students have priority
		Japanese Course Ⅰ	1017	2		△	△	△	△	△	△	△	For international students
		Japanese Course Ⅱ	1018	2		△	△	△	△	△	△	△	For international students
		Japanese Course Ⅲ	1020	2		△	△	△	△	△	△	△	For international students
		Japanese Course Ⅳ	1021	2		△	△	△	△	△	△	△	For international students
		Japanese Course Ⅴ	1022	2		△	△	△	△	△	△	△	For international students
		Academic Volunteer Ⅰ	1023	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Academic Volunteer Ⅱ	1024	1		○	○	△	△	△	○	○	
Science and Technology Subjects	Introduction Subjects	Introduction to Information Science and Engineering	2001	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Introduction to Computational Biology	2002	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Introduction to Biological Science	2003	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Introduction to Bionanotechnology	2004	1	3	○	○	○	○	○	○	○	
		Introduction to Materials Science and Engineering	2005	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Introduction to Intelligent Cyber-Physical Systems	2006	1		○	○	○	○	○	○	○	
		Introduction to Data Science	2007	1		○	○	○	○	○	○	○	
	Basic Subjects	Formal Language Theory	3001	1	at least 12 credits from the basic and specialized subjects required for each educational program	□C	△	△	△	△	○	○	
		Programming Course	3002	1		□C	○	△	△	△	○	○	
		Principles of Signal Processing	3003	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Applied Analysis	3004	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Data Engineering	3005	1		○	△	△	△	△	○	□C	
		Machine Learning	3006	1		○	△	△	△	△	○	□C	
		Optics	3007	1		○	○	△	△	△	□C	○	
		High Performance Computing Platforms	3008	1		□C	△	△	△	△	□C	○	
		Software Design	3009	1		□C	△	△	△	△	○	○	
		Artificial Intelligence	3010	1		□C	△	△	△	△	○	○	
		Cell Biology	3011	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Molecular Biology	3012	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Cell Membranes and Transport	3013	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		Cell Signaling	3014	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		Microbial Science	3015	1		△	○	□C (select one)	○	△	△	○	
		Plant Science	3016	1		△	○	□C (select one)	○	△	△	○	
		Biomedical Science	3017	1		△	○	□C (select one)	○	△	△	○	
		Cytoskeleton and Cell Cycle	3018	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		Genetics and Stem Cell Biology	3019	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		Gene Cloning and DNA Analysis	3020	1		△	○	□C	○	△	△	○	
		Mathematical Analyses for Materials Science	3021	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Quantum Mechanics	3022	1		△	△	△	○	○	□C	○	
		Core Quantum Mechanics Ⅱ	3023	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Core Physical Chemistry Ⅰ	3024	1		△	△	△	○	○	□C	○	
		Physical Chemistry	3025	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Core Solid State Physics Ⅰ	3026	1		△	△	△	○	□C (combination)	○	○	
		Core Solid State Physics Ⅱ	3027	1		△	△	△	○	□C (combination)	○	○	
		Core Molecular Science Ⅰ	3028	1		△	△	△	○	□C (combination)	○	○	
		Core Molecular Science Ⅱ	3029	1		△	△	△	□C	□C (combination)	○	○	
		Biomaterials Chemistry	3030	1		△	△	△	□C	□C	○	○	
	Specialized Subjects	Distributed Computing	4001	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Advanced Algorithm Design	4002	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Ubiquitous Systems	4003	1		○	○	△	△	△	□C	○	
		Mobile Computing	4004	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Virtual Systems Infrastructure	4005	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Software Engineering	4006	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Internet Engineering	4007	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Computer Network	4008	1		○	△	△	△	△	□C	○	
		Ambient Intelligence	4009	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Natural Language Processing	4010	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Virtual Reality	4011	1		○	△	△	△	△	□C	○	
		Computer Vision	4012	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Computer Graphics	4013	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Media Information Processing	4014	1		○	△	△	△	△	○	○	

Subject type	Category	Subject name	Subject Number	Number of credits	Number of credits required for completion	Registration Category / Education Programs: Information Science and Engineering	Computational Biology	Biological Science	Bionanotechnology	Materials Science and Engineering	Intelligent Cyber-Physical Systems	Data Science	Remarks
Science and Technology Subjects	Specialized Subjects	Wireless Communication Systems	4015	1	at least 12 credits from the basic and specialized subjects required for each educational program	○	○	△	△	△	□C	○	
		Signal Detection Theory	4016	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Human Computer Interaction	4017	1		○	△	△	△	△	□C	○	
		Pattern Recognition	4018	1		○	○	△	△	△	○	□C	
		Social System Theory	4019	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Machine Learning and Intelligent Control	4020	1		○	○	△	△	△	□C	○	
		Model-based Control	4021	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Human Robot Informatics	4022	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Mathematical Modeling	4023	1		○	○	△	△	△	□C	□C	
		Systems Biology	4024	1		○	□C	○	△	△	○	□C	
		Data Mining	4025	1		○	○	○	○	○	○	□C	
		Medical Imaging Analysis	4026	1		○	□C	△	△	△	○	□C	
		Biomedical Media Informatics	4027	1		○	□C	△	△	△	○	○	
		Data Science Ⅰ	4084	1		○	○	○	○	○	○	□C	
		Data Science Ⅱ	4085	1		○	○	○	○	○	○	◎C	
		Special Lecture in Information Science A	4029	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Special Lecture in Information Science B	4030	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Special Lecture in Information Science C	4031	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Special Lecture in Information Science D	4032	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Speech Processing	4033	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Sequential Data Modeling	4034	1		○	△	△	△	△	○	□C	
		Robotics	4035	1		○	○	△	△	△	□C	○	
		Information Security & Our Society	4036	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Information Theory	4037	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Hardware Security	4038	1		○	△	△	△	△	□C	○	
		Coding Theory	4039	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Stochastic Processes	4040	1		○	△	△	△	△	○	○	
		Computational Neuroscience	4041	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Lecture of Information Security Management Literacy Ⅰ	4042	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Lecture of Information Security Management Literacy Ⅱ	4043	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Exercise for Information Security A	4044	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Exercise for Information Security B	4045	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Exercise for Information Security C	4046	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Mathematics for Optimization	4047	1		○	○	△	△	△	○	○	
		Data Analysis	4048	1		○	○	△	△	△	○	○	
		System Requirements Engineering	4086	1		○	△	△	△	△	△	△	
		Systems Development Process	4087	1		○	△	△	△	△	△	△	
		Applied Life Sciences・Microbial Science	4049	1		△	□C (select one)	○	□C (select one)	△	△	○	
		Applied Life Sciences･Plant Science	4050	1		△	□C (select one)	○	□C (select one)	△	△	○	
		Applied Life Sciences･Biomedical Science	4051	1		△	□C (select one)	○	□C (select one)	△	△	○	
		Applied Life Science	4088	1		△	□C (select one)	○	□C (select one)	△	△	○	
		Development of Bioscience into Industry Ⅰ	4052	1		△	□C	○	□C	△	△	○	
		Development of Bioscience into Industry Ⅱ	4053	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Advanced Lecture in Developmental Biology	4054	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Advanced Techniques in Bioscience	4055	1		△	○	□C	○	△	△	□C	
		Plant Developmental Physiology	4056	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Developmental Biology of Animals	4057	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Pharmacology and Pathological Chemistry	4058	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Immunology	4059	1		△	○	○	○	△	△	○	
		The Biology of Genome and Cancer	4060	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Biological Interactions	4061	1		△	○	○	○	△	△	○	
		International Forefront in Bioscience A	4062	1		△	○	○	○	△	△	○	
		International Forefront in Bioscience B	4063	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Big data in Bioscience	4064	1		○	○	○	○	○	○	□C	
		Advanced Topics in Biological Science	4065	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Logic in Scientific Discovery	4089	1		△	○	○	○	△	△	○	
		Semiconductor Materials	4080	1		△	△	△	○	□C	□C	○	
		Optoelectronics	4081	1		△	△	△	○	□C	○	○	
		Organic Synthesis and Polymer Science	4082	1		△	△	△	○	□C	○	○	
		Electronic Properties and Atomic Structures of Solids and Surfaces Special	4066	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Photonics Special	4067	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Light and Information Devices Special	4068	1		△	△	△	○	○	○	□C	
		Materials Science for Quantum Information and Energy Conversion	4069	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Biomolecular Science	4070	1		△	△	△	□C	○	△	○	
		Advanced Synthetic Organic and Polymer Chemistry	4071	1		△	△	△	○	○	△	○	
		Molecular Photo-science	4072	1		△	△	△	○	○	△	○	
		Polymer Chemistry	4073	1		△	△	△	○	○	△	○	
		Materials Informatics	4074	1		○	○	○	○	○	□C	□C	
		Industrial Science and Technology Special	4075	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Materials Science Special A	4076	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Materials Science Special B	4077	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Materials Science Special C	4078	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Materials Science Special D	4079	1		△	△	△	○	○	○	○	
		Project Practice	4083	1		○	○	○	○	○	○	○	

Subject type	Category	Subject name	Subject Number	Number of credits	Number of credits required for completion	Registration Category: Education Programs: Information Science and Engineering	Computational Biology	Biological Science	Bionanotechnology	Materials Science and Engineering	Intelligent Cyber-Physical Systems	Data Science	Remarks
Science and Technology Subjects	PBL Subjects	Information Science and Engineering PBL Ⅰ	5001	1	2	◎							Only PBL subjects related to the selected Educational Program can be taken
		Information Science and Engineering PBL Ⅱ	5002	1		◎							
		Computational Biology PBL Ⅰ	5003	1			◎						
		Computational Biology PBL Ⅱ	5004	1			◎						
		Biological Sciences PBL Ⅰ	5005	1				◎					
		Biological Sciences PBL Ⅱ	5006	1				◎					
		Bionanotechnology PBL Ⅰ	5007	1					◎				
		Bionanotechnology PBL Ⅱ	5008	1					◎				
		Materials Science and Engineering PBL Ⅰ	5009	1						◎			
		Materials Science and Engineering PBL Ⅱ	5010	1						◎			
		Intelligent Cyber-Physical Systems PBL Ⅰ	5011	1							◎		
		Intelligent Cyber-Physical Systems PBL Ⅱ	5012	1							◎		
		Data Science PBL Ⅰ	5013	1								◎	
		Data Science PBL Ⅱ	5014	1								◎	
Research-based Subjects	–	Seminar Ⅰ	6001	1	9	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		Seminar Ⅱ	6002	1		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		Colloquium A	6003	1		◎	□	□	□	□	□	□	
		Colloquium B	6004	1		◎	□	□	□	□	□	□	
		Research Experiments Ⅰ	6005	2			□	□	□	□	□	□	
		Research Experiments Ⅱ	6006	2			□	□	□	□	□	□	
		Research Thesis	6007	5		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
Number of credits required for completion					30								

In the "Required/elective" column, ◎, □, ○, and △ represent required subjects, required elective subjects, and elective subjects, respectively. Subjects marked △ do not count as credits toward the completion requirements. C mark represent the core subjects for each educational program.

(2) Registration requirements

A. The total of 30 credits or more must be completed, including at least four credits from General Subjects, at least three credits from Introduction Subjects, at least 12 credits among Basic Subjects and Specialized Subjects, and at least two credits from PBL Subjects, and at least nine credits from Research-based Subjects.

B. Among Basic Subjects, if a subject is considered as previously completed due to the faculty/department of a student's undergraduate study, that subject may not count toward the student's necessary credit.

C. At least 12 credits among Basic Subjects and Specialized Subjects mentioned in A above must include the completion of Core Subjects defined as course completion requirements for each educational program as outlined below.

・For the Program of Information Science and Engineering, at least two subjects among the following Core Subjects must be completed: "Formal Language Theory", "Programming Course", "High Performance Computing Platforms", "Software Design", and "Artificial Intelligence".

・For the Program of Computational Biology, at least three subjects among the following Core Subjects must be completed; "Systems Biology", "Medical Imaging Analysis", "Biomedical Media Informatics", "one subject from 'Applied Life Sciences・Microbial Science, Applied Life Sciences・Plant Science, Applied Life Sciences・Biomedical Science and Applied Life Science'" and "Development of Bioscience into Industry Ⅰ".

・For the Program of Biological Science, at least four subjects among the following Core Subjects must be completed; "Cell Membranes and Transport", "Cell Signaling", "one subject from 'Microbial Science, Plant Science, and Biomedical Science'", "Cytoskeleton and Cell Cycle", "Genetics and Stem Cell Biology", "Gene Cloning and DNA Analysis" and "Advanced Techniques in Bioscience".

・For the Program of Bionanotechnology, at least three subjects among the following Core Subjects must be completed; "Core Molecular Science Ⅱ", "Biomaterials Chemistry", "one subject from 'Applied Life Sciences・Microbial Science, Applied Life Sciences・Plant Science, Applied Life Sciences・ Biomedical Science, and Applied Life Science'", "Development of Bioscience into Industry Ⅰ" and "Biomolecular Science".

・For the Program of Materials Science and Engineering, choose a set of Core Subjects between "combination of 'Core Solid State Physics I and Core Solid State Physics Ⅱ'" or "combination of 'Core Molecular Science Ⅰ and Core Molecular Science Ⅱ'". In addition, at least two Core Subjects must be completed among "Biomaterials Chemistry", "Semiconductor Materials", "Optoelectronics" and "Organic Synthesis and Polymer Science".

・For the Program of Intelligent Cyber-Physical Systems, at least three Core Subjects in (i) and (ii) must be completed. In principle, this should include at least one subject from each of (i) and (ii).
(ⅰ) "Optics", "High Performance Computing Platforms", "Ubiquitous Systems", "Computer Network", "Virtual Reality", "Wireless Communication Systems", "Human Computer Interaction", "Machine Learning and Intelligent Control", "Mathematical Modeling", "Robotics", and "Hardware Security".
(ⅱ) "Quantum Mechanics", "Core Physical Chemistry Ⅰ", "Semiconductor Materials", and "Materials Informatics".

・For the Program of Data Science, satisfy the requirements in (i) to (v) to complete the Core Subjects.
(ⅰ) Complete at least four Core Subjects among "Data Engineering", "Machine Learning", "Pattern Recognition", "Mathematical Modeling", "Systems Biology", "Data Mining", "Medical Imaging Analysis", "Data Science Ⅰ", "Data Science Ⅱ", "Sequential Data Modeling", "Advanced Techniques in Bioscience", "Big data in Bioscience", "Light and Information Devices Special", and "Materials Informatics".
(ⅱ) "Data Science Ⅱ" in (i) must be completed.
(ⅲ) Either "Big data in Bioscience" or " Materials Informatics" listed in (i) must be completed.
(ⅳ) Students who have not completed the Information Science Educational Curriculum must complete "Data Science Ⅰ" in (i).
(ⅴ) Students who have completed the Information Science Educational Curriculum must complete subjects other than "Data Science Ⅰ", which are listed in (i).

(3) Numbering Information

Subject numbers consist of 4-digit numbers based on levels of courses.

First digit : The first digit in the 6-digit numbers indicates levels of subjects:
1XXX = General Subjects (For master's course)
2XXX = Introduction Subjects (For master's course)
3XXX = Basic Subjects (For master's course)
4XXX = Specialized Subjects (For master's course)
5XXX = PBL Subjects (For master's course)
6XXX = Research-based Subjects (For master's course)
7XXX = Courses for research skills (For doctoral course)
8XXX = Courses for independent research abilities (For doctoral course)

From second to fourth digits : The from second to fourth digits in the 6-digit numbers indicate serial
XXXX = Serial numbers (ranging from 01 to 99)

Appendix chart 2 (supplement to Article 2, Paragraph 2)

Curriculum chart of the Graduate School of Science and Technology (Doctoral Course)

(1)Subject name, etc.

Category	Subject name	Subject Number	Number of credits	Number of credits required for completion	Required/ elective	Remarks
Subjects for research skills	Advanced English A	7001	1		○	English lectures at NAIST
	Advanced English B	7002	1		○	If you have already taken the master's course subject "Academic Discussion" you may not take "Advanced English A". If you have already taken the master's course subject "Research Presentation" you may not take "Advanced English B". If you have already taken the master's course subject "Research Writing" you may not take "Advanced English C". If you have already taken the master's course subject "Advanced Research Writing" you may not take "Advanced English D".
	Advanced English C	7003	1		○	
	Advanced English D	7004	1		○	
	Advanced English E	7029	1		○	
	Overseas English Training Ⅰ	7005	2		○	English training overseas (About 3 weeks or more)
	Overseas English Training Ⅱ	7006	2		○	
	Overseas English Training Ⅲ	7007	2		○	
	International Training Ⅰ	7008	1		○	Presentations at a international conference
	International Training Ⅱ	7009	1		○	
	International Training Ⅲ	7010	1		○	
	Study Abroad Ⅰ	7011	2		○	Students are strongly recommended to take "Study Abroad Ⅰ".
	Study Abroad Ⅱ	7012	2		○	・Internship at an overseas corporation to perform research (About 3 weeks or more) ・Research activities at a overseas partner laboratory or research institution (About 3 weeks or more) ・Overseas research
	Study Abroad Ⅲ	7013	2	3	○	
	Seminar for International Workshop Planning	7014	1		○	Plan an international student workshop, etc.
	Project Management Ⅰ	7015	1		○	Management of research project, etc
	Project Management Ⅱ	7016	1		○	
	Project Management Ⅲ	7017	1		○	
	Special Lectures in Information Science and Engineering	7018	1		○	Special lectures corresponding to seven educational programs in the Master's course
	Special Lectures in Computational Biology	7019	1		○	
	Special Lectures in Biological Science	7020	1		○	
	Special Lectures in Bionanotechnology	7021	1		○	
	Special Lectures in Materials Science and Engineering	7022	1		○	
	Special Lectures in Intelligent Cyber-Physical Systems	7023	1		○	
	Special Lectures in Data Science	7024	1		○	
	Innovation Management A	7025	1		○	Students are strongly recommended to take "Innovation Management A". If you have already taken the master's course subject "Exercise for Intellectual Property Rights" you may not take "Innovation Management A".
	Innovation Management B	7026	1		○	
	Career Management A	7027	1		△	
	Career Management B	7028	1		△	
Subjects for independent research abilities	Research Status Hearing	8001	1		◎	Research status hearing(A mid-term report)
	Doctoral Research Ⅰ	8002	3		○	(The first half-year)
	Doctoral Research Ⅱ	8003	3		○	(The second half-year)
	Doctoral Research Ⅲ	8004	3	7	○	(The third half-year)
	Doctoral Research Ⅳ	8005	3		○	(The fourth half-year)
	Doctoral Research Ⅴ	8006	3		○	(The fifth half-year)
	Doctoral Research Ⅵ	8007	3		○	(The sixth half-year)
Number of credits required for completion				10		

In the "Required/elective" column, ◎, □, ○, and △ represent required subjects, required elective subjects, and elective subjects, respectively. Subjects marked △ do not count as credits toward the completion requirements.

* This curriculum is also used for double degree program students.

(2)Registration requirements

Students are required to earn 10 credits or more in total. The total credits must include at least 3 credits from “Courses for research skills” and at least 7 credits from “Courses for independent research abilities” (including earning 1 credit of "Research Status Hearing").

(3)Numbering Information

Subject numbers consist of 4-digit numbers based on levels of courses.

First digit : The first digit in the 4-digit numbers indicates levels of subjects:
1XXX = General Subjects (For master's course)
2XXX = Introduction Subjects (For master's course)
3XXX = Basic Subjects (For master's course)
4XXX = Specialized Subjects (For master's course)
5XXX = PBL Subjects (For master's course)
6XXX = Research-based Subjects (For master's course)
7XXX = Courses for research skills (For doctoral course)
8XXX = Courses for independent research abilities (For doctoral course)

From second to fourth digits : The from second to fourth digits in the 4-digit numbers indicate serial
XXXX= Serial numbers (ranging from 01 to 99) "

４－３．Research Ethics Training Session

NAIST offers Research Ethics Training Sessions every year to foster the ethical thinking necessary for researchers and technicians. These sessions are offered in both Japanese and English.

Session times: April 9 (Tue), 2019 16:50- 18:20 (For Spring students)

October 3 (Thu), 2019 16:50- 18:20 (For Fall students)

Attendance is mandatory for all new students. Please understand that if you do not successfully complete this session, you may experience some disadvantages during your studies.

４－４．Completion Requirements

The following conditions must be satisfied to complete the program. You are responsible for confirming whether or not the completion requirements have been satisfied by consulting with your advisor.

＜Master's course＞

You must be registered in the master's course for at least two years, and complete at least 30 credits (including taking "Research Ethics Training Session" and passing the test). These credits must include at least 4 credits from "General Subjects," at least 3 credits from introductory subjects in "Science and Technology Subjects," at least 12 credits from the basic and specialized subjects required for each educational program (※), at least 2 credits from PBL subjects offered by each educational program, and at least 9 credits from "Research-based Subjects". In addition, you must receive necessary research guidance, your master's thesis must be accepted, and you must pass the final exam.

The subjects indicated by (※) are required or elective subjects which are core subjects to gain specialized knowledge required by each educational program.

A student can also study specialized subjects required by educational programs other than the program the student chose.

[The core subjects for each educational program]

【Program of Information Science and Engineering】 You must study at least two subjects among the following Core Subjects must be completed: "Formal Language Theory", "Programming Course", "High Performance Computing Platforms", "Software Design", and "Artificial Intelligence".
【Program of Computational Biology】 You must study at least three subjects among the following Core Subjects must be completed; "Systems Biology", "Medical Imaging Analysis", "Biomedical Media Informatics", "one subject from 'Applied Life Sciences・Microbial Science, Applied Life Sciences・Plant Science, Applied Life Sciences・Biomedical Science and Applied Life Science'" and "Development of Bioscience into Industry Ⅰ".
【Program of Biological Science】 You must study at least four subjects among the following Core Subjects must be completed; "Cell Membranes and Transport", "Cell Signaling", "one subject from 'Microbial Science, Plant Science, and Biomedical Science'", "Cytoskeleton and Cell Cycle", "Genetics and Stem Cell Biology", "Gene Cloning and DNA Analysis" and "Advanced Techniques in Bioscience".

【Program of Bionanotechnology】

You must study at least three subjects among the following Core Subjects must be completed; “Core Molecular Science Ⅱ”, “Biomaterials Chemistry”, “one subject from ‘Applied Life Sciences･Microbial Science, Applied Life Sciences･Plant Science, Applied Life Sciences･ Biomedical Science, and Applied Life Science’”, “Development of Bioscience into Industry Ⅰ” and “Biomolecular Science”.

【Program of Materials Science and Engineering】

For the Program of Materials Science and Engineering, choose a set of Core Subjects between “combination of ‘Core Solid State Physics I and Core Solid State Physics Ⅱ’” or “combination of ‘Core Molecular Science Ⅰ and Core Molecular Science Ⅱ’”. In addition, at least two Core Subjects must be completed among “Biomaterials Chemistry”, “Semiconductor Materials”, “Optoelectronics” and “Organic Synthesis and Polymer Science”.

【Program of Intelligent Cyber-Physical Systems】

You must study at least three Core Subjects in (i) and (ii) must be completed. In principle, this should include at least one subject from each of (i) and (ii).

（ⅰ）” Optics”, “High Performance Computing Platforms”, “Ubiquitous Systems”, “Computer Network”, “Virtual Reality”, “Wireless Communication Systems”, “Human Computer Interaction”, “Machine Learning and Intelligent Control”, “Mathematical Modeling”, “Robotics”, and “Hardware Security”.

（ⅱ）” Quantum Mechanics”, “Core Physical Chemistry Ⅰ”, “Semiconductor Materials”, and “Materials Informatics”.

【Program of Data Science】

For the Program of Data Science, satisfy the requirements in (i) to (v) to complete the Core Subjects.

（ⅰ）Complete at least four Core Subjects among “Data Engineering”, “Machine Learning”, “Pattern Recognition”, “Mathematical Modeling”, “Systems Biology”, “Data Mining”, “Medical Imaging Analysis”, “Data Science Ⅰ”, “Data Science Ⅱ”, “Sequential Data Modeling”, “Advanced Techniques in Bioscience”, “Big data in Bioscience”, “Light and Information Devices Special”, and “Materials Informatics”.

（ⅱ）“Data Science Ⅱ” in (i) must be completed.

（ⅲ） Either “Big data in Bioscience” or “ Materials Informatics” listed in (i) must be completed.

（ⅳ） Students who have not completed the Information Science Educational Curriculum must complete “Data Science Ⅰ” in (i).

（ⅴ） Students who have completed the Information Science Educational Curriculum must complete subjects other than “Data Science Ⅰ”, which are listed in (i).

＜Doctoral course＞

You must be registered in the doctoral course for at least three years and complete a total of ten credits (including taking "Research Ethics Training Session" and passing the test). The total credits must include at least three credits from “Subjects for research skills” and at least seven credits from “Subjects for independent research abilities.” In addition, you must receive necessary research guidance, your doctoral dissertation must be accepted, and you must pass the final exam.

４－５．5-year Integrated Course

【Summary】

Through consistent doctoral research guidance (of the 5-year Integrated Course) during the standard period of study (5 years) of the master's and doctoral courses, human resource development aimed at fostering profound knowledge in specialized fields, originality and creativity, and an understanding of issues, etc. on a global scale is achieved. Additionally, for the 5-year Integrated Course students NAIST prioritizes the expansion of the research guidance system and financial support to prepare a guidance system that allows individuals to concentrate on research as doctoral students.

【Participation in the 5-year Integrated Course approval timing and support contents】

The support contents for the 5-year Integrated Course students varies according to the timing of participation approval as shown in the table below.

Date of approval for participation in 5-year Integrated Course	Support details		
	Laboratory assignment	Sub supervisor increase	Financial support
Until the December previous to program admission	★	★	★
Until admission (March)	★	★	★
From admission until laboratory assignment	★	★	★
After laboratory assignment (After May)		★	★

Laboratory assignment: Priority for laboratory choices
Sub supervisor increase: Two or more sub supervisors
Financial support: Financial support (TA/RA salary) from the 2nd year of the master's course is possible.

【How to participate in the 5-year Integrated Course and standards for approval】

Students who wish to participate in the 5-year Integrated Course meet with the faculty of the laboratory from which they wish to enter to obtain approval ※ and then submit the "5-year Integrated Course Participation Form" to the Academic Affairs Section, Educational Affairs Division. After this, they are approved by NAIST upon the successful evaluation of students' academic achievements. Academic evaluation criteria varies depending on the time of approval as shown in the table below.

※: Faculty member interviews may result in a refusal to give approval from the faculty member of the laboratory the student wishes to enter. In Information Science Division laboratories, participation approval for the 5-year Integrated Course is after enrollment (in December or later).

Date of approval for participation in 5-year Integrated Course	Approval criteria for the 5-year Integrated Course
From admission until laboratory assignment	A score in the top 50% of enrolling students is considered as a standard
After laboratory assignment	Student whose supervisor approve participation in the 5-year Integrated Course

【Official decisions concerning 5-year Integrated Course students】

Official decisions for the 5-year Integrated Course are made after the doctoral dissertation research project proposal is completed, from December to February, in the first year of master's course and receiving evaluation from the main and sub (candidate) supervisors. In addition, even after February of the first year of master's course, when 5-year Integrated Course students are officially determined, students who wish to advance to doctoral course can apply with their supervisor's approval. In that case, students are transferred to the 5-year Integrated Course after evaluation at that time.

Please refer to the following web site for details. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Educational Affairs Division.

＜＜NAIST TOP PAGE → Education and Research → Academic Affairs → 5-year Integrated Course＞＞

４－６．Double Degree Program

The 21st century has seen globalization rapidly changing industry and social activities. These changes further necessitate research leaders who in addition to managing technological advances, must be able to manage human resources across countries and borders in order to solve important issues on a global scale. In order to meet these challenges and systematically develop global research leaders with international collaborative research abilities, the Double Degree Program (hereinafter referred to as "DD Program") was developed by Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as "NAIST").

The DD Program of NAIST gives a doctoral course student to register for the partner university at the same time to obtain PhD degrees from both of NAIST and the partner university through guidance of the professors of the two universities. The DD Program has been established with the following partner universities. The students participating in the program must conduct their studies at each university for at least one academic year. Number of students for acceptance (partner universities students to join NAIST doctoral program) and dispatchment (NAIST students to join partner universities doctoral program) are Limited. In principle, entrance to the program is the fall quarter of 2019 and the spring quarter of 2020.

Please refer to the following web site for details.

・Admission Information and Application Guide:
http://www.naist.jp/en/international_students/prospective_students/admission_information/double_degree.html

- ○ Ulm University (Germany)
- ○ University of Malaya (Malaysia)
- ○ Université Paul Sabatier (France)
- ○ National Chiao Tung University (Taiwan)

5 Syllabus, etc.

5 Syllabus, etc.

5－1. Online Syllabus

Check the course syllabus at:

＜＜NAIST TOP PAGE → Intranet → Academic Affairs → Syllabus＞＞

5－2. System for Electronic Education Record

Check the System for Electronic Education Record at:

＜＜NAIST TOP PAGE → Intranet → Academic Affairs → System for Electronic Education Record＞＞

＊System for Electronic Education Record

The System for Electronic Education Record is a network system that records the interim evaluation reports during the second year of the Master's Course including evaluation results (milestones) by multiple faculty members such as the main advisor and sub-advisors, areas of improvement, and feedback on the thesis (capstone). This system supports research guidance by faculty members in addition to students being able to more proactively report and communicate their research topics and plans to the advisors.

Please refer to the "System for Electronic Education Record manual" posted on the homepage shown above for how to view the System for Electronic Education Record. Familiarize yourself with how to use the system and regularly check for the latest information.

5－3. Evaluation of academic performance

○Notification of completed grade evaluation

Grades will be reported within three weeks after the completion of the course by the lecturer in charge and will be posted on the homepage and bulletin board, etc.

Students can confirm the subject registration status and academic performance by means of academic records which can be obtained from the automatic certificate issuing machine in the entrance lobby of the NAIST Library.

○Information concerning objections to academic performance evaluation

If you have objections to the grading results you received, please submit a "Letter of Objection concerning Evaluation of Academic Performance" to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division within one month of receiving your grading results.

（※）Academic Performance Evaluation Objections are possible only when students' cases are deemed as pertaining to one of the following areas.

（１）Cases where it is thought there are obvious mistakes in grading, such as paperwork errors, etc.

（２）Cases where there are obvious doubts concerning academic performance evaluation in relationship to the grading standards found in the syllabus, etc.

A response to an objection is given either orally or in writing through the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division after review by the Graduate School's Education Committee.

The format for an objection form and the flow chart of the process of handling a claim can be found on the University's homepage.

＜＜NAIST TOP PAGE → Intranet → Academic Affairs → Released dates of Academic Performance＞＞

○The GPA [Grade Point Average] system

In order to promote the internationalization of future education and increase the transparency of the grading system, we have introduced a GPA system beginning with the students who entered in the 2018 school year. The GPA system will indicate a student's relative standing both within and beyond the University. By calculating a GPA, it can become an index for current learning and achievement; we expect this to help students grasp their academic achievement more objectively and utilize it to create their learning plans.

＜System Overview＞

The GPA system is a common method used in European and American universities to evaluate academic grades. Students receive grade evaluations after course completion and it is converted into Grade Points (GP) with the student's overall average computed as a single value.

＜Calculation Method＞

There are five levels of Grade Points (S, A, B, C, D) as shown below.

Definition and Letter Grade	GP	Evaluation Criteria	Criteria out of 100 points
Excellent（S）	4	Achieved learning outcomes with exceptionally high grade.	90 points or more
Very good（A）	3	Achieved learning outcomes with high grade.	80 points or more
Good（B）	2	Achieved learning outcomes with good grade.	70 points or more
Fair（C）	1	Achieved learning outcomes.	60 Points or more
Fail（D）	0	Did not achieve learning outcomes.	less than 60 points

（For Reference）

Definition and Letter Grade	GP	Evaluation Criteria	Criteria out of 100 points
Accredited（N）	Not Applicable	Considered as completed as studied in an academic course at this university.	Not Applicable
Pass（P）	Not Applicable	Reached the academic level for this course.	Not Applicable
Fail（F）	Not Applicable	Did not reach the academic level for this course.	Not Applicable

＜Targeted Students＞

The students who begin the Master's Course in the 2018 school year and all subsequent years.

＜Targeted Subjects＞

All subjects that count towards completion of the Master's Course in the subject categories shown below. However, if a subject cannot be evaluated by the five-level grading scheme due to the nature of the subject, it will be excluded from the GPA calculation.

◇ General Subjects

◇ Basic Subjects

◇ Specialized Subjects

＜Types of GPAs and Calculation Method＞

There is a GPA for the academic year (annual GPA) and a GPA for the entire program (cumulative GPA).

Here are the calculation methods for annual and cumulative GPAs. (Round off to two decimal digits in calculating a GPA.)

□ Calculation of an Annual GPA

Annual GPA = The sum for all subjects of (the number of credits for a registered subject for the year × GP of the subject)/The total number of credits for the year's subjects.

□ Calculation of Cumulative GPA

Cumulative GPA = The sum for all subjects of (the number of credits for a registered subject for the program × GP of the subject)/The total number of credits for the program.

＜How to Treat Retake Subjects＞

If a student retakes a subject which he/she has failed, and receives a passing grade or another failed grade as a result, the earlier result and credits are excluded from GPA. (The data before the retake will be excluded.)

＜Treatment on Academic Record＞

Both the annual GPA and the cumulative GPA will appear on the academic record.

＜Guidelines concerning the Distribution of Academic Performance Evaluations＞

1. For the grading scale consisting of S, A, B, and C, particular attention must be paid to prevent the uneven distribution of academic performance evaluations. Especially concerning S and A evaluations, together they should comprise roughly 30% of the evaluations.
2. In the event that there are 20 or less registered students for a course or that the course academic evaluations will be determined on a pass or fail grading scale, these guidelines shall not be applicable.

５－４．Toward Cultivating Globally-Aware Human Resources

The Nara Institute of Science and Technology (NAIST) was selected for the Top Global University Project by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in September 2014. We promote study abroad programs in cooperation with 102 academic exchange partner institutions in the world including the University of California, Davis. We also promote participation in overseas internship programs and international workshops.

The master's program aims to foster students' abilities to read academic papers and understand lectures and seminars in English. The doctoral program prepares students for giving presentations in English and equips them with the ability to answer questions and handle discussion and challenges. Each graduate school hosts TOEIC tests as well.

Two hundred and sixty four students from 34 countries are studying at NAIST. We offer them an environment where international students from different backgrounds and cultures study with Japanese students so that many of them grow to be globally-aware human resources who have an international mindset, practical communications skills, excellent techniques in research, and areas

of expertise.

○Scholarships for Studying Abroad

Many of the students at NAIST use the following scholarships to study abroad. While students can apply to some of the programs individually, some are offered as part of graduate school programs. Please consult your supervisor or the International Affairs Division if you are considering studying abroad.

1. Support for studying abroad by the Japan Student Services Organization (JASSO) Scholarship
   http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship.html
2. Tobitate! Study Abroad Program JAPAN
   http://www.tobitate.mext.go.jp/
3. Lists of scholarships compiled by JASSO
   http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/

○On-campus procedures before studying abroad

In order to study or receive instruction at an academic or research institution overseas, a Study Abroad Request form must be submitted to and approved by the Faculty Council, so please submit this form along with the Course Registration Request for Special Auditing Dispatchment Student or the Application for Special Research Dispatchment Student to the International Affairs Division at least two months before your planned departure. Even if the study abroad program you have chosen does not require a Study Abroad Request form, you must submit an Overseas Travel Notification for emergencies so that your safety can be confirmed in the event of natural disasters, terrorist acts, etc. Please see the following website “Procedures for study / travel abroad” for details.
https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/kaigairyugaku/index.html

○Visas

When you decide to travel abroad, please make sure to investigate where you are traveling and whether or not you need a visa to travel there. Also, leave enough time for whatever paperwork or procedures that may be necessary.

Regardless of the length of your stay, you may have to apply for a visa depending on the purpose of your visit. For example, to study in the US an F-1 visa is necessary and students must start preparing for their study abroad (preparing paperwork, obtaining forms and certificates, obtaining a passport, completing an interview, etc.) at least two months prior to their departure date. In France, online registration and application is possible and a visa interview is waived if you will be an exchange student. In this way, paperwork, requirements, and application processes may vary depending on your destination, program details and the agreements related to your studies, so it is necessary to start collecting information from the institution you will be attending and from the appropriate diplomatic agency in advance.

Depending on your destination, there may be punitive measures taken or you may be denied entrance to the country if you have not completed the proper visa application process. If you have any questions concerning the visa process or necessary paperwork, feel free to consult with the International Affairs Division staff.

○Safety and security information before traveling overseas

When you travel abroad, please make sure that the country is safe to visit by checking the safety

and security information for the destination country on the Foreign Ministry's website (overseas safety page).

The Foreign Ministry encourages Japanese nationals who are planning to stay abroad longer than 3 months to submit a Resident Report, and Japanese nationals who are planning to stay less than 3 months to register at 'Tabi-regi', the registration system for Japanese travelers abroad.

Please submit a notice or register with the Foreign Ministry when you go abroad in addition to the on-campus administrative procedures.

Please see the Foreign Ministry's website for details.

Information about "Safety when travelling abroad" has been included on the following website to contribute to risk management for those students who will or are travelling abroad. We ask that students check the following website to consider and plan for their safety when abroad.
https://ad-info.naist.jp/gakusei/member/kaigairyugaku/caution/caution.html

○International travel insurance

At NAIST, international travel insurance in case of injury, etc. domestically and abroad is purchased for students who travel officially for NAIST. The details of the coverage can be found at the following URL(in Japanese). Make sure to check the coverage and details before departure.
https://ad-info.naist.jp/k-soumu/member/shougaihoken/

Please note that if you will travel or study abroad during a leave of absence, you are not eligible for the above travel insurance, so you must purchase insurance individually.

In cases where hospitalization or surgery become necessary, medical and other costs for transportation, visitation, etc. may soon become extremely expensive. Additionally, depending on the level of medical treatment and facilities of the destination, transferal to another country may be necessary and require additional payment. Please purchase insurance to protect yourself from these possible expensive costs.

Make sure your family also knows the details of your insurance coverage before your departure.

５－５．English E-Learning System (ALC NetAcademy２)

１．What's ALC NetAcademy 2?

ACL NetAcademy 2 is an online English learning system which provides self-study courses to improve English competence, practice TOEIC, and develop reading skills for scientific papers.

２．Who can Use NetAcademy 2?

Students and faculty members of NAIST can use the system. This system is on service 24 hours a day and is accessible at home or from outside the campus. Registration is not required.

３．How to Access?

＜＜NAIST TOP PAGE → Intranet → Academic Affairs → ALC NetAcademy＞＞

<How to login> Account : MANDARA-DOMAIN¥"MANDARA account"
Password: "MANDARA password"

４．What Courses are available?

The following five courses are available:

- Super-standard Course
- Standard Course

• Course for Beginners and Intermediates Plus
• Technical English (Basic Course)
• Technical English (Power-up Course)

５． Recommended System Requirements

NetAcademy 2 has been tested on the following platforms:

OS	Windows Vista SP2 / 7 SP1 / 8 , 8.1 ※
WWW Browser	InternetExplorer 8 / 9 / 10 / 11
Browser Plug-in	FLashPlayer 12.0

※NetAcademy 2 should run on other platforms as long as Flash Player operates properly. However, there is a possibility that texts and animations are not displayed properly, etc.
※On MacOS X 10.3/10.4, TOEIC Test in the Course for Beginners and Intermediates Plus has been confirmed not to work properly.

6 List of subjects and faculty members in charge, etc.

6 List of subjects and faculty members in charge, etc.

6－1. List of subjects and faculty members in charge in academic year 2019

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Science and Technology in academic year 2019 (Master's Course)

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Priod		Total number of classes	English Subject	Remarks
										Start	End			
General Subjects	Techonology and Professional Ethics	L	1001	A	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho, Masahiro Akiyama, (Masataka Watanabe)	5/9	5/17	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	B	1	(Shushi Ueda)	IS	—	(Shushi Ueda)	6/11	8/6	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	C	1	(Hiroshi Ito)	IS	—	(Hiroshi Ito)	6/11	8/6	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	D	1	(Kenji Uemura)	IS	—	(Kenji Uemura)	6/11	8/6	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	E	1	(Mitsui Hitoshi)	MS	—	(Mitsui Hitoshi)	6/11	8/6	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	F	1	(Takahashi Kenji)	MS	—	(Takahashi Kenji)	6/11	8/6	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	G	1	(Mitsui Hitoshi)	MS	—	(Mitsui Hitoshi)	10/8	12/3	15		
	Techonology and Professional Ethics	L	1001	H	1	(Shushi Ueda)	IS	—	(Shushi Ueda)	10/8	12/3	15	○	
	Philosophy of Science	L	1002	—	1	(Hisashi Nakao)	IS	—	(Hisashi Nakao)	7/2	7/30	15		
	Science Communication	L	1003	—	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho	11/14	12/5	15		Collaboration with Social Dialogue Skills Laboratory
	Intellectual Property Right	L	1004	A	1	Kozo Kubo	IRI(IS)	—	Kozo Kubo	9/2	9/30	15		
	Intellectual Property Right	L	1004	B	1	Kozo Kubo	IRI(IS)	—	Kozo Kubo	10/7	12/6	15	○	
	Exercise for Intellectual Property Rights	P	1019	—	1	Kozo Kubo	IRI(IS)	—	Kozo Kubo	12/9	1/6	15	○	
	Global Entrepreneur Ⅰ	L	1005	—	1	Shoichi Mitsui	IS	—	Shoichi Mitsui	Intensive	Intensive	15		Out of Campus
	Global Entrepreneur Ⅱ	L	1006	—	1	Shoichi Mitsui	IS	—	Shoichi Mitsui	Intensive	Intensive	15		Out of Campus
	Global Entrepreneur Ⅲ	L	1007	—	1	Shoichi Mitsui	IS	—	Shoichi Mitsui	Intensive	Intensive	15		
	Global Entrepreneur Ⅳ	L	1008	—	1	Shoichi Mitsui	IS	—	Shoichi Mitsui	Intensive	Intensive	15		
	Global Entrepreneur V	L	1009	—	1	Hajimu Iida	IS	—	Hajimu Iida, Takahiro Miyashita, Masafumi Nakagawa	Intensive	Intensive	15		
	Professional Communication Ⅰ	L	1010	A	1	(David Sell)	IEI(IS)	—	(David Sell)	6/10	8/5	15	○	
	Professional Communication Ⅰ	L	1010	B	1	Michael BARKER	IEI(IS)	—	Michael BARKER	6/5	7/31	15	○	
	Professional Communication Ⅰ	L	1010	C	1	Michael BARKER	IEI(IS)	—	Michael BARKER	6/7	8/2	15	○	
	Professional Communication Ⅰ	L	1010	D	1	Paul McAleese	IEI(BS)	—	Paul McAleese	6/10	8/5	15	○	
	Professional Communication Ⅰ	L	1010	E	1	Paul McAleese	IEI(BS)	—	Paul McAleese	6/5	7/31	15	○	
	Professional Communication Ⅰ	L	1010	F	1	Paul McAleese	IEI(BS)	—	Paul McAleese	6/7	8/2	15	○	
	Professional Communication Ⅰ	L	1010	G	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	6/10	8/5	15	○	
	Professional Communication Ⅰ	L	1010	H	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	6/5	7/31	15	○	
	Professional Communication Ⅰ	L	1010	I	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	6/7	8/2	15	○	
	Professional Communication Ⅱ	L	1011	A	1	(David Sell)	IEI(IS)	—	(David Sell)	10/7	12/6	15	○	
	Professional Communication Ⅱ	L	1011	B	1	Michael BARKER	IEI(IS)	—	Michael BARKER	10/9	12/4	15	○	
	Professional Communication Ⅱ	L	1011	C	1	Michael BARKER	IEI(IS)	—	Michael BARKER	10/4	11/29	15	○	
	Professional Communication Ⅱ	L	1011	D	1	Paul McAleese	IEI(BS)	—	Paul McAleese	10/7	12/6	15	○	
	Professional Communication Ⅱ	L	1011	E	1	Paul McAleese	IEI(BS)	—	Paul McAleese	10/9	12/4	15	○	
	Professional Communication Ⅱ	L	1011	F	1	Paul McAleese	IEI(BS)	—	Paul McAleese	10/4	11/29	15	○	
	Professional Communication Ⅱ	L	1011	G	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	10/7	12/6	15	○	
	Professional Communication Ⅱ	L	1011	H	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	10/9	12/4	15	○	
	Professional Communication Ⅱ	L	1011	I	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	10/4	11/29	15	○	
	Academic Discussion	L	1012	A	1	Michael BARKER	IEI(IS)	—	Michael BARKER	12/11	2/5	15	○	
	Academic Discussion	L	1012	B	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	12/11	2/5	15	○	
	Research Presentation	L	1013	A	1	Michael BARKER	IEI(IS)	—	Michael BARKER	10/8	12/3	15	○	
	Research Presentation	L	1013	B	1	(David Sell)	IEI(IS)	—	(David Sell)	11/8	12/6	15	○	
	Research Presentation	L	1013	C	1	Paul McAleese	IEI(BS)	—	Paul McAleese	10/8	12/3	15	○	
	Research Presentation	L	1013	D	1	Paul McAleese	IEI(BS)	—	Paul McAleese	12/12	2/13	15	○	
	Research Writing	L	1014	A	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	9/2	9/30	15	○	
	Research Writing	L	1014	B	1	(Yukiko Nakayama)	IEI(MS)	—	(Yukiko Nakayama)	9/5	9/26	15	○	
	Research Writing	L	1014	C	1	Michael BARKER	IEI(IS)	—	Michael BARKER	10/10	12/5	15	○	
	Advanced Research Writing	L	1015	A	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	10/10	12/5	15	○	
	Advanced Research Writing	L	1015	B	1	(Yukiko Nakayama)	IEI(MS)	—	(Yukiko Nakayama)	11/13	12/4	15	○	
	Japanese Culture	L	1016	—	2	(Adarsh Bala Sharma)	IEI(IS)	—	(Adarsh Bala Sharma)	11/14	2/27	30	○	International students have priority Fieldwork
	Japanese Course Ⅰ	L	1017	—	2	(Kaori Yamashita)	IEI(BS)	—	(Kaori Yamashita)	4/23	8/6	30		For international students
	Japanese Course Ⅱ	L	1018	—	2	(Kaori Yamashita)	IEI(BS)	—	(Kaori Yamashita)	11/12	2/25	30		For international students
	Japanese Course Ⅲ	L	1020	—	2	(Masako Hashimoto)	IEI(BS)	—	(Masako Hashimoto)	4/23	7/30	30		For international students
	Japanese Course Ⅳ	L	1021	—	2	(Masako Hashimoto)	IEI(BS)	—	(Masako Hashimoto)	11/12	3/3	30		For international students
	Japanese Course V	L	1022	—	2	(Mariko Mizuno)	IEI(BS)	—	(Mariko Mizuno)	4/23	7/2	30		For international students
	Academic Volunteer Ⅰ	P	1023	—	1	Program Director	IS	—	Different for respective themes	Different for respective themes		—	—	
	Academic Volunteer Ⅱ	P	1024	—	1	Program Director	IS	—	Different for respective themes	Different for respective themes		—	—	

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Priod		Total number of classes	English Subject	Remarks
										Start	End			
Introduction Subjects	Introduction to Information Science and Engineering	L	2001	A	1	Program Director	IS	—	Yasuhiko Nakashima, Keiichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Michiko Inoue, Fukuhito Oshita, Yuji Matsumoto, Hiroyuki Shindo	4/9	5/7	15		
	Introduction to Information Science and Engineering	L	2001	B	1	Program Director	IS	—	Yasuhiko Nakashima, Keiichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Michiko Inoue, Fukuhito Oshita, Yuji Matsumoto, Hiroyuki Shindo	10/7	11/11	15	○	
	Introduction to Computational Biology	L	2002	A	1	Program Director	BS	IS	Keiichi Yasumoto, Minoru Okada, Yasuhiro Mukaigawa, Tsukasa Ogasawara, Kenji Sugimoto, Kazushi Ikeda, Yoshinobu Sato, Shigehiko Kanaya, Keiji Nakajima, Endo Motomu, Yusukuke Saijo, Satoko Yoshida, Katsutomo Okamura, Noriaki Sasai, Hirotada Mori, Kazuhiro Shiozaki, Naoyuki Inagaki, Yu-ichi Sakumura, Yasumasa Bessho, Shosuke Yoshida, Shunsuke Miyashima, Toshio Hakoshima, Takayuki Touge, Akira Kurisaki, Kikuya Kato	4/10	5/8	15		
	Introduction to Computational Biology	L	2002	B	1	Program Director	BS	IS	Keiichi Yasumoto, Minoru Okada, Yasuhiro Mukaigawa, Tsukasa Ogasawara, Kenji Sugimoto, Kazushi Ikeda, Yoshinobu Sato, Shigehiko Kanaya, Keiji Nakajima, Endo Motomu, Yusukuke Saijo, Satoko Yoshida, Katsutomo Okamura, Noriaki Sasai, Hirotada Mori, Kazuhiro Shiozaki, Naoyuki Inagaki, Yu-ichi Sakumura, Yasumasa Bessho, Shosuke Yoshida, Shunsuke Miyashima, Toshio Hakoshima, Takayuki Touge, Akira Kurisaki, Kikuya Kato	10/4	11/5	15	○	
	Introduction to Biological Science	L	2003	A	1	Program Director	BS	—	Hisaji Maki, Yasumasa Ishida, Hiroshi Itoh	4/9	5/7	15		
	Introduction to Biological Science	L	2003	B	1	Program Director	BS	—	Hisaji Maki, Yasumasa Ishida, Hiroshi Itoh	10/7	11/11	15	○	
	Introduction to Bionanotechnology	L	2004	A	1	Program Director	MS	BS	Takashi Hashimoto, Taku Demura, Masaaki Umeda, Toshiro Ito, Hiroshi Ito, Jun-ya Kato, Taro Kawai, Shiro Suetsugu, Noriaki Sasai, Ayako Isotani, Kazuhiro Shiozaki, Hiroshi Takagi, Toshio Hakoshima, Tomoya Tsukazaki, Naoyuki Inagaki, Hironari Kamikubo, Shun Hirota, Tsuyoshi Ando, Hiroharu Ajiro, Satoko Yoshida, Shosuke Yoshida, Takaaki Matsui, (Takahiro Honda)	4/9	5/7	15		
	Introduction to Bionanotechnology	L	2004	B	1	Program Director	MS	BS	Takashi Hashimoto, Taku Demura, Masaaki Umeda, Toshiro Ito, Hiroshi Ito, Jun-ya Kato, Taro Kawai, Shiro Suetsugu, Noriaki Sasai, Ayako Isotani, Kazuhiro Shiozaki, Hiroshi Takagi, Toshio Hakoshima, Tomoya Tsukazaki, Naoyuki Inagaki, Hironari Kamikubo, Shun Hirota, Tsuyoshi Ando, Hiroharu Ajiro, Satoko Yoshida, Shosuke Yoshida, Takaaki Matsui, (Takahiro Honda)	10/7	11/11	15	○	
	Introduction to Materials Science and Engineering	L	2005	A	1	Program Director	MS	—	Hiroyuki Katsuki, Tsuyoshi Kawai, You-ichiro Hosokawa, Takayuki Yanagida, Hiroko Yamada, Gwenael Rapenne, Nobuyoshi Hosoito, Tsumoru Morimoto, Ken Hattori	4/10	5/8	15		
	Introduction to Materials Science and Engineering	L	2005	B	1	Program Director	MS	—	Tsuyoshi Kawai, You-ichiro Hosokawa, Takayuki Yanagida, Hiroko Yamada, Gwenael Rapenne, Nobuyoshi Hosoito, Tsumoru Morimoto, Ken Hattori	10/4	11/5	15	○	
	Introduction to Intelligent Cyber-Physical Systems	L	2006	A	1	Program Director	IS	MS	Kenji Sugimoto, Yukiharu Uraoka, Jun Ohta, Hisao Yanagi, Masakazu Nakamura, Keiichi Yasumoto, Yuichi Hayashi, Minoru Okada	4/9	5/7	15		
	Introduction to Intelligent Cyber-Physical Systems	L	2006	B	1	Program Director	IS	MS	Kenji Sugimoto, Yukiharu Uraoka, Jun Ohta, Keiichi Yasumoto, Yuichi Hayashi, Minoru Okada, Hisao Yanagi, Masakazu Nakamura	10/7	11/11	15	○	
	Introduction to Data Science	L	2007	A	1	Program Director	DSC (IS)	MS	Satoshi Nakamura, Hirotada Mori, Kimito Funatsu, Yukiharu Uraoka, Shigehiko Kanaya, Eiji Aramaki, Naoaki Ono, Yu-ichi Sakumura, Katsuyuki Kunida	4/10	5/8	15		
	Introduction to Data Science	L	2007	B	1	Program Director	DSC (IS)	BS MS	Satoshi Nakamura, Hirotada Mori, Yukiharu Uraoka, Kimito Funatsu, Shigehiko Kanaya, Eiji Aramaki, Naoaki Ono, Yu-ichi Sakumura, Katsuyuki Kunida, Miho Hatanaka, Miyao Tomoyuki	10/4	11/5	15	○	
Basic Subjects	Formal Language Theory	L	3001	—	1	Minoru Ito	IS	—	Minoru Ito	5/10	6/4	15		
	Programming Course	P	3002	—	1	Kenichi Matsumoto	IS	—	Ken-ichi Matsumoto, Takashi Ishio, Akinori Ihara, Hideaki Hata, Raula Gaikovina Kula	5/9	6/3	30		
	Principles of Signal Processing	L	3003	—	1	Hirokazu Kato	IS	—	Hirokazu Kato, (Takafumi Taketomi), Yuichiro Fujimoto	5/9	6/3	15		
	Applied Analysis	L	3004	—	1	Yoshinobu Sato	IS	—	Yoshinobu Sato	5/9	6/3	15		
	Data Engineering	L	3005	—	1	(Yu Suzuki)	IS	—	(Yu Suzuki)	(Check the Online Syllabus)		15		
	Machine Learning	L	3006	—	1	Kazushi Ikeda	IS	—	Kazushi Ikeda, Satoshi Nakamura, Katsuhito Sudoh	5/10	6/4	15	○	
	Optics	L	3007	—	1	Hirokazu Kato	IS	—	Hirokazu Kato, Yuichiro Fujimoto	5/10	6/4	15		
	High Performance Computing Platforms	L	3008	—	1	Yasuhiko Nakashima	IS	—	Yasuhiko Nakashima, Takashi Nakada	5/10	6/4	15	○	
	Software Design	L	3009	—	1	Hajimu Iida	IS	—	Hajimu Iida, Eunjong Choi	5/10	6/4	15		
	Artificial Intelligence	L	3010	—	1	Masashi Shimbo	IS	—	Masashi Shimbo	5/9	6/3	15	○	
	Cell Biology	L	3011	A	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho, Tsubasa Shoji, Shosuke Yoshida	5/9	5/17	15		

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Priod		Total number of classes	English Subject	Remarks
										Start	End			
	Cell Biology	L	3011	B	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Taku Demura, Hiroshi Takagi, Yasumasa Bessho, Endo Motomu, Tsubasa Shoji	5/9	5/17	15		
	Cell Biology	L	3011	C	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho, Taku Demura, Hiroshi Takagi, Tsubasa Shoji, , Shosuke Yoshida, Endo Motomu	10/7	10/24	15	○	International students have priority
	Molecular Biology	L	3012	A	1	Masahiro Akiyama	BS	—	Masahiro Akiyama, Ko Kato	5/10	5/20	15		
	Molecular Biology	L	3012	B	1	Masahiro Akiyama	BS	—	Toshiro Ito, Akira Kurisaki	5/10	5/20	15		
	Molecular Biology	L	3012	C	1	Masahiro Akiyama	BS	—	Masahiro Akiyama, Toshiro Ito, Kou Kato, Akira Kurisaki	10/4	10/18	15	○	International students have priority
	Cell Membranes and Transport	L	3013	A	1	Tomoya Tsukazaki	BS	—	Tomoya Tsukazaki, Yukio Kimata	5/21	6/3	15		
	Cell Membranes and Transport	L	3013	B	1	Shouji Komai	BS	—	Shouji Komai, Shiro Suetsugu	5/21	6/3	15		
	Cell Membranes and Transport	L	3013	C	1	Tomoya Tsukazaki	BS	—	Tomoya Tsukazaki, Shouji Komai, Shiro Suetsugu, Yukio Kimata	10/28	11/11	15	○	International students have priority
	Cell Signaling	L	3014	A	1	Kazuhiro Shiozaki	BS	—	Kazuhiro Shiozaki, Yusukuke Saijo	5/22	6/4	15		
	Cell Signaling	L	3014	B	1	Kazuhiro Shiozaki	BS	—	Satoko Yoshida, Takaaki Matsui	5/22	6/4	15		
	Cell Signaling	L	3014	C	1	Kazuhiro Shiozaki	BS	—	Kazuhiro Shiozaki, Yusukuke Saijo, Satoko Yoshida, Takaaki Matsui	10/25	11/5	15	○	International students have priority
	Microbial Science	L	3015	—	1	Hirotada Mori	DSC (BS)	—	Hirotada Mori, Hisaji Maki, Masahiro Akiyama, Kazuhiro Shiozaki, Hiroshi Takagi, Tomoya Tsukazaki, Yukio Kimata, (Hisao Moriya)	5/10	6/4	15		
	Plant Science	L	3016	—	1	Toshiro Ito	BS	—	Toshiro Ito, Takashi Hashimoto, Tsubasa Shoji, Keiji Nakajima, Taku Demura, Masaaki Umeda, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida, Takayuki Touge	5/10	6/4	15		
	Biomedical Science	L	3017	—	1	Shiro Suetsugu	BS	—	Shiro Suetsugu, Taro Kawai, Noriaki Sasai, Shoji Komai, Yasumasa Bessho, Ayako Isotani, Takaaki Mastui, Toshio Hakoshima, Katsutomo Okamura	5/10	6/4	15		
	Cytoskeleton and Cell Cycle	L	3018	A	1	Naoyuki Inagaki	BS	—	Junya Kato, Naoyuki Inagaki	6/10	8/5	15		
	Cytoskeleton and Cell Cycle	L	3018	B	1	Naoyuki Inagaki	BS	—	Takashi Hashimoto, Masaaki Umeda	6/10	8/5	15		
	Cytoskeleton and Cell Cycle	L	3018	C	1	Naoyuki Inagaki	BS	—	Takashi Hashimoto, Masaaki Umeda	11/14	11/25	15	○	International students have priority
	Genetics and Stem Cell Biology	L	3019	A	1	Keiji Nakajima	BS	—	Keiji Nakajima, Noriaki Sasai	6/10	8/5	15		
	Genetics and Stem Cell Biology	L	3019	B	1	Keiji Nakajima	BS	—	Yasumasa Ishida, Ayako Isotani	6/10	8/5	15		
	Genetics and Stem Cell Biology	L	3019	C	1	Keiji Nakajima	BS	—	Yasumasa Ishida, Ayako Isotani	11/8	11/19	15	○	International students have priority
	Gene Cloning and DNA Analysis	L	3020	—	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho, Masahiro Akiyama, Yukio Kimata	10/9	12/4	15	○	For international students
	Mathematical Analyses for Materials Science	P	3021	A	1	Sakura Takeda	MS	—	Sakura Takeda, Kiyotaka Sasagawa, Mutsunori Uenuma, You-ichi Yamazaki, Satoshi Nagao, Hirotaka Kojima, Ryouhei Yasukuni, Atsushi Yamashita	4/22	5/8	15		
	Mathematical Analyses for Materials Science	P	3021	B	1	Sakura Takeda	MS	—	Sakura Takeda, Kiyotaka Sasagawa, Mutsunori Uenuma, You-ichi Yamazaki, Satoshi Nagao, Mami Fujii, Ryouhei Yasukuni, Atsushi Yamashita	10/9	10/23	15	○	International students have priority
	Quantum Mechanics	L	3022	A	1	Masakazu Nakamura	MS	—	Masakazu Nakamura, Ken Hattori	5/9	5/20	15		
	Quantum Mechanics	L	3022	B	1	Masakazu Nakamura	MS	—	Masakazu Nakamura, Ken Hattori	10/7	10/24	15	○	International students have priority
	Core Quantum Mechanics Ⅱ	L	3023	A	1	Yoichiro Hosokawa	MS	—	Yoichiro Hosokawa, Ken Hattori, Nobuyoshi Hosoito	5/21	6/3	15		
	Core Quantum Mechanics Ⅱ	L	3023	B	1	Yoichiro Hosokawa	MS	—	Yoichiro Hosokawa, Ken Hattori, Nobuyoshi Hosoito	10/28	11/11	15	○	International students have priority
	Core Physical Chemistry I	L	3024	A	1	Tsuyoshi Kawai	MS	—	Tsuyoshi Kawai, Hisao Yanagi, Hironari Kamikubo	5/9	5/14	15		
	Core Physical Chemistry I	L	3024	B	1	Tsuyoshi Kawai	MS	—	Tsuyoshi Kawai, Hisao Yanagi, Hironari Kamikubo	10/4	10/18	15	○	International students have priority
	Physical Chemistry	L	3025	A	1	Hisao Yanagi	MS	—	Hisao Yanagi, Naoki Aratani, Hiroaki Benten	5/15	5/20	15		
	Physical Chemistry	L	3025	B	1	Hisao Yanagi	MS	—	Hisao Yanagi, Naoki Aratani, Hiroaki Benten	10/25	11/5	15	○	International students have priority
	Core Solid State Physics I	L	3026	A	1	Takayuki Yanagida	MS	—	Takayuki Yanagida, Noriaki Kawaguchi	5/21	5/24	15		
	Core Solid State Physics I	L	3026	B	1	Takayuki Yanagida	MS	—	Takayuki Yanagida, Noriaki Kawaguchi	11/14	11/25	15	○	International students have priority
	Core Solid State Physics Ⅱ	L	3027	A	1	Jun Ohta	MS	—	Jun Ohta, Hiroyuki Katsuki, Nobuyoshi Hosoito	5/27	6/4	15		
	Core Solid State Physics Ⅱ	L	3027	B	1	Jun Ohta	MS	—	Jun Ohta, Hiroyuki Katsuki, Nobuyoshi Hosoito	11/22	12/3	15	○	International students have priority
	Core Molecular Science I	L	3028	A	1	Naoki Aratani	MS	—	Naoki Aratani, Takuya Nakashima, Tsumoru Morimoto	5/21	6/5	15		
	Core Molecular Science I	L	3028	B	1	Naoki Aratani	MS	—	Naoki Aratani, Takuya Nakashima, Tsumoru Morimoto	11/14	11/25	15	○	International students have priority
	Core Molecular Science Ⅱ	L	3029	A	1	Shun Hirota	MS	—	Shun Hirota, Hiroko Yamada, Takashi Matsuo	5/22	6/11	15		
	Core Molecular Science Ⅱ	L	3029	B	1	Shun Hirota	MS	—	Shun Hirota, Hiroko Yamada, Takashi Matsuo	11/8	11/19	15	○	International students have priority
	Biomaterials Chemistry	L	3030	A	1	Hironari Kamikubo	MS	—	Hironari Kamikubo, Takashi Matsuo, Tsuyoshi Ando, Sachiko Toma	6/10	8/6	15		
	Biomaterials Chemistry	L	3030	B	1	Hironari Kamikubo	MS	—	Hironari Kamikubo, Takashi Matsuo, Tsuyoshi Ando, Sachiko Toma	12/9	1/9	15	○	International students have priority
Specialized Subjects	Distributed Computing	L	4001	—	1	Michiko Inoue	IS	—	Michiko Inoue, Fukuhito Oshita	6/11	8/6	15	○	
	Advanced Algorithm Design	L	4002	—	1	Michiko Inoue	IS	—	Michiko Inoue, Fukuhito Oshita	6/11	8/6	15		
	Ubiquitous Systems	L	4003	—	1	Keiichi Yasumoto	IS	—	Keiichi Yasumoto, Yutaka Arakawa	10/10	12/5	15		
	Mobile Computing	L	4004	—	1	Naoki Shibata	IS	—	Naoki Shibata	6/11	8/6	15	○	
	Virtual Systems Infrastructure	L	4005	—	1	Kohei Ichikawa	IS	—	Kohei Ichikawa	12/13	2/12	15	○	
	Software Engineering	L	4006	—	1	kenichi Matsumoto	IS	—	Kenichi Matsumoto, Takashi Ishio, (Akinori Ihara), Hideaki Hata, Raula Gaikovina Kula	6/10	8/5	15		
	Internet Engineering	L	4007	—	1	Youki Kadobayashi	IS	—	Youki Kadobayashi, Yuzo Taenaka, Doudou Fall	6/5	7/31	15	○	
	Computer Network	L	4008	—	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	Kazutoshi Fujikawa, (Atsuo Inomata), Ismail Arai, Masatoshi Kakiuchi	10/7	12/6	15		
	Ambient Intelligence	L	4009	—	1	Kambara Masayuki	IS	—	Kambara Masayuki, (Norihiro Hagita)	10/4	11/29	15	○	

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Priod		Total number of classes	English Subject	Remarks
										Start	End			
	Natural Language Processing	L	4010	—	1	Yuji Matsumoto	IS	—	Yuji Matsumoto, (Hideki Kashioka), Hiroyuki Shindo	6/6	8/1	15		
	Virtual Reality	L	4011	—	1	Kiyoshi Kiyokawa	IS	—	Kiyoshi Kiyokawa	6/10	8/5	15	○	Held in English every other year
	Computer Vision	L	4012	—	1	Yasuhiro Mukaigawa	IS	—	Yasuhiro Mukaigawa, Ken-ichiro Tanaka	6/6	8/1	15		
	Computer Graphics	L	4013	—	1	Takuya Funatomi	IS	—	Takuya Funatomi, Hiroyuki Kubo	10/7	12/6	15	○	
	Media Information Processing	L	4014	—	1	Nobuchika Sakata	IS	—	Nobuchika Sakata	6/5	7/31	15		
	Wireless Communication Systems	L	4015	—	1	Minoru Okada	IS	—	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Yafei Hou, Duong Quang Thang, Chen Na	10/8	12/3	15		
	Signal Detection Theory	L	4016	—	1	Minoru Okada	IS	—	Minoru Okada, Takeshi Higashino, Yafei Hou, Duong Quang Thang, Chen Na	10/4	11/29	15	○	
	Human Computer Interaction	L	4017	—	1	Hirokazu Kato	IS	—	Hirokazu Kato, Alexander Plopski, Yuichiro Fujimoto	10/9	12/4	15	○	
	Pattern Recognition	L	4018	—	1	Takuya Funatomi	IS	—	Takuya Funatomi, Kambara Masayuki	6/5	7/31	15		
	Social System Theory	L	4019	—	1	Masahiro Sasabe	IS	—	Masahiro Sasabe	6/6	8/1	15		
	Machine Learning and Intelligent Control	L	4020	—	1	Kenji Sugimoto	IS	—	Kenji Sugimoto, Masaki Ogura, Taisuke Kobayashi	6/6	8/1	15	○	
	Model-based Control	L	4021	—	1	Kenji Sugimoto	IS	—	Kenji Sugimoto	10/8	12/3	15		
	Human Robot Informatics	L	4022	—	1	Tsukasa Ogasawara	IS	—	Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu, (Yoshio Matsumoto), (Mitsunori Tada), (Akihiko Murai)	10/9	12/4	15	○	
	Mathematical Modeling	L	4023	—	1	Kazushi Ikeda	IS	—	Kazushi Ikeda, (Hiroaki Sasaki)	12/10	2/4	15		
	Systems Biology	L	4024	—	1	Shigehiko Kanaya	IS	—	Shigehiko Kanaya, MD. ALTAF-UL-AMIN	10/8	12/3	15	○	
	Data Mining	L	4025	—	1	MD. ALTAF-UL-AMIN	IS	—	MD. ALTAF-UL-AMIN	6/10	8/5	15	○	
	Medical Imaging Analysis	L	4026	—	1	Yoshinobu Sato	IS	—	Yoshinobu Sato	6/5	7/31	15	○	
	Biomedical Media Informatics	L	4027	—	1	Yoshito Otake	IS	—	Yoshito Otake	6/6	8/1	15		
	Data Science Ⅰ	L	4084	—	1	Satoshi Nakamura	DSC (IS)	—	Satoshi Nakamura, MD.Altaf-Ul-Amin, Miyao Tomoyuki, Yu Suzuki, Koichiro Yoshino, Hiroki Tanaka	6/7	6/28	15	○	
	Data Science Ⅱ	L	4085	—	1	Satoshi Nakamura	DSC (IS)	—	Satoshi Nakamura, Katsuhito Sudoh, Kimito Funatsu, Miyao Tomoyuki, Naoaki Ono, Ai Muto, Katsuyuki Kunida, Miho Hatanaka "	7/5	8/2	15	○	
	Special Lecture in Information Science A	L	4029	—	1		IS	—	(A and B to be held every other year)	—	—	15	○	(A and B to be held every other year)
	Special Lecture in Information Science B	L	4030	—	1	Program Director	IS	—	Shintani Michihiro, Hiroki Tanaka, Daisuke Fujimoto, Soufi Mazen, Hiroyuki Kubo, Chen Na, Hideaki Hata, Garcia Gustavo, Shigeru Kashihara, Tran Thi Hong	1/14	1/20	15	○	(A and B to be held every other year)
	Special Lecture in Information Science C	L	4031	—	1		IS	—	(C and D to be held every other year)	—	—	15	○	(C and D to be held every other year)
	Special Lecture in Information Science D	L	4032	—	1	Program Director	IS	—	Shintani Michihiro, Hiroki Tanaka, Daisuke Fujimoto, Soufi Mazen, Hiroyuki Kubo, Chen Na, Hideaki Hata, Garcia Gustavo, Shigeru Kashihara, Tran Thi Hong	1/14	1/20	15	○	(C and D to be held every other year)
	Speech Processing	L	4033	—	1	Satoshi Nakamura	DSC (IS)	—	Satoshi Nakamura, Sakriani Sakti, Koichiro Yoshino, (Shinnosuke Takamichi)	10/4	11/29	15		
	Sequential Data Modeling	L	4034	—	1	Katsuhito Sudoh	IS	—	Katsuhito Sudoh, Sakriani Sakti, Koichiro Yoshino	10/7	12/6	15	○	
	Robotics	L	4035	—	1	Tsukasa Ogasawara	IS	—	Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu	10/7	12/6	15		
	Information Security & Our Society	L	4036	—	1	Youki Kadobayashi	IS	—	Youki Kadobayashi, Yuzo Taenaka, (Jun Murai)	9/26	12/5	15	○	
	Information Theory	L	4037	—	1	(Yuichi Kaji)	IS	—	(Yuichi Kaji)	6/7	7/19	15		
	Hardware Security	L	4038	—	1	Yuichi Hayashi	IS	—	Yuichi Hayashi, Daisuke Fujimoto	10/10	12/5	15		
	Coding Theory	L	4039	—	1	Minoru Okada	IS	—	Minoru Okada, Youki Kadobayashi	10/9	12/4	15	○	
	Stochastic Processes	L	4040	—	1	Shoji Kasahara	IS	—	Shoji Kasahara	10/10	12/5	15		
	Computational Neuroscience	L	4041	—	1	Junichiro Yoshimoto	IS	—	Junichiro Yoshimoto, Yuichi Sakumura	10/8	12/3	15		
	Lecture of Information Security Management Literacy Ⅰ	L	4042	—	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	(Hideki Sunahara), Kazutoshi Fujikawa, Youki Kadobayashi, (Atsuo Inomata), Yuichi Hayashi	4/26	7/12	15		(Osaka University Nakanoshima Center)
	Lecture of Information Security Management Literacy Ⅱ	L	4043	—	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	(Hideki Sunahara), Kazutoshi Fujikawa, Youki Kadobayashi, (Atsuo Inomata), Yuichi Hayashi	10/18	1/17	15		(Osaka University Nakanoshima Center)
	Exercise for Information Security A	P	4044	—	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	Kazutoshi Fujikawa, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi	(Check the Online Syllabus)		15		
	Exercise for Information Security B	P	4045	—	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	Kazutoshi Fujikawa, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi, (Naofumi Homma)	(Check the Online Syllabus)		15		
	Exercise for Information Security C	P	4046	—	1	Kazutoshi Fujikawa	IS	—	Kazutoshi Fujikawa, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi	(Check the Online Syllabus)		15		
	Mathematics for Optimization	L	4047	—	1	Kenji Sugimoto	IS	—	Kenji Sugimoto	6/10	8/5	15		
	Data Analysis	L	4048	—	1	Shigehiko Kanaya	IS	—	Shigehiko Kanaya	6/10	8/5	15		
	System Requirements Engineering	L	4086	—	1	Hajimu Iida	IS	—	Tanaka, Takai, Hajimu Iida	Intensive	Intensive	15		
	Systems Development Process	L	4087	—	1	Hajimu Iida	IS	—	Tanaka, Takai, Hajimu Iida	Intensive	Intensive	15		
	Applied Life Sciences・Microbial Science	L	4049	—	1	Shosuke Yoshida	BS	—	Hirotada Mori, Hisaji Maki, Masahiro Akiyama, Kazuhiro Shiozaki, Hiroshi Takagi, Tomoya Tsukazaki, Yukio Kimata, Shosuke Yoshida, (Masayuki Inui)	10/7	12/6	15		
	Applied Life Sciences・Plant Science	L	4050	—	1	Yusuke Saijo	BS	—	Toshiro Ito, Keiji Nakajima, Taku Demura, Ko Kato, Masaaki Umeda, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida, Takayuki Toge	10/7	12/6	15		
	Applied Life Sciences・Biomedical Science	L	4051	—	1	Shiro Suetsugu	BS	—	Shiro Suetsugu, Hiroshi Itoh, Yasumasa Ishida, Junya Kato, Taro Kawai, Akira Kurisaki, Naoyuki Inagaki, Ayako Isotani	10/7	12/6	15		
	Applied Life Science	L	4088	—	1	Katsutomo Okamura	BS	—	Shiro Suetsugu, Noriaki Sasai, Katsutomo Okamura, Takayuki Touge, Kou Kato, Masaaki Umeda	6/6	8/1	15	○	

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Priod		Total number of classes	English Subject	Remarks
										Start	End			
	Development of Bioscience into Industry Ⅰ	L	4052	A	1	Ko Kato	BS	—	Kou Kato, Hiroshi Takagi, Tsubasa Shoji, Yasumasa Isida	10/8	12/3	15		
	Development of Bioscience into Industry Ⅰ	L	4052	B	1	Hiroshi Takagi	BS	—	Hiroshi Takagi, (Masako Shinjo)	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Development of Bioscience into Industry Ⅱ	L	4053	—	1	Hiroshi Takagi	BS	—	Hiroshi Takagi, (Kyoji Yamaguchi), (Takaaki Sato), (Gen Nonaka), (Tomohiro Fujita), (Yuji Kitagawa), (Masako Shinjo), (Toshihiko Ashikari), (Takashi Murakami)	9/3	9/27	15		
	Advanced Lecture in Developmental Biology	L	4054	—	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho	(Check the Online Syllabus)		15		Collaboration with Riken(CDB)
	Advanced Techniques in Bioscience	L	4055	A	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho, Hirotada Mori, Katsutomo Okamura, Yasumasa Isida, Masahiro Akiyama, Takayuki Touge, Akira Kurisaki, Minoru Kubo , Noriko Inada, Goichi Miyoshi	6/11	8/6	15		
	Advanced Techniques in Bioscience	L	4055	B	1	Yasumasa Bessho	BS	—	Yasumasa Bessho, Hirotada Mori, Katsutomo Okamura, Yasumasa Isida, Masahiro Akiyama, Takayuki Touge, Akira Kurisaki, Minoru Kubo , Noriko Inada, Goichi Miyoshi	11/28	12/6	15	○	
	Plant Developmental Physiology	L	4056	—	1	Satoko Yoshida	BS	—	Toshiro Ito, Takashi Hashimoto, Keiji Nakajima, Taku Demura, Masaaki Umeda, Yusuke Saijo, Satoko Yoshida, Takayuki Toge	6/5	8/7	15		
	Developmental Biology of Animals	L	4057	—	1	Noriaki Sasai	BS	—	Noriaki Sasai, Takaaki Matsui, Naoyuki Inagaki, Ayako Isotani, Shoji Komai, Akira Kurisaki	6/11	8/6	15		
	Pharmacology and Pathological Chemistry	L	4058	—	1	Hiroshi Itoh	BS	—	Hiroshi Itoh, Toshio Hakoshima, Yasumasa Bessho, Kazuhiro Shiozaki, Yukio Kimata, Tomoya Tsukazaki	10/7	12/6	15		
	Immunology	L	4059	—	1	Taro Kawai	BS	—	Taro Kawai, Yasumasa Ishida, Yusuke Saijo, (Reiko Shinkura)	10/8	12/3	15		
	The Biology of Genome and Cancer	L	4060	—	1	Junya Kato	BS	—	Junya Kato, Hirotada Mori, Shiro Suetsugu, Hisaji Maki, Masahiro Akiyama, Kikuya Kato	10/9	12/4	15		
	Biological Interactions	L	4061	—	1	Satoko Yoshida	BS	—	Satoko Yoshida, (Reiko Shinkura), Yusuke Saijo, Hiroshi Ohno	6/6	8/7	15		
	International Forefront in Bioscience A	L	4062	—	1	Kazuhiro Shiozaki	BS	—	Maki Satoko, Visiting Lecturer	12/9	12/10	15	○	
	International Forefront in Bioscience B	L	4063	—	1	Kazuhiro Shiozaki	BS	—	Maki Satoko, Visiting Lecturer	12/16	12/17	15	○	
	Big data in Bioscience	L	4064	—	1	Hirotada Mori	DSC(BS)	—	Hirotada Mori	6/5	8/7	15	○	
	Advanced Topics in Biological Science	L	4065	—	1	Hiroshi Takagi	BS	—	Hiroshi Takagi, (Assignment by Assistant Professor)	1/14	1/21	15	○	
	Logic in Scientific Discovery	L	4089	—	1	Kazuhiro Shiozaki	ハ	—	Maki Satoko	10/9	12/4	15	○	
	Semiconductor Materials	L	4080	A	1	Yukiharu Uraoka	MS	—	Yukiharu Uraoka, Yasuaki Ishikawa, Masato Miyake	6/10	8/5	15		
	Semiconductor Materials	L	4080	B	1	Yukiharu Uraoka	MS	—	Yukiharu Uraoka, Yasuaki Ishikawa	12/9	1/9	15	○	International students have priority
	Optoelectronics	L	4081	A	1	Jun Ohta	MS	—	Jun Ohta, (Takashi Tokuda), You-ichiro Hosokawa, Yalikun Yaxiaer	6/11	8/6	15		
	Optoelectronics	L	4081	B	1	Jun Ohta	MS	—	Jun Ohta, (Takashi Tokuda), You-ichiro Hosokawa, Yalikun Yaxiaer	12/10	1/17	15	○	International students have priority
	Organic Synthesis and Polymer Science	L	4082	A	1	Hiroko Yamada	MS	—	Hiroko Yamada, Hiroharu Ajiro, Kazuma Yasuhara	6/11	8/6	15		
	Organic Synthesis and Polymer Science	L	4082	B	1	Hiroharu Ajiro	MS	—	Gwenael Rapenne, Hiroharu Ajiro	12/10	1/17	15	○	International students have priority
	Electronic Properties and Atomic Structures of Solids and Surfaces Special	L	4066	A	1	Ken Hattori	MS	—	Ken Hattori, Nobuyoshi Hosoito, Sakura Takeda	6/5	7/31	15		Held in Japanese
	Electronic Properties and Atomic Structures of Solids and Surfaces Special	L	4066	B	1	Ken Hattori	MS	—	Ken Hattori, Nobuyoshi Hosoito, Sakura Takeda	—	—	15	○	Not offerd 2019 (Offerd every other year)
	Photonics Special	L	4067	A	1	Jun Ohta	MS	—	Jun Ohta, Takayuki Yanagida, (Takashi Tokuda), Noriaki Kawaguchi	6/5	7/31	15		Held in Japanese
	Photonics Special	L	4067	B	1	Jun Ohta	MS	—	Jun Ohta, Takayuki Yanagida, (Takashi Tokuda), Noriaki Kawaguchi	—	—	15	○	Not offerd 2019 (Offerd every other year)
	Light and Information Devices Special	L	4068	A	1	Yoichiro Hosokawa	MS	—	You-ichiro Hosokawa, Yalikun Yaxiaer, Yukiharu Uraoka, Yasuaki Ishikawa	6/6	8/1	15		Held in Japanese
	Light and Information Devices Special	L	4068	B	1	Yoichiro Hosokawa	MS	—	You-ichiro Hosokawa, Yalikun Yaxiaer, Yukiharu Uraoka, Yasuaki Ishikawa	12/9	1/9	15	○	Held in English every other year
	Materials Science for Quantum Information and Energy Conversion	L	4069	-	1	Hisao Yanagi	MS	—	Hisao Yanagi, Masakazu Nakamura, Hiroyuki Katsuki, Hiroaki Benten	6/6	8/1	15	○	Held in English every other year
	Biomolecular Science	L	4070	A	1	Shun Hirota	MS	—	Hironari Kamikubo, Shun Hirota, Takashi Matsuo, Sachiko Toma	6/5	7/31	15		Held in Japanese
	Biomolecular Science	L	4070	B	1	Shun Hirota	MS	—	Hironari Kamikubo, Shun Hirota, Takashi Matsuo, Sachiko Toma	12/10	1/17	15	○	Held in English every other year
	Advanced Synthetic Organic and Polymer Chemistry	L	4071	A	1	Tsumoru Morimoto	MS	—	Tsumoru Morimoto, Hiroharu Ajiro, Hiroki Tanimoto	6/5	7/31	15		Held in Japanese
	Advanced Synthetic Organic and Polymer Chemistry	L	4071	B	1	Tsumoru Morimoto	MS	—	Tsumoru Morimoto, Hiroharu Ajiro, Hiroki Tanimoto	—	—	15	○	Not offerd 2019 (Offerd every other year)
	Molecular Photo-science	L	4072	A	1	Hiroko Yamada	MS	—	Hiroko Yamada, Tsuyoshi Kawai, Takuya Nakashima, Naoki Aratani	6/6	8/1	15		Held in Japanese
	Molecular Photo-science	L	4072	B	1	Hiroko Yamada	MS	—	Hiroko Yamada, Tsuyoshi Kawai, Takuya Nakashima, Naoki Aratani	—	—	15	○	Not offerd 2019 (Offerd every other year)
	Polymer Chemistry	L	4073	A	1	Kazuma Yasuhara	MS	—	Kazuma Yasuhara, Tsuyoshi Ando	6/6	8/1	15		Held in Japanese
	Polymer Chemistry	L	4073	B	1	Kazuma Yasuhara	MS	—	Gwenael Rapenne, Kazuma Yasuhara, Tsuyoshi Ando	—	—	15	○	Not offerd 2019 (Offerd every other year)
	Materials Informatics	L	4074	A	1	Miho Hatanaka	MS	—	Miho Hatanaka, Tsuyoshi Kawai, Miyao Tomoyuki	6/11	8/6	15		Held in Japanese
	Materials Informatics	L	4074	B	1	Miho Hatanaka	MS	—	Miho Hatanaka, Tsuyoshi Kawai, Miyao Tomoyuki	12/11	1/17	15	○	Held in English every other year
	Industrial Science and Technology Special	L	4075	—	1	Program Director	MS	—	Lecturers of Core Laboratories(Collaborative)	10/7	11/25	24		
	Materials Science Special A	L	4076	—	1	Program Director	MS	—	(Toyohiko Kinoshita), (Tsuneo Yasue)	11/6	12/26	15	○	Held in English every other year
	Materials Science Special B	L	4077	—	1	Program Director	MS	—	(Shimpei Ono), (Masanori Koshimizu)	1/15	1/21	15	○	Held in English every other year

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Priod		Total number of classes	English Subject	Remarks
										Start	End			
	Materials Science Special C	L	4078	—	1	Program Director	MS	—	(Seijiro Matsubara), (Tsuyohiko Fujigaya), (Akinori Saeki), (Kenji Hori), (Yasutaka Kitagawa)	10/18	(Check the Online Syllabus)	15		
	Materials Science Special D	L	4079	—	1	Program Director	MS	—	(Takanori Takiue), (Atsushi Harada)	12/2	12/13	15		
	Project Practice	P	4083	—	1	—	—	—	Different for respective themes	Different for respective themes		—	—	
PBL Subjects	Information Science and Engineering PBL Ⅰ	P	5001	—	1	Program Director	IS	—	Yasuhiko Nakashima, Michiko Inoue, Keiichi Yasumoto, Minoru Ito, Kenichi Matsumoto, Hajimu Iida, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi, Kazutoshi Fujikawa, Yuji Matsumoto, Satoshi Nakamura, Minoru Okada, Kiyoshi Kiyokawa, Hirokazu Kato, Yasuhiro Mukaigawa, Norihiro Hagita, Eiji Aramaki, Tsukasa Ogasawara, Kenji Sugimoto, Shoji Kasahara, Kazushi Ikeda, Yoshinobu Sato, Shigehiko Kanaya, (Takeo Kanade), Takatomi Kubo	Different for respective themes		—	—	
	Information Science and Engineering PBL Ⅱ	P	5002	—	1	Program Director	IS	—	Yasuhiko Nakashima, Michiko Inoue, Keiichi Yasumoto, Minoru Ito, Kenichi Matsumoto, Hajimu Iida, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi, Kazutoshi Fujikawa, Yuji Matsumoto, Satoshi Nakamura, Minoru Okada, Kiyoshi Kiyokawa, Hirokazu Kato, Yasuhiro Mukaigawa, Norihiro Hagita, Eiji Aramaki, Tsukasa Ogasawara, Kenji Sugimoto, Shoji Kasahara, Kazushi Ikeda, Yoshinobu Sato, Shigehiko Kanaya, (Takeo Kanade), Takatomi Kubo	Different for respective themes		—	—	
	Computational Biology PBL Ⅰ	P	5003	—	1	Program Director	IS	BS	Yasumasa Bessho, Shigehiko Kanaya, Naoaki Ono, MD.ALTA-UL-AMIN	(Check the Online Syllabus)		—	—	
	Computational Biology PBL Ⅱ	P	5004	—	1	Program Director	IS	BS	Yasumasa Bessho, Shigehiko Kanaya, Naoaki Ono, MD.ALTA-UL-AMIN	(Check the Online Syllabus)		—	—	
	Biological Sciences PBL Ⅰ	P	5005	—	1	Program Director	BS	—	Yasumasa Bessho, etc.	(Check the Online Syllabus)		—	—	
	Biological Science PBL Ⅱ	P	5006	A	1	Program Director	BS	—	Yasumasa Bessho, (Kazuto Kato), (Shinji Fushiki), (Atsuhiko Shinmyo), (Akiho Yokota), Masahiro Akiyama	(Check the Online Syllabus)		—		
	Biological Science PBL Ⅱ	P	5006	B	1	Program Director	BS	—	Yasumasa Bessho, (Kazuto Kato), (Shinji Fushiki), (Atsuhiko Shinmyo), (Akiho Yokota), Masahiro Akiyama	(Check the Online Syllabus)		—	○	
	Bionanotechnology PBL Ⅰ	P	5007	—	1	Program Director	BS	MS	Masaaki Umeda, Hiroshi Itoh, Naoyuki Inagaki, Yukio Kimata, Hirotomo Takatsuka, Tetsuo Kobayashi, Michinori Toriyama	12/9	12/18	—	—	
	Bionanotechnology PBL Ⅱ	P	5008	—	1	Program Director	MS	BS	Shun Hirota, Hironari Kamikubo, Takashi Matsuo, Tsuyoshi Ando, Kazuma Yasuhara, Sachiko Toma, Satoshi Nagao, Masaru Yamanaka, You-ichi Yamazaki, Yugo Hayashi	(Check the Online Syllabus)		—	—	
	Materials Science and Engineering PBL Ⅰ	P	5009	—	1	Program Director	MS	—	Masakazu Nakamura, Noriaki Kawaguchi, Ken Hattori, Nobuyoshi Hosoito, Yalikun Yaxiaer, Hiroyuki Katsuki, Hiroaki Benten, Ryouhei Yasukuni, Sakura Takeda, Takanobu Jujo, Sohei Yamada, Atsushi Yamashita, Jung Min cherl	(Check the Online Syllabus)		—	—	
	Materials Science and Engineering PBL Ⅱ	P	5010	—	1	Program Director	MS	—	Hiroko Yamada, Masakazu Nakamura, Naoki Aratani, Takuya Nakashima, Tsumoru Morimoto, Yoshiyuki Nonoguchi, Hirotaka Kojima, Toshio Nishino, Hiroki Tanimoto, Hironobu Hayashi, Mihoko Yamada, Kenichiro Omoto、Matsuo Kyohei	(Check the Online Syllabus)		—	—	
	Intelligent Cyber-Physical Systems PBL Ⅰ	P	5011	—	1	Program Director	IS	MS	Yasuhiko Nakashima, Michiko Inoue, Keiichi Yasumoto, Minoru Ito, Kenichi Matsumoto, Hajimu Iida, Youki Kadobayashi, Yuichi Hayashi, Kazutoshi Fujikawa, Minoru Okada, Kiyoshi Kiyokawa, Hirokazu Kato, Yasuhiro Mukaigawa, Tsukasa Ogasawara, Kenji Sugimoto, Shoji Kasahara	Different for respective themes		—	—	
	Intelligent Cyber-Physical Systems PBL Ⅱ	P	5012	—	1	Program Director	MS	IS	Yukiharu Uraoka, Jun Ohta, Yasuaki Ishikawa, Kiyotaka Sasagawa, Makito Haruta, Mutsunori Uemuma, Mami Fujii, Bermundo Juan Paolo Soria, Hitoshi Mizuno	(Check the Online Syllabus)		—	—	
	Data Science PBL Ⅰ	P	5013	—	1	Program Director	DSC (BS)	IS MS	Satoshi Nakamura, Hirotada Mori, Katsuhito Sudoh, Naoaki Ono, Ai Muto, Miho Hatanaka, Miyao Tomoyuki	(Check the Online Syllabus)		15	—	
	Data Science PBL Ⅱ	P	5014	—	1	Program Director	DSC (BS)	IS MS	Satoshi Nakamura, Katsuhito Sudoh, Hirotada Mori, Ai Muto, Naoaki Ono, Miho Hatanaka, Miyao Tomoyuki	(Check the Online Syllabus)		15	—	
Research-based Subjects	Seminar Ⅰ	—	6001	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Seminar Ⅱ	—	6002	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Colloquium A	—	6003	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Colloquium B	—	6004	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Research Experiments Ⅰ	—	6005	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Research Experiments Ⅱ	—	6006	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Research Thesis	—	6007	—	5	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	

・"L" in the "Type" column stands for lectures, "P" for practices.
・Faculty members in charge shown in parentheses are part-time instructors. The detailed schedule for intensive lectures can be found in the Online Syllabus.

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Science and Technology in academic year 2019 (Doctral Course)

Category	Subject name	Type	Subject Number	Class Code	Number of credit	Responsible person	Main	Sub	Faculty member in charge	Class Priod Start	Class Priod End	Total number of classes	English Subject	Remarks
Subjects for research skills	Advanced English A	L	7001	A	1	Michael Barker	IEI(IS)	—	Michael Barker	12/11	2/5	15	○	
	Advanced English A	L	7001	B	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	12/11	2/5	15	○	
	Advanced English B	L	7002	A	1	Michael Barker	IEI(IS)	—	Michael Barker	10/8	12/3	15	○	
	Advanced English B	L	7002	B	1	(David Sell)	IEI(IS)	—	(David Sell)	11/8	12/6	15	○	
	Advanced English B	L	7002	C	1	Paul McAleese	IEI(BS)	—	Paul McAleese	10/8	12/3	15	○	
	Advanced English B	L	7002	D	1	Paul McAleese	IEI(BS)	—	Paul McAleese	12/12	2/13	15	○	
	Advanced English C	L	7003	A	1	Leigh McDowell	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	9/2	9/30	15	○	
	Advanced English C	L	7003	B	1	(Yukiko Nakayama)	IEI(MS)	—	(Yukiko Nakayama)	9/6	9/27	15	○	
	Advanced English C	L	7003	C	1	Michael Barker	IEI(IS)	—	Michael Barker	10/10	12/5	15	○	
	Advanced English D	L	7004	A	1	Paul McAleese	IEI(MS)	—	Leigh McDowell	10/10	12/5	15	○	
	Advanced English D	L	7004	B	1	(Yukiko Nakayama)	IEI(MS)	—	(Yukiko Nakayama)	11/13	12/4	15	○	
	Advanced English E	L	7029	—	1	Michael Barker	IEI(IS)	—	Michael Barker	6/6	8/1	15	○	
	Overseas English Training Ⅰ	P	7005	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	Overseas English Training Ⅱ	P	7006	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	Overseas English Training Ⅲ	P	7007	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	International Training Ⅰ	P	7008	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	International Training Ⅱ	P	7009	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	International Training Ⅲ	P	7010	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	Study Abroad Ⅰ	P	7011	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	Study Abroad Ⅱ	P	7012	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	Study Abroad Ⅲ	P	7013	—	2	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		30	—	
	Seminar for International Workshop Planning	P	7014	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	Project Management Ⅰ	P	7015	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	Project Management Ⅱ	P	7016	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	Project Management Ⅲ	P	7017	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for respective themes		15	—	
	Special Lectures in Information Science and Engineering	L	7018	—	1	Program Director	IS	—	Michihiro Shintani, Hiroki Tanaka, Daisuke Fujimoto, Soufi Mazen, Hiroyuki Kubo, Chen Na, Hideaki Hata, Garcia Gustavo, Shigeru Kashihara, Tran Thi Hong	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Special Lectures in Computational Biology	L	7019	—	1	Program Director	IS	BS	(Check the Online Syllabus)	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Special Lectures in Biological Science	L	7020	—	1	Takagi Hiroshi	BS	—	Takagi Hiroshi, BS Lecturers	1/14	1/21	15	○	
	Special Lectures in Bionanotechnology	L	7021	—	1	Program Director	BS	MS	Shun Hirota, Hironari Kamikubo, Tsuyoshi Ando, Hiroharu Ajiro, Takashi Hashimoto, Taku Demura, Masaaki Umeda, Toshiro Ito	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Special Lectures in Materials Science and Engineering	L	7022	—	1	Program Director	MS	—	Masakazu Nakamura	(Check the Online Syllabus)		15	—	
	Special Lectures in Intelligent Cyber-Physical Systems	L	7023	—	1	Program Director	MS	IS	Yukiharu Uraoka, Jun Ohta, Shintani Michihiro, Hiroki Tanaka, Daisuke Fujimoto, Soufi Mazen, Hiroyuki Kubo, Chen Na, Hideaki Hata, Garcia Gustavo, Shigeru Kashihara, Tran Thi Hong	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Special Lectures in Data Science	L	7024	—	1	Program Director	DSC (BS)	IS MS	Satoshi Nakamura, Kimito Funatsu, Hirotada Mori, Yukiharu Uraoka, Naoaki Ono, (Yu Suzuki), Katsuyuki Kunida, Ryohei Yasukuni	(Check the Online Syllabus)		15	○	
	Innovation ManagementA	L	7025	—	1	Kozo Kubo	IRI (IS)	—	Kozo Kubo	12/9	1/6	15	○	
	Innovation ManagementB	L	7026	—	1	(David Sell)	IS	—	(David Sell)	12/9	2/10	15	○	
	Career ManagementA	L	7027	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor, (External lecturer)	Different for respective themes		15	—	
	Career ManagementB	L	7028	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor, (External lecturer)	(Check the Online Syllabus)		15	—	
Subjects for independent research abilities	Research Status Hearing	—	8001	—	1	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research Ⅰ	—	8002	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research Ⅱ	—	8003	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research Ⅲ	—	8004	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research Ⅳ	—	8005	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research Ⅴ	—	8006	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	
	Doctoral Research Ⅵ	—	8007	—	3	Supervisor	—	—	Supervisor	Different for each laboratory		—	—	

・"L" in the "Type" column stands for lectures, "P" for practices.
・Faculty members in charge shown in parentheses are part-time instructors. The detailed schedule for intensive lectures can be found in the Online Syllabus.

Schedule of subjects whose specific dates are not stated in class period will be posted on the electronic syllabus as details are decided.

＜＜NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Education Support Systems → Online Syllabus System＞＞

６－２．Numbering Information

Subject numbers consist of 4-digit numbers based on levels of courses.

［How to read the subject numbers］

First digit：The first digit in the 4-digit numbers indicates levels of subjects:

1XXX = General Subjects（For master's course）
2XXX = Introduction Subjects（For master's course）
3XXX = Basic Subjects（For master's course）
4XXX = Specialized Subjects（For master's course）
5XXX = PBL Subjects（For master's course）
6XXX = Research-based Subjects（For master's course）
7XXX = Courses for research skills（For doctoral course）
8XXX = Courses for independent research abilities（For doctoral course）

From second to fourth digits：The from second to fourth digits in the 4-digit numbers indicate serial

X**XXX** = Serial numbers (ranging from 01 to 99)

Depending on course subjects there are classifications. The class code is displayed in the list of subjects and faculty members in charge.

６－３．2019 Timetable

Check the 2019 Timetable at:

＜＜NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Education Support Systems → Online Syllabus System＞＞

7 Degree examination criteria, etc.

7 Degree examination criteria, etc.

7－1. Degree examination criteria

＜Master's course＞

（Criteria for Thesis Examination）

For master's theses, novelty and applicability are important, but examination shall be performed considering the following areas.

Specifically, each screening committee member will evaluate master's theses considering the following areas, and theses shall be deemed as passing the examination if evaluation meets the established criteria.

1. Students have a full understanding of the research background and goals regarding.
2. The research procedures and methods are carefully developed regarding.
3. The experimental data, theoretical calculation results and research results are carefully organized and analyzed according.
4. The development of conclusions and new theories based on achieved data is logically and fully explained.
5. The thesis utilizes the proper academic methodology.
6. Research ethically issues are properly handled

＜Doctoral course＞

（Criteria for Thesis Examination）

For doctoral theses, novelty and applicability are required, and a principal part of the doctoral thesis being published or scheduled to be published by the candidate in a peer-reviewed scientific journal or as a book or at an international conference with a peer review system, etc. is prerequisite for thesis examination.

When doctoral theses meet the above requirements, examination shall be performed considering the following areas.

Specifically, each screening committee member will evaluate doctoral theses considering the following areas, and theses shall be deemed as passing the examination if evaluation meets the established criteria.

1. Students have a full understanding of the research background and goals regarding.
2. The research procedures and methods are carefully developed regarding.
3. The experimental data, theoretical calculation results and research results are carefully organized and analyzed according.
4. The development of conclusions and new theories based on achieved data is logically and fully explained.
5. The thesis utilizes the proper academic methodology.
6. Research ethically issues are properly handled

○Milestones and capstones for progressive degree achievement

At NAIST, in order to promote a smooth path towards obtaining degrees, capstones and milestones for both the master's and doctoral programs have been established to facilitate progression. This system will be in place for students entering NAIST from the 2018 school year. The following is a guideline example for milestone/capstone timing for students entering NAIST in April and graduating within the standard period of study.

＜Master's course＞

- Milestone: (A mid-term report) by November of the 2nd year
- Capstone: (Master's thesis examination) in February of the 2nd year

＜Doctoral course＞

- Milestone: (A mid-term report) by November of the 1st year
- Milestone: (A mid-term report) by November of the 2nd year
- Milestone: (A mid-term report) by November of the 3rd year
- Capstone: (Doctoral thesis examination) in February of the 3rd year

※For the master's course, milestone evaluation is performed every year from the 2nd year

A rubric which indicates milestones and capstones can be found in the Research Guidance System.

In proceeding with your individual research, this rubric may be regularly referred to determine what is necessary to pursue even higher quality research and may also be helpful in writing and revising your thesis.

＜＜NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs → Electronic Education Record System＞＞

7－2. Degree Regulations

Degree Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 19

Article 1 (Purpose)
The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to conferral of degrees by the Nara Institute of Science and Technology ("NAIST") pursuant to Article 44-3 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (Regulations No. 1, 2004).

Article 2 (Degree types and majors)
1. Degrees conferred by NAIST shall be master's degrees and doctoral degrees.
2. Science, engineering or biological sciences shall be specified in the degree certificate as the name of the area of studies.

Article 3 (Degree requirements)
1. A master's degree shall be conferred to students who have completed the master's course at NAIST.
2. A doctoral degree shall be conferred to students who have completed the doctoral course at NAIST.
3. In addition, a doctoral degree may be conferred to individuals who have passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a student who has completed the doctoral course at NAIST (individuals who have passed the "Examination of Academic Ability").

Article 4 (Submission of thesis)
1. To complete the master's course, students shall submit a master's thesis together with the prescribed application form for thesis examination to the Dean of the Graduate School of Science and Technology and take the master's thesis examination.
2. Examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis examination specified in the foregoing subsection.
3. To complete the doctoral course, students shall submit a doctoral thesis together with the prescribed application form for thesis examination, list of related papers, abstract of the thesis and curriculum vitae to the Dean of the Graduate School of Science and Technology and take the doctoral thesis examination.
4. To receive a doctoral degree pursuant to the provision of Article 3-3, students shall specify the

major to be indicated in the degree certificate, and pay the thesis examination fee when submitting a degree application form, doctoral thesis, list of related papers, abstract of the thesis, and curriculum vitae to the President.

5. The thesis examination fee shall be 57,000 yen.
6. Upon receipt of the documents specified in subsection 4 of this Article, the President shall forward the documents to the Dean of the Graduate School of science and Technology.
7. Thesis and other documents, once submitted, shall not be returned, and the thesis examination fee, once paid, shall not be refunded.

Article 5 (Thesis)

1. One thesis shall be accepted for degree examination. Students shall submit one copy per master's thesis and three copies per doctoral thesis, provided, however that additional papers may be attached to the thesis for reference.
2. The Dean of the relevant Graduate School may request submission of a translation of the thesis, model, specimen, or other materials if necessary for the thesis examination.

Article 6 (Thesis examination and Examination of Academic Ability)

1. The master's and doctoral thesis examinations shall be conducted by means of a written or oral examination on specialized topics relating to the thesis.
2. The Examination of Academic Ability specified in Article 3-3 above shall be conducted by means of a written or oral examination on the academic subjects relating to the doctoral thesis and on foreign language.

Article 7 (Screening Committee)

1. The Faculty Council shall have a Screening Committee for evaluating theses, and conducting the master's and doctoral thesis examinations and the Examination of Academic Ability.
2. Each Screening Committee shall consist of at least three faculty members of the Graduate School of Science and Technology and the shared educational and research institutions. In this case the Committee members shall include at least two professors, or one professor and one Associate Professor recognized by the Faculty Council.
3. Each of the Screening Committees shall have a chief referee.
4. Faculty members of other graduate schools or research institutions outside of NAIST may be invited to join the Screening Committee if doing so is deemed necessary by the Faculty Council of the Graduate School for screening purposes.
5. Evaluation of doctoral theses submitted pursuant to Article 4-4 and the Examination of Academic Ability shall be completed within one year after the submission thereof, provided, however, that such a period may be extended if there is a special circumstances, subject to deliberation by the Faculty Council.

Article 8 (Notification of results)

1. The Screening Committee involved in conferral of master's degrees shall notify the Faculty Council of its decision as to whether to confer a master's degree or not in writing, immediately after completion of the evaluation of thesis and master's thesis examination.
2. The Screening Committee involved in conferral of doctoral degrees shall notify the Faculty Council of its decision as to whether to confer a doctoral degree or not in writing, immediately after completion of the evaluation of thesis and doctoral thesis examination or the Examination of Academic Ability. In this case, the relevant document shall be submitted from the following documents:
   (1) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-3, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the doctoral thesis examination
   (2) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-4, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the doctoral thesis examination and the Examination of Academic Ability

Article 9 (Deliberation of degree conferral)

The Faculty Council shall discuss whether to confer a degree or not based on the notification specified in the foregoing article.

Article 10 (Notification of conclusion)

The Dean of the Graduate School of Science and Technology shall notify the President of the conclusion of the deliberation reached by the Faculty Council thereof in writing.

Article 11 (Conferral of degree)

1. The President shall confer a degree to the student who has been approved to receive the degree based on the notification specified in the foregoing article.
2. The format of a degree certificate shall be Form No. 1, Form No. 2 or Form No. 3 shown separately.
3. If it has been decided not to confer a degree to a certain student, the President shall notify the student of the decision.

Article 12 (Publication of abstract of doctoral thesis)

Within three months after conferring a doctoral degree, the President shall notify the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology of the conferral and make the abstract of the doctoral thesis and the summary of the results of the evaluation of the thesis public via the internet .

Article 13 (Publication of doctoral thesis)

1. The recipient of a doctoral degree shall make his or her doctoral thesis public within one year after receipt thereof, provided, however, that this provision shall not apply if the thesis has been made

public prior to the receipt thereof.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, a recipient of a doctoral degree may make the abstract of his or her doctoral thesis public instead of the full text, subject to approval of NAIST, if there is a justifiable reason. In this case, NAIST shall allow access to the full text of the doctoral thesis when requested.
3. The public release established in the previous two clauses for doctoral degree recipient, shall be conducted via NAIST and the internet.

Article 14 (Reference to the degree)

When an individual who has been conferred a degree from NAIST refers to his or her degree, the name of NAIST shall be also mentioned together with the degree.

Article 15 (Withdrawal of a degree)

If it transpires that an individual was conferred a degree by NAIST by fraudulent means, the President shall withdraw the degree, have the degree certificate returned, and make public the fact, following the deliberation by the Faculty Council.

Article 16 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to conferral of degrees shall be provided for separately.

Supplementary provisions

These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on June 1, 2013.
   (Transitional measures)
2. The revised degree regulations (hereinafter referred to as “new degree regulations”) outlined in Article 12 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.
3. The revised degree regulations outlined in Article 13 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2018.
   (Transitional measures)
2. Those students who entered NAIST in or before the 2017 school year, excluding the regulations of 7-2 and notwithstanding the revised provisions, shall be governed by the previous stipulations.

Form No. 1 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Master's Course)

修第　　号

学　位　記

氏　名

年　月　日生

本学大学院先端科学技術研究科先端科学技術専攻の博士前期課程（○○プログラム）を修了したので修士（◯◯）の学位を授与する

平成　年　月　日

奈良先端科学技術大学院大学長

学長名
大学の印　　学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE　AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Master of（専攻分野の名称）
upon

（ 氏　　名）
(Surname)　(Givenname)

(Date of Birth)

for having successfully completed the Master `s Course (Program of ○○) in the Graduate School of Science and Technology

Date of Issue: (発行日)

Official Seal of the Institute President`s Seal

（学長署名）
（学長名）
President,
Master's No.：（番号）Nara Institute of Science and Technology

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Form No. 2 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Doctoral Course)

博第　　号

学　位　記

氏　名

年　月　日生

本学大学院先端科学技術研究科先端科学技術専攻の博士後期課程を修了したので博士（◯◯）の学位を授与する

論文題目　○○○○○○○○○○○○○○
　　○○○○○○○○○○○○○○

平成　年　月　日

奈良先端科学技術大学院大学長

学長名
大学の印　　学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE　AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Doctor of（専攻分野の名称）
upon

（ 氏　　名）
(Surname)　(Givenname)

(Date of Birth)

for having successfully completed the Doctoral Course in the Graduate School of Science and Technology

Thesis Title：(論文題目)

Date of Issue:(発行日)

Official Seal of the Institute President`s Seal

（学長署名）
（学長名）
President,
Doctorate No.：（番号）Nara Institute of Science and Technology

(Note 1) The sheet is A4-sized.

Form No. 3 (Refer to Article 11.) (To be issued for the degree conferred pursuant to Article 3-3)

博第　　号

学　位　記

氏　名

年　月　日生

本学に学位論文を提出し所定の審査に合格したので博士(○○)の学位を授与する

論文題目　○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○

平成　年　月　日

奈良先端科学技術大学院大学長

学長名
大学の印　学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Doctor of（専攻分野の名称）
upon

（ 氏　　名）
(Surname)　(Givenname)

(Date of Birth)

for having submitted a Doctoral Dissertation
and having passed the Prescribed Evaluations

Thesis Title：（論文題目）

Date of Issue:(発行日)

Official Seal of the Institute President`s Seal

（学長署名）
（学長名）
President,
Nara Institute of Science and Technology

Doctorate No.：（番号）

(Note 1) The sheet is A4-sized.

7－3. Schedule until degree conferral

Degree conferral is performed every 3 months. (March, June, September and December) The rough schedule until degree conferral below is for April entrance and March graduation within the standard study period for each program.

＜Master's course＞

Late December	Submission of thesis examination request and thesis summary →Submit these to the graduate school dean by the submission deadline. (the division office of your laboratory) Fill in the name of the specialization (Science, Engineering, or bioscience) you prefer on the request form.
Mid-January	Faculty Council (Thesis title, review committee member approval)
Mid-February to late February	Master's thesis presentation (Thesis review and examination) →Committee members confirm the capstone and follow the Criteria for Thesis Examination for the evaluation. Results are reported to the Faculty Council.
Late February or early March	Faculty Council (Examination report, deliberation, ruling: completion approval) →Confirmation of completion requirements (Graduation credits, passing of thesis examination, passing of examination) and approval of completion

＜Doctoral course＞

Early December	Submission of thesis examination request, list of research papers, thesis summary and resume →Submit these to the graduate school dean by the submission deadline. (the division office of your laboratory) Fill in the name of the specialization (Science, engineering, or bioscience) you prefer on the request form.
Mid-December to mid-January	Faculty Council (Thesis title, review committee member approval)
Mid-December to mid-February	Public hearing (pre-examination) →Committee members confirm the capstone and follow the Criteria for Thesis Examination for the evaluation. Thesis (final version) guidance is given when necessary. If there are opinions related to evaluation, committee members will consider them. Passing students proceed to thesis examination. Corrections are made to the public hearing version to complete the final thesis version
Upon passing the pre-examination	Thesis Examination →Committee members follow the Criteria for Thesis Examination for the final thesis version examination. Students participate when necessary. Results are reported to the Faculty Council.
Late-February or early March	Faculty Council (Examination report, deliberation, ruling: completion approval) →Confirmation of completion requirements (Graduation credits, passing of thesis examination, passing of examination) and approval of completion

8 Study Support

8 Study Support

8－1. Health Care Center (③ on the campus map)

To maintain the physical and mental health of our faculty, staff and students, the Health Care Center provides health examinations, daily treatment, and lifestyle guidance and health education. These three aspects of health promotion, namely checkups, treatment, and prevention, are addressed at the Health Care Center on the 2nd floor of the University Union building. The Center has an examination room, a chat and health counseling room, and a recovery room in a functional layout. A medical doctor and a nurse are regularly on duty.

Director of Health Care Center: Hidetaka Hogaku

Health Care Center Nurse: Kinuyo Nishiyama

Hours: 9:00 – 13:30, 14:30 - 17:00, Monday - Friday (excluding year-end/New Year and national holidays)

The Health Administration Center notifies members of necessary information such as schedule of health examinations by e-mail. In addition, the annual HCC NEWS (Health Care Center News) provides a variety of useful information.

＜＜NAIST TOP PAGE → About NAIST → Offices → Health Care Center＞＞

8－2. Office for Students with Disabilities

The Office for Students with Disabilities has been established in order to offer support for students with disabilities to have independent student lives at NAIST. The office staff have specialized training and knowledge about disabilities and counseling, and works in cooperation with related NAIST departments, faculty and staff to provide support to students with disabilities and serve as a student counselor.(academic and mental)

8－3. Career Services Office

The Career Services Office aims to support students in their career development. The office, located on the first floor of the Administrative Office building (next to the Educational Affairs Division), has job information and a collection of employment-related materials (including study-aid books for SPI and quarterly corporate reports) available. Also, the career development counselor is available to provide various career development support.

1. **Hours:** 9:30-17:30 (Closed between 12:00 and 13:00)（Closed on weekends and university holidays）
2. **Career counselling**

We provide advice on concerns and anxiety related to your career vision and job hunting. Career development counselors and career advisors from public organizations are available for counselling. Counselling services are available by appointment only and reservation instructions can be found on the Career Services Office website. Confidentiality will be strictly observed.

[URL for booking] http://www.supersaas.jp/schedule/naist-career/?lang=en

3. **Career guidance**

We hold career guidance seminars to support students in their career development and job hunting. Seminars, including the dates, are available on the Career Services Office website or via e-mails.

4. **Lending service for materials related to job hunting**

You can borrow materials that are useful in job hunting in Japan or career development. The rules for borrowing materials are also on the Career Services Office website.

5. **Contact**

Extension: 5921/5922/6239 E-mail: career@ad.naist.jp URL: http://www.naist.jp/career/

８－４．Information iniTiative Center (ITC) {⑦ on the campus map}

ITC manages and operates the information infrastructure and information network (Mandara System) in NAIST. ITC also conducts the support of education and research by utilizing Information security management and Information media.

What is "Mandara"

The university-wide information system at NAIST is called "Mandara", which refers to the truth in Esoteric Buddhism (i.e., the seeking of the infinitesimal paradoxically leads to infinite proliferation).

The Mandara system features strategic architectural configurations to meet user needs and build an advanced environment.

Meanwhile, an information processing environment has been developed from the researchers viewpoint, based on the basic principle of "fulfillment without excess or deficiency" represented by the idea Mandara.

○How to use the Mandara System

For information about major services, please see the following URLs.

- Mail
  http://itcw3.naist.jp/ITC-local/Mail/mailenv.en.html
- Wireless LAN
  http://itcw3.naist.jp/ITC-local/wireless/index.en.html
- Campus Licensed Software
  http://itcw3.naist.jp/ITC-local/campuslicense/index.en.html
- Printer（Multi-function Printer）
  http://itcw3.naist.jp/ITC-local/manual/printer/printer.en.html
- High Performance Computer Server
  http://trac.naist.jp/trac/h29grid/

For information about other services and inquiries, please refer to the upper tabs of the following URL.

http://itcw3.naist.jp/ITC-local/index.en.html

And, when you use the Mandara System, you must observe the Ethical Regulations and the following Basic Rules.

- Ethical Regulations for NAIST Information Network Use
  http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/ethical_regulations.en.pdf
- Mandara Operation Policy
  http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy.en.pdf
- Password
  http://itcw3.naist.jp/ITC-local/password/good-passwd.en.html
- Computer Security on Mandara
  http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/index.en.html
  Keep your computer secure in order to use the network properly.
- Use of P2P Software
  http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/p2p-request.en.html
  Use of P2P file-sharing software in NAIST or the NAIST dormitory is prohibited.

9 Campus Life

9 Campus Life

9－1. Tuition and payment

○Tuition fee and due date (by automatic bank transfer)

Course	Tuition fee (*1)	Due date (*2)
Master's course Doctoral course	535,800 yen (267,900 yen for a half-year term)	Spring semester (April to September): Due May 27 (Monday), 2019 Autumn semester (October to March): Due November 27 (Wednesday), 2019

*1 : If the tuition fee is revised during your enrollment, the new tuition fee will be charged. (You will be notified of the tuition fee for the semester by e-mail during May and November.)

*2 : Payment (by automatic bank transfer) is due on May 27 and November 27 every year. If the due date falls on a non-business day of the financial institution, the payment will be transferred on the following business day. (Your account balance is checked at 3:00 pm on the business day preceding the due date.)

○Payment

The tuition fee for a half-year term is automatically withdrawn from your bank account on the due dates of the spring and autumn semesters designated by NAIST. If you wish to pay the tuition fee for both semesters combined on the due date in May, please contact us by April 26 (Friday), 2019. If you have applied for tuition fee waiver, payment of the tuition fee will be postponed until the result of the application is announced. For details of automatic bank transfer procedures and other related matters, please inquire at the Accounting Section of the Finance Division (extension: 5038).

Note that failure to pay the tuition fee for two consecutive semesters will result in expulsion from NAIST.

9－2. Student ID Card

NAIST students are issued a student ID card, which not only verifies your status as a NAIST student but also serves as an electronic key. This key is needed for: entry to NAIST's facilities before or after the normal service hours, namely between 7:00 pm and 7:30 am, and on Saturday, Sunday and national holidays; use of the automatic certificate issuing machine; and borrowing of books from the NAIST Library. Therefore, you should carry your student ID card at all times while attending NAIST. Your graduate school, year of enrollment, and student number are registered in the card, and card readers automatically scan this information to check whether you are eligible to enter specific facilities in NAIST.

○Precautions on handling your student ID card

① You should keep your student ID card in a case and carry it at all times at NAIST.
② You are not allowed to lend or assign your student ID card to anyone else.
③ If you lose your student ID card or your card has become unusable due to failure of the magnetic strip, etc., you should immediately report it to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division.
If the card reader does not react properly upon inserting your student ID card to enter a certain building, call the Security Center on the first floor of the Administration Bureau building through the interphone, state your affiliation and name, and the key will be unlocked for you.

④ When your student ID card has expired or you are no longer a NAIST student due to withdrawal or for other reasons, return your student ID card to the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division without delay.
⑤ Protecting your card:
・Keep your student ID card away from strong magnetic fields or devices (e.g. NMR machines).
・Do not leave your card in hot places (e.g. in a car during summer).
・Do not fold your student ID card.

９－３．Student Personal Report

The information contained in the "Student Personal Report" (Gakusei kojin houkokusho) submitted at the time of enrollment is used for contacting you in case of emergency. If any of the following registration details changes, please inform the Academic Affairs Section of the Educational Affairs Division without delay.

Registration details	・Your address and telephone number (fixed and/or mobile) where you can be reached after enrollment in NAIST ・Information about your place of work (if you are a working student) ・Name of a contact person in case of emergency, person's relationship with you, and his/her address and telephone number

９－４．Procedures and issuance of certificates

○Procedures

When requested by NAIST, by means of a notice on the bulletin board, etc., you should perform the procedures as requested within the specified period. You should also perform the prescribed procedures when necessary for your own personal reasons. Please note that failure or delay in doing so could cause hinder you in many ways and become an inconvenience to other people.

Document to be submitted	When to submit	Contact office
Leave of absence request form (Kyugaku Negai)	When you are to take a leave of absence for three consecutive months or longer by illness,studying abroad,and so on. (If illness is the reason for the leave, a medical certificate should be attached.) * The form should be submitted at least two weeks in advance.	Academic Affairs Section, Educational Affairs Division
Return from leave request form (Fukugaku Negai)	When you wish to return to NAIST before the period of the leave of absence is over. （For those who were absent due to illness, please attach a medical certificate.）	
Return from leave notice form (Fukugaku Todoke)	When you wish to return from leave during your scheduled leave of absence period.	
Withdrawal form (Taigaku Negai)	When you are to withdraw from NAIST * The form should be submitted at least two weeks in advance.	
Change of name form	When your name changes * A residence certificate or other document proving your change of name should also be submitted.	

Student ID card reissue request form	When you have lost your student ID card or your card has become unusable due to damage or dirt	
Overseas travel Notification	When you are to travel overseas for less than three months (except when the travel is needed as part of the regular coursework at NAIST)	Education Planning Section, Educational Affairs Division
Study Abroad Request	When you go studying abroad * The form should be submitted at least two months in advance.	International Affairs Section, International Affairs Division
Plan after completion of course /job (informal employment offer) report form	When you graduate or leave school	Career Services Office
The forms to be submitted to the Educational Affairs Division are available at its counter, or can be downloaded from the intranet and website for NAIST students at: ＜＜NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Documents to be submitted＞＞		

○Notes on procedures for leave of absence or withdrawal

（1） Leave of absence

- You can apply for leave of absence if you are unable to attend school for three consecutive months or longer due to illness or for other justifiable reasons.
- The period of leave of absence is up to one year, however, you may apply for an extension of the period for another one year at the longest, if you have special reasons. To apply for an extension of the period of leave of absence, you are required to submit the leave of absence (extension) request form again, at least two weeks prior to the expiration of the initial period of leave of absence.
- Upon expiration of the period of leave of absence, you are automatically readmitted to NAIST. Please submit “Return from leave notice form.”
- The period of leave of absence does not count toward the standard years of study and years of enrollment.
- Please also indicate when you expect to complete your course after returning to NAIST.
- Some certificates (including certificate of expected completion, certificate of health, and certificate of student travel discount) cannot be issued during the period of leave of absence.
- You cannot use the NAIST Library during the period of leave of absence.
- You do not have to pay tuition fees for the period of leave of absence.

（2） Withdrawal

- If you withdraw from NAIST after having been enrolled in the doctoral course for at least three years, provided your instructor confirms you have received his or her research guidance, you are treated as “having withdrawn from NAIST with the approval of your research instructor” in your personal record.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed.

（３）Common matters

・Permission for both leave of absence and withdrawal is conditioned on payment of the tuition fee.

・Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed except in the following cases:

If leave of absence is permitted, the portion of the tuition fee for the period of leave of absence will be reimbursed.

If you paid the combined tuition fee for the spring and autumn semesters in April, and are permitted to withdraw from NAIST before the beginning of the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester will be reimbursed.

・The deadline for submitting the form is two weeks prior to the date you wish to take leave of absence or withdraw. If you fail to submit the form by the deadline, the date of permission will be in the following month.

・In principle, a request for leave of absence or withdrawal should be made on a semester by semester basis.

Leave of absence: The period should commence from April or October and end at the end of September or March, in principle.

Withdrawal: The date you wish to withdraw from NAIST should be the end of September or March.

・You should indicate the reason for the leave of absence or withdrawal in the form in detail; “for personal reasons” cannot be accepted.

Leave of absence: If you take leave of absence due to illness, a medical certificate should be attached. If the reason is “pressure of business,” indicate the name of your workplace.

・Please consult with Health Care Center for your health checkup, soon after you come back from leave of absense.

・Note that you may be required to move from NAIST’s dormitory or take procedures to stop payment of scholarship.

○Certificates that are automatically issued

You can use the automatic certificate issuing machine to have the following certificates issued within the same day: certificate of enrollment, certificate of expected completion, certificate of academic record, certificate of completion, certificate of health and certificate of student travel discount. For conditions of issuance of these certificates, please refer to the following table.

Certificate	Conditions of issuance	Service hours and location of the automatic certificate issuing machine
Certificate of enrollment(Japanese/ English)	Not issued to non-regular students, including research fellows.	Service hours: 7:30 am to 7:00 pm Monday to Friday (excluding national holidays and year-end holidays) Please apply for certificates in advance, as the machine may not be working outside of normal office hours
Certificate of expected completion(Japanese/ English)	Students should have been enrolled in the master’s course for at least six months or be in the second year in the doctoral course to apply for this certificate.	
Certificate of completion of Master’s course (Japanese/ English)	Only available for those who have proceeded to the doctoral course internally from the master’s course at NAIST.	

Certificate of academic records of Master's course (Japanese/ English)		Location: Entrance lobby of NAIST Library
Certificate of academic record (Japanese/ English)	The certificate of academic record is an official certificate issued in the name of the Dean of the Graduate School that does not include failed courses.	
Academic record (Japanese/ English)	The academic record is issued for students to check their academic performance including failed courses.	
Certificate of health(Japanese only)	The certificate is issued only to those who have completed all annual health checkups. Students admitted to NAIST from the autumn semester will be issued the certificate after taking the annual health checkup in the following year.	
Certificate of student travel discount (Japanese only)	・Up to 10 certificates are issued per student annually. ・The certificate is valid for three months. (Not issued to non-regular students, including research fellows and students on leave of absence.)	

○Certificates issued over-the-counter

If you need certificates other than those issued by the automatic certificate issuing machine, apply at the Student Support Section of the Educational Affairs Division using the prescribed application form. You should apply well in advance, as some certificates take time to issue.

９－５．Commuter certificate

○Student commuter pass

To buy a student commuter pass between your place of residence and NAIST, fill in your student number, name and address in a commuter pass application form (Tsuugaku teiki joshaken hakko hikae) distributed at the beginning of each academic year, and present the form together with a commuter pass purchase form and your student ID card to a train station with a commuter pass office. (If there is no more space on your commuter pass application form, please apply at the Educational Affairs Division for an additional copy.)

The nearest Kintetsu stations designated by NAIST are Takanohara Station on the Kyoto Line, Gakuenmae Station on the Nara Line, and Gakken-Kita-Ikoma Station on the Keihanna Line.

○Student commuter passes for commuting to off-campus facilities

If you are going to work at off-campus facilities as part of your study at NAIST and need a student commuter pass for that purpose, you should apply at the Student Support Section of the Educational Affairs Division to have a commuter certificate issued. The application should be

submitted at least one month before starting work at the off-campus facilities (the certificate takes longer to issue because we must obtain approval from the railway company).

* Non-regular students, including research fellows and students on leave of absence, cannot purchase student commuter passes.

９－６．Scholarships of private organizations

Students will be informed of scholarship programs offered by private organizations whenever applications are invited.

９－７．Tuition fee exemption

NAIST offers a tuition fee exemption program, under which students selected from among applicants are exempt from payment of all or part of tuition fees provided that: the student has difficulty in paying tuition fees for financial reasons and is recognized for academic excellence; or the student has extreme difficulty in paying tuition fees because of the death of the person who would normally have paid the tuition fee within one year prior to his or her admission to NAIST or due to damage by natural disasters to the student or the person who would normally have paid the tuition fee. For details about application procedures, please inquire at the Student Support Section of the Educational Affairs Division.

９－８．Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS)

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (Gakkensai) insures students enrolled in national, public, and private universities in Japan against unexpected physical injuries they may suffer while attending lectures, university events, extracurricular activities, taking a break on campus, or traveling to and from university or off-campus facilities for research/educational purposes. At NAIST, all students are required to take out the Gakkensai insurance as part of enrollment procedures. For more details about the Gakkensai insurance, please refer to the booklet.

Course	Insurance premium	Insurance period *
Master's course	1,750 yen	2 years
Doctoral course	2,600 yen	3 years

* Valid until March 31 in expected year of graduation for students admitted in April and until September 30 in expected year of graduation for students admitted in October.

９－９．Liability Insurance coupled with PAS

All students are also required to take out the Personal Liability Insurance for Students (Gakkenbai). This optional coverage insures students against third-party liability for damage caused by the student to others or their property while attending lectures, university events, extracurricular activities or traveling to and from university facilities, both on- and off-campus. For more details about the Gakkenbai insurance, please refer to the booklet.

Course	Insurance premium	Insurance period *
Master's course	680 yen	2 years
Doctoral course	1,020 yen	3 years
Amount of coverage ：Up to 100 million yen per incident		

* Valid until March 31 in expected year of graduation for students admitted in April and until September 30 in expected year of graduation for students admitted in October.

9－10. Student dormitories (Campus map 13)

Student dormitories are located within the campus of NAIST as shown below.

[Outline of student dormitories]

Type	Single-person occupancy	Couple occupancy	Family occupancy
Structure	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building
No. of residential units	559	50	10
Floor area	13 ㎡	36.98 – 41.45 ㎡	51.56 ㎡
Fixtures	Desk, bed, mini kitchen, toilet, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner ,etc.
Common facilities	Bath, laundry, lounge, etc.	―――――	―――――
Dormitory fee	5,900 yen/month	11,900 yen/month	14,200 yen/month
Common service charge	4,100 yen/month	600 – 1,100 yen/month	1,100 yen/month
Utility charge	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant

9－11. Dwellings rented by NAIST for students

NAIST also rents apartment complexes (Nakatomi Daisan Danchi, Tomio Danchi and Heijo Daiichi Danchi) owned by the Urban Renaissance Agency, and rents them out to students upon application. If you are interested, please inquire at the Student Support Section of the Educational Affairs Division for details.

9－12. Parking a car and bicycle

○Commuting by car

You are not allowed to drive a car on the premises of NAIST. Please park your car in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. The parking fee must be paid in cash (300 yen per day) or using a parking pass. Please note that the first time you buy a parking pass, you should buy it at the Foundation for Nara Institute of Science and Technology (in Takayama Science Plaza) at the north of the public parking lot in the Takayama District. Anytime after that, you can buy the pass at the convenience store on the first floor of the University Union.

- Parking pass fee (for students): 1,500 yen per month, 4,000 yen per three months, 7,500 yen per six months

○Commuting by bicycle and motorcycle

You are not allowed to ride a bicycle or motorcycle on the premises of NAIST. Please park your bicycle or motorcycle in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. Parking is free.

If you wish to use the parking lot, you must register at the Student Support Section of the Educational Affairs Division. Parking of bicycles and motorcycles in the parking lot without registration constitutes illegal parking, and such bicycles and motorcycles will be removed.

9－13. Student welfare facilities

○University Union (Campus map 3)

University Union houses a restaurant, tea room, convenience store, and healthcare center for the welfare of students and faculty members of NAIST.

○Social venue for researchers: Guesthouse Sentan (Campus map6)

The guesthouse Sentan is a facility for faculty/staff and students as well as visiting researchers. For more details, please refer to the website of NAIST.
http://www.naist.jp/en/campuslife/recreational_facilities/sentan.html
[Accommodation] Reservations: Welfare Section of Personnel Division
[Assembly Hall] Reservations: Welfare Section of Personnel Division
[Fitness Room] No reservation needed to use the fitness room.

○Sports facilities

Students and faculty members of NAIST may use the following sports facilities for free.

Facilities	Open hours	Selection by drawing
Athletic field	8:00 am to sunset	Successful applicants are selected by ballot, which is held on the 20th day of the preceding month (or the following weekday if the day falls on a Saturday, Sunday or national holiday). Venue of ballot: Lobby on the first floor, Interdisciplinary Frontier Research Complex No.2 Time of ballot: 9:00 am
Volleyball/basketball court	8:00 am to 10:00 pm	
Tennis court	weekdays 8:00 am to sunset weekends,holidays 7:00 am to sunset	
Tennis court (with lighting)	weekdays 8:00 am to 9:00 pm weekends,holidays 7:00am to 9:00 pm	

You can also rent sporting goods for tennis, softball, etc. and barbecue equipment.

For details about using the sports facilities, please inquire at the Student Support Section of the Educational Affairs Division.

9－14. Student Consultation, Our various counseling service systems

○Student Consultation

Graduate students are faced with a variety of different problems and worries in the course of their everyday lives. In order to give support to students facing problems, each graduate school, the Health Care Center, and the Educational Affairs Division, has a Miscellaneous Consultation for Students office with consultation staff on hand. As well as providing advice for the solution of problems, consultation staff can also point consults to an appropriate consultation office. So don't keep your troubles to yourself. If you have any worries, please talk them over with Miscellaneous Consultation for Students staff. Strict confidentiality is maintained regarding the content of all consultations. For more details about consultation staffs, please refer to the website of NAIST.

＜＜NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Student Consultation＞＞

○Consulting Issues Related to Harassment

Harassment is behavior which violates a person's human rights by unwanted verbal and/or physical conduct that hurts the person's sense of self. There are primarily five types of harassment:

Sexual Harassment	Academic Harassment	Power Harassment
Harassment related to leave due to pregnancy, birth and child-care, etc.		Moral Harassment

In our University, we have harassment consultants to deal with complaints and consultation needs related to harassment. If you have any complaints or issues, feel free to contact a consultant by phone or e-mail. For more details regarding harassment consultants etc., please refer to the University's homepage.

＜＜NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Consulting Issues Related to Harassment＞＞

○Counseling regarding course content

We have office hours for you to help deepen your understanding of the courses offered. During office hours, students can visit the laboratories of our teaching staff overseeing the courses and ask questions about the courses or consult the teaching staff. As the office hour schedules and contact methods are established by each professor please check the corresponding page on each subject's syllabus. Check the course syllabus at:

＜＜NAIST TOP PAGE → For Students (Internal Only) → Academic Affairs → Online Syllabus System＞＞

○Counseling related to research guidance

If you have issues related to education and research, you can consult one of your research supervisors. (This university has adopted a system whereby each student is assigned multiple research supervisors.)

9－15. Other matters

○Counter hours of the Educational Affairs Division

8:30 – 17:30 (except 12:00 – 13:00) (except Saturdays, Sundays, national holidays, foundation day of NAIST, Office closing days for summer, and December 29 to January 3)

In case of emergency, you can enter the office, if open, even before or after the counter hours.

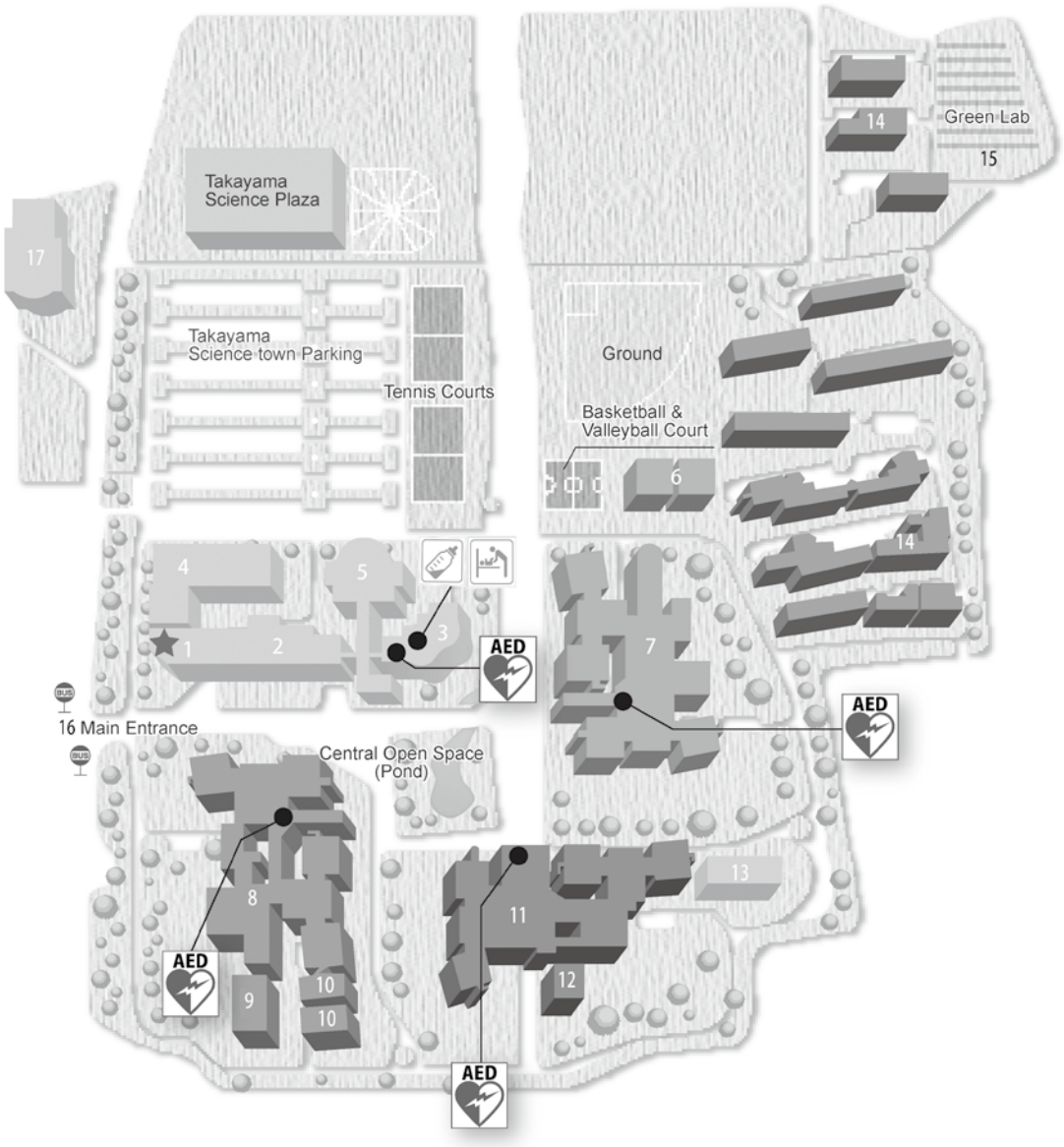
○Notification from NAIST

NAIST notifies students of necessary information by e-mail or through the bulletin board. Private notices will usually be sent by e-mail. Please check incoming e-mails carefully: If you overlook important information sent by NAIST such as a request to submit an application, you may suffer a disadvantage.

○Website for students [https://ad-info.naist.jp/member/]

You can access the website for students by clicking "Internal Only" on NAIST's website. This website contains various useful information, including announcements (the latest updates), Academic affairs (curriculum, notice to students for the academic records, changes of class schedule), an online English study system (ALC NetAcademy) and job information.

９－16. Campus Map



①Administration Bureau
②Library
③University Union / Health Care Center
④Interdisciplinary Frontier Research Complex No.2
⑤Millennium Hall
⑥Guesthouse Sentan
⑦Information Science Complex /
Data Science Center
Information Initiative Center
⑧Biological Science Complex /
Research and Education Center for Genetic Information
⑨Animal Experimentation Facility
⑩Botanical Greenhouses
⑪Materials Science Complex /
Research and Education Center for Materials Science
⑫Bio Nano Process Laboratory
⑬Interdisciplinary Frontier Research Complex No.1
⑭Student Dormitories / Staff Residences
⑮Green Lab
⑯Main Entrance
⑰Administration Bureau Annex

10 Regulations of Nara Institute of Science and Technology, etc

In reference to the regulations of Nara Institute of Science and Technology, etc as of April, 2019:

A. The current regulations are those as of February, 2019

B. For more information see the NAIST homepage.
(http://reiki.naist.jp/kiyaku/)

C. This translation is for reference purposes only. Should any discrepancies arise between the English and Japanese versions, the Japanese version is the authoritative version, thus the Japanese version will be deemed valid.

Regulations
of
Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 1

Table of Contents

I. General Provisions (Articles 1 to 3)
II. Educational and Research Organization (Articles 4 to 11)
III. President, Vice President, Deans, etc. (Articles 12 to 19)
IV. Faculty Council (Article 20)
V. Admission Capacity and Enrollment Capacity (Article 21)
VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days (Articles 22 to 24)
VII. Admission (Articles 25 to 30)
VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment (Articles 31 to 32)
IX. Education at Graduate School (Articles 33 to 40)
X. Course and Degree Requirements (Articles 41 to 46)
XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Withdrawal, and Expulsion (Articles 47 to 53-2)
XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees (Articles 54 to 65)
XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students, Research Students and Undergraduate Internship Students (Articles 66 to 69-2)
XIV. Recognition and Punishments (Articles 70)
XV. Student Dormitories (Article 71)
XVI. Open Lectures (Article 72)
Supplementary Provisions

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) aims to promote cutting-edge research activities and train skilled personnel through advanced education based on the results of such research activities, thereby contributing to the advancement of science and technology and prosperity of society.

Article 2 (Self-assessment)

1. NAIST shall inspect and assess educational and research activities conducted internally (“Self-assessment”) and make the results of the Self-assessment publicly available, in order to raise NAIST’S education and research standards and achieve the goals and social mission described in the foregoing article.
2. NAIST shall have the results of the Self-assessment examined by third party reviewers.
3. Matters concerning implementation of the Self-assessment shall be provided for separately.

Article 3 (Active provision of information)
NAIST shall actively provide information on its educational and research activities through publications or other suitable means.

II. Educational and Research Organization

Article 4 (University with graduate school curriculum)
NAIST is a university with graduate school curriculum only.

Article 5 (Graduate School and department)
The graduate school and its department shall be established as shown in the following table.

Graduate School	Department
Graduate School of Science and Technology	Department of Science and Technology

Article 6 (Objectives of the Graduate School)
The Graduate School promotes world-leading research in the core fields of advanced science and technology, information, biological, and materials science, and their interdisciplinary areas, and, while pursuing the development and fusion of this research and the exploration of new research fields, will aim to foster human resources with 'aggressiveness, comprehensive skills and knowledge, integrative abilities, and a global outlook' to undertake the solving of the problems facing society and our future, and the new developments in advanced science and technology, through the structured education based on NAIST's research achievements.

Article 7 (Faculty)
1. The Graduate School has an academic faculties.
2. Matters relating to the academic faculty shall be provided for separately.

Article 8 (Courses and their purposes)
1. The Graduate School of NAIST have doctoral courses.
2. Each doctoral course consists of a first course ("Master's Course") and a latter course ("Doctoral Course").
3. The Master's Course aims to equip students with profound academic knowledge from broad perspectives, and help students develop the ability to conduct advanced research in their fields of specialty or engage in professions that require highly specialized skills.
4. The Doctoral Course aims to help students develop the ability to conduct advanced research activities on their own, and research skills of the highest level necessary for highly sophisticated professions, and to foster profound academic knowledge indispensable for such research activities and professions.

Article 8-2 (Education Programs)
1. The Doctoral Course and the Master's Course have each of the following Education Programs:
Information Science and Engineering
Computational Biology
Biological Science

Bionanotechnology
Materials Science and Engineering
Intelligent Cyber-Physical Systems
Data Science
2. Matters relating to the Education Programs shall be provided for separately.

Article 9 (Information Initiative Center)
1. NAIST has an Information Initiative Center.
2. Information Initiative Center has a NAIST Library.
3. Matters relating to the Information Initiative Center shall be provided for separately.

Article 10 (Collaborative educational and research institutions)
1. NAIST has the following common educational and research institutions:
(1) Research and Education Center for Genetic Information
(2) Research and Education Center for Materials Science
2. Matters relating to the collaborative educational and research institutions shall be provided for separately.

Article 11 (Health Care Center)
1. NAIST has a Health Care Center.
2. Matters relating to the Health Care Center shall be provided for separately.

III. President, Vice President, Deans, etc.

Article 12 (Organization)
1. The organization of NAIST consists of the following members:
President
Vice President
Dean of the Graduate School
Division Directors
Deputy Directors of the Divisions
Director of Information iniTiative Center (ITC)
Directors of collaborative educational and research facilities
Director of the Research and Education Center for Genetic Information
Director of the Research and Education Center for Materials Science
Director of the Data Science Center
Director of Health Care Center
Faculty members
General staff members
Other staff members
2. The faculty members of NAIST consist of professors, associate professors, lecturers, assistant professors, and research associates.
3. General staff members of NAIST consist of administrative staff, technical staff, nurses and academic staff.

Article 13 (President)
The President shall be responsible for management of internal affairs at NAIST and supervision of all faculty and staff members thereof.

Article 14 (Vice President)
The Vice President shall be responsible for supporting the President and, upon receiving authorization from the President, be responsible for management of affairs at NAIST.

Article 15 (Dean of Graduate School)
The Dean shall be responsible for the operation of the Graduate School.

Article 16 (Division Directors)
Each Division Director shall be responsible for supporting the Dean of the Graduate School and the operation of the respective division.

Article 16-2 (Division Deputy Directors)
Each Division Deputy Director shall be responsible for supporting the Division Director.

Article 17 (Director of Information iniTiative Center (ITC))
The Director of the Information iniTiative Center (ITC) shall be responsible for administration of the Information iniTiative Center (ITC).

Article 18 (Directors of the collaborative educational and research facilities)
Each Director of the collaborative educational and research facilities shall be responsible for affairs of their respective facility.

Article 19 (Director of Health Care Center)
The Director of the Health Care Center shall be responsible for its administration.

IV. Faculty Council

Article 20 (Faculty Council)
1. The Graduate School has a Faculty Council.
2. The Faculty Councils shall be responsible for expressing opinions concerning the following items which the president deliberates:
   (1) Student admission and course completion
   (2) Degree conferment
   (3) Arrangement of curriculum
   (4) Student recognition and punishment
3. In addition to the items stipulated in the foregoing subsection, the Faculty Councils may also discuss the following areas concerning the education and research governed by the President and the Deans, and present opinions concerning these upon request of the president and/or Deans.
   (1) Matters relating to student registration at and credits from other institutions

(2) Matters relating to the acceptance of special auditing students, special research students, non-degree students, research students and undergraduate internship students

(3) Matters relating to agreements concluded by the Graduate School

(4) Matters relating to laboratory establishment, reorganization and closing

(5) Matters relating to required Graduate School evaluation and assessments pertaining to university appraisal

(6) Other matters relating to education and research

4. The Faculty Council shall consist of full-time and associate professors engaged in educational or research activities of the Graduate School. However, the Dean of the Graduate School may invite faculty members involved in educational or research activities of other Graduate Schools to join its Faculty Council when deemed necessary.

5. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, members of the Faculty Council who are on an official trip abroad, on leave of absence or absent for other reasons may be removed from the Faculty Council.

6. The Dean of the Graduate School shall serve as Chairperson of the Faculty Council.

7. The Chairperson of each Faculty Council shall preside over the council's meetings.

8. In case the Chairperson has become unable to serve his or her role, the Division Deputy chosen in advance by the Dean shall act as the chairman in place of him or her.

9. For the Faculty Council meetings and resolutions to be valid, a majority of all the members thereof shall be present.

10. Resolutions at Faculty Council meetings shall be passed with assenting votes of a majority of the faculty members present at the meeting. In case of a tied vote, the Chairperson shall cast the deciding vote.

11. The Dean may invite individuals who are not Faculty Council members to attend council meetings if he or she deems it necessary to do so.

Article 20-2 (Representative Council)

1. The Faculty Council shall have a Representative Council consisting of those chosen from members the Faculty Council, as designated by the Faculty Council

2. The Faculty Council may make resolutions using the Representative Council resolutions, as designated by the Faculty Council.

V. Admission Capacity and Enrollment Capacity

Article 21 (Admission and enrollment capacity)

The admission capacity and enrollment capacity of the Graduate School of NAIST shall be as shown in the attached table.

VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days

Article 22 (Academic year)

1. At NAIST, the academic year shall commence on April 1 and end on March 31 of the following year.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the academic year shall commence on October 1 and end on September 30 of the following year for students who are admitted to NAIST in the autumn semester.

Article 23 (Semesters)
The academic year specified in the foregoing article shall consist of:
(1) Spring semester (from April 1 to September 30), and
(2) Autumn semester (from October 1 to March 31 of the following year).

Article 24 (Closed days)
1. NAIST shall be closed on the following days:
(1) Sunday and Saturday
(2) Days designated as national holidays under the Public Holiday Law (1948 Law No. 178)
(3) Anniversary of the founding of NAIST (October 1)
(4) Spring, summer and winter holidays
2. Details about the spring, summer and winter holidays in the foregoing subsection (4) shall be provided for separately.
3. The President may designate temporary closed day(s) if he deems it necessary to do so.
4. Regardless of Article 1, classes may be held on holidays when deemed necessary for educational purposes by the dean.

VII. Admission

Article 25 (Applicant qualifications)
1. Admission to the Master's Course is granted to individuals who:
(1) Have graduated from a university stipulated in Article 83-1 of the School Education Law (1947 Law No. 26)
(2) Have been awarded a bachelor's degree pursuant to Article 104-4 of the School Education Law
(3) Have completed the equivalent of a 16-year course of school education abroad
(4) Have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 16-year course of school education of the foreign country where the school is located
(5) Have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 16-year course of school education in the country
(6) Have completed the specialized course offered by a special training school that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, on or after the day specified by the Minister, provided that the said course shall be a four-year or longer course, and meet all the other criteria set forth by the Minister
(7) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 155-1 (6), of the Enforcement Regulations for the School Education Law (1947 Ordinance of the Ministry of Education No. 11)
(8) Fall into any of the following categories and are recognized by NAIST as having earned the necessary credits with outstanding academic grades:
(a) Individuals who have been enrolled in university for at least three years
(b) Individuals who have completed the equivalent of a 15-year course of school education abroad

(c) Individuals who have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 15-year course of school education of the foreign country where the school is located

(d) Individuals who have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 15-year course of school education in the country

(9) Have been enrolled in graduate school before pursuant to Article 102-2 of the School Education Law and are recognized by NAIST as having adequate academic ability to be educated at the Graduate School thereof

(10) Have been recognized by NAIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate and are at least 22 years of age

2. Admission to the Doctoral Course is granted to individuals who:

(1) Have been awarded a master's degree or a professional degree specified in Article 5-2 of the Rules for Degrees (1953 Ordinance of the Ministry of Education No. 9) pursuant to Article 104-1 of the School Education Law ("Professional Degree")

(2) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree abroad

(3) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a correspondence course in Japan offered by a foreign school

(4) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a course of an educational institution in Japan that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign graduate school in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(5) have completed their degree by March 2016 by graduating from the United Nations University established under the resolution of the United Nations General Assembly on December 11, 1972 as stipulated in subsection 2, Article 1 of the Special Measures Incidental to Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University Act (Act No.72 of 1976).

(6) have been recognized as having achieved at least the academic equivalence of a Master's degree through an educational program of ① a foreign educational institute, ② educational institutions which have received the designation in (4) above, or ③ the United Nations University and have passed the equivalent examination and screening process as stipulated in the subsection 2, Article 16 of the Standards for the Establishment of Graduate School (Act No. 28, 1974).

(7) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 155 (6), of the Enforcement Regulations for the School Education Law

(8) Have been recognized by NAIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a master's degree or Professional Degree holder and are at least 24 years of age

3. Methods for implementing entrance screening, etc., set forth in subsection 1 (10) and subsection 2 (6), hereof shall be stipulated separately.

Article 26 (Timing of admission)

Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester.

Article 27 (Application for admission)
To apply for admission to NAIST, an admission application form shall be submitted together with designated documents to the President of NAIST.

Article 28 (Screening)
Applicants for admission to NAIST shall be screened by the procedures set forth separately.

Article 29 (Enrollment procedures and admission)
1. Applicants who have received notification of acceptance as a result of the screening specified in the foregoing article shall submit the designated documents to be admitted to NAIST.
2. The President shall admit applicants to NAIST upon completion of the procedures set forth in the foregoing subsection.

Article 30 (Admission to Doctoral Course)
Subject to screening by the Faculty Council, the President shall admit students to the Doctoral Course upon completion of the Master's Course of NAIST.

VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment

Article 31 (Standard terms of study)
The standard terms of study at the Master's Course and Doctoral Course shall be two years and three years, respectively.

Article 31-2 (Standard terms of study)
1. When students apply to pursue a course of study in a planned manner over a certain period that exceeds a standard term of study stipulated in the foregoing article (hereinafter referred to as "Long-term Course), due to circumstances such as employment, approval for the Long-term Course may be given by the President.
2. Necessary matters related to Long-term Courses shall be stipulated separately.

Article 32 (Maximum years of enrollment)
Maximum years of enrollment in the Master's Course and Doctoral Course shall be four years and six years, respectively.

IX. Education at the Graduate School

Article 33 (Graduate school education)
Education at the Graduate School shall be provided by means of lectures on subjects and guidance on writing theses ("Research Guidance").

Article 34 (Courses, credits, and registration procedures)
The courses to be taught as set forth in the foregoing article, the credits allotted to the said courses, and registration procedures shall be provided for separately.

Article 35 (Calculation of credits)

1. Based on the general rule that one credit shall be composed of a total of 45 hours of studying by students, the following basis shall be adopted for calculating credits at NAIST, taking into consideration the educational effects and hours required for off-campus studying, which vary depending on how the subject is taught:

(1) For lectures and seminars, one credit shall require from fifteen up to thirty class hours.

(2) For experiments and practical classwork, one credit shall require from thirty up to forty-five class hours.

(3) When a combination of two or more methods of lectures, seminars, experiments, or practical classwork is employed for a course, one credit shall consist of class hours determined in light of the standards stipulated in the foregoing two subsections, in accordance with the combination of such methods.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the number of credits to be allotted to thesis writing and thematic research may be determined upon consideration of the amount of study needed therefor, if it is deemed appropriate to award credits based on an evaluation of the results of the study.

Article 35-2 (Publication of Standards for Evaluating Grades)

1. The Graduate School shall present to students, in advance, a clear outline of the methodology and contents of classes and Research Guidance, as well as a class and Research Guidance schedule for the year.

2. The Graduate School shall, when assessing students' academic achievement and theses and approving their completion, present them with a clear outline of the standards therefor, in advance, so as to ensure objectivity and rigidity, and shall conduct an assessment and approval process appropriately in accordance with said standards.

Article 35-3 (Organized Training for Improving Educational Contents)

1. NAIST shall conduct organized training and research for improving the contents and methodology used to give classes and Research Guidance.

2. Necessary matters related to organized training for improving educational contents shall be stipulated separately.

Article 36 (Awarding of credits)

Students who have completed each course can earn credits therefor upon passing the examination or acceptance of a research report.

Article 37 Deleted

Article 38 (Studying in a graduate school outside of NAIST)

1. Contingent on prior consultation with the graduate school offering classes, students may take a course offered by a graduate school outside of NAIST if the Dean of the Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council.

2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.

3. The period of studying at another graduate school pursuant to subsection 1 of this article shall be counted toward the period of study at NAIST.

4. The provisions of the foregoing three subsections shall apply to cases in which students take classes from ① a correspondence program offered by a foreign school in Japan ② a foreign graduate school in compliance with the school education system of that country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or ③ the United Nations University graduate program.
5. Matters relating to taking of courses of other graduate schools shall be provided for separately.

Article 38-2（Approval of credits for courses completed at a foreign university during a leave of absence)
1. Students may earn credits for courses completed at foreign universities during a leave of absence if the Dean of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council of the Graduate School.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.

Article 39 (Treatment of credits earned prior to admission to NAIST)
1. Credits that a student has earned at a graduate school prior to admission to NAIST, including credits that have been earned by the student as a non-degree student as defined in the Standards for the Establishment of Graduate Schools (1974 Ordinance of the Ministry of Education No. 28), may be treated as credits that have been earned by the student at NAIST after his or her admission thereto, if the Dean of the Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council.
2. The number of credits that have been earned at another graduate school but are treated as having been earned at NAIST pursuant to the foregoing subsection shall not exceed ten.
3. Other matters relating to credits earned prior to admission to NAIST shall be provided for separately.

Article 40 (Research Guidance at another graduate school)
1. Contingent on prior consultation with the graduate school or research institution, students may receive Research Guidance offered by the graduate school or research institution outside of NAIST as needed if the Dean of the Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to screening by the Faculty Council. However, the period during which students enrolled in the Master's Course are allowed to receive Research Guidance at another graduate school or research institution shall not exceed one year.
2. Research Guidance that students receive from another graduate school or research institution pursuant to the foregoing subsection may be treated as Research Guidance received by the students at the Graduate School of NAIST.
3. The period during which students receive Research Guidance pursuant to subsection 1 of this article shall be counted toward the period of study at NAIST.
4. Matters relating to Research Guidance at another graduate school or research institution shall be provided for separately.

X. Course and Degree Requirements

Article 41 (Requirements for completion of Master's Course)
1. To complete the Master's Course, students shall have been enrolled in the Master's Course for the standard term of study at the shortest, earn at least thirty credits in the subjects designated by the Graduate School, receive necessary Research Guidance, and pass the master's thesis evaluation and examination.

However, students who have achieved outstanding research results may complete the Master's Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. Pursuant to the provision of the foregoing subsection, an examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis evaluation if the Dean of the Graduate School deems it appropriate to do so.

Article 42 (Requirements for completion of Doctoral Course)
1. To complete the Doctoral Course, students shall have been enrolled in the Doctoral Course for the standard term of study at the shortest, receive necessary Research Guidance, and pass the doctoral thesis evaluation and examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. The part of the provision of the foregoing subsection that reads "However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study" shall read "However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for the period of three years less the period of enrollment in the Master's Course at the shortest, instead of the standard term of study," to apply to students who have completed the Master's Course at NAIST in one year at the shortest pursuant to subsection 1 of Article 41, or who have completed the master's course of a graduate school outside of NAIST taking between one and two years.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, for students who have been admitted to the Doctoral Course after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a master's degree holder pursuant to Article 156 of the Enforcement Regulations for the School Education Law, the requirements for completion of the Doctoral Course shall be: enrollment in the said course for three years at the shortest, receipt of necessary Research Guidance, and passing of the doctoral thesis evaluation and examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of three years.

Article 43 (Approval of completion)
Approval of completion of the Master's Course and Doctoral Course shall be given by the President, subject to screening by the Faculty Council.

Article 44 (Awarding of degrees)
1. Students who have completed the Master's Course or Doctoral Course shall be awarded a master's degree or doctoral degree, respectively.
2. In addition to the provision of the foregoing subsection, a doctoral degree shall be awarded to individuals who have submitted a doctoral thesis to NAIST, passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of an individual who has completed the Doctoral Course at NAIST.
3. Matters relating to awarding of degrees shall be provided for separately.

Article 45 (Timing of completion)

1. The Master's Course and Doctoral Course shall be completed at the end of each semester.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the Master's Course and Doctoral Course may be completed during a semester if deemed necessary by the President.

Article 46 (Teaching qualifications)
1. Students who wish to obtain teaching qualifications shall earn the credits specified by the Teacher's Certificate Law (1949 Law No. 147) and the Enforcement Regulations for the Teacher's Certificate Law (1954 Ordinance of the Ministry of Education No. 26).
2. Teaching qualifications that can be obtained at the Graduate School of NAIST are as shown in the following table.

Graduate School of Science and technology	Department of Science and Technology	Teaching qualifications	Subject
		Junior high school qualifications	Science
		High school qualifications	Science Information

XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Withdrawal, and Expulsion.

Article 47 (Leave of absence)
1. A student who must be absent from school for three consecutive months or longer due to illness, or for other reasons deemed justifiable by the President, may take a leave of absence with President's permission.
2. The President may order a student who is recognized to be too ill to attend school to take leave of absence.
3. When the grounds for the leave of absence have been resolved, the student may return to school with permission of the President.
4. The period of leave of absence shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to another one year if there is any justifiable reason.
5. The period of leave of absence shall not exceed two years in total during enrollment in the Master's Course or Doctoral Course, respectively.
6. Notwithstanding the provision of subsections 4 and 5, a student may be given special permission to take a leave of absence if deemed appropriate by the President.
7. The period of leave of absence shall not be counted toward the standard term of study specified in Article 31 and the minimum years of enrollment specified in Article 32.

Article 48 (Study abroad)
1. A student who wishes to study at a graduate school or research institution abroad shall obtain permission of the President in advance.
2. The provisions of Article 38 and Article 40 shall apply for the treatment of credits earned during study abroad.

Article 49 (Readmission)
1. An individual who withdrew or was expelled from NAIST in the past and wishes to be readmitted to the Graduate School of NAIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities

of the Graduate School.
2. If readmission is permitted pursuant to the foregoing subsection, the Dean of the Graduate School shall decide whether to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements, subject to screening by the Faculty Council.

Article 50 (Transfer from another Graduate school)
1. A student who is enrolled in another graduate school outside of NAIST and wishes to transfer to NAIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of NAIST.
2. If transfer to NAIST is permitted pursuant to the foregoing subsection, the Dean of the Graduate School shall decide whether to count credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements, subject to screening by the Faculty Council.
3. The provisions of the foregoing two subsections shall apply to cases in which students are enrolled in a foreign graduate school in compliance with the school education system of that country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (limited to schools stipulated in subsection 1, Article 102 of the School Education Law), or the United Nations University graduate program.

Article 51 (Transfer to a graduate school outside of NAIST)
1. A NAIST student who wishes to transfer to a graduate school outside of NAIST shall obtain permission of the President in advance.
2. If transfer to a Graduate School outside of NAIST is permitted pursuant to the foregoing subsection, it shall apply to cases in which students will enroll in a foreign graduate school in compliance with the school education system of that country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or the United Nations University graduate program.

Article 52 Deleted

Article 53 (Withdrawal)
A NAIST student who wishes to withdraw from NAIST shall obtain permission of the President in advance.

Article 53-2 (Expulsion)
A student shall be expelled from NAIST if he or she:
(1) Has been enrolled in NAIST for longer than the period specified in Article 32.
(2) Has been on leave of absence for longer than the period stipulated in Article 47, subsections 5 and 6.
(3) Has failed to pay the admission fee by the due date if the student has not been exempted from payment of the admission fee, has been exempted from payment of part of admission fee, has been allowed delayed payment of the admission fee, or has the payment exemption withdrawn.
(4) Has failed to pay the tuition fee by the due date and still not paid it even after receiving a reminder.
(5) Has been declared missing.
(6) Has deceased

XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees

Article 54 (Amounts of the entrance examination, admission and tuition fees)

1. The entrance examination, admission and tuition fees shall be as shown in the following table.

Entrance examination fee	Admission fee	Annual tuition fee
30,000 yen	282,000 yen	535,800 yen

2. The tuition fee to be collected from students whose participation in a Long-term Course has been approved (hereinafter referred to as "Long-term Course Student") shall be the amount resulting from multiplying the annual tuition fee stipulated in the foregoing subsection by the number of years of the appropriate standard period of study and then dividing it by the number of years of the period of study approved for the individual student (hereinafter referred to as "Long-term Course Period"; when this amount contains an amount of less than 10 Yen, the amount shall be rounded up to the nearest multiple of ten.), notwithstanding the foregoing stipulation. However, the amount of annual tuition fee to be collected from students who were approved for the Long-term Course after enrolling into NAIST (including those whose Long-term Course Period was approved for extension, as stipulated separately) shall be the amount resulting from dividing the amount achieved from multiplying the annual tuition fee in the foregoing section by the number of years of the appropriate standard period of study and subtracting the total amount previously paid for annual tuition fees, by the number of years of the Long-term Course period minus the number of years already enrolled at NAIST (For those whose Long-term Course Period was approved for extension, the original period enrolled at NAIST (If in the middle of the academic year, until that year has ended) hereinafter the same.) (When this amount contains an amount of less than 10 Yen, the amount shall be rounded up to the nearest multiple of ten.)

Article 55 (Payment of the entrance examination fee)

1. Individuals who apply for admission, readmission or transfer to NAIST shall submit an application form and pay the entrance examination fee at the same time.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, students who apply for admission by recommendation in accordance with Article 4 of MEXT Guidelines for International Scholarship Student System Implementation shall not have to pay entrance examination fees.

Article 56 (Payment of the admission fee)

1. Individuals who are to be admitted, readmitted or transferred to NAIST shall pay the admission fee by the due date specified by NAIST.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, MEXT Scholarship Students (as defined in Article 2 of MEXT Guidelines for International Scholarship Student System Implementation) shall not have to pay admission fees.

Article 57 (Payment of the tuition fee)

1. Students shall pay the annual tuition fee in two equal installments for the spring semester (from April to September) and the autumn semester (from October to March of the following year).
2. The due dates of the tuition payment shall be in May and November except when delayed payment is permitted pursuant to Article 63.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, students, by submitting an application, may pay the tuition fee for the autumn semester at the same time as paying the tuition fee for the spring semester.

4. Notwithstanding the foregoing provisions of subsections 1 and 2, students may, by submitting an application, pay the tuition fee for the spring semester or for the spring and autumn semesters of the year of admission, at the time when accepted for admission.
5. Notwithstanding the provision of subsection 1, MEXT Scholarship Students (as defined in Article 2 of MEXT Guidelines for International Scholarship Student System Implementation) shall not have to pay tuition.
6. When the Long-term Course Period is to be shortened, as separately stipulated, the amount of tuition to be collected at the time of approval for the shortening of the Long-term Course Period shall be the amount resulting from multiplying the annual tuition fee determined in accordance with subsection 2 of Article 54 of these regulations by the number of years enrolled at NAIST (If in the middle of the academic year, until that year has ended) and then subtracting the total amount already paid for tuition.
7. When declining of the Long-term Course is to be approved, as separately stipulated, the amount of tuition resulting from multiplying the annual tuition fee stipulated in subsection 1 of Article 54 by the number of years enrolled at NAIST and then subtracting the total amount of tuition fee already paid is to be collected at the time approval of declining the Long-term Course.

Article 58 (Amount and payment of the tuition fee in case of re-enrollment)
In case of re-enrollment, transfer from another school, and readmission ("Re-enrollment") during the spring or autumn semester, the tuition fee shall be paid in an amount of one twelfth of the annual tuition fee ("Monthly Fee") multiplied by the number of months from the month of Re-enrollment to the month preceding the next tuition payment. Payment shall be made in the month of Re-enrollment.

Article 59 (Amount of the tuition fee in case of completion of the course before the end of the academic year)
In case of completion of the course before the end of the academic year due to special circumstances, the tuition fee shall be paid in an amount of the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment in NAIST.

Article 60 (Amount of the tuition fee in case of leave of absence)
1. Payment of tuition fee is not required during leave of absence.
2. The amount of the tuition fee for which payment is not required shall be the Monthly Fee multiplied by the number of months from the month following the leave of absence to the month preceding Re-enrollment.

Article 61 (Amount of the tuition fee in case of withdrawal)
1. In case of withdrawal, whether voluntary or forced, transfer to another school, or expulsion from NAIST during a spring or autumn semester, the tuition fee for the entire semester shall be paid.
2. The tuition of students which have been suspended shall be collected for the duration of the suspension.
3. Notwithstanding the provision of subsection 1, the tuition to be collected from students who have been removed from enrollment due to death or disappearance will be recalculated according to the number of months enrolled.

Article 62 (Exemption from payment of admission and tuition fees)
Those who fall under any of the following may be exempted from payment of all or part of the admission

fee or allowed delayed payment thereof:
1. Those who have difficulties paying the admission fee for financial reasons and also are recognized as having outstanding academic ability, or are recognized as having other justifiable reasons
2. Those who are recognized as having outstanding academic ability and distinguished personal attributes
3. Others who are recognized by the President as requiring this

Article 63
Those who fall under any of the following may be exempted from payment of all or part of the tuition fee or allowed delayed payment thereof:
1. Those who have difficulties paying the tuition fee for financial reasons and also are recognized as having outstanding academic ability, or are recognized as having other justifiable reasons
2. Those who are recognized as having outstanding academic ability and distinguished personal attributes
3. Others who are recognized by the President as requiring this

Article 64
Matters relating to exemption of payment of admission and tuition fees and delayed payment thereof shall be provided for separately.

Article 65 (Treatment of entrance examination, admission and tuition fees once paid)
1. Once paid, entrance examination, admission and tuition fees cannot be refunded.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the tuition fee shall be refunded in the following cases.
(1) If a student who paid the tuition fees for both the spring and autumn semester at the same time pursuant to the foregoing provision of Article 57 subsection 3 is to withdraw, transfer or be expelled from NAIST before September 30 of that school year, the tuition fee for the autumn semester shall be refunded.
(2) If a student who paid the tuition fee at the time when he or she was accepted for admission pursuant to the foregoing provision of Article 57-4 declares his or her intention to decline the acceptance by the last day of the month preceding the admission, the amount equivalent to the paid tuition fee shall be refunded.
(3) If a student who paid tuition fees pursuant to the provision of Article 57 is to complete his or her course before the end of the academic year due to special circumstances, the amount of the paid tuition fee less the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment shall be refunded.
(4) If a student who paid tuition fees is to take leave of absence, the amount specified in Article 60-2 shall be refunded.
(5) In the case of removal from enrollment due to death or disappearance, tuition paid shall be refunded after deducting for the partial enrollment period.

XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students, Research Students and Undergraduate Internship Students

Article 66 (Special auditing students)
1. Contingent on consultation with the students' graduate school, students enrolled in a graduate school outside of NAIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIST as special auditing students to take a course at the Graduate School of NAIST if deemed beneficial for educational purposes by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.

2. If admission is permitted pursuant to the foregoing subsection, it shall apply to cases in which students are enrolled in a foreign graduate school in compliance with the school education system of that country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or the United Nations University graduate program.
3. Matters relating to special auditing students shall be provided for separately.

Article 67 (Special research students)
1. Contingent on consultation with the students' graduate school, students enrolled in another graduate school outside of NAIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIST as special research students to receive Research Guidance at the Graduate School of NAIST if deemed beneficial for educational purposes by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to special research students shall be provided for separately.

Article 68 (Non-degree students)
1. Individuals who are not NAIST students but wish to study one or more elective subjects at the Graduate School of NAIST may be admitted to NAIST as non-degree students and awarded credits only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to non-degree students shall be provided for separately.

Article 69 (Research students)
1. Individuals who wish to conduct research on a specific theme at a Graduate School of NAIST may be admitted to NAIST as research students only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to research students shall be provided for separately.

Article 69-2 (Undergraduate internship students)
1. Contingent on consultation with the students' university or institution, students enrolled in a university (including foreign universities) or technical college may be admitted to NAIST as undergraduate internship students to receive academic guidance in the graduate school of NAIST if deemed beneficial for educational purposes by the Dean of the Graduate School, subject to screening by the Faculty Council.
2. Matters relating to undergraduate internship students shall be provided for separately.

XIV. Rewards and Punishments

Article 70 (Rewards and punishments)
1. Students may be recognized by the President for outstanding achievements and valuable contributions, subject to screening by the Faculty Council.
2. The President may take disciplinary measures against students who have acted against the rules of NAIST or who have materially disturbed the educational and research activities of NAIST, following deliberation by the Faculty Council.
3. The disciplinary measures set forth in the foregoing subsection shall mean forced withdrawal, suspension from NAIST, and warning.

4. The period of suspension shall be subtracted from the maximum period of study stipulated in Article 32, but not added to the standard period of study stipulated in Article 31. However, if the period of suspension is less than three months, the semester shall be added to the standard period of study.

XV. Student Dormitories

Article 71 (Student dormitories)
1. NAIST has student dormitories.
2. Matters relating to the student dormitories shall be provided for separately.

XVI. Open Lectures

Article 72 (Open lectures)
1. NAIST may offer open lectures with a view to educating the public and contributing to cultural enrichment.
2. Matters relating to the open lectures shall be provided for separately.

XVII. Special Programs

Article 73 (Special programs)
1. NAIST may organize special programs for individuals who are not NAIST students and issue certificates certifying the successful participant's course completion.
2. Matters relating to the implementation of the foregoing subsection shall be provided for separately.

Supplementary provisions
(Effective date)
1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.
(Transitional measures)
2. In case of amendment of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 ("Existing Students") and also to the students who are readmitted or transferred to NAIST after April 1, 2004 if they are in the same grade as the Existing Students.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on April 21, 2005, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 17, 2005.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on April 1, 2007.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on January 24, 2008, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from December 26, 2007.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on April 1, 2009.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on April 1, 2010.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on December 1, 2010.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on December 1, 2010.

Supplementary provision
(Effective date)
1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2010.
2. Notwithstanding the provision of revised Article 5, the Graduate School of Information Science Department of Information Processing, Department of Information Systems and Department of Bioinformatics and Genomics, along with Graduate School of Biological Science Department of Cell Biology and Department of Molecular Biology shall be maintained until the students enrolled in these departments as of March 31, 2011 are no longer enrolled.
(Enrollment capacity for 2011, 2012 school year)
3. Notwithstanding the provision of Article 21 of these Regulations, the enrollment capacity for the 2011 and 2012 school years shall be as shown in the following table.

Fiscal Year	Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
			Master's Course	Doctoral Course	
2011	Information Science	Information Science	135	40	175
		Information Processing			96
		Information Systems			77
		Bioinformatics and Genomics			59
		Total	135	40	407
	Biological Sciences	Biological Sciences	125	37	162
		Cell Biology			81
		Molecular Biology			101

		Total	125	37	344
2012	Information Science	Information Science	135	40	350
		Information Processing			18
		Information Systems			14
		Bioinformatics and Genomics			11
		Total	135	40	393
	Biological Sciences	Biological Sciences	125	37	324
		Cell Biology			15
		Molecular Biology			19
		Total	125	37	358

(Transitional measures concerning attainable qualifications for teacher licensing at the Graduate School)

4. Notwithstanding the provision of revised Article 46 subsection 2 of these Regulations, the types and subjects of teaching licenses attainable at the departments in supplementary provision 2 shall depend upon previously offered licensing.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2011.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2012.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on June 1, 2012.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2013.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 1, 2014.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2015

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 26, 2015

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on May 17, 2016

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on December 1, 2016

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on April 1, 2017

Supplementary provision
(Effective date)
1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2018.
(Transitional measures concerning the Graduate Schools and Departments)
2. Notwithstanding the provision of revised Article 5 of these Regulations, the Graduate School of Information Science, Department of Information Science, Graduate School of Biological Sciences, Department of Biological Sciences, Graduate School of Materials Science, and the Department of Materials Science shall be maintained until the students enrolled in these departments as of March 31, 2018 (Current Students) are no longer enrolled.
(Enrollment capacity for 2018, 2019 school year)
3. Notwithstanding the provision of Article 21, the enrollment capacity for the 2018 and 2019 school years shall be as shown in the following table.

Fiscal Year	Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
			Master's Course	Doctoral Course	
2018	Science and Technology	Science and Technology	350	107	457
	Information Science	Information Science			215
	Biological Sciences	Biological Sciences			199
	Materials Science	Materials Science			150
2019	Science and Technology	Science and Technology	350	107	914
	Information Science	Information Science			40
	Biological Sciences	Biological Sciences			37
	Materials Science	Materials Science			30

(Transitional measures concerning Current Students)
4. The education of Current Students in the continuing Graduate Schools of subsection 2 of this article, notwithstanding the provisions of these revised regulations, shall depend upon the previous regulations.

Supplementary provision
(Effective date)
1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2019.

(Transitional measures concerning attainable qualifications for teacher licensing at the Graduate School)
2. Notwithstanding the provision of revised Article 46 subsection 2 of these Regulations, the types and subjects of teaching licenses attainable shall remain applicable to the students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2019 (“Existing Students”) and also to the students who are readmitted or transferred to NAIST after April 1, 2019 if they are in the same grade as the Existing Students.

Schedule (supplementary to Article 21)

Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
		Master’s Course	Doctoral Course	
Science and Technology	Science and Technology	350	107	1,021

Regulations for Student Commendation of Nara Institute of Science and Technology

December 7, 2004
Regulations No. 89

Article 1 (Purpose)
The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to commendation of performance worthy of public recognition that has been achieved by students (including groups of students) of the Nara Institute of Science and Technology ("NAIST") pursuant to the provision of Article 70 of the NAIST Regulations.

Article 2 (Commendation criteria)
1. NAIST shall commend students for:
(1) Hard work in academic studies that sets a good example for other students;
(2) Remarkable performance achieved in academic and research activities;
(3) Remarkable performance achieved in social activities;
(4) Remarkable performance achieved in extracurricular and other activities; or
(5) Other conduct judged to be worthy of public recognition.
2. Students to be commended pursuant to the foregoing subsection shall include those who are dead at the time of commendation.

Article 3 (Nomination)
Administrative staff or the Dean of the relevant Graduate School shall submit a letter of nomination (Form No. 1 attached hereto) to the President to recommend a student who is deemed to meet any of the commendation criteria specified in the foregoing subsection for commendation.

Article 4 (Decision on commendation of student)
The President shall decide whether to commend the student based on the nomination specified in the foregoing article.

Article 5 (Commendation)
1. The President shall award a certificate of commendation (Form No. 2 attached hereto) to the student whom it was decided should be commended pursuant to the provision of the foregoing article.
2. The President may present a commemorative gift to the student in addition to the certificate of commendation specified in the foregoing subsection.

Article 6 (Timing of commendation)
The President shall determine the timing of commendation, in consideration of the timing of the degree conferring ceremony or the nature of the commendation.

Article 7 (Clerical work)
The Educational Affairs Division of the Planning and Academic Affairs Department shall be responsible for

handling clerical work necessary for student commendations.

Article 8 (Miscellaneous provision)
Other matters relating to student commendations shall be provided for separately.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on December 7, 2004.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on November 15, 2006 and be retrospectively applied from April 1, 2006.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on July 26, 2007 and be retrospectively applied from April 1, 2007.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on April 1, 2015.

Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program

September 21, 2010
Regulations No. 4

Article 1 (Objective)
These regulations provide for necessary matters regarding the scholarship program that is intended to help develop excellent human resources by giving incentives to and supporting excellent students of Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as "NAIST").

Article 2 (Name)
The name of the scholarship program shall be the NAIST Excellent Student Scholarship Program.

Article 3 (Qualified students)
Students qualified to receive scholarships under the scholarship program (hereinafter referred to as "qualified students") shall be students who are enrolled in the first year of a doctoral course at NAIST in an academic year in which qualified students are selected (hereinafter referred to as "the academic year") and whose academic performance is outstanding and whose character is excellent, excluding foreign students financed by the Japanese government and those selected for the NAIST International Scholar Program.

Article 4 (Maximum number of qualified students)
The maximum number of qualified students shall be 15 in each academic year.

Article 5 (Method of scholarship support)
The scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of all tuition fees for the academic year.

Article 6 (Timing of selecting qualified students)
Qualified students shall be selected in April.

Article 7 (Notification of the number of scholarship candidates subject to recommendation)
The President shall set the number of candidates for qualified students (hereinafter referred to as "scholarship candidates") subject to recommendation for each graduate school and notify the deans in advance.

Article 8 (Selection of scholarship candidates)
1. The deans shall set the criteria for screening scholarship candidates (hereinafter referred to as "the screening criteria"), announce on campus the screening criteria together with the number of candidates for qualified students, and solicit applications for scholarship candidates.
2. The deans shall select scholarship candidates from among the applicants based on the screening criteria set forth in the preceding paragraph, and recommend the scholarship candidates to the President, also providing the screening criteria and the order of recommendation.

Article 9 (Screening of qualified students)

1. The President shall set up a NAIST Excellent Student Screening Committee (hereinafter referred to as "the Committee") to screen qualified students based on the deans' recommendations.
2. The Committee shall consist of the following members:
(1) President
(2) Executive Director appointed by the President
(3) Vice President appointed by the President
(4) Deans
3. The Committee shall have a chairperson, who shall be the President.
4. The chairperson shall preside over the meetings of the Committee.
5. If the chairperson becomes unable to serve, a Committee member appointed by the chairperson in advance shall perform the duties of the chairperson.
6. If the chairperson finds it to be necessary, individuals other than Committee members set forth in Paragraph 2 shall be allowed to attend the Committee meetings.

Article 10 (Selection of qualified students)
1. The President shall select qualified students based on screening by the Committee.
2. The President shall notify the deans of the screening results, and announce the screening results on campus.

Article 11 (Commendation and presentation session)
The President shall commend qualified students, and shall host a presentation session by the qualified students.

Article 12 (Clerical work)
Clerical work regarding the scholarship program shall be undertaken by the Educational Affairs Division of the Planning and Academic Affairs Department.

Article 13 (Miscellaneous provisions)
In addition to the matters provided for in these regulations, necessary matters concerning the scholarship program shall be provided for separately.

Supplementary provisions
1 (Effective date)
These regulations shall come into effect on October 1, 2010.
2 (Transitional measures)
For academic year 2010 alone, the scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of half the tuition fees for the academic year regardless of the provisions of Article 5, and qualified students shall be selected in October regardless of the provisions of Article 6.

Supplementary provisions
These regulations shall come into effect on April 1, 2015.

Nara Institute of Science and Technology
Student Discipline Regulations

December 15, 2009
Regulations No. 5

Article 1 (Purpose)
These regulations stipulate the necessary matters concerning the discipline and educational measures under Article 70 Clause 2 of the Nara Institute of Science and Technology Regulations (Regulations No. 1, 2004).

Article 2 (Scope of application)
1. These provisions shall apply to students, non-degree students, and research students (hereinafter simply referred to as the "Students") who are enrolled at Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as "NAIST").
2. For those who are research assistants under Article 1 Clause 2 Item 8 of the Nara Institute of Science and Technology Employment Regulations for Education and Research Fixed-term Contract Employees (Regulations No. 1, 2005) or teaching assistants under Article 1 Clause 2 Item 9 of those provisions, in addition to these regulations, the stipulations of Article 34 through Article 36 of said regulations shall also apply in accordance with the type of illegal action.

Article 3 (Illegal actions subject to discipline)
The illegal actions subject to discipline or educational measures (hereinafter referred to as "Discipline") for the Students shall be as stated below.
(1) Actions that violate NAIST's rules and/or regulations
(2) Actions that obstruct NAIST's education or research activities

Article 4 (Types of discipline)
The content of discipline shall be according to the stipulations of the relevant item below, in accordance with the type of discipline stated in the item.
(1) Expulsion: The student shall be expelled, and re-admission shall not be allowed.
(2) Suspension: The student shall not be allowed to come to NAIST for a fixed period of six months or an indefinite period.
(3) Admonishment: The person shall be given a written warning and cautioned about future actions.

Article 5 (Determination of Discipline)
1. When determining whether and what type of Discipline is necessary, comprehensive consideration shall be given to the matters stated below and then a decision shall be made.
(1) The motive, attitude toward, and result of the illegal action
(2) The deliberate intention or degree of negligence
(3) The degree of damage, including the mental suffering of people affected
(4) The effects on other Students and society
(5) Whether the student has committed illegal actions in the past
(6) The student's attitude toward their studies, and his-her response after the illegal action
2. Determination of the type of discipline shall be according to the Examples of Disciplinary Action

Standards (appendix). Provided, however, that depending on the content of the individual case, there may also be cases that do not follow the Examples of Disciplinary Action Standards.
3. For illegal actions not listed in the Examples of Disciplinary Action Standards, it shall be possible to use the Examples of Disciplinary Action Standards for reference and then determine the discipline.

Article 6 (Reporting incidents)
In the event that an illegal action that may be subject to Discipline has occurred, the Dean of the graduate school to which the Student who conducted that illegal action belongs (hereinafter referred to as the "Dean of the Relevant Graduate School") shall promptly ascertain the facts, take the necessary measures such as restoring matters to their original state, and make a report to the President.

Article 7 (Authorizing investigation and deliberation)
In the event that the President receives a report stipulated under Article 6 and recognizes that there was an illegal action that may be subject to discipline, he/she shall order the Executive Director in charge of education to investigate the facts and deliberate whether discipline is necessary and the type of discipline (hereinafter referred to as the "Investigation and Deliberation").

Article 8 (Suspension)
1. In the event that the action by the Student who will be subject to the Investigation and Deliberation by the student discipline committee stipulated in Article 9 (hereinafter referred to as the "Student Subject to Investigation") is clearly an illegal action that is subject to discipline, and it is certain that punishment of expulsion or suspension shall be issued, the President may order tentative suspension from NAIST before a decision is made under the provisions of Article 17.
2. A Student who has been ordered suspended from NAIST under the previous clause shall not be allowed to come to the Institute.
3. Said period of suspension from NAIST shall be included in the official suspension period.

Article 9 (Student discipline committee)
In order to conduct the Investigation and Deliberation stated in Article 7, the Executive Director in charge of education shall establish a student discipline committee (hereinafter referred to as the "Committee").

Article 10 (Committee organization)
1. The Committee shall be comprised of the persons listed below.
(1) The Executive Director in charge of education
(2) The Director General
(3) The Dean or Vice Dean of each graduate school
(4) The Director of the Planning and Academic Affairs department
(5) Other persons the Executive Director in charge of education recognizes as necessary
2. The Committee shall have a chairperson, and the Executive Director in charge of education shall fill this position.
3. The Committee may not conduct proceedings unless at least two-thirds of the members are in attendance.

Article 11 (Non-member attendance)
The Committee may request attendance of persons it recognizes as necessary and ask their opinions.

Article 12 (Explanations)
When conducting an investigation of the facts, the Student Subject to Investigation shall be notified of the fact that an investigation will be conducted and shall be given the opportunity to offer an oral or written explanation. In such cases, in the event that, without a valid reason, that Student does not appear to offer an oral explanation or does not submit a written explanation, it shall be deemed that he or she has waived the right to offer an explanation.

Article 13 (Investigation and report of deliberation results)
The Executive Director in charge of education shall report the Committee's Investigation and Deliberation results to the President.

Article 14 (Dean notification)
The President shall report the results of the Investigation and Deliberation that were reported by the Executive Director in charge of education to the Dean of the Relevant Graduate School.

Article 15 (Relation to other agreements)
Notwithstanding the stipulations of Article 6 through Article 13, in the event that NAIST's other rules and regulations have stipulations concerning illegal action investigations, matters for these investigations of the respective illegal action shall be according to those stipulations.

Article 16 (Faculty Council deliberation)
1. The Dean of the Relevant Graduate School shall deliberate the results of the Committee's Investigation and Deliberation within the faculty council.
2. The Dean of the Relevant Graduate School shall report the Faculty Council's deliberation results to the President.

Article 17 (Decision of disciplinary action)
1. The President shall make the decision on whether and what type of discipline is necessary considering the report stated in the previous article by the Dean of the Relevant Graduate School.
2. When making the decision of the previous clause, in the event that the President recognizes it is necessary, he or she may order another Investigation and Deliberation. In such cases, the stipulations of Article 7 through Article 16 shall apply correspondingly.

Article 18 (Notification of disciplinary action)
1. In the event that a decision has been made to conduct disciplinary action under the provisions of Article 17, the President shall notify the Student Subject to Investigation, the Executive Director in charge of education, and the Dean of the Relevant Graduate School of the type of discipline and the reason for punishment.
2. Notification to the Student Subject to Investigation shall be made by issuing the relevant Student a notification of disciplinary action (appendix form no. 1). Provided, however, that when issuance is not possible, notification shall be made by another appropriate method.

Article 19 (Disciplinary action effectiveness)

Disciplinary action shall come into effect on the date the notification of disciplinary action is issued. Provided, however, that in unavoidable cases this shall not apply.

Article 20 (Cancellation of indefinite suspension)
1. In the event that it has been recognized that, for a Student on indefinite suspension, it is appropriate to cancel suspension after six months have passed since the date it went into effect, the Dean of the Relevant Graduate School shall have the matter deliberated by the Faculty Council and then report the results to the President and the Executive Director in charge of education.
2. The Executive Director in charge of education shall inform the President of his or her opinion concerning the appropriateness of cancelling suspension. In such cases, the Executive Director in charge of education shall consult the Committee.
3. The President may, in light of the report from the Dean of the Relevant Graduate School and the opinion from the Executive Director in charge of education, cancel the suspension.

Article 21 (Rescreening)
1. In the event that there is factual error, discovery of new facts, or other valid reasons, a Student who received disciplinary action may attach materials that will serve as proof and use the request for rescreening form (appendix form no. 2) to make a request to the President for rescreening.
2. In the event it is recognized that rescreening is necessary, the President may order another Investigation and Deliberation of the facts. In such cases, the provisions of Article 7 through 17 shall apply correspondingly.

Article 22 (Change of enrollment)
1. In the event that a Student Subject to Investigation has made a request to withdraw or take a leave of absence before a decision under the provisions of Article 17, it shall not be permitted.
2. In the event that a Student who is under suspension has made a request to take a leave of absence, it shall not be permitted.
3. In the event that a Student who is on a leave of absence will be disciplined with a suspension, the permission for that Student’s leave of absence shall be rescinded.

Article 23 (Educational measures)
1. In the event that the President receives a report described in Article 6 and recognizes it is in response to an illegal action not suitable for discipline, or in the event that he or she decides not to conduct disciplinary action under the provisions of Article 17, when it is recognized as necessary he or she shall order the Dean of the Relevant Graduate School to take educational measures.
2. In the event that an order stipulated in the previous clause, the Dean of the Relevant Graduate School shall give the Student who conducted the relevant illegal action a written or oral warning as an educational measure.
3. The educational measure stipulated in the previous clause shall correspond to the types of educational measures listed in each of the items below, and shall follow the stipulations of the relevant item.
(1) Strong warning: A strong warning about the illegal action will be made in writing.
(2) Oral warning: A warning about the illegal action will be made orally.

Article 24 (Record of disciplinary action)

In the event that a disciplinary action has been decided under the provisions of Article 17 for a Student (excluding cases in which, as a result of rescreening under the provisions of Article 21, a decision was made that disciplinary action shall not be conducted), the content of the disciplinary action shall be recorded in the guidance record stipulated in Article 24 of the Regulations for Enforcing the School Education Act (Ministry of Education, Science, Sports and Culture Order No. 11, 1947). Provided, however, that the content of disciplinary action that was recorded in the guidance record shall not be included in certificates issued by NAIST.

Article 25 (Administrative duties)
Administrative duties related to discipline, etc. for the Students shall be the responsibility of the Educational Affairs Division of the Planning and Academic Affairs Division.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on December 15, 2009.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on December 1, 2013.

Supplementary provision
These Regulations shall come into effect on April 1, 2015.

Appendix (related to Article 5)
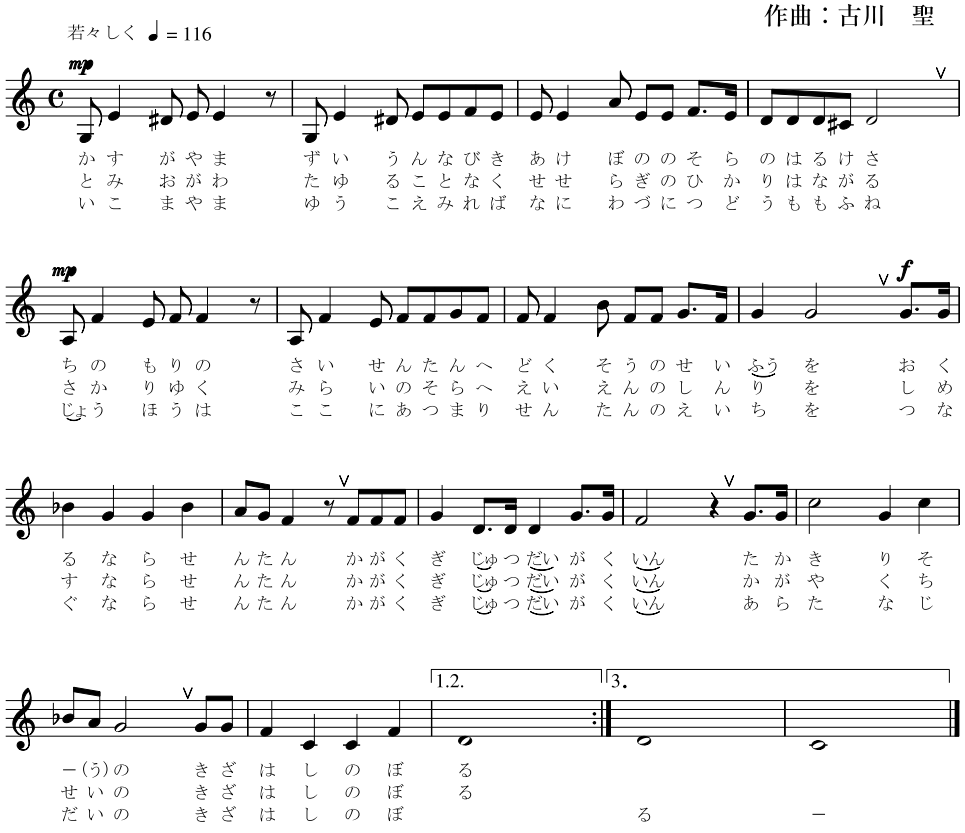
Examples of disciplinary action standards

Classification	Type of illegal action	Discipline standards
Criminal actions, etc.	Heinous criminal acts or attempted criminal acts such as murder, theft, rape, or arson	Expulsion
	Action that inflicts injury	Expulsion or suspension
	Drug-related criminal acts	Expulsion or suspension
	Criminal acts such as theft, shoplifting, fraud, or violent acts that do not injure other persons	Expulsion, suspension, or admonishment
	Groping or molestation acts (including voyeurism, surreptitious photography or videos, or other actions that are a nuisance to others)	Expulsion, suspension, or admonishment
	Stalking acts	Expulsion, suspension, or admonishment
	Malicious unauthorized use of a computer or network	Expulsion or suspension

	Unauthorized use of a computer or network	Suspension or admonishment
Traffic accidents	Causing a traffic accident involving death or bodily injury leaving serious permanent damage, and caused by malicious actions such as driving without a license, driving under the influence of alcohol, or reckless driving	Expulsion
	Causing a traffic accident involving bodily injury, and was caused by malicious actions such as driving without a license, driving under the influence of alcohol, or reckless driving	Expulsion or suspension
	Malicious violation of traffic laws, such as driving without a license, driving under the influence of alcohol, or reckless driving	Suspension or admonishment
	Causing a traffic accident involving death or bodily injury leaving serious permanent damage, and caused by negligent actions such as failing to look ahead carefully	Suspension
	Causing a traffic accident involving bodily injury, and was caused by negligent actions such as failing to look ahead carefully	Suspension or admonishment
Research activity	Fabricating, falsifying, or plagiarizing data or investigation results that are indicated in research results that were announced	Expulsion, suspension, or admonishment
Experimen	Dishonest or malicious actions such as vicariously taking an examination, etc. conducted by NAIST	Expulsion or suspension
	Dishonest actions such as cheating on examinations, etc. conducted by NAIST	Suspension
	Cases of not following warnings or instructions by a supervisor during an examination, etc. conducted by NAIST	Admonishment
Illegal actions at NAIST	Violent actions that significantly hinder NAIST's education, research, management, or operations	Expulsion, suspension, or admonishment
	Trespassing into a NAIST-managed building, or using or occupying it without authorization	Expulsion, suspension, or admonishment
	Breaking, defiling, or illegally rebuilding a NAIST-managed building or property	Suspension or admonishment
	Violent actions, intimidation, detention, or confinement of NAIST constituents	Expulsion, suspension, or admonishment
	Actions that considered to be sexual or academic harassment	Expulsion, suspension, or admonishment

奈良先端科学技術大学院大学　学歌

作曲：古川　聖



奈良先端科学技術大学院大学学歌

一、春日山　瑞雲なびき
あけぼのの　空の遙けさ
知の森の　最先端へ
独創の　清風を送る
奈良先端科学技術大学院
高き理想の階のぼる

二、富雄川　絶ゆることなく
せせらぎの　光は流る
盛りゆく　未来の蒼天へ
永遠の　真理を示す
奈良先端科学技術大学院
輝く知性の階のぼる

三、生駒山　夕越え見れば
難波津に　集う百船
情報は　平城に集まり
先端の　叡知を繋ぐ
奈良先端科学技術大学院
新たな時代の階のぼる

原作:岡部　剛機




Nara Institute of Science and Technology
NAIST